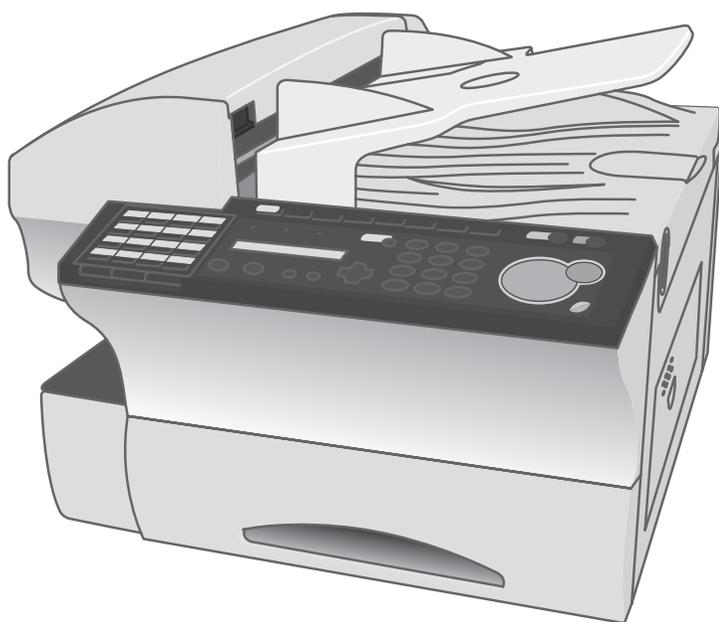


取扱説明書

NTTFAX L-310



ご使用になる前に

第1章

基本編

第2章

応用編

第3章

セキュリティ編

第4章

登録/設定編

第5章

こんなときには

第6章

付録

第7章

このたびは、NTTFAX L-310をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

~したいこと目次

機器設定

発信元を変更したい	1-29	初期設定
時計を合わせたい	5-40	時計
受信モードを変更したい	1-29	初期設定
画質・濃度を変更したい	2-7	画質・濃度を選ぶ
ファクスと同時にコピーもしたい	3-27	ファクス&コピー

用紙

用紙のサイズを変更したい	1-26	カセットの用紙サイズを変更する
--------------	------	-----------------

コピー

縮小コピーをしたい	5-44	プリントパラメーター
ソートコピーを行いたい	2-54	ソートコピーを設定する

ファクス

複数の相手に送信したい	3-3	同報送信
ファクスを中断したい	2-24	通信を中止/確認する
正しく送られたか確認したい	3-55	送信確認証のプリントを設定する
送信・受信状況のリストを出したい	3-51	通信管理レポートをプリントする
同じ相手にもう1度送信したい	2-19	同じ相手にもう1度送信する(リダイヤル)
呼び出しベル回数を変更したい	5-41	呼び出しベル回数

登録

ワンタッチダイヤルを登録したい	5-12	ワンタッチダイヤルを登録/変更する
短縮ダイヤルを登録したい	5-17	短縮ダイヤルを登録/変更する
グループダイヤルを登録したい	5-21	グループダイヤルを登録/変更する
文字入力について知りたい	5-3	文字入力のしかた
初期設定を変更したい	5-44	コピー設定一覧
	5-41	ファクス設定一覧
	5-39	システム設定一覧

管理

トナー、ドラムカートリッジを交換したい	6-6	トナーカートリッジの交換
	6-2	ドラムカートリッジの交換
用紙づまりを解除したい	6-16	用紙がつまったとき
原稿づまりを解除したい	6-20	原稿がつまったとき
エラーメッセージについて知りたい	6-22	エラーメッセージ
故障かどうか調べたい	6-33	故障かなと思ったら

第 1 章 ご使用になる前に

1

第 2 章 基本編

2

第 3 章 応用編

3

第 4 章 セキュリティ編

4

第 5 章 登録／設定編

5

第 6 章 こんなときには

6

第 7 章 付録

7

- ・ この取扱説明書を紛失された場合、購入することができませんので、NTT 通信機器お取扱相談センタまでご連絡ください。
- ・ この取扱説明書に記載されている以外のことは行わないでください。思わぬ事故や故障を起こす原因となることがあります。
- ・ この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書をお読みになる前に、本商品に同梱されている「安全にご使用いただくために」をよくお読みください。また、本書中に▲と表記されている事項は、安全に関する注意事項です。操作を行う前に必ずよくお読みください。

目次

本書のみかた	ix
紙面について	ix
マークについて	x
キー表示について	x
ご使用の前のお願い	xi
本商品の設置について	xi
本商品の移動について	xii
消耗品について	xii
日常のメンテナンスについて	xiii
第 1 章 ご使用になる前に	1-1
特長	
主な特長	1-2
名称	
各部の名称とはたらき	1-4
前面と右側面	1-4
本体内部	1-6
背面と左側面	1-7
操作パネルの名称とはたらき	1-8
電源	
電源スイッチと〈節電〉	1-10
電源スイッチについて	1-10
〈節電〉と節電モードについて	1-11
機能の呼び出しかた	
機能の呼び出しかた	1-12
機能番号を入力して探す	1-12
カーソルキーを使って探す	1-12
機能を順番に表示しながら探す	1-13
準備	
同梱品を確認する	1-14
接続する・取り付ける	1-15
ドラム、トナーカートリッジの取り付け	1-19
ドラム、トナーカートリッジについて	1-19
用紙について	1-23
<input type="checkbox"/> 記号について	1-23
用紙について	1-23
使用できない用紙	1-24
プリント範囲	1-24
用紙の保管方法	1-24
用紙セットのしかた	1-25
用紙セットのしかた	1-25
カセットの用紙サイズを変更する	1-26

設置モード

お使いになる前の登録	1-29
初期設定	1-29
ダイヤルインを登録する	1-33
待機画面について	1-34
受信モードを選ぶ	1-35
ダイヤルタイプの見分けかた	1-36

第 2 章 基本編

2-1

原稿

原稿について	2-3
セットできる原稿	2-3
読み取りできる範囲	2-4
原稿についての注意	2-4
原稿セットのしかた	2-5
原稿をセットする	2-5
☐ 記号について	2-6
画質・濃度を選ぶ	2-7
画質を選ぶ	2-7
濃度を選ぶ	2-8

送信

ファクスを送信する	2-9
テンキーで送信する	2-9
ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルで送信する	2-11
宛先表検索のしかた	2-13
宛先表ダイヤルで送信する	2-15
相手先を確認してから送信する（手動送信）	2-17
同じ相手にもう一度送信する（リダイヤル）	2-19
送信時にメモリーオーバーしたとき	2-20
送信するときの便利な機能	2-21
メモリー送信／リアルタイム送信	2-21
ダイヤル記号を入力する	2-21
発信元名送信を設定する	2-22
発信元名を選択する	2-22
済スタンプの設定	2-23

通信中止／確認

通信を中止／確認する	2-24
通信を中止する	2-24
同報送信・グループ送信を中止／確認する	2-26
通信予約を中止／確認する	2-28
通信結果を確認する	2-30

受信

ファクスを受信する	2-32
ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）	2-32
電話を優先して自動受信もする（電話／ファクス待機）	2-33
ファクスを優先して電話も受ける（ファクス／電話待機）	2-34

留守番電話とファクスを兼用する（留守／ファクス待機）	2-35
電話を中心に使用する（電話待機）	2-36
増設電話でファクスを受信する（リモート受信）	2-37
受信中の動作について	2-38
受信中の表示について	2-38
受信中の動作について	2-38
代行受信について	2-39
受信文書の記録のしかた	2-40
有効記録サイズについて	2-40
ページ分割について	2-40
受信縮小について	2-40
しきい値について	2-41
記録のしかた一覧	2-42

電話

電話について	2-43
ハンドセットについて	2-43
本商品の機能を使用して電話をかける	2-44
ハンドセットの機能を使用して電話をかける	2-46
電話を受ける	2-47
ハンドセットの便利な機能を使用する	2-48
プッシュホンサービスのご利用について	2-51

コピー

コピーのしかた	2-52
コピーする	2-52
ソートコピーを設定する	2-54

第 3 章 応用編 3-1

ファクス応用機能

多数の相手に一度に送信する	3-3
同報送信	3-3
グループ送信	3-5
送信時刻を指定する（時刻指定通信）	3-7
原稿と一緒に送信案内証を送信する（メッセージ送信）	3-9
メッセージを登録／変更する	3-9
送信案内証をプリントする	3-10
送信案内証を設定する	3-10
ポーリングをする	3-11
ポーリング原稿を蓄積する	3-11
ポーリング原稿を消去する	3-11
ポーリング原稿をプリントする	3-12
相手先の原稿を取り出す（ポーリング）	3-12
Fコード通信をする	3-13
Fコード通信とは？	3-13
サブアドレスとパスワード	3-13
Fコード通信で使用できる機能	3-13
Fコードボックスを登録する	3-14
Fコード親展ボックスの登録	3-16

Fコード掲示板ボックスの登録	3-16
Fコード中継指示ボックスの登録	3-17
Fコードボックスを消去する	3-18
Fコードボックスリストをプリントする	3-19
サブアドレスを使用して送信する (Fコード送信)	3-20
サブアドレスを使用して受信する (Fコードポーリング)	3-21
掲示板へ原稿を蓄積する	3-23
蓄積された原稿をプリントする	3-24
掲示板に蓄積された原稿を消去する	3-25
Fコードボックス蓄積原稿リストをプリントする	3-26
同じ原稿を一度にファクスとコピーする (ファクス&コピー)	3-27
ファクス&コピーを設定する	3-27
ファクス&コピーのしかた	3-28
受信原稿を転送する (ファクスワープ)	3-29
転送条件を登録する	3-29
転送条件を消去する	3-32
転送条件一覧をプリントする (ファクスワープリスト)	3-33
ファクスワープを設定する	3-34
ボイスワープサービスの利用について	3-35
ボイスワープサービスとは?	3-35
ボイスワープサービスを利用する前に設定する	3-35
電話を転送する (フォンワープ)	3-38
転送条件を登録する	3-39
転送条件を消去する	3-41
転送条件一覧をプリントする (フォンワープリスト)	3-41
フォンワープを設定する	3-42
フォンワープの動作	3-43
外出先からの操作 (リモート操作)	3-44
1回線で複数の番号をつける (ダイヤルイン)	3-46
ダイヤルインのときの動き	3-46
ダイヤルインについて	3-48
通信モードを選択して送信する	3-49

通信管理

通信を管理する	3-50
通信管理レポートをプリントする	3-51
通信管理レポートの自動プリントを設定する	3-52
通信管理レポートのみかた	3-53
日報の時刻指定プリントを設定する	3-54
送信確認証のプリントを設定する	3-55
送信確認証のみかた	3-56
通信予約リストをプリントする	3-57
通信予約原稿をプリントする	3-58

第 4 章 セキュリティ編..... 4-1

セキュリティ

セキュリティコードの登録.....	4-2
管理者パスワードの設定.....	4-2
プロテクトコードの設定.....	4-4
ファクス通信する相手を限定する（閉域通信）.....	4-7
閉域送信を設定する.....	4-7
閉域受信を設定する.....	4-8
特定の相手機とだけポーリングする（パスコードポーリング）.....	4-9
パスコードについて.....	4-10
パスコードを登録する.....	4-10
パスコードの通信と範囲.....	4-11
相手機番号を確認してから送信する（ID チェック送信）.....	4-13
ID チェック送信を設定する.....	4-13
宛先を確認してから送信する（宛先 2 度押し）.....	4-14
宛先 2 度押しを設定する.....	4-14
宛先 2 度押し送信のしかた.....	4-16
機能の制限について.....	4-17
複数の宛先入力を禁止する（同報禁止）.....	4-18
同報禁止の設定.....	4-18
同報禁止の動作について.....	4-19
受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）.....	4-20
セキュリティ受信を設定する.....	4-20
セキュリティ受信した原稿をプリントする.....	4-21
ダイレクトメールを防止する.....	4-22
登録する.....	4-22
登録した番号を変更または消去する.....	4-24
ダイレクトメール防止ダイヤルリストをプリントする.....	4-25

プロテクト

設定や操作を制限する（プロテクト機能）.....	4-26
プロテクト機能を設定する.....	4-27
プロテクト機能の使いかた.....	4-28
機能の制限について.....	4-30

第 5 章 登録／設定編..... 5-1

文字入力

文字入力のしかた.....	5-3
漢字・全角文字を入力する.....	5-3
各モードで入力できる文字.....	5-4
カタカナ（半角）を入力する.....	5-5
アルファベット（半角）を入力する.....	5-6
数字、#、*（半角）を入力する.....	5-6
記号（半角）を入力する.....	5-7
記号コードを使って記号（半角）を入力する.....	5-8
登録されている相手先名を利用する.....	5-8
文字を修正する.....	5-9

文字を挿入する	5-9
文字入力例「関西ブロック」と入力するには.....	5-10

ファクス機能に関する登録

ワンタッチダイヤルを登録/変更する	5-12
登録/変更する	5-12
挿入または削除する.....	5-13
消去する	5-15
ワンタッチ宛名ラベルの記入のしかた.....	5-15
ワンタッチダイヤルリストをプリントする.....	5-16
短縮ダイヤルを登録/変更する.....	5-17
登録/変更する	5-17
挿入または削除する.....	5-18
消去する	5-20
短縮ダイヤルリストをプリントする.....	5-20
グループダイヤルを登録/変更する	5-21
登録/変更する	5-21
消去する	5-22
グループリストをプリントする	5-23
プログラムワンタッチを登録/変更する.....	5-24
「通信」を登録/変更する.....	5-24
「リストプリント」を登録/変更する.....	5-30
「原稿蓄積」を登録/変更する.....	5-31
消去する	5-33
プログラムワンタッチリストをプリントする.....	5-34
プログラムワンタッチの使いかた.....	5-34

共通の登録

ご愛用スイッチキーを登録する.....	5-35
登録/変更する	5-36
ご愛用スイッチキーの使いかた	5-37
機器設定のしかた	5-38
設定例.....	5-38
システム設定一覧.....	5-39
ファクス設定一覧.....	5-41
逆順プリントについて.....	5-43
コピー設定一覧	5-44
機器設定リストをプリントする	5-45

第 6 章 こんなときには..... 6-1

メンテナンス

ドラム、トナーカートリッジを交換する.....	6-2
ドラム、トナーカートリッジについて.....	6-2
ドラムカートリッジの交換.....	6-2
トナーカートリッジの交換.....	6-6
済スタンプを交換する	6-10
日常のお手入れ.....	6-12
本体カバーを清掃する.....	6-12
原稿ガラス、読み取りガイドを清掃する	6-13

原稿送りローラーを清掃する.....	6-14
記録ヘッドを清掃する.....	6-15

トラブル

用紙がつまったとき	6-16
本体内部で用紙がつまったとき.....	6-17
サイドカバーで用紙がつまったとき.....	6-18
用紙カセットで用紙がつまったとき.....	6-18
原稿がつまったとき	6-20
エラーメッセージ	6-22
アラームランプについて.....	6-22
プリントされるエラーメッセージ.....	6-23
エラーコード.....	6-24
液晶ディスプレイ上にあらわれるメッセージ.....	6-27
故障かなと思ったら	6-33
送信できない.....	6-33
受信できない.....	6-34
画質が悪い.....	6-35
停電のとき	6-37
メモリーバックアップ.....	6-38
消去通知.....	6-39

第7章 付録..... 7-1

文字一覧表	7-2
文字コードの探しかた.....	7-2
記号コード一覧.....	7-2
漢字・全角文字コード一覧.....	7-3
機能番号一覧	7-8
機能リストをプリントする.....	7-8
機能番号について.....	7-9
機能一覧と参照ページ.....	7-9
アフターサービスについて	7-13
保証について.....	7-13
修理を依頼される場合は.....	7-13
その他の場合.....	7-13
主な仕様	7-14
仕様.....	7-14
デュアルアクセス.....	7-15
外形寸法.....	7-16
規制について.....	7-17
消耗品について	7-19
オプション品・別売品について	7-20
オプション品.....	7-20
別売品.....	7-20
さくいん	7-21

本書のみかた

紙面について

分類

章の内容の分類名です。

大見出し

概要説明

機能の説明や、制限事項などを説明しています。

項目名

操作手順

番号順に操作します。

液晶ディスプレイの表示

補足

操作する上で、知っておいた方が便利な内容や注意点について説明しています。

ファクス応用機能

ポーリングをする

相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させる機能です。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。

パスコードを登録すると、相手機とパスコードが一致する場合のみポーリング送信できるようになります。（→4-9ページ）

一度の操作で最大220宛先の相手からポーリングする指示もできます。

ポーリング原稿を蓄積する

原稿をあらかじめメモリーに蓄積しておく、相手先からの操作で自動的に送信できます。料金は相手先の負担となります。

1 蓄積する面を上にして原稿をセットします。（→2-5ページ）

2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。
画質・濃度の選びかた（→2-7ページ）

3 〈メニュー／文字〉、〈4〉、〈1〉、〈1〉と押します。

[キノウ センタク]	No. 4 1 1
1 ポーリング ゲンコウ	

4 〈セット〉を押します。
ポーリング原稿が蓄積されます。

ポーリング原稿を消去する

1 〈メニュー／文字〉、〈4〉、〈2〉、〈1〉と押します。

[キノウ センタク]	No. 4 2 1
1 ポーリング ゲンコウ	

2 〈セット〉を押します。

3 もう一度〈セット〉を押します。

4 相手先のファクス番号を登録します。
・テンキー、ワンタッチダイヤル、ファクスダイアルが使用できます。
・〈同報〉を押すことにより、最大220宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は20宛先までです。）

5 〈スタート〉を押します。

補足

- ・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。
- ・〈スタート〉を押した後は、〈ファクス中止〉で消去できます。（→2-24ページ）

3

応用編

マークについて

本書では、安全にお使いいただくために守っていただきたい事項や操作する上での重要情報に以下のマークをつけています。

安全にご使用いただくために、本商品に同梱されている“安全にご使用いただくために”も必ずお読みください。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性がある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性または物的損害が発生する恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

🕒 お願い 誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

📄 補足 操作の参考情報や補足説明が書かれています。

キー表示について

本書では、操作する上でのキーの説明を以下のように表しています。

■ 操作パネル上のキー



→ 〈ファクス中止〉のように〈〉で囲んでいます。

ご使用の前のお願い

本商品に同梱されている“安全にご使用いただくために”のほか、以下の項目をお守りください。

本商品の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通信、記録等の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。

本商品の設置について

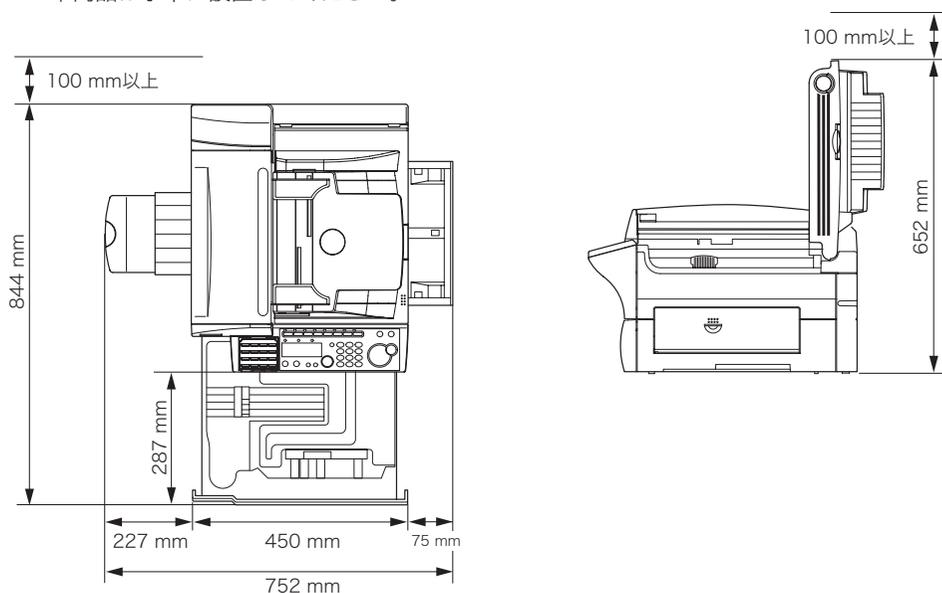
⚠注意

風通しの悪い場所に設置しないでください。

本商品は使用中オゾンが発生します。オゾンの量は人体に影響を及ぼすほどの量ではありませんが、風通しの悪い場所で長時間使用したり、大量のプリントをしたりするときは換気に十分留意し、環境に配慮して使用してください。

🕒お願い

- ・ 本商品の通風孔を壁などから 100mm 以上離して設置してください。
- ・ 本商品の放熱や作業のための設置スペースを確保してください。
- ・ 本商品は水平に設置してください。



- ・ 温度差の激しい場所に設置しないでください。温度 10～32 度、湿度 20～80% の環境でお使いください。屋外での設置や使用は避けてください。

本商品の移動について

⚠ 注意

- ・移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話機ヒモをはずしたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ・本商品を持ち運ぶときはドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを取り外してください。
- ・本商品を持ち上げるときにはひざを折り、腰を痛めないように注意してください。
- ・専用置き台に本商品を設置した後は、移動防止用ストッパーで本商品を固定してください。本商品が思わぬ方向に動き、けがの原因となることがあります。

消耗品について

⚠ 警告

トナーカートリッジを絶対に火中に投げないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

トナーなどの消耗品は幼児の届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

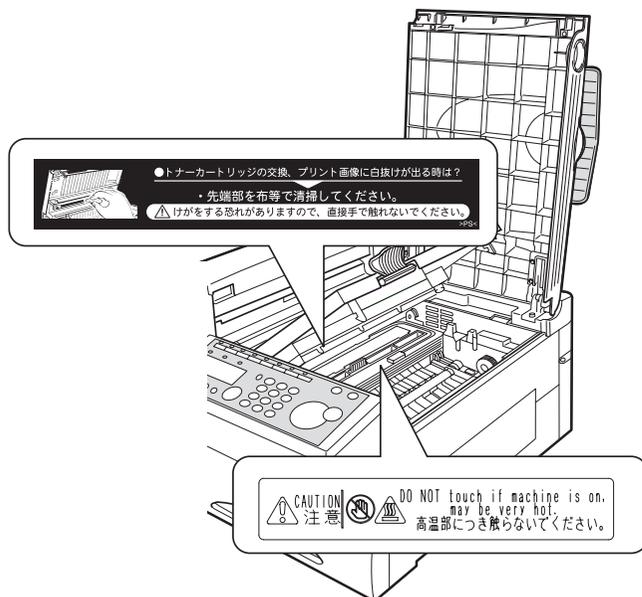
お願い

- ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、用紙を以下のような場所には保管しないでください。
 - ・火気のある場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・高温多湿な場所
 - ・急激な温度変化のある場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・自動車内での長期放置
- ・ドラムカートリッジの感光体表面に直接手を触れたり、直射日光にあてたりしないでください。画質不良の原因になります。
- ・当社指定のトナーをご使用ください。指定トナー以外のご使用による故障および画質不良は保証の対象外になります。
- ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを逆さに向けたり、斜めに放置したりしないでください。画質不良の原因になります。

日常のメンテナンスについて

⚠ 注意

本商品内部の定着器周辺は、動作時に高温になります。紙づまりの処理や内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように注意してください。やけどをする恐れがあります。



- ・ 紙づまりの処理や、トナーカートリッジを交換するときは、トナーが目や口に入らないように注意してください。万一、トナーが目や口に入った場合は、直ちにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ・ トナーで手や衣服を汚さないように注意してください。手や衣服が汚れた場合は、きれいな水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し汚れがとれなくなる場合があります。
- ・ 取扱説明書に記載されている以外のことは行わないでください。

第 1 章

ご使用になる前に

特長

主な特長.....	1-2
-----------	-----

名称

各部の名称とはたらき.....	1-4
前面と右側面.....	1-4
本体内部.....	1-6
背面と左側面.....	1-7
操作パネルの名称とはたらき.....	1-8

電源

電源スイッチと〈節電〉.....	1-10
電源スイッチについて.....	1-10
〈節電〉と節電モードについて.....	1-11

機能の呼び出しかた

機能の呼び出しかた.....	1-12
機能番号を入力して探す.....	1-12
カーソルキーを使って探す.....	1-12
機能を順番に表示しながら探す.....	1-13

準備

同梱品を確認する.....	1-14
接続する・取り付ける.....	1-15
ドラム、トナーカートリッジの取り付け.....	1-19
ドラム、トナーカートリッジについて.....	1-19
用紙について.....	1-23
☐ 記号について.....	1-23
用紙について.....	1-23
使用できない用紙.....	1-24
プリント範囲.....	1-24
用紙の保管方法.....	1-24
用紙セットのしかた.....	1-25
用紙セットのしかた.....	1-25
カセットの用紙サイズを変更する.....	1-26

設置モード

お使いになる前の登録.....	1-29
初期設定.....	1-29
ダイヤルインを登録する.....	1-33
待機画面について.....	1-34
受信モードを選ぶ.....	1-35
ダイヤルタイプの見分けかた.....	1-36

主な特長

■ ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル

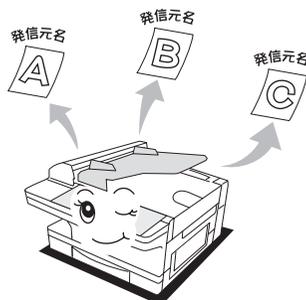
よく通信する宛先をあらかじめワンタッチダイヤル(60件)・短縮ダイヤル(140件)に登録しておくことで、簡単に送信できます。その都度アドレス帳などで調べる手間が省けます。(→5-12ページ、5-17ページ)



■ 発信元名選択 (3種類)

最大3件まであらかじめ発信元名を登録でき、送信相手によって簡単に変更できます。(→1-29ページ、2-22ページ)

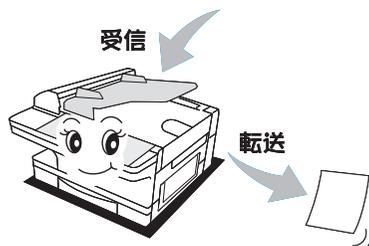
1台のファクスを複数部署で使用している場合などたいへん便利です。漢字を入力することができます。(第二水準対応)



■ ファクスワープ・フォンワープ機能

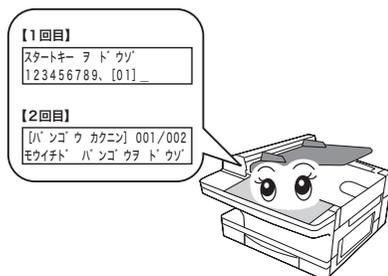
指定時間内にかかってきた電話、または、受信したファクスをあらかじめ設定しておいた宛先に転送します。外出中でもビジネスチャンスを逃しません。

(→3-29ページ、3-38ページ)



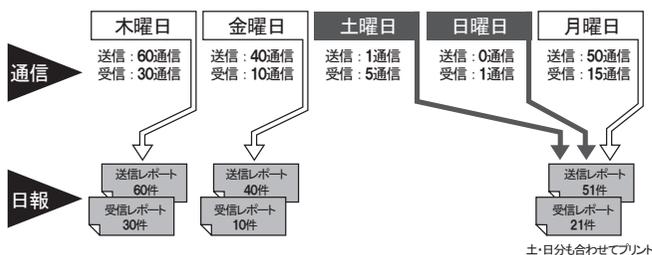
■宛先 2 度押し

送信開始の前に、テンキー、短縮ダイヤル、ワンタッチキーで入力したファクス番号を再入力して、間違いがないかを確認できます。ファクス番号の入力ミスによる誤送信を防げます。(→ 4-14 ページ)



■ 通信管理レポート / 日報レポート

従来は、通信記録の一定量蓄積後の出力だった「通信管理レポート」を「日報」として毎日プリントアウトできるので、通信管理が簡単に行えます。また休業日や出力を忘れた日でも「日報プリント」指示により、後からまとめて出力できます。(→ 3-50 ページ)



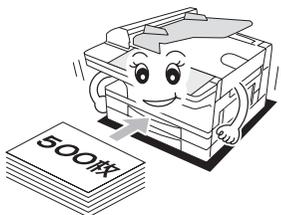
■ ご愛用スイッチキー

よく使う便利な機能 (送信確認証など) をあらかじめご愛用スイッチキーに登録しておくと、簡単に ON / OFF の切り替えが可能です。(→ 5-35 ページ)



■ 最大 500 枚大容量記録紙カセット

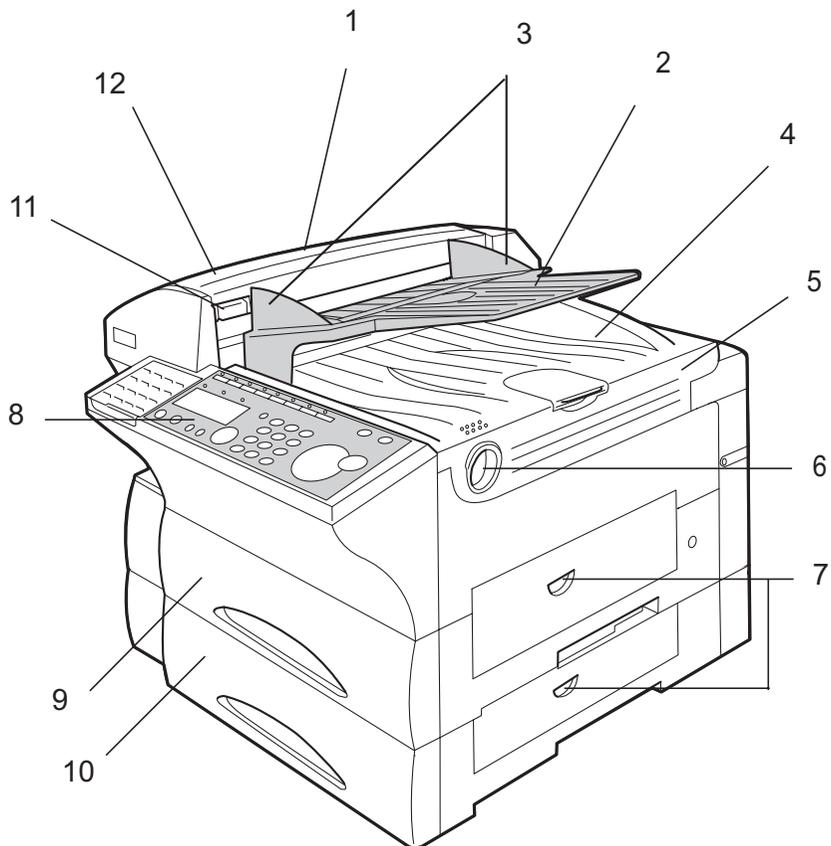
コピー用紙一冊分があまらずに収まります。用紙が 2 種類必要な場合、さらにもう一段増やすこともできます。(オプション品) (→ 7-20 ページ)



各部の名称とはたらき

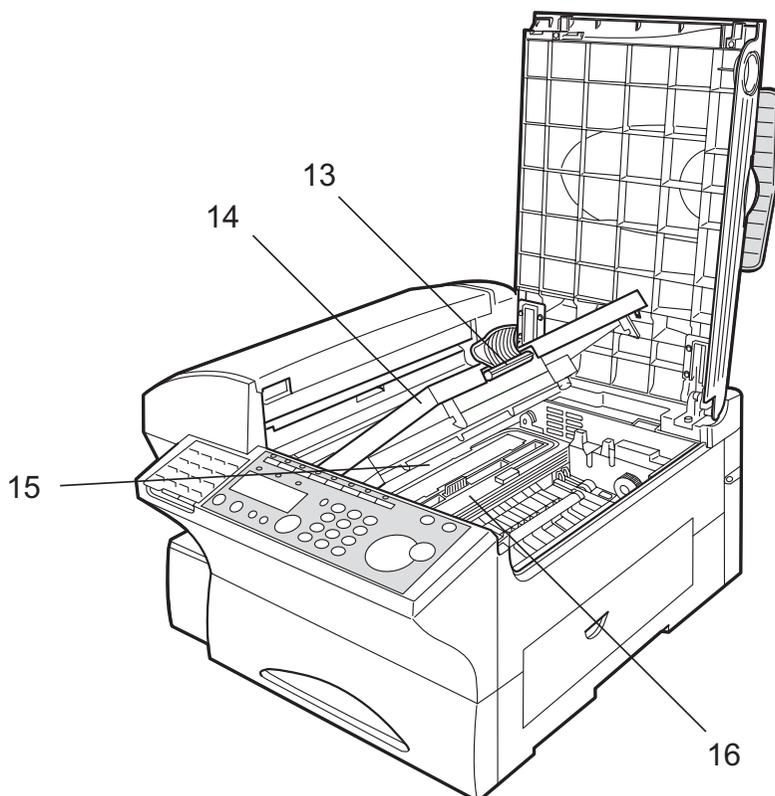
.....

前面と右側面



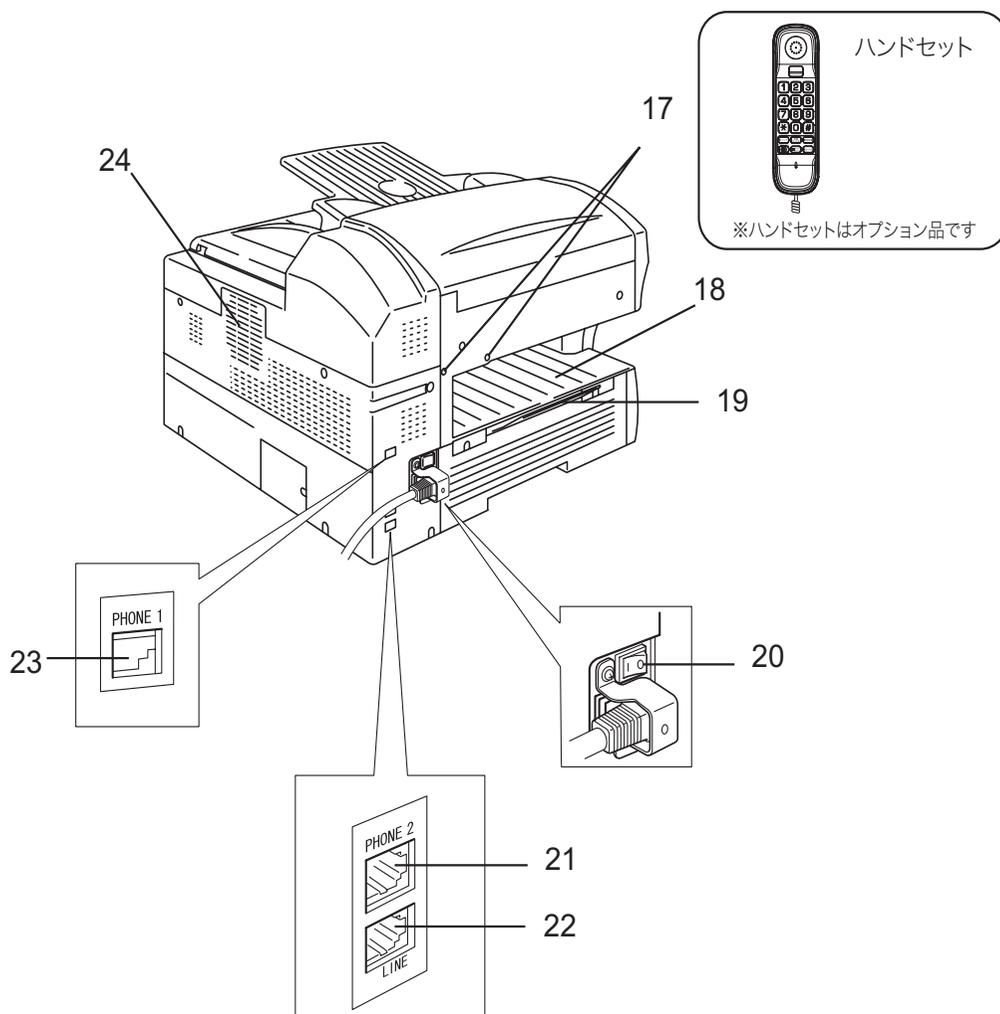
番号	名称	説明
1	自動原稿送り装置	複数枚の原稿を1枚ずつ読み込みます。
2	原稿トレイ	原稿をセットします。
3	原稿ガイド	原稿の幅に合わせて調整します。
4	原稿受け	原稿が排出されます。
5	トップカバー	ドラムやトナーの交換、用紙が本体内部でつまったときに開けます。
6	トップカバー解除レバー	トップカバーを開くときに引き上げます。
7	サイドカバー	用紙がつまったときに開けます。
8	操作パネル	操作に必要なキーや、液晶ディスプレイがまとめられています。
9	用紙カセット	用紙をセットします。
10	オプション品用紙カセット	用紙をセットします。
11	原稿カバー解除レバー	原稿カバーを開くときに引き上げます。
12	原稿カバー	原稿がつまったときに開けます。

本体内部



番号	名称	説明
13	プリンターカバー解除レバー	プリンターカバーを開くときに引き上げます。
14	プリンターカバー	ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを交換するときに開けます。
15	記録ヘッド	<p>ドラムに画像を形成します。画質が悪くなったときは、記録ヘッドを清掃してください。</p> <p>⚠ 注意 記録ヘッドには直接手で触れないでください。けがをする恐れがあります。また、画像トラブルの原因にもなります。</p>
16	定着器	<p>トナーを用紙に定着させます。</p> <p>⚠ 注意 プリント直後は定着器が熱くなっていますので、絶対に触れないでください。やけどする恐れがあります。</p>

背面と左側面

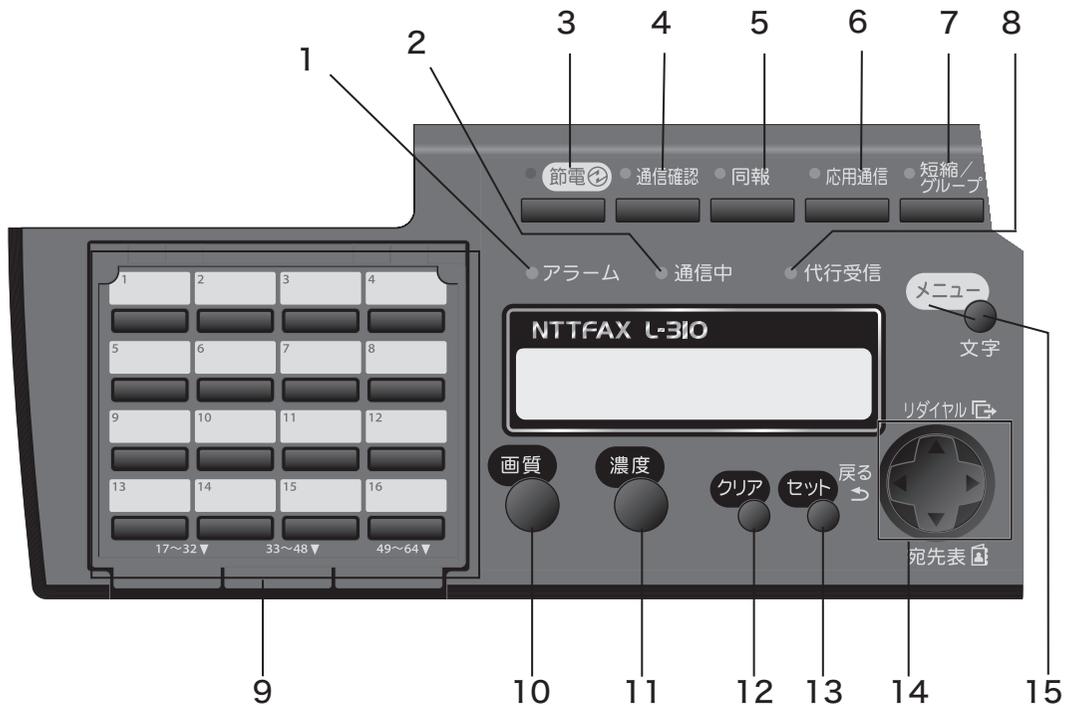


1

ご使用になる前に

番号	名称	説明
17	ハンドセット取り付け位置	オプション品のハンドセットを取り付ける箇所です。
18	用紙排出トレイ	コピーやプリントされた用紙がプリントした面を上にして排出されます。
19	延長用紙トレイ	B4用紙を使用する場合は、トレイを引き出して使用します。
20	電源スイッチ	本商品の電源をON / OFFするスイッチです。通常は電源をONにしてください。長期間使用しないときや、本商品の移動をするときはOFFにします。
21	PHONE2 端子	留守番電話などを接続します。
22	LINE 端子	電話機ヒモを接続します。
23	PHONE1 端子	オプション品のハンドセットを接続します。
24	通風孔	本商品内部の熱を排出します。

操作パネルの名称とはたらき



1. アラームランプ

エラーがおきると点灯します。(→6-22 ページ)

2. 通信中ランプ

通信中に点灯または点滅します。
点滅しているときは、読み取りやプリント動作
ができません。(→2-38 ページ)

3. 〈節電〉

待機時の消費電力を抑えるため、節電モードに
入るときに押します。(→1-11 ページ)

4. 〈通信確認〉

通信の予約状況を確認するときに使います。
(→2-28 ページ)

5. 〈同報〉

同報送信をする場合、宛先を区切るときに使
います。(→3-3 ページ)

6. 〈応用通信〉

時刻指定通信、ポーリング、Fコード送信、Fコ
ードポーリングをするときに使います。
(→3-7 ページ、3-11 ページ、3-20 ページ、
3-21 ページ)

7. 〈短縮／グループ〉

短縮ダイヤルを使うとき、グループ送信をする
ときに使います。(→2-11 ページ、3-5 ページ)

8. 代行受信ランプ

用紙がなくなったときなど、メモリーにデータ
が入ると点灯します。(→2-39 ページ)

9. ワンタッチキー

ワンタッチダイヤルやプログラムワンタッチを
使うときに押します。(→2-11 ページ、5-34
ページ)

10. 〈画質〉

送信やコピーの画質を選ぶときに使います。
(→2-7 ページ)

11. 〈濃度〉

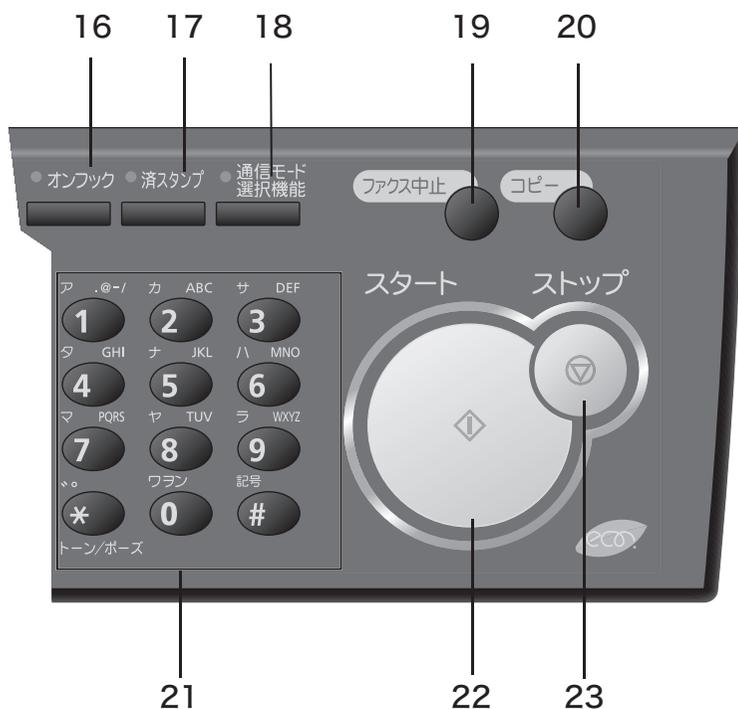
送信やコピーの濃度を選ぶときに使います。
(→2-8 ページ)

12. 〈クリア〉

文字や、設定・登録した内容を消去するときに
使います。

13. 〈セット〉

登録された内容や、選択されている項目を決定
するときに押します。

**14. カーソルキー**

機能を選択したり、宛先表で宛先を選択したり、リダイヤルの履歴を選択したり、さまざまな場面で使います。

15. <メニュー/文字>

機能の設定をするとき、文字を入力するときに使います。

16. <オンフック>

ハンドセットを使わずに送信するときや、相手先に着信したことを確認してから送信するときに使います。

※ハンドセットはオプション品です。(→7-20ページ)

17. <済スタンプ>

原稿を読み取ったことを示すスタンプを押すときに使います。(→2-23ページ)

18. <通信モード選択機能>

通信モードを選択して送信するときに押しませ。(→3-49ページ)

19. <ファクス中止>

ファクス通信を中止するときに使います。(→2-24ページ)

20. <コピー>

コピーをするときに使います。(→2-52ページ)

21. テンキー

ダイヤルしたり、コピー部数や倍率を指示したりするときなどに押します。〈*〉、〈#〉は通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能キーです。

22. <スタート>

送信や手動受信をするときに使います。(→2-9ページ)

23. <ストップ>

動作を中断するときに使います。

電源スイッチと〈節電〉

本商品の電源に関するスイッチは、電源スイッチと〈節電〉の2つがあります。

電源スイッチについて

初めて本商品をご使用になるときに ON (I) にします。通常は常に ON の状態にしておきます。長期間使用しないときや、本商品を移動するときは OFF (O) にします。

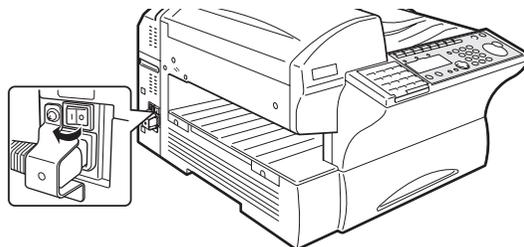
- 電源スイッチを OFF にすると、ファクスの受信はできません。

⚠ 警告

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり、電源スイッチに触ったりしないでください。感電の原因になります。

お願い

- ・ 電源をいったん切って入れ直す場合は、5 秒以上待つか節電ランプが消えるのを待ってから行ってください。
- ・ 通常は電源スイッチを ON の状態にしておきます。電源スイッチを OFF にすると、ファクスの送受信をすることができません。
- ・ 本商品を長期間使用しないときや移動するときは、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜きます。



〈節電〉と節電モードについて

約1分以上何も操作をしないと、自動的に節電モードに移行し本商品の消費電力を抑えます。

節電モード中は、〈節電〉が点灯し、液晶ディスプレイやその他のランプは消灯します。節電モードへの移行時間は、1～240分の範囲で変更できます。出荷時設定では1分後に設定されています。(→5-40ページ)

手で節電モードに移行したり、節電モードを解除したりするには、〈節電〉を押します。特定の時間になると自動的に節電モードを解除、または開始する設定もできます。(→5-40ページ)



補足 ●

以下の場合には、節電モードに移行しません。

- ・原稿読み取り中
- ・原稿がセットされているとき
- ・コピー、ファクスなどのプリントをしているとき
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が近づいたとき、または交換時期になったとき
- ・アラームランプが点灯しているとき
- ・回線を使用しているとき

以下の場合には、節電モードが自動的に解除されます。

- ・原稿読み取り済みの予約送信など、本商品が自動的に送信動作を行ったとき
- ・日報や通信管理レポートが自動プリントされたとき
- ・電話またはファクスの着信を検出したとき
- ・節電解除時刻になったとき（解除時刻を設定したとき）

機能の呼び出しかた

機能の呼び出しかたには3つの方法があります。機能の一覧は「機能一覧と参照ページ」(7-9 ページ)を参照してください。

- 何も操作せずに1分経過すると、自動的に待機画面に戻ります。

機能番号を入力して探す

テンキーを使って、直接目的の機能を表示させます。本書では、この操作方法で説明しています。

- 1 〈メニュー/文字〉を押します。

[キノウ センタク]	No. _ _
1 オートダ イヤル	

- 2 テンキーで目的の機能番号を入れます。

[キノウ センタク]	No. 2202
02 ポ ース ジ カン	

機能番号の一覧 (→ 7-9 ページ)

カーソルキーを使って探す

カーソルキーを使って、メニューを操作します。

- 1 〈メニュー/文字〉を押します。

[キノウ センタク]	No. _ _
1 オートダ イヤル	

- 2 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉、〈◀〉、〈▶〉を使い、目的の機能を探します。

ファクス セッテイ	
02 ポ ース ジ カン	

機能を順番に表示しながら探す

- 1** 〈メニュー/文字〉を押します。

[キノウ センタク]	No. _
1 オートダ イヤル	

- 2** もう1度 〈メニュー/文字〉を押します。

ワンタッチダ イヤル
1 ワンタッチダ イヤル セット

- 3** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で目的の機能を探します。
〈メニュー/文字〉を押すと、次の機能が表示されます。

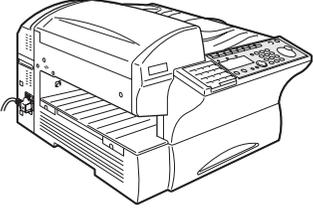
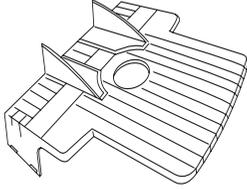
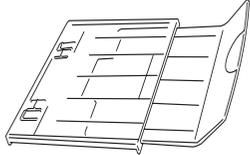
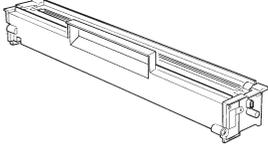
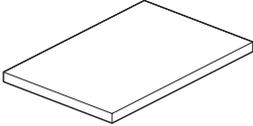
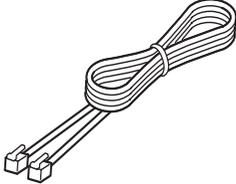
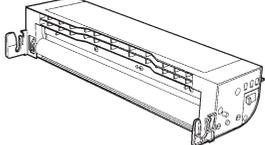
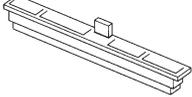
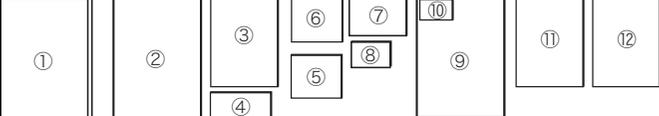
ワンタッチダ イヤル
2 ワンタッチダ イヤル クリア

1

ご使用になる前に

同梱品を確認する

以下の内容がそろっているかご確認ください。万一、足りないものやご不明な点がありましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタまでご連絡ください。

<p>1 本体</p> 	<p>2 原稿トレイ</p> 	<p>3 延長用用紙トレイ</p> 
<p>4 ドラムカートリッジ</p> 	<p>5 用紙 (A4)</p> 	<p>6 電話機ヒモ</p> 
<p>7 トナーカートリッジ</p> <p>トナーカートリッジ</p>  <p>定着クリーナー</p>  <p>レンズクリーナー</p> 	<p>8 取扱キット</p>  <ol style="list-style-type: none"> ① 取扱説明書 ② 簡易取扱説明書 ③ 安全にご使用いただくために ④ 保証書 (梱包箱に貼付) ⑤ 用紙サイズラベル ⑥ ワンタッチ宛名ラベル ⑦ ご愛用スイッチラベル ⑧ NTT 通信機器お取扱相談センタシール ⑨ 消耗品のご注文についてのお願い ⑩ 消耗品注文先シール ⑪ 保守サービスのご案内 ⑫ 工事説明書 	

補足

- ・ 消耗品やオプション品については「消耗品について」(7-19 ページ)、「オプション品・別売品について」(7-20 ページ) をご参照のうえ、NTT 通信機器お取扱相談センタまでご連絡ください。
- ・ 使用頻度が多いときや長時間使用いただいた場合、ローラーなどの部品が耐用限度を超える場合があります。その際、部品交換は消耗品として取り扱いさせていただきます。

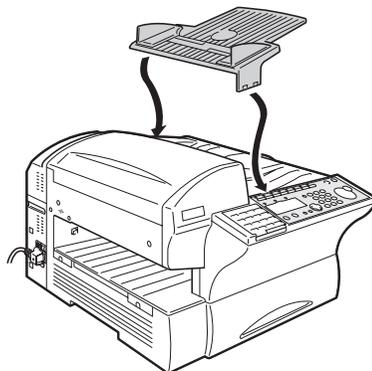
接続する・取り付ける

1

ご使用になる前に

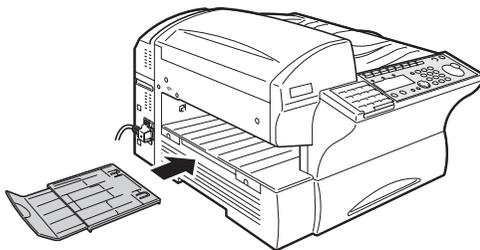
■ 原稿トレイを取り付ける

本体の取り付け穴に原稿トレイを差し込みます。



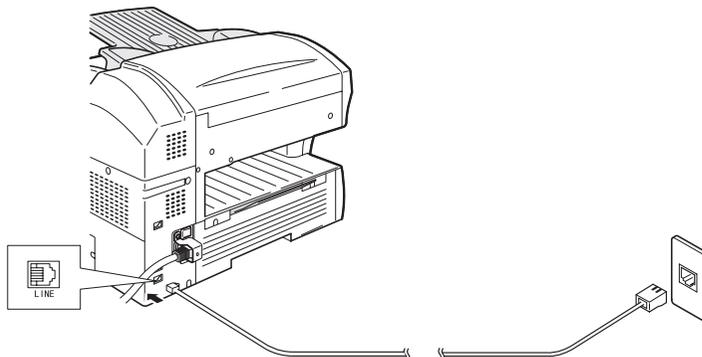
■ 延長用用紙トレイの取り付け

本体左側面のトレイ挿入口に奥まで差し込みます。



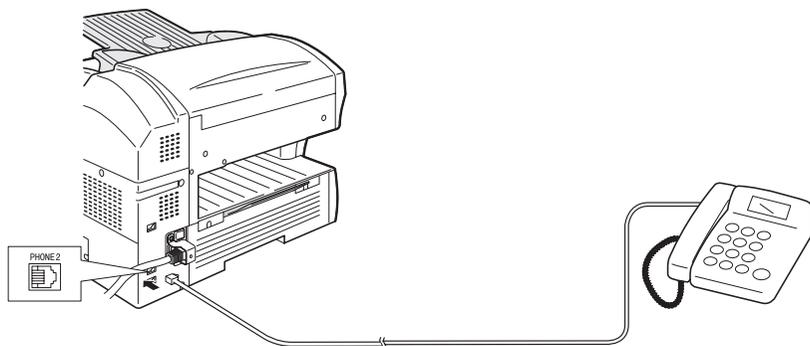
■ 電話機ヒモを接続する

- ・ 本体の (LINE) 端子へ差し込みます。
 - ・ 室内の電話コンセントに差し込みます。
- 電話機ヒモは、電話コンセントにカチッと音がするまで差し込み、抜くときは、レバーを押しながら抜いてください。



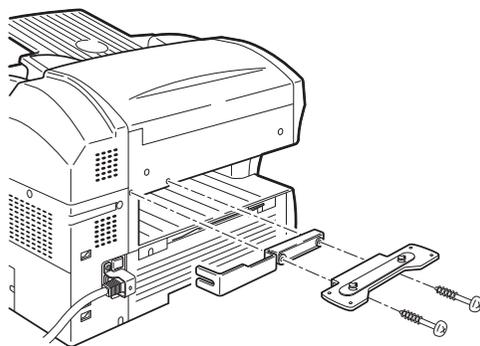
■ 増設電話を接続する

留守番電話などの外部電話機を、本体の（PHONE2）端子に接続できます。



■ ハンドセット（オプション品）を接続する

1 電話台とコードホルダーを付属のネジ2本で取り付けます。

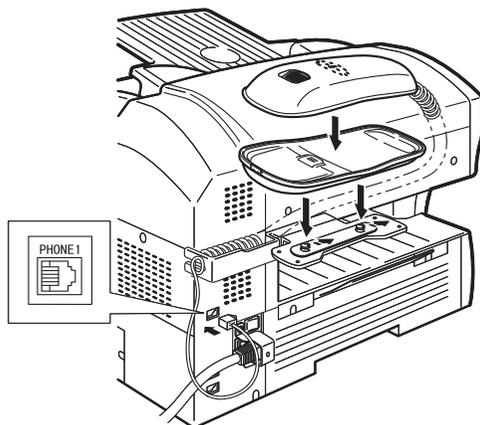


2 ハンドセットホルダーを電話台に取り付けます。

ハンドセットホルダーの背面にある2カ所の取り付け穴を、電話台のツメに引っかけてスライドさせます。

3 ハンドセットのコールコードを（PHONE1）端子に差し込みます。

コールコードはコードホルダーの上に置き、図のようにはさんでください。



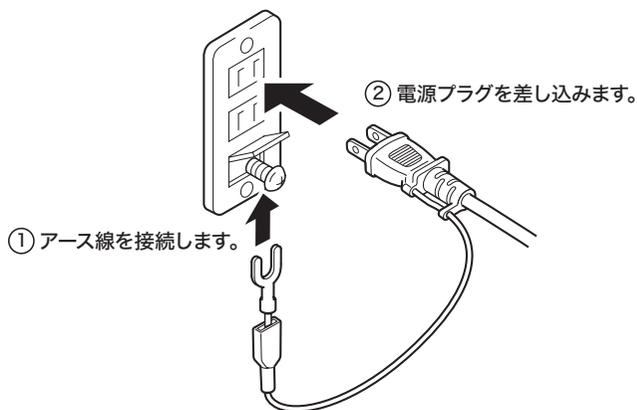
■ 電源コードを接続する

⚠ 警告

- ・ 電源コードの電源プラグは、奥までしっかりと差し込んでください。
電源プラグが抜けかかった状態になると接続が不完全になり、その不完全な接続部から発熱し発火する恐れがあります。
- ・ 必ずアース線を接続してください。
アース接続しないで、万一漏電した場合は火災や感電の恐れがあります。
- ・ 半年から1年に1回は電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でほこりや汚れを拭き取ってください。
電源プラグを長期間コンセントに差し込んだままにしておくと、ほこりや湿気が原因で発火する恐れがあります。
- ・ 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、挟み込んだり、無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりして破損しないでください。
破損した電源コード（芯線の露出、断線など）を使用すると、火災や感電の恐れがあります。

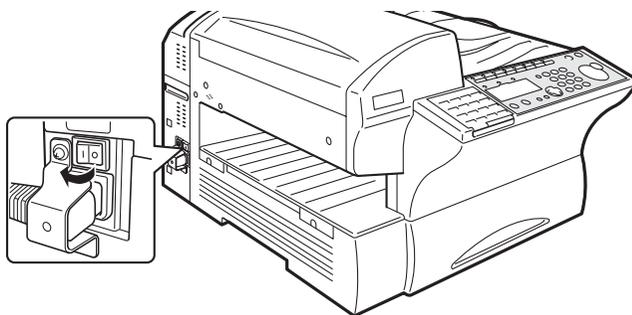
1 電源コンセントのアース端子に、①アース線を接続してから②電源プラグを差し込みます。

アース線の接続は電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



2 電源スイッチを入れます。

左側面のスイッチを「|」側にします。



警告

アース線は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

- ・ コンセントのアース端子
- ・ 接地工事を施してある接地端子（第D種）

次のような所には絶対にアース線を取り付けしないでください。

- ・ ガス管（ガス爆発の原因になります）
- ・ 電話専用アース線および避雷針のアース線（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電の恐れがあります）
- ・ 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）

補足

エラーメッセージが表示されたときは、6-23 ページを参照しメッセージに従って処置してください。

ドラム、トナーカートリッジの取り付け

1

ご使用になる前に

ドラム、トナーカートリッジについて

■ プリントできる枚数

ドラムカートリッジ：約 10,000 枚（A4 用紙）

トナーカートリッジ：約 4,000 枚（A4 用紙、黒字率 5%）

カートリッジの交換時期が近づくと、交換メッセージが表示されます。早めに新しいドラムカートリッジ、トナーカートリッジをご用意ください。

プリントできる枚数は濃度設定、室温、湿度、1 回のプリントジョブでプリントする枚数などによって変わります。

■ 取り扱い上の注意事項

⚠ 警告

- ・トナーカートリッジを絶対に火中に投げないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になることがあります。
- ・トナーカートリッジを廃棄する場合は、トナーが飛び散らないようにトナーカートリッジを袋に入れて、NTT 通信機器お取扱相談センタまでご連絡ください。

● お願い

- ・絶対にカートリッジを分解しないでください。
- ・ドラムカートリッジの感光体表面に直接手を触れたり、直射日光にあてたりしないでください。画質不良の原因になります。

● 補足

トナーで手や衣服を汚さないように注意してください。手や衣服が汚れた場合は、きれいな水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し汚れがとれなくなる場合があります。

■ 保管上の注意事項

⚠ 警告

トナーカートリッジを火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になることがあります。

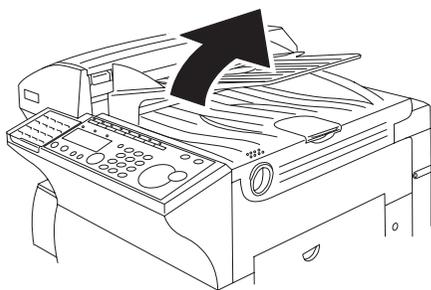
⚠ 注意

トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

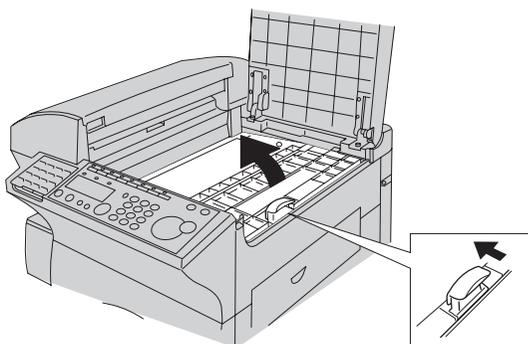
● お願い

- ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、用紙を以下のような場所には保管しないでください。画質不良の原因になります。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・高温多湿な場所
 - ・急激な温度変化のある場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・自動車内での長時間放置
- ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを逆さに向けたり、斜めに放置したりしないでください。画質不良の原因になります。

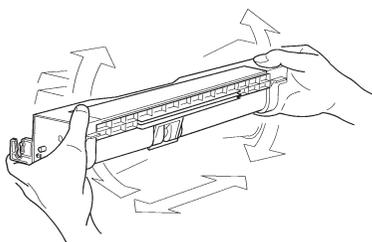
- 1** トップカバー解除レバーを引き上げ、トップカバーを開けます。



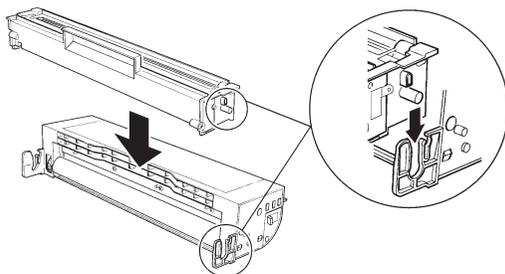
- 2** プリンターカバーを開けます。



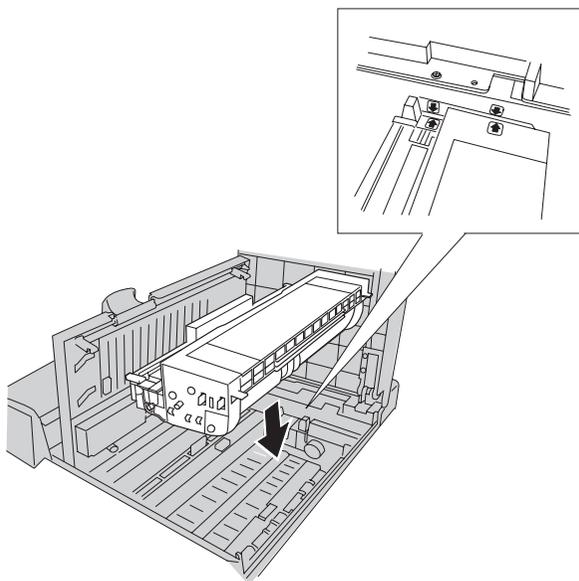
- 3** トナーカートリッジを振ります。
トナーが均一になるように、軽く振ってください。



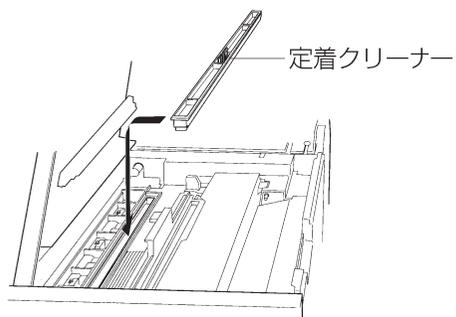
- 4** ドラムカートリッジをトナーカートリッジにセットします。
トナーカートリッジの溝にドラムカートリッジをセットします。



- 5** ドラム、トナーカートリッジを本体にセットします。
カートリッジの矢印と、本体の矢印が合うようにセットします。



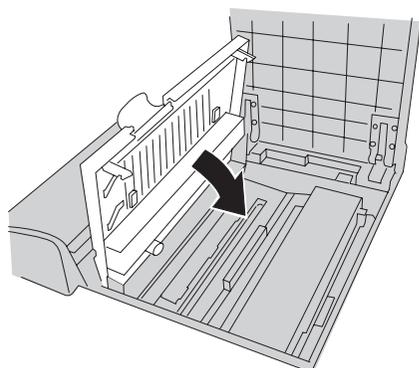
6 定着クリーナーをセットします。



- ・定着クリーナーのフェルト部分を下にして、定着器にセットします。
- ・ドラムカートリッジの感光体部分（緑色のローラー）に、定着クリーナーを置かないでください。

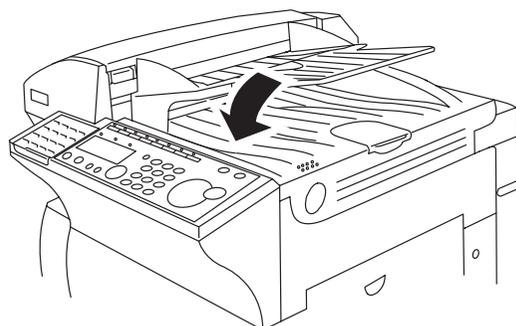
7 プリンターカバーを閉めます。

プリンターカバー右端中央のマーク部分を押さえて、「カチッ」と音がするまで閉めてください。



8 トップカバーをゆっくりと閉めます。

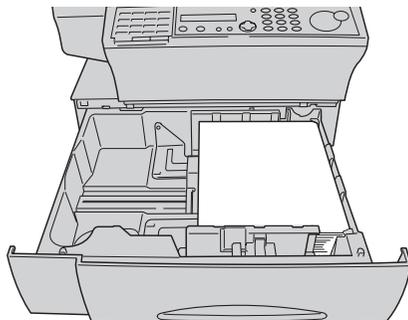
トップカバーの左右を押して閉めてください。



用紙について

☐ 記号について

☐ 記号は、用紙を本商品正面から見て縦に置くことを表します。



用紙について

- ・ 本商品の性能を効果的に活用するためには、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。
- ・ 市販されている用紙を標準用紙と呼び、当社推奨の用紙を指定紙と呼びます。標準用紙にプリントする場合には、次の表を参照して規格に合った用紙を使用してください。

用紙サイズ	坪量	容量
B4、A4、B5 ☐、A5 ☐	普通紙・再生紙： 60～78g / m ²	約 500 枚 (坪量 64g / m ²) または高さ 52mm 以下

補足 ○

- ・ 裏紙など一度プリントされた用紙は、保証された性能で本商品をご使用できません。プリントの品質の低下、用紙づまり、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ・ 同梱されている用紙は、用紙サイズは A4、坪量は 64g / m² です。
- ・ 推奨紙は「普通紙：BM64(B4, A4)」です。

使用できない用紙

以下に示す用紙は使用しないでください。プリントの品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- ・ 特殊紙 (OHP フィルム、ラベル用紙、封筒、郵便はがきなど)
- ・ 熱転写プリンターやインクジェットプリンターでプリントされた用紙
- ・ 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- ・ 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- ・ 開封後の長期経過した用紙
- ・ 吸湿した用紙
- ・ パンチ穴、穴、窓があいている用紙、ミシン目のある用紙
- ・ 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- ・ カーボン紙、ノーカーボン紙、感熱紙のような表面が加工された用紙
- ・ 箔押し、エンボス等の加工が施されている用紙
- ・ さまざまなサイズが混ざった用紙
- ・ 形が不規則な用紙 (長方形でない用紙)
- ・ のり、ホチキス、クリップなどで綴じられている用紙
- ・ 切手、テープ、シール、のりラベルが貼ってある用紙
- ・ リボンやフック、ボタン等の付いている用紙
- ・ カール、波打ちをしている用紙
- ・ アート紙、コート紙、インクジェット用コート紙

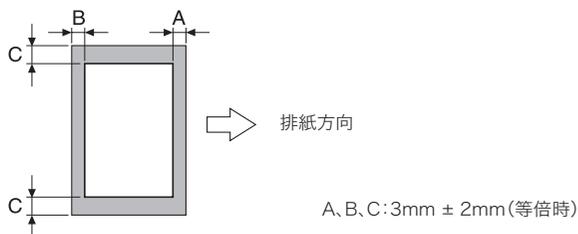
プリント範囲

以下に示す範囲の画像はプリントされませんので注意してください。

用紙の先端より $3\text{mm} \pm 2\text{mm}$ (等倍時) のエリア (A)

用紙の後端より $3\text{mm} \pm 2\text{mm}$ (等倍時) のエリア (B)

用紙の端より $3\text{mm} \pm 2\text{mm}$ (等倍時) のエリア (C)



用紙の保管方法

適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、用紙づまり、プリント品質の低下、および故障の原因になります。

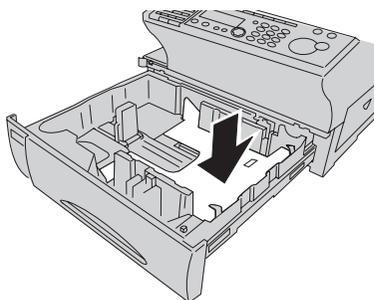
- ・ 湿気が少ない場所に保管してください。
- ・ 開封後、残り用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気が少ない場所に保管してください。
- ・ 用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- ・ しわ、折れ、カールなどに注意して保管してください。
- ・ 直射日光が当たらない場所に保管してください。

用紙セットのしかた

用紙セットのしかた

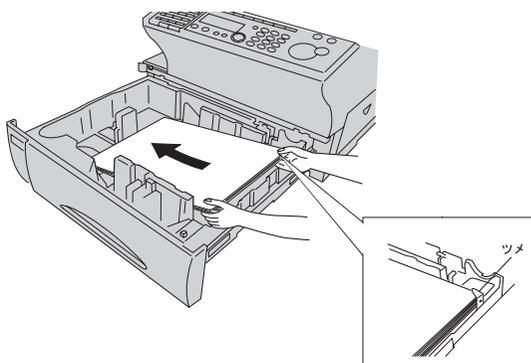
指定紙で約 500 枚セットできます。

- 1 カセットを引き出します。
- 2 底板を ”カチッ” と音がするまで押し下げます。

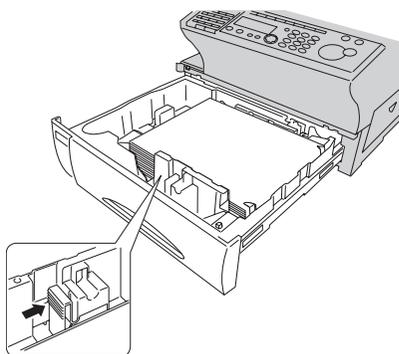


- 3 用紙をそろえてセットします。

カセット両端のツメが上になるようにセットしてください。用紙目盛りの線を超えた分の用紙は取りのぞいてください。用紙づまりの原因となります。



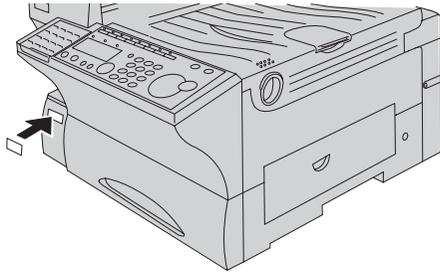
- 4 用紙ガイド横を用紙の幅に合わせて調整します。



1

ご使用になる前に

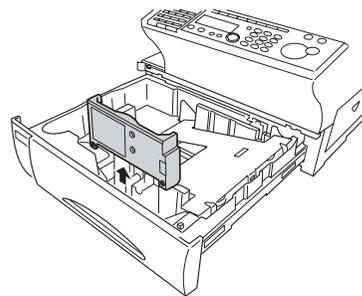
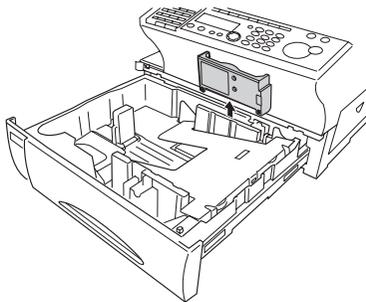
- 5 カセットを静かに元に戻します。
- 6 セットした用紙サイズに合わせて、カセットに用紙サイズラベルを貼ります。



- 7 カセットにセットした用紙のサイズを選択します。(→ 5-39 ページ)

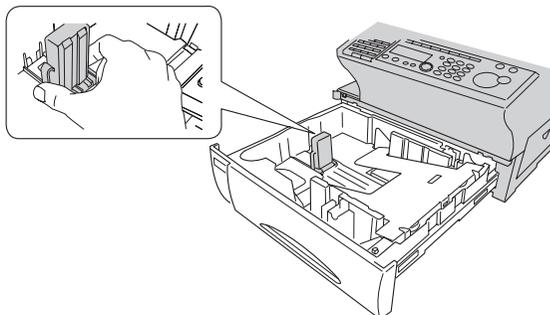
カセットの用紙サイズを変更する

- 1 カセットを引き出します。
用紙がセットされている場合は取りのぞいてください。底板は上がったままの状態にしてください。
- 2 青色のスペーサーを取り出します。
A4・A5  のとき：奥
B4・B5  のとき：手前



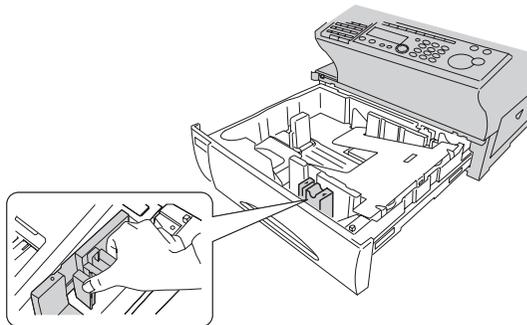
A 系列から A 系列、B 系列から B 系列の用紙に変更する場合はこの手順は不要です。

- 3 用紙ガイド後を用紙の長さに合わせて移動させます。
カセット底のマークに合わせて移動させます。用紙ガイドが“カチッ”と音がして、固定されるまで移動させてください。



4 用紙ガイド横を移動させます。

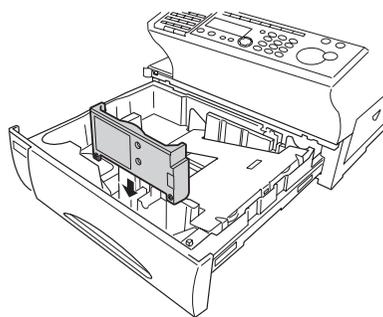
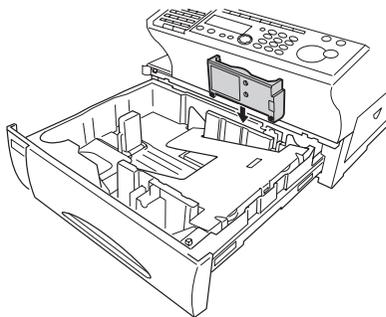
B4、B5  をセットするとき：ガイド横を広げる
A4、A5  をセットするとき：ガイド横を狭める



5 青色のスペーサーを取り付けます。

A4・A5  のとき：奥

B4・B5  のとき：手前

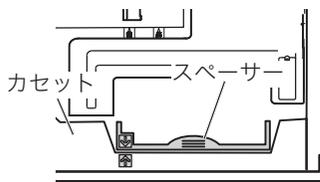
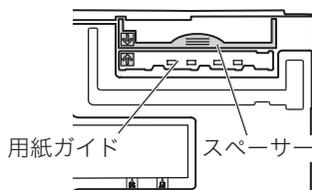


補足

スペーサーを取り付けるときは、スペーサーの矢印 () とカセットまたは用紙ガイドの矢印 () が合うようにしてください。

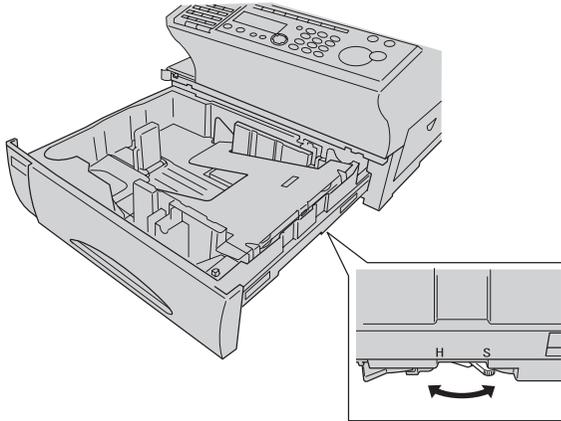
A4・A5  のとき：奥

B4・B5  のとき：手前



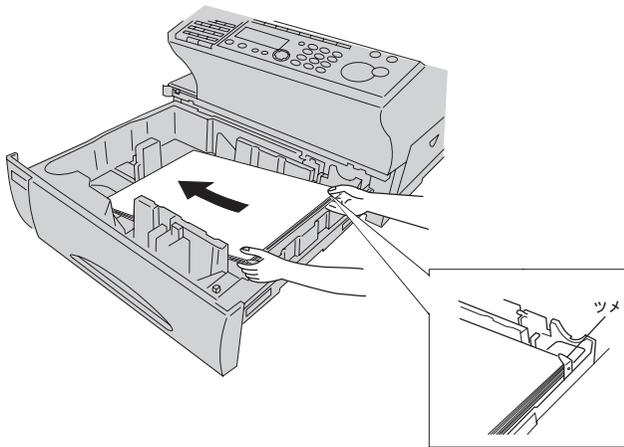
6 調整レバーを移動させます。

A4、B4 をセットするとき : 「H」 へ移動
A5 、B5  をセットするとき : 「S」 へ移動



7 底板を ”カチッ” と音がするまで押し下げ、用紙をセットします。

カセット両端のツメが上になるようにセットしてください。用紙目盛りの線を超えた分の用紙は取りのぞいてください。用紙づまりの原因となります。



8 用紙ガイド横をセットした用紙の幅に合わせて調節します。

9 カセットを静かに元に戻します。

10 セットした用紙サイズに合わせて、用紙サイズラベルを貼ります。

11 カセットにセットした用紙のサイズを選択します。(→ 5-39 ページ)

お使いになる前の登録

1

ご
使
用
に
な
る
前
に

本商品をご使用いただくために必要な登録を行います。

次の順に登録します。あらかじめ登録する内容を、紙に書き出しておくとう便利です。

- **現在時刻**
西暦、月日、時分を入力します。時刻は24時間制で入力します。時計表示は、あくまで目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。(時間精度: 平均月差 ±1 分以内)
- **受信モード**
ご使用に合わせた受信モードを選びます。(→ 1-35 ページ)
- **スーパー G3**
スーパー G3 を利用する場合は ON に設定します。
- **ファクシミリ通信網設定**
ファクシミリ通信網を利用する場合は ON に設定します。
- **ナンバー・ディスプレイ設定**
ナンバー・ディスプレイを利用するときに設定します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続することもできます。
- **ダイヤルタイプ**
接続する回線のダイヤルタイプに合わせて設定します。
- **ダイヤルトーン検出**
電話回線に接続したときの「ツー」という発信音(ダイヤルトーン)を検出してから発信するかどうかを設定します。
- **発信元名**
本商品の発信元名やファクス番号を通知したり、相手先の記録紙にプリントしたりするので、受信側はどこから発信された原稿なのかを確認しやすくなります。発信元名・発信元名(カナID)は3種類登録でき、切り替えて使用できます。
 - 発信元番号 : 発信元のファクス番号を20桁まで登録できます。
 - 発信元名 : 半角文字では22文字、全角文字では11文字まで登録できます。(全角文字はコードで入力)
 - 発信元名(カナID) : 通信中、相手側のディスプレイに表示されます。(当社機のみ)半角文字で16文字まで登録できます。
 - 標準発信元 : 3種類の発信元名のうち、普段使う発信元名を標準発信元名として設定できます。
- 登録を終了後、機器設定リストをプリントして、登録内容が正しいか確認してください。(→ 5-45 ページ)

初期設定

1 〈メニュー/文字〉、〈9〉と押します。

[キノウ センタク]	No. 9
9 セッチ モート	

2 〈セット〉を押します。

3 テンキーで現在の時刻を入力します。

ゲ	ン	ザ	イ	ジ	コ	ク	ヲ	ト	ウ	ソ
			'	1	4	0	1	/	0	1
									0	0
									:	0
										0

↑
現在の入力位置

- ・年（西暦2桁）、月（2桁）、日（2桁）、時（24時間制2桁）、分（2桁）の順に入力します。
- ・カーソルキーの〈◀〉、〈▶〉で次の数字に移動できます。

4 〈セット〉を押します。

5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で受信モードを選びます。

ファクス	タイキ	▼/▲/セット
------	-----	---------

- ・受信モードの選びかた（→ 1-35 ページ）
- ・ファクスワープ（→ 3-29 ページ）を ON に設定しているとき、「デンワ タイキ」には設定できません。
- ・フォンワープ（→ 3-38 ページ）を ON に設定しているとき、「ファクス/デンワタイキ」または「デンワ/ファクスタイキ」以外に設定すると、フォンワープが OFF になります。

6 〈セット〉を押します。

7 スーパー G3 の ON / OFF を選びます。

- ・ON …スーパー G3 を利用するとき。
- ・OFF…スーパー G3 を利用しないとき。

スーパ	ーG3	: ON
		▼/▲/セット

8 〈セット〉を押します。

9 ファクシミリ通信網の ON / OFF を選びます。

- ・ON …ファクシミリ通信網を利用するとき。
- ・OFF…ファクシミリ通信網を利用しないとき。

ファクシミリ	ツウシンモウ	: ON
		▼/▲/セット

10 〈セット〉を押します。

11 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でナンバー・ディスプレイの ON / OFF を選びます。

- ・ON …ナンバー・ディスプレイを利用するとき。
- ・OFF…ナンバー・ディスプレイを利用しないとき。

ナンバーディスプレイ : OFF
▼/▲/セット

12 〈セット〉を押します。

OFF を選んだときは、ダイヤルタイプを選ぶ画面 (手順 15) になります。

13 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で接続する電話がナンバー・ディスプレイ対応かどうかを選びます。

- ・ON …ナンバー・ディスプレイ対応の電話を PHONE2 に接続するとき。
- ・OFF…接続する電話が、ナンバー・ディスプレイ未対応の電話のとき。
- ・ダイヤルイン利用時は、増設電話でナンバー・ディスプレイを利用することはできません。増設電話に、ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、増設電話のナンバー・ディスプレイの設定を「OFF」にしてください。

14 〈セット〉を押します。

15 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でダイヤルタイプを選びます。

ダイヤルタイプ : 20 pps
▼/▲/セット

お使いになっているダイヤルタイプの見分けかた (→ 1-36 ページ)

16 〈セット〉を押します。

17 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でダイヤルトーン検出の ON / OFF を選びます。

- ・ON …ダイヤルトーンを検出するとき。
- ・OFF…ダイヤルトーンを検出しないとき。
- ・内線に接続している場合などで、ダイヤルトーンが発信されない交換機に接続した場合は、OFF を選択します。

ダイヤルトーン ケンシュツ : ON
▼/▲/セット

18 〈セット〉を押します。

19 テンキーで発信元番号を入力します。(20 桁まで)

ハッシンモト ファクス バンゴウ
1 2 3 4 5 6 __

番号を間違えた場合は、〈クリア〉を押して正しい番号を入力し直してください。

20 〈セット〉を押します。

21 テンキーで発信元名を入力します。

文字の入力方法 (→ 5-3 ページ)

ハッシンモト メイ 1 ;カタカナ (2 0 5 6) (3 2 3 0) ホンシヤ

- ・半角文字は 22 文字まで、全角文字は 11 文字まで登録できます。
- ・間違えた場合は、〈クリア〉を押して入力し直してください。

22 〈セット〉を押します。

23 テンキーでカナ ID を入力します。

文字の入力方法 (→ 5-3 ページ)

カナ ID 1 ;カタカナ カンサイホンシヤ

- ・半角文字 (半角アルファベット、数字、半角カタカナ、記号) にて 16 文字まで登録できます。全角文字は使用できません。
- ・間違えた場合は、〈クリア〉を押して入力し直してください。

24 〈セット〉を押します。

25 手順 21 ~ 24 を繰り返し、発信元名 2 ~ 3・カナ ID 2 ~ 3 を登録します。

- ・登録の必要がないときは、何も入力しないで〈セット〉を押します。
- ・カナ ID 3 を登録後、手順 26 に進みます。

26 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で、普段使う発信元名を選択します。

ハッシンモト センタク :ハッシンモト 1 ▼/▲/セット

27 〈セット〉を押します。

- ・手順 5 で「ダイヤルイン タイキ」を選択した場合は、アラームランプが点灯します。つづけて「ダイヤルインを登録する」に進んでください。(→ 1-33 ページ) ダイヤルインの登録が終了すれば、アラームランプは消灯します。
- ・手順 5 で「ダイヤルイン タイキ」以外を選択した場合は、これで初期設定は終了です。

補足 ○

- ・操作を中断するときは、〈ストップ〉を押します。
- ・設定を変更しないで次の項目にしたいときは、何も入力しないで〈セット〉を押します。

ダイヤルインを登録する

初期設定(→1-29 ページ)で受信モードを「ダイヤルイン タイキ」に設定した場合は、ダイヤルイン契約した番号を登録してください。登録できるのは、以下の3番号分です。

- ・ファクス用番号
- ・ハンドセット用番号
- ・増設電話用番号

ダイヤルインの詳細は、「1 回線で複数の番号をつける(ダイヤルイン)」(→3-46 ページ)を参照してください。

1 〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉、〈1〉、〈2〉と押します。

[キノウ センタク]	No. 2 2 1 2
1 2 ダ イヤルイン セット	

2 〈セット〉を押します。

3 テンキーでファクス用の番号を入力します。

【例】1234 と登録したとき

ダ イヤルイン セット	
ファクス:	<u>1</u> 2 3 4

4 〈セット〉を押します。

5 テンキーでハンドセット用の番号を入力します。

PHONE1 端子につながれたハンドセット用の番号を入力します。

【例】1235 と登録したとき

ダ イヤルイン セット	
ホンタイデ ンワ:	<u>1</u> 2 3 5

6 〈セット〉を押します。

7 テンキーで増設電話用の番号を入力します。

- ・PHONE2 端子につながれた増設電話用の番号を入力します。
- ・2 回線分の契約の場合は、ハンドセット用(PHONE1)の番号と同じ番号を入力します。

【例】1236 と登録したとき

ダ イヤルイン セット	
ゾ ウセツデ ンワ:	<u>1</u> 2 3 6

8 〈セット〉を押します。

9 テンキーで、呼び出しベル時間を入力します。

【例】60秒と登録したとき

ベルシ`カン`セット (10-60)	60
-----------------------	----

10 〈セット〉を押します。

ダイヤルインがセットされます。

補足

- ・入力した文字の変更は、〈◀〉、〈▶〉でカーソルを移動し、入力し直します。
- ・操作を中止するときは、〈ストップ〉を押します。

待機画面について

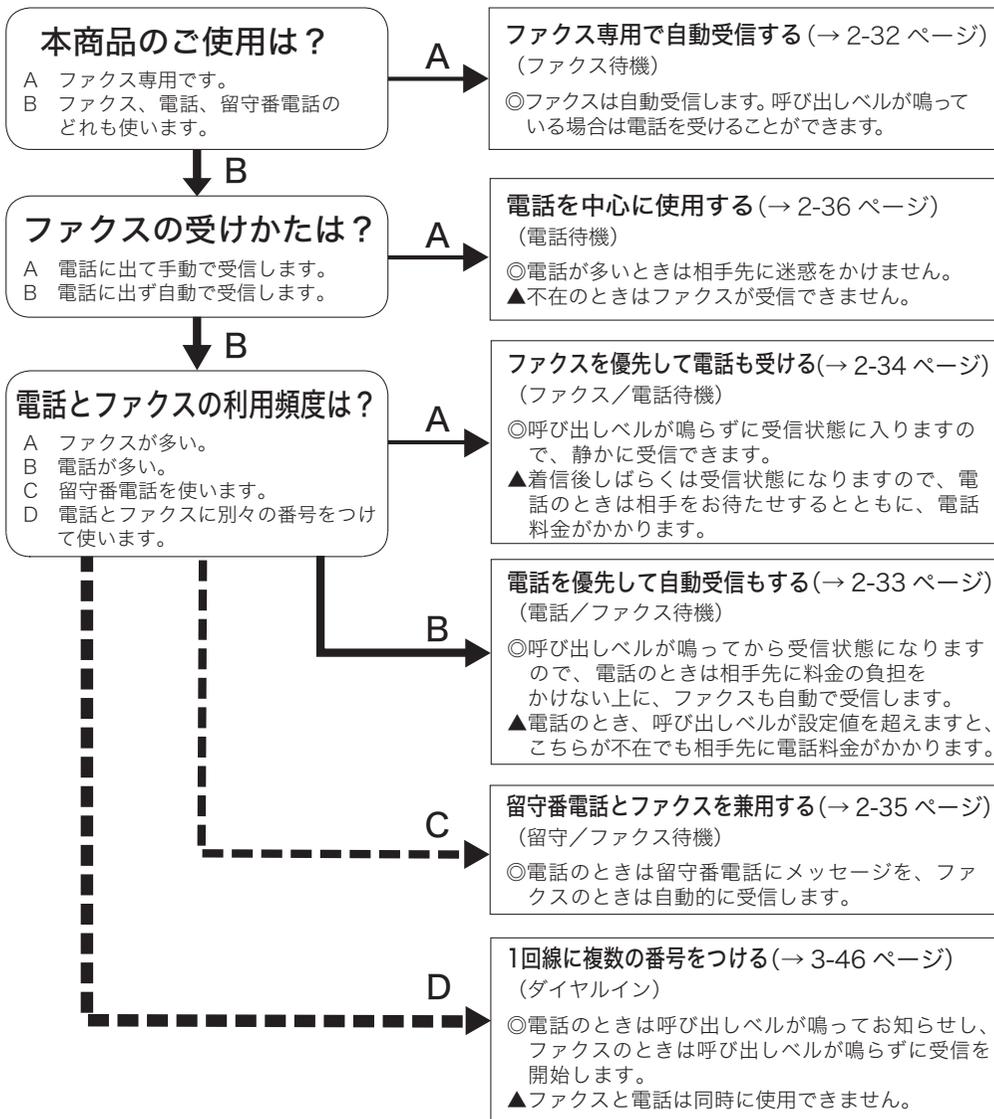
設定した受信モードが表示されます。

ファクス タイキ 2014年 1月14日(火) 13:30

初期設定 (→ 1-29 ページ) で設定した現在時刻が表示されます。

受信モードを選ぶ

- ご使用に合わせた受信モードをお選びください。以下の質問にお答えいただくと、どの受信モードが最良か選択できるようになっています。
- ハンドセットはオプション品です。(→7-20 ページ)
- ハンドセットが無いときは、電話を受けられません。



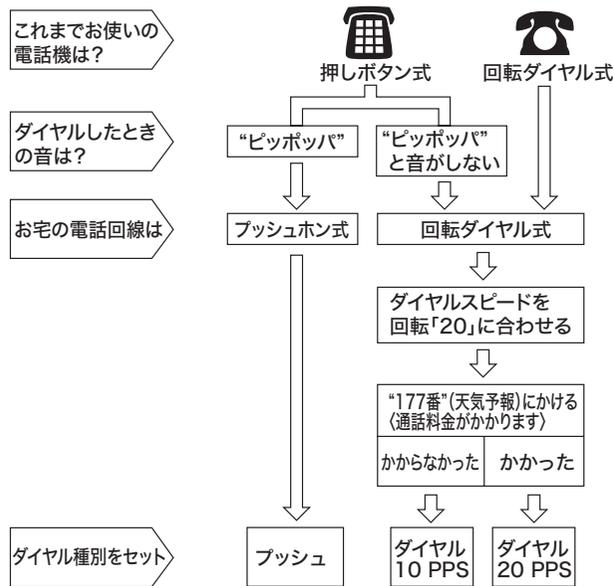
- ・ファクスワープ、フォンワープを使用する場合、使用できない組み合わせがあります。

受信モード \ ワープ内容	フォンワープ	ファクスワープ
ファクス待機	×	○
ファクス／電話待機	○	○
電話／ファクス待機	○	○
留守／ファクス待機	×	○
電話待機	×	×
ダイヤルイン待機	×	○

○…組み合わせて使用できる
 ×…組み合わせて使用できない

- ・ダイヤルイン利用時は、増設電話でナンバー・ディスプレイを利用することはできません。増設電話に、ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「OFF」にしてください。

ダイヤルタイプの見分けかた



第2章

基本編

原稿

原稿について	2-3
セットできる原稿	2-3
読み取りできる範囲	2-4
原稿についての注意	2-4
原稿セットのしかた	2-5
原稿をセットする	2-5
☐ 記号について	2-6
画質・濃度を選ぶ	2-7
画質を選ぶ	2-7
濃度を選ぶ	2-8

送信

ファクスを送信する	2-9
テンキーで送信する	2-9
ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルで送信する	2-11
宛先表検索のしかた	2-13
宛先表ダイヤルで送信する	2-15
相手先を確認してから送信する（手動送信）	2-17
同じ相手にもう一度送信する（リダイヤル）	2-19
送信時にメモリーオーバーしたとき	2-20
送信するときの便利な機能	2-21
メモリー送信／リアルタイム送信	2-21
ダイヤル記号を入力する	2-21
発信元名送信を設定する	2-22
発信元名を選択する	2-22
済スタンプの設定	2-23

通信中止／確認

通信を中止／確認する	2-24
通信を中止する	2-24
同報送信・グループ送信を中止／確認する	2-26
通信予約を中止／確認する	2-28
通信結果を確認する	2-30

受信

ファクスを受信する	2-32
ファクス専用で自動受信する (ファクス待機)	2-32
電話を優先して自動受信もする (電話/ファクス待機)	2-33
ファクスを優先して電話も受ける (ファクス/電話待機)	2-34
留守番電話とファクスを兼用する (留守/ファクス待機)	2-35
電話を中心に使用する (電話待機)	2-36
増設電話でファクスを受信する (リモート受信)	2-37
受信中の動作について	2-38
受信中の表示について	2-38
受信中の動作について	2-38
代行受信について	2-39
受信文書の記録のしかた	2-40
有効記録サイズについて	2-40
ページ分割について	2-40
受信縮小について	2-40
しきい値について	2-41
記録のしかた一覧	2-42

電話

電話について	2-43
ハンドセットについて	2-43
本商品の機能を使用して電話をかける	2-44
ハンドセットの機能を使用して電話をかける	2-46
電話を受ける	2-47
ハンドセットの便利な機能を使用する	2-48
プッシュホンサービスのご利用について	2-51

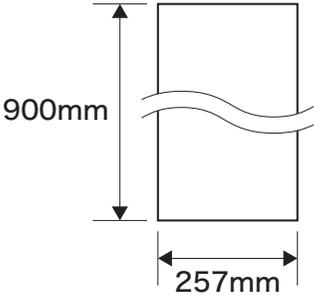
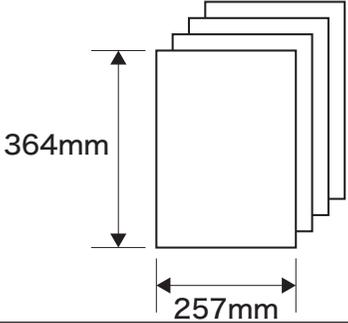
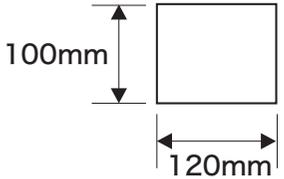
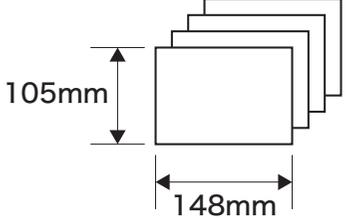
コピー

コピーのしかた	2-52
コピーする	2-52
ソートコピーを設定する	2-54

原稿について

セットできる原稿

コピーおよび送信できる原稿サイズは次の範囲のものに限ります。

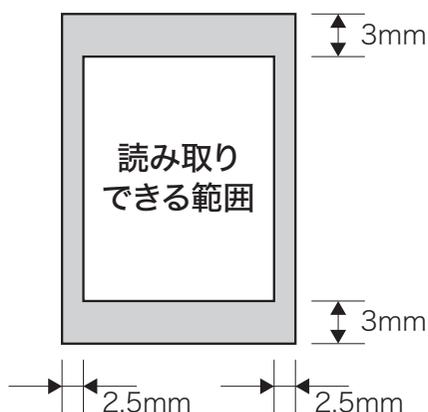
	1枚だけセットするとき	複数枚セットするとき
最大	 <p>900mm 257mm</p>	 <p>364mm 257mm</p>
最小	 <p>100mm 120mm</p>	 <p>105mm 148mm</p>
1度にセットできる枚数	—	A4サイズ以下：50枚 B4サイズ：25枚
原稿の紙厚	0.05～0.15mm	0.06～0.13mm

参考：新聞紙の紙厚が0.05～0.06mm、上質紙が0.10mm、郵便はがきが0.23mmです。

補足 ○

900mm以上の長さの原稿を送信される場合は、NTT通信機器お取扱相談センタまでご連絡ください。

読み取りできる範囲



- ・上下 3mm、左右 2.5mm は読み取れません。
- ・原稿の端に文字を書くと、読み取れないことがあります。

原稿についての注意

- ・インク、スタンプ、修正液などは完全に乾かしてからセットしてください。
- ・ホチキス、クリップ、テープなどは取り除いてください。原稿づまりや故障の原因となります。

次のような原稿は複写機でコピーするか、キャリアシート（別売品）に挟んでからセットしてください。

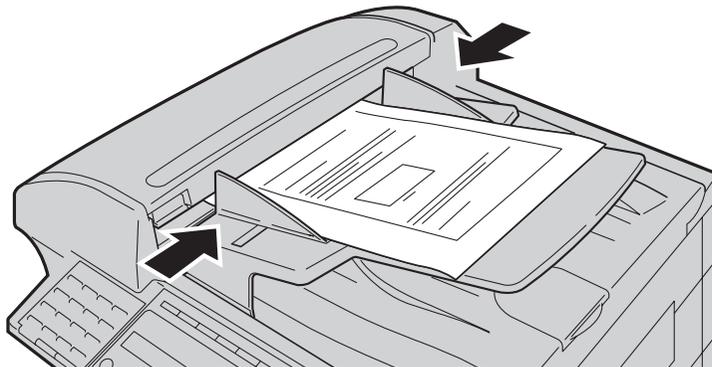
複数枚のキャリアシートをセットすることはできません。

原稿の種類	コピー	キャリアシート
紙が厚い原稿（0.15mm 以上）	○	×
紙が薄い原稿（0.05mm 未満）	○	○
破れている原稿、穴が開いている原稿	○	○
シワやカールが激しい原稿	○	○
静電気で密着した原稿、湿った原稿	○	○
100×120mm よりも小さい原稿	○	○
裏がカーボンになっている原稿	○	○
布地、金属シート	○	×

原稿セットのしかた

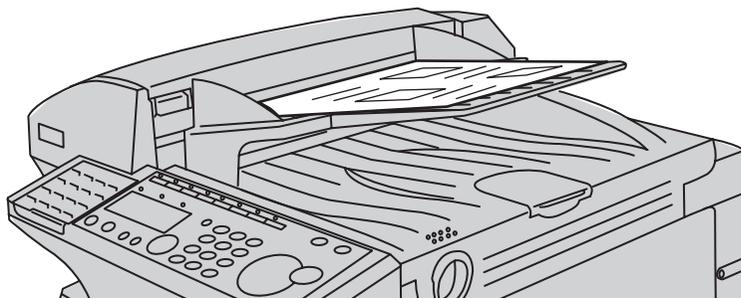
原稿をセットする

- 1** 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。



- 2** 送信する面を上向きにして原稿をセットします。

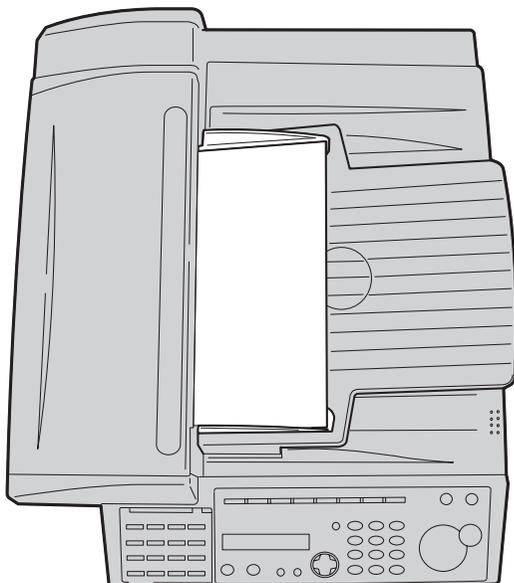
- ・軽く突き当たるまで差し込みます。
- ・上の原稿から順に読み取られます。



記号について

☐ 記号は、原稿を本商品正面から見て縦に置くことを表します。原稿の長辺側から挿入します。

例：B5 ☐



■ 原稿をセットするときの注意

- ・ 原稿ガイドを広げたまま、原稿をセットしない
→縮小されてプリントすることがあります。
→斜行の原因になります。
- ・ サイズが異なる原稿を一緒にセットしない
→不必要に縮小されてプリントされることがあります。
→原稿づまりの原因になります。
→斜行の原因になります。
- ・ 原稿読み取り中に新しい原稿を追加しない
→原稿づまりの原因になります。
- ・ 原稿排出口に、読み取り済みの原稿をためすぎない
→排出口での原稿づまりの原因になります。(A4 サイズで 50 枚まで)

画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さに合わせて、画質や濃度を選びます。

画質を選ぶ

画質を選びます。

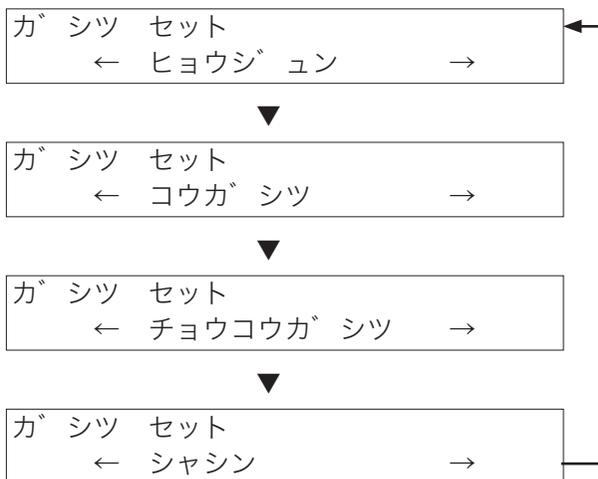
- ・ヒョウジュン……普通の文字の原稿を送信するとき
 - ・コウガシツ……小さな文字の原稿を送信するとき（新聞など）
 - ・チョウコウガシツ…精密なイラストや辞書のような細かい文字を送信するとき
 - ・シャシン………写真を送信するとき
- また以下の機能をご愛用スイッチに登録して利用できます。（→ 5-35 ページ）
- ・車検証読み取り……車検証などの地模様や地色のある原稿の背景を読まずに送信したいとき
 - ・えんぴつ読み取り…淡いえんぴつ書きの原稿をくっきり読み取りたいとき

1 〈画質〉を押します。

現在設定されている画質を表示します。

2 〈画質〉またはカーソルキーの〈◀〉、〈▶〉を押して画質を選びます。

3 秒間キーの入力がなければ、画質を選ぶ前の表示に戻ります。



補足

- ・画質、濃度の初期値を設定するには、システム設定の「スキャナーパラメーター」で設定します。（→ 5-39 ページ）
- ・標準から写真になるほど通信時間が長くなります。
- ・読み取り中に画質や濃度を変えると、次の原稿から画質・濃度が変わります。
- ・「車検証読み取り」と「えんぴつ読み取り」は同時に設定できません。

濃度を選ぶ

3段階から濃度を選びます。

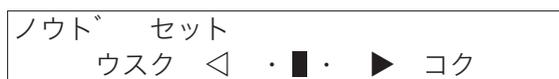
- コク・・・濃く読み取りたいとき
- フツウ
- ウスク・・・薄く読み取りたいとき

1 〈濃度〉を押します。

現在設定されている濃度を表示します。

2 〈濃度〉またはカーソルキーの〈◀〉、〈▶〉を押して画質を選びます。

3秒間キーの入力がなければ、濃度を選ぶ前の表示に戻ります。



読み取り濃度を表します。左に行くと薄くなり、右に行くと濃く読み取ります。

補足 ○

- ・画質、濃度の初期値を設定するには、システム設定の「スキャナーパラメーター」で設定します。(→5-44 ページ)
- ・読み取り中に画質や濃度を変えると、次の原稿から画質・濃度が変わります。

ファクスを送信する

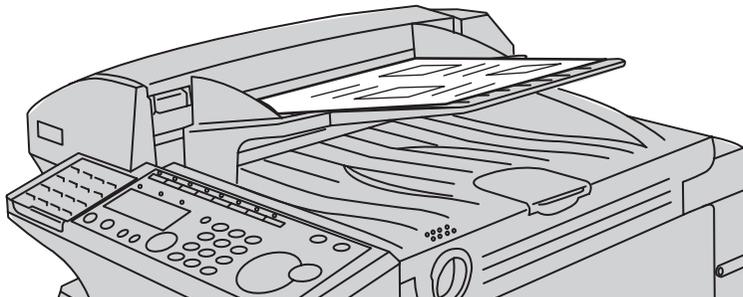
テンキーで送信する

テンキーを使って直接相手先を入力する方法です。

2

基本編

1 送信する面を上にして原稿をセットします。



2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた (→ 2-7 ページ)

3 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

- ・40桁まで入力できます。
- ・ポーズなどのダイヤル記号も入力できます。(→ 2-21 ページ)
- ・番号を間違えたときは、〈クリア〉を押して入力し直します。

スタートキー フォト ウゾ
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 _

4 〈スタート〉を押します。

== ヨヤク ハンゴウ : 01 ==

予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
A 4 コウガ シツ

送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。

補足

- ・送信を途中で止めるには、〈ストップ〉を押します。送信中は、〈ファクス中止〉を押します。(→2-24 ページ)
- ・通信中の文書や通信待ちの文書の確認ができます。(→2-28 ページ)
- ・原稿読み取り後、続けて送信できます。現在の送信の次に送信が始まります。送信は30件まで予約できます。オプション品の増設メモリ4MB装着時は99件まで予約できます。送信予約を30件セットすると、自動送信できなくなります。その場合は手動送信を行ってください。(→2-17 ページ)
- ・相手先が話し中のときは、自動リダイヤル待ちになります。自動リダイヤルは、1分間隔で3回自動的に再ダイヤルします。自動リダイヤルの間隔・回数を変更できます。(→5-41 ページ)
- ・送信後、「ツウシン エラー」と表示された場合は(→6-23 ページ)を参照してください。
- ・送信中は、ディスプレイ上段には相手が登録している発信元名が表示されます。相手が何も登録していない場合は、入力した番号が表示されます。

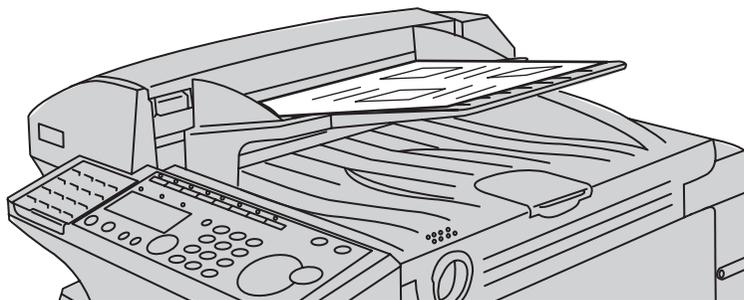
ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルで送信する

- ・あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに相手先を登録してください。
(→5-12 ページ、5-17 ページ)
- ・ご愛用スイッチキーの設定にて「短縮／グループ」を削除すると、短縮ダイヤルは使用できません。(→5-35 ページ)

2

基本編

1 送信する面を上にして原稿をセットします。



2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた (→2-7 ページ)

3 相手先のファクス番号を入力します。

■ ワンタッチダイヤルで指定するとき

ワンタッチキー (01 ~ 60) を押します。

キョウト シテン
[01] _

ワンタッチダイヤルに登録されている相手先名が表示されます。

■ 短縮ダイヤルで指定するとき

〈短縮／グループ〉を押します。テンキーで短縮番号 (1 ~ 140) を選びます。

キョウト シテン
S1 _

短縮ダイヤルに登録されている相手先名が表示されます。

4 〈スタート〉を押します。

== ヨヤク バ`ンゴ`ウ:01 ==

予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。



キョウト シテン
A4 コウガ`シツ

送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。

補足 ●

- ・送信を途中で止めるには、〈ストップ〉を押します。送信中は、〈ファクス中止〉を押します。(→2-24 ページ)
- ・通信中の文書や通信待ちの文書の確認ができます。(→2-28 ページ)
- ・原稿読み取り後、続けて送信できます。現在の送信の次に送信が始まります。送信は30件まで予約できます。オプション品の増設メモリ4MB装着時は99件まで予約できます。送信予約を30件セットすると、自動送信できなくなります。その場合は手動送信を行ってください。(→2-17 ページ)
- ・相手先が話し中のときは、自動リダイヤル待ちになります。自動リダイヤルは、1分間隔で3回自動的に再ダイヤルします。自動リダイヤルの間隔・回数を変更できます。(→5-41 ページ)
- ・送信後、「ツウシン エラー」と表示された場合は(→6-23 ページ)を参照してください。
- ・送信中は、ディスプレイ上段には相手が登録している発信元名が表示されます。相手が何も登録していない場合は、入力した番号が表示されます。

宛先表検索のしかた

あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに相手先を登録してください。
(→ 5-12 ページ、5-17 ページ)

1 カーソルキーの下〈宛先表〉を押します。

アテサキヒヨウ	[ア]
アキタシテン	: S 0 0 9

2 テンキーで、相手先名の頭文字の段を表示させます。

相手先名の先頭が数字または記号のときは、〈*〉または〈#〉を押すと表示されます。



アテサキヒヨウ	[ア]
アキタシテン	: S 0 0 9

アテサキヒヨウ	[カ]
カンガ`イ`キ`ヨウム	: S 0 0 3

アテサキヒヨウ	[サ]
サーヒ`ス`センター	: [0 7]

⋮
⋮
⋮

〈メニュー／文字〉を押して、モードを切り替えることができます。

カナモード：[] 内にカタカナが表示されているとき

英数モード：[] 内にアルファベットが表示されているとき

3 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で、相手先名を表示させます。

アテサキヒョウ	[サ]
サービ` ス センター	: [07]



アテサキヒョウ	[シ]
シザ` イブ`	: S001



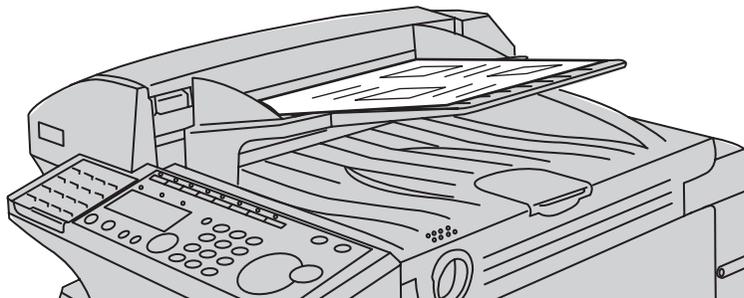
アテサキヒョウ	[ス]
スイシンプ`	: [08]

⋮

宛先表ダイヤルで送信する

あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに相手先を登録してください。
(→5-12 ページ、5-17 ページ)

1 送信する面を上にして原稿をセットします。



2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた (→2-7 ページ)

3 カーソルキーの下〈宛先表〉を押します。

アテサキヒョウ	[A]
A B C	: [0 1]

4 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉またはテンキーで相手先を選びます。

テンキーで相手先を選ぶとき、〈メニュー/文字〉を押してモードを切り替えることができます。

カナモード：[] 内にカタカナが表示されているとき

英数モード：[] 内にアルファベットが表示されているとき

アテサキヒョウ	[J]
J A P A N	: S 1 2 3

5 〈スタート〉を押します。

== ヨヤク バ`ンゴ`ウ : 0 1 ==

予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。



J A P A N
A 4 コウガ`シツ

- ・送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。
- ・相手先名を登録しているときは、ディスプレイ上段に相手先名が表示されません。

補足 ●

- ・宛先表検索のしかたは 2-13 ページを参照してください。
- ・送信を途中で止めるには、〈ストップ〉を押します。送信中は、〈ファクス中止〉を押します。(→ 2-24 ページ)
- ・通信中の文書や通信待ちの文書の確認ができます。(→ 2-28 ページ)
- ・原稿読み取り後、続けて送信できます。現在の送信の次に送信が始まります。送信は 30 件まで予約できます。増設メモリ 4MB (オプション品) 装着時は 99 件まで予約できます。送信予約を 30 件セットすると、自動送信できなくなります。その場合は手動送信を行ってください。(→ 2-17 ページ)
- ・相手先が話し中のときは、自動リダイヤル待ちになります。自動リダイヤルは、1 分間隔で 3 回自動的に再ダイヤルします。自動リダイヤルの間隔・回数を変更できます。(→ 5-41 ページ)
- ・送信後、「ツウシン エラー」と表示された場合は (→ 6-23 ページ) を参照してください。
- ・送信中は、ディスプレイ上段には相手が登録している発信元名が表示されます。相手が何も登録していない場合は、入力した番号が表示されます。

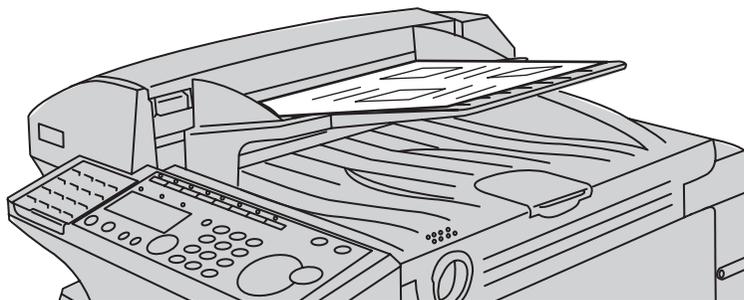
相手先を確認してから送信する（手動送信）

- ・ハンドセットを使って送信するときは、オプション品のハンドセットが必要です。
（→7-20 ページ）
- ・ご愛用スイッチキーの設定にて「オンフック」を削除すると、手動送信はできません。
（→5-35 ページ）

2

基本編

1 送信する面を上にして原稿をセットします。



2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた（→2-7 ページ）

3 〈オンフック〉を押し、「ツー」という発信音を確認します。

ハンドセットを使う場合はハンドセットを上げ発信音を確認します。

4 相手先へダイヤルします。

5 相手先への接続を確認した後に、〈スタート〉を押します。

- ・送信が始まります。
- ・ハンドセットを使う場合は、ファクスを送信することを伝え〈スタート〉を押し、ハンドセットを戻します。
- ・相手側が自動受信の場合“ピープルプル”という音が聞こえる場合があります。
- ・〈スタート〉を押す前に、ハンドセットを戻すと電話が切れてしまいます。

■ ボリューム調整

音量は大／中／小／切（無音）の4段階から選べます。（初期値 中）

- 1 〈オンフック〉を押します。
- 2 カーソルキーの〈◀〉、〈▶〉で音量を選びます。



「ボリューム：」の右側は音量を表示しています。

- 3 操作をやめ、しばらくするとボリュームの表示が消えます。

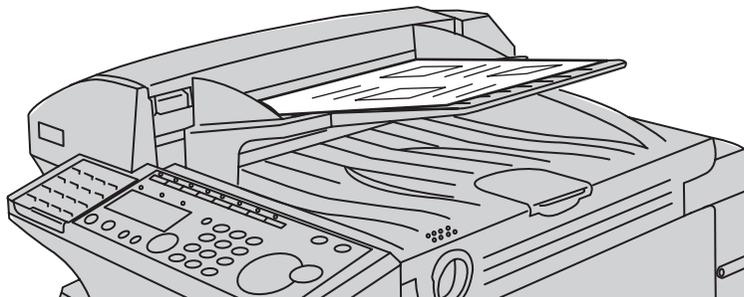
補足 ○

アラーム音や、キーを押したときの音は調整できません。

同じ相手にもう一度送信する（リダイヤル）

ファクスを送った相手、電話をかけた相手を 10 件まで記憶しています。

1 送信する面を上にして原稿をセットします。



2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた（→ 2-7 ページ）

3 〈リダイヤル〉を押します。

リダ`イアル リレキ
0 : 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

4 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉を押して相手先を選びます。

リダ`イアル リレキ
1 : 1 2 3 4 5 6 7 8

〈リダイヤル〉を押すごとに、2 つ前、3 つ前とさかのぼって、10 件分までの電話番号が表示されます。

5 〈スタート〉を押します。

== ヨヤク ハ`ンコ`ウ : 0 1 ==

予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。



1 2 3 4 5 6 7 8
A 4 コウガ`シツ

送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。

補足 ○

- ・リダイヤルは 1 件につき 40 桁までのダイヤルを記憶しています。
- ・リダイヤルは、本体のテンキー・ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・宛先表ダイヤルでファクスを送った相手、電話をかけた相手を 10 件まで記憶しています。ハンドセットのダイヤルキーで電話をかけた場合は記憶しません。

送信時にメモリーオーバーしたとき

原稿の蓄積中にメモリー容量をオーバーしたときは、次のようなメッセージが表示されます。メッセージは2種類あります。

■ 原稿の1枚目を蓄積中にメモリー容量をオーバーしたとき

メモリーオーバー デス

メモリーが空くのを待つか、リアルタイム送信で送信し直してください。
(→2-21 ページ)

■ 原稿の2枚目以降を蓄積中にメモリー容量をオーバーしたとき

メモリーオーバー デス
メモリーブランク ノミ スタート/クリア

- ・〈スタート〉を押すと、メモリーに蓄積した原稿のみを送信します。
- ・〈クリア〉を押すと、メモリーに蓄積した原稿を消去します。
- ・何も操作せずに1分経過すると、自動的に画面がリセットされ、メモリーに蓄積した原稿は消去されます。

補足 ●

読み取り部に原稿が残っているときは以下の表示になります。

ストップ キー デゲ ンコウ ラ
ハイシュツ シテクタ サイ

〈ストップ〉を押して残っている原稿を排出してください。

送信するときの便利な機能

2

基本編

メモリー送信／リアルタイム送信

自動送信には原稿を読み込んだ後に送信を開始するメモリー送信と、原稿を読み取りながら送信するリアルタイム送信があります。

お買い上げ時はメモリー送信が設定されていますが、ご愛用スイッチキーの設定にて「メモリー送信」を設定すると、1 通信ごとにメモリー送信／リアルタイム送信を切り替えることができます。(→ 5-35 ページ)

常にリアルタイム送信を優先することもできます。(→ 5-42 ページ)

・メモリー送信

メモリー送信とは、原稿をメモリーに読み込んでから送信する方法です。送信終了を待たずに原稿を持ち帰ることができ、時間のロスが少なくなります。

・リアルタイム送信

リアルタイム送信とは、原稿をメモリーに読み込まずに相手へ直接送信する方法です。送信操作後に送信を開始するので、相手に送られていることを確認できます。

ダイヤル記号を入力する

相手の番号を入力するときにダイヤル記号を挿入し、様々な機能を追加することができます。

記号名称	操 作	液晶表示	機能および用途
ハイフン	 を2回押す	—	ダイヤルに区切りをつけて、読みやすくするための- (ハイフン) が入力できます。テンキーで送信するときは使用できません。
トーン	 を2回押す トーン/ポーズ	T	ダイヤル回線のときに、PB 信号を出すことができます。 (例) 075-111-2222-T1111 #
ポーズ	 を3回押す トーン/ポーズ	P	ダイヤルに間隔を開けたいときに使います。内線の 0 発信、NCC 利用時などに使います。 (例) 0P075-111-2222 ポーズ時間は設定により変更可能です。 (→ 5-41 ページ)

補足

T (トーン)、P (ポーズ) はダイヤル番号を 2 桁入力した扱いになります。最大入力桁数 20 桁の場合に、T を 1 個入力すると、数字は 18 桁入力できることとなります。

発信元名送信を設定する

送信した原稿の先頭に、発信元名を付けるか付けないかを設定できます。

ご愛用スイッチキーの設定で「発信元送信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで送信する原稿に発信元名を付けるか付けないかを設定できます。(→5-35ページ)

- 1 〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉、〈0〉、〈5〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 2205
05 ハッシンモト ソウシン	

- 2 〈セット〉 を押します。

- 3 カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 で ON / OFF を選択します。

ハッシンモト ソウシン	: ON
	▼/▲セット

- 4 〈セット〉 を押します。

- ・ 発信元を送信原稿に付けるか付けないかが設定され、次の設定画面になります。
- ・ 〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

発信元名を選択する

初期設定の発信元名の登録 (→1-29 ページ) で登録した3種類の発信元名を、通信ごとに選択して送信することができます。

この機能を利用するには、あらかじめ「発信元選択」をご愛用スイッチに登録する必要があります。(→5-35 ページ)

- 1 〈発信元選択〉 を押します。

ハッシンモト2 : ABCショウジ ソウム
A4ヒョウジ ユン メモリー100%

- 2 〈発信元選択〉 を押して、選択したい発信元を表示させます。

ハッシンモト3 : ABCショウジ コクサイ
A4ヒョウジ ユン メモリー100%

- ・ 通信を行うと、セットされた発信元名をつけて送信します。
- ・ 「ハッシンモト OFF」を選択すると、発信元名をつけずに送信します。

済スタンプの設定

自動原稿送り装置で読み取り完了（または送信完了）した原稿に、スタンプを押して読み取り済み（または送信済み）であることを確認することができます。

- ・ 済スタンプの設定（→5-42 ページ）で設定した状態にかかわらず、一時的に済スタンプを ON、OFF することができます。セットした直後の送信 1 回のみ有効です。直後の送信が完了すると、済スタンプの設定で設定した状態に戻ります。
- ・ ご愛用スイッチキーの設定にて済スタンプを削除すると、1 通信ごとに済スタンプの ON / OFF を切り替えることはできません。（→5-35 ページ）

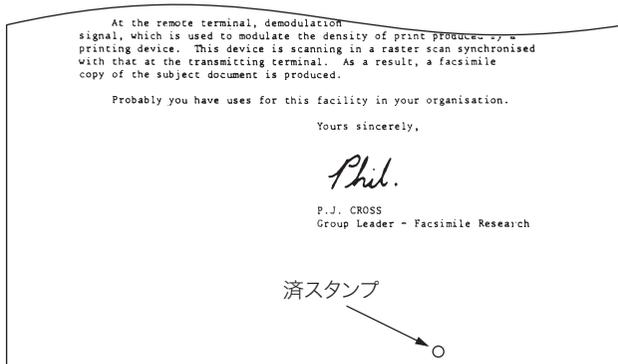
1 〈済スタンプ〉を押します。

- ・ ランプが点灯し、済スタンプが ON になります。
- ・ もう一度〈済スタンプ〉を押すとランプが消灯し OFF になります。

2 原稿をセットし、送信すると済スタンプが押されます。

補足

- ・ お買い上げ時は済スタンプの設定は「OFF」になっています。
- ・ 常に済スタンプを押すこともできます。（→5-42 ページ）
- ・ 済スタンプの色は青色です。寿命は約 15000 枚です。
- ・ A4 サイズの原稿では、およそ下図の位置に済スタンプが押されます。



通信を中止／確認する

通信を中止する

現在通信している文書や、リダイヤル待ちなどで次に送信される予約文書を消去するには、次の操作を行います。

補足

同報通信、グループ通信の場合は、「同報送信・グループ送信を中止／確認する」(2-26 ページ)を参照してください。

■ 通信中の文書があるとき

1 〈ファクス中止〉を押します。

ファクス	ヲ	チュウシ	シマスカ?
スル	→	ファクスチュウシキー	



ファクス	ヲ	チュウシ	シマスカ?
シナイ	→	ストップ	キー

交互に表示します。

2 もう一度〈ファクス中止〉を押します。

〈ストップ〉を押すと、操作を中止します。

3 次の表示を数秒した後、待機画面に戻る

ファクス	ヲ	チュウシ	シマスカ?
**	クリア	カンリョウ	**

通信が中止されます。

■ 通信中の文書がないとき

1 〈ファクス中止〉を押します。

予約文書がない場合は「ツウシンマチ アリマセン」と表示されます。

ファクスチュウノ	コメント	アリマセン
ヨヤクチュウシ	スル	→ セットキー



ファクスチュウノ	コメント	アリマセン
ヨヤクチュウシ	シナイ	→ クリアキー

- ・交互に表示します。
- ・〈クリア〉を押すと、操作を中止します。

2 〈セット〉を押します。

C01 : [01] キョウトシテン ▼/▲/▶/クリア

3 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で通信予約を確認します。

C02 : S002 シコクシテン ▼/▲/▶/クリア

▼

C01 : [01] キョウトシテン ▼/▲/▶/クリア

カーソルキーの〈▶〉は同報送信、グループ送信を中止するときに使用します。

4 予約を取り消す場合は、〈クリア〉を押します。

C02 : S002 シコクシテン スル → クリア キー

▼ ▲

C02 : S002 シコクシテン シナイ → モト* ルキー

- ・交互に表示します。
- ・中止しない場合は、カーソルキーの〈◀〉を押すと、手順3の画面になります。

5 中止するときは、もう一度〈クリア〉を押します。

C02 : S002 シコクシテン ** クリア カンリョウ **

6 次の通信予約が表示されます。

C01 : [01] キョウトシテン ▼/▲/▶/クリア

7 〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

同報送信・グループ送信を中止／確認する

- 同報送信のときは、同報宛先を確認したり、宛先を個別に消去したりすることができません。
- グループ送信が行われているときは、グループに登録されている宛先を個別に消去できません。(ドウホウと表示されます。)
- グループ送信が行われていないときは、宛先を個別に消去できません。

1 <通信確認>、カーソルキーの<▲>、<▼>で予約確認(ヨヤク カクニン)を選択します。

ヨヤク カクニン
▼/▲/セット

2 <セット>を押します。 現在通信中の文書が表示されます。

3 カーソルキーの<▲>、<▼>で同報送信(ドウホウ)を選択します。

C02 : S002
▼/▲/▶/クリア



C03 : ト` ウホウ
▼/▲/▶/クリア

- ・ 送信予約を確認／中止する場合は、手順4に進みます。
- ・ 送信中の宛先を個別に中止する場合は、手順7に進みます。

■ 送信を中止する

4 <クリア>を押します。

C03 : ト` ウホウ
スル → クリアキー



C03 : ト` ウホウ
シナイ → モト` ルキー

- ・ 交互に表示します。
- ・ 中止しない場合は、カーソルキーの<◀>を押すと、手順3の画面になります。

5 中止するときは、もう一度<クリア>を押します。

C03 : ト` ウホウ
** クリア カンリョウ **

6 次の通信予約が表示されます。

■ 宛先を個別に中止する

7 カーソルキーの〈▶〉を押します。

現在通信中の宛先が表示されます。

[01] キョウトシテン ▼/▲/◀/クリア

8 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で中止したい宛先を選択します。

[03] トウキョウホンシャ ▼/▲/◀/クリア

カーソルキーの〈◀〉を押すと、手順3の画面になります。

9 予約を取り消す場合は、〈クリア〉を押します。

[03] トウキョウホンシャ スル → クリアキー

▼ ▲

[03] トウキョウホンシャ シナイ → モド`ルキー

- ・交互に表示します。
- ・カーソルキーの〈◀〉を押すと、手順8の画面になります。

10 中止するときは、もう一度〈クリア〉を押します。

[03] トウキョウホンシャ ** クリア カンリョウ **

11 次の宛先が表示されます。

S002 シコクシテン ▼/▲/◀/クリア

続けてほかの宛先を中止するときは、手順8から操作を繰り返します。

12 〈ストップ〉を押します。

通信予約の確認を終了し、待機画面に戻ります。

通信予約を中止／確認する

ご愛用スイッチキーの設定にて「通信確認」を削除すると、通信予約を確認できません。
(→ 5-35 ページ)

例：以下の通信が予約されている状態

内 容	状 態
[01] (ワンタッチ01)	通信待ち
S002 (短縮002)	通信中
1234567	通信待ち

- 1 <通信確認>、カーソルキーの<▲>、<▼>で予約確認 (ヨヤク カクニン) を選択します。

ヨヤク カクニン
▼/▲/セット

- 2 <セット> を押します。

C02 : S002 シコクシテン
▲/▼/▲/▶/クリア

相手先番号

[01] : ワンタッチダイヤル

S002 : 短縮ダイヤル

G03 : グループダイヤル

ドウホウ : 同報通信

通信予約番号

3 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で通信予約を確認します。

C02 : S002 シコクシテン ▼/▲/▶/クリア



C01 : [01] キョウトシテン ▼/▲/▶/クリア



C03 : 1 2 3 4 5 6 7 ▼/▲/▶/クリア

4 予約を取り消す場合は、〈クリア〉を押します。

C02 : S002 シコクシテン スル → クリア キー



C02 : S002 シコクシテン シナイ → モト`ルキー

- ・交互に表示します。
- ・カーソルキーの〈◀〉を押すと、手順3の画面になります。

5 中止するときは、もう一度〈クリア〉を押します。

C02 : S002 シコクシテン ** クリア カンリョウ **

6 次の通信予約が表示されます。

C01 : [01] キョウトシテン ▼/▲/▶/クリア

7 〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

補足 ○

表示の順番は、(1) 通信中の文書、(2) 通信待ちの予約番号の順に表示されます。

通信結果を確認する

- 過去に通信した 70 通信分の送信・受信結果をディスプレイ上に表示できます。結果を 1 通信ごとにプリントすることもできます。
- 最新の通信状況の一覧をプリントしたい場合は、通信管理レポートをプリントしてください。「通信管理レポートをプリントする」(3-51 ページ)

1 〈通信確認〉を押します。

ツウシンケッカ カクニン
▼/▲/セット

2 〈セット〉を押します。

直前に通信した結果が表示されます。

T x 0 1 5 : 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
OK 1月14日 13:30 ▼

3 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で見たい結果を表示させます。

T x 0 1 4 : オオサカ
OK 1月14日 13:30 ▲/▼



R x 0 0 1 : キョウトシテン
NG 1月14日 13:30 ▲/▼

- ・ 70 通信分の通信結果と通信した時間、相手先名または相手先番号を表示できます。
- ・ 「Tx」は送信結果、「Rx」は受信結果を表します。
- ・ 通信が成功した場合は「OK」、失敗した場合は「NG」と表示します。
- ・ 詳しい通信結果を知るには、「通信記録」を出力してください。(→ 3-51 ページ)
- ・ D.0.2 などダイヤル時の異常(→ 6-24 ページ)の送信結果は表示されません。

■ 通信結果をプリントする

4 プリントしたい結果を表示させ〈セット〉を押します。

- ・通信結果がプリントされます。
- ・表示させた通信結果が「Tx」の場合は送信結果が、「Rx」の場合は受信結果がプリントされます。

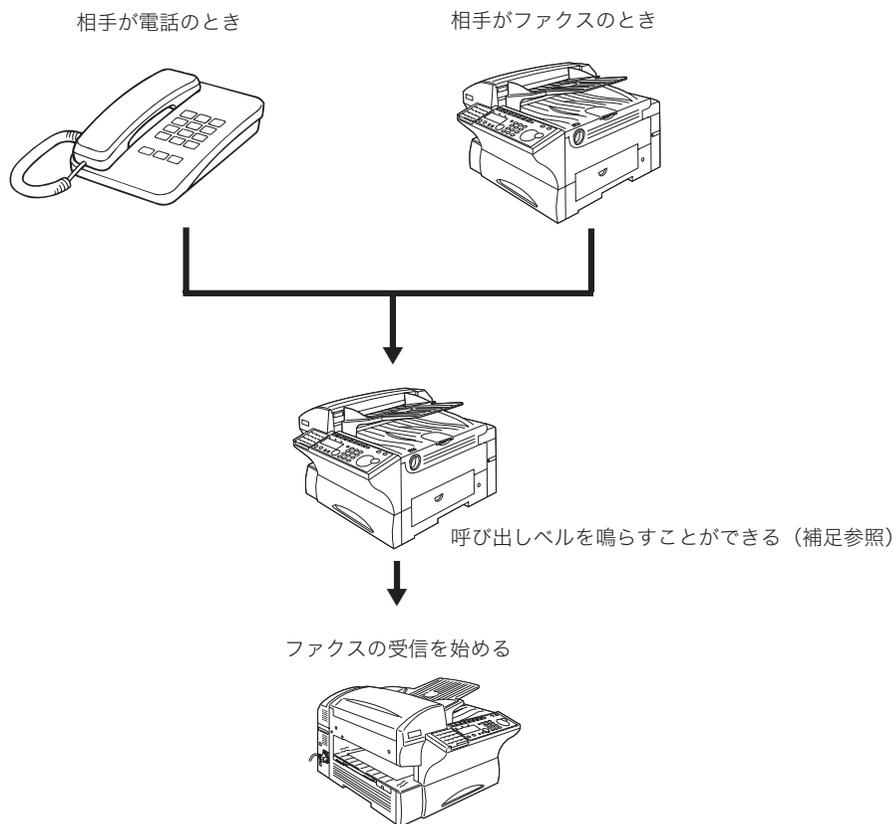
ABC商事(株) ABC商事 総務部 ABC商事 国際部	Fax:123-456-7890
** 受信結果 **	
2014年 1月14日(火) 13:31	
No.	001
相手先名	1
画質	標準
開始日時	1月14日 13:30
時間	0'14"
枚数	1
結果	# O K
備考	ホ°-リンク°

内容の説明は、「通信管理レポートのみかた」(3-53 ページ)を参照してください。

ファクスを受信する

ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）

- 初期設定で受信モードの設定を「ファクス タイキ」にします。（→ 1-29 ページ）
- ご愛用スイッチキーの設定にて「自動受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで自動受信／手動受信を設定することができます。（→ 5-35 ページ）

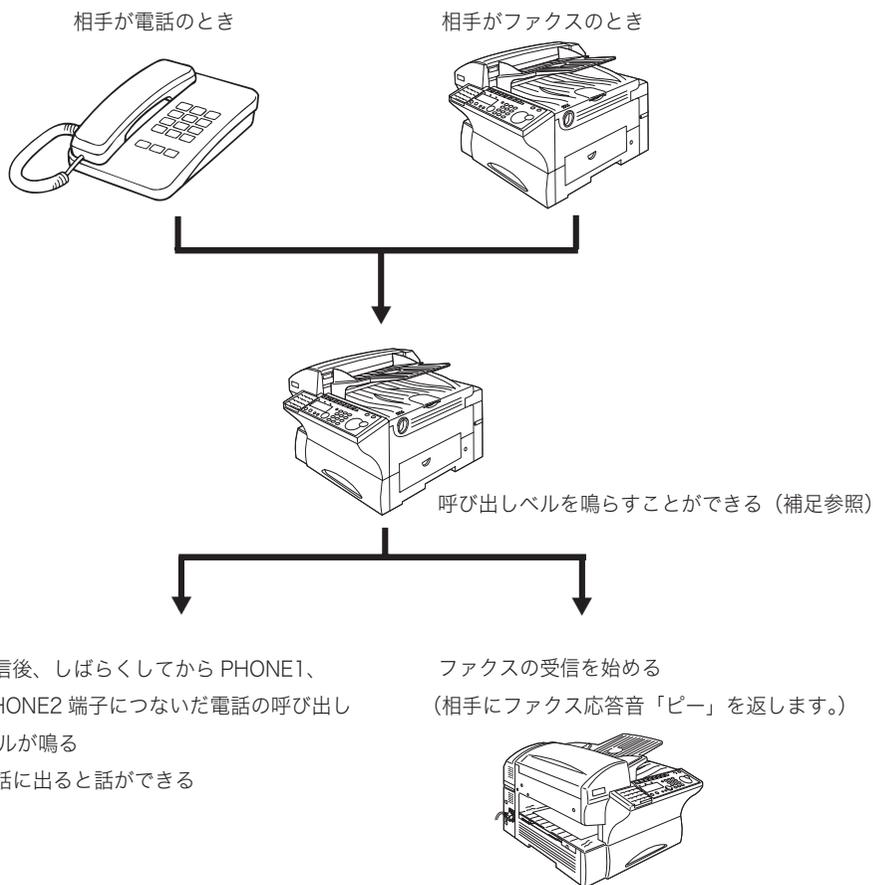


補足 ●

- ・ オプション品のハンドセットまたは増設電話を接続すると、呼び出しベルを鳴らすことができます。（初期値：2回）
- ・ 呼び出しベルが鳴っている間にハンドセットを上げると通話できます。
- ・ 呼び出しベル回数は0～10回の間で変更できます。（→ 5-41 ページ）
- ・ 相手側がファクスの場合、ハンドセットを上げたときは、〈スタート〉を押して手動受信してください。
- ・ 増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

電話を優先して自動受信もする (電話/ファクス待機)

- 初期設定で受信モードの設定を「デンワ/ファクス タイキ」にします。(→ 1-29 ページ)
- 自動受信にします。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「自動受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで自動受信/手動受信を設定することができます。(→ 5-35 ページ)



補足 ●

- ・呼び出しベルを鳴らすにはオプション品のハンドセットまたは増設電話を接続すると、着信前の呼び出しベルを鳴らすことができます。(初期値：2回)
- ・着信後はしばらく受信状態になります。相手が電話のときは、しばらくお待たせするとともに電話料金がかかります。
- ・相手が手動送信の場合、ハンドセットを上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認のうえ、〈スタート〉を押してください。
- ・増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。(受信後は受話器を戻してください)
- ・ハンドセットはオプション品です。(→ 7-20 ページ)
- ・呼び出しベルがなっている間にハンドセットを上げると通話できます。
- ・呼び出しベル回数は0～10回の間で変更できます。(→ 5-41 ページ)

ファクスを優先して電話も受ける（ファクス／電話待機）

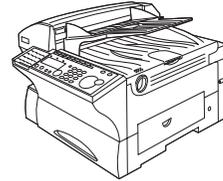
- 初期設定で受信モードの設定を「ファクス／デンワ タイキ」にします。（→ 1-29 ページ）
- 自動受信にします。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「自動受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで自動受信／手動受信を設定することができます。（→ 5-35 ページ）

相手が電話のとき

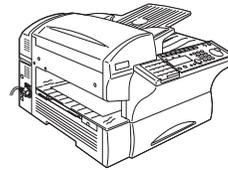


- ・ 着信後、しばらくしてから PHONE1、PHONE2 端子につないだ電話の呼び出しベルが鳴る
- ・ 電話に出ると話ができる

相手がファクスのとき



- ・ ファクスの受信を始める（相手にファクス応答音「ピー」を返します。）

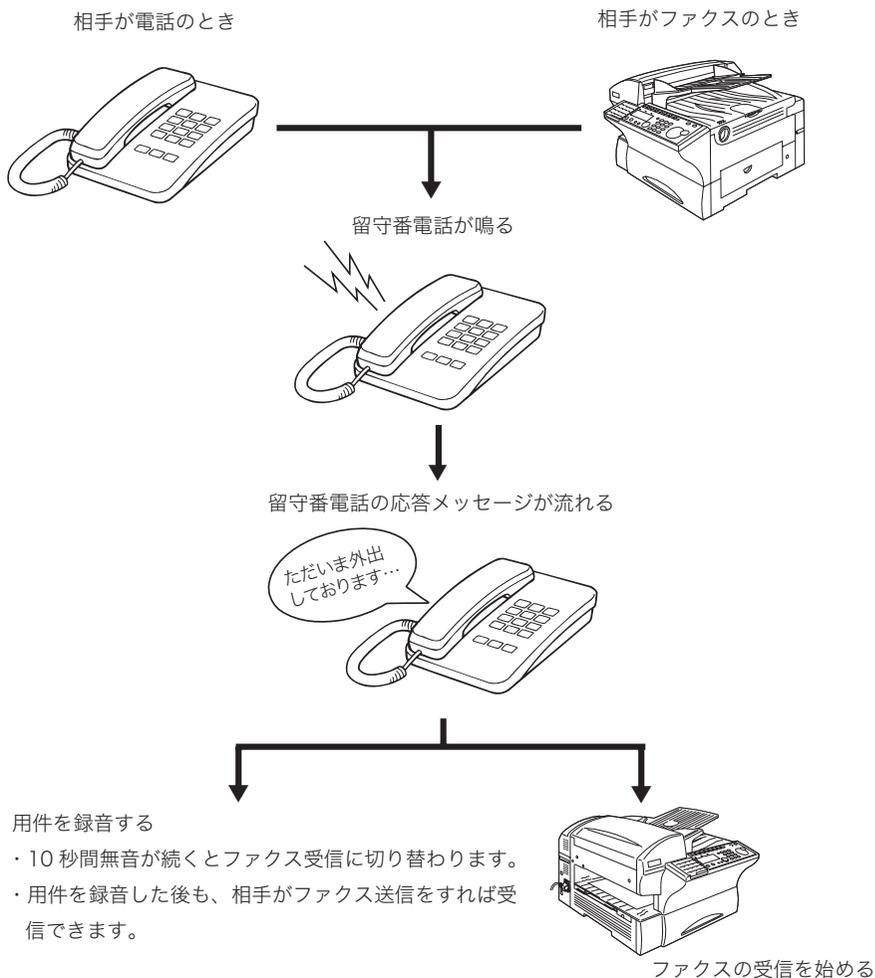


補足 ○

- ・ 着信後はしばらく受信状態になります。相手が電話のときは、しばらくお待たせするとともに電話料金がかかります。
- ・ 相手が手動送信の場合、ハンドセットを上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認のうえ、〈スタート〉を押してください。増設電話で受けたときは増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）
- ・ ハンドセットはオプション品です。（→ 7-20 ページ）

留守番電話とファクスを兼用する（留守/ファクス待機）

- 初期設定で受信モードの設定を「ルス/ファクス タイキ」にします。(→ 1-29 ページ)
- 自動受信にします。
- 留守番電話を PHONE2 に接続し、留守番設定にします。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「自動受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで自動受信/手動受信を設定することができます。(→ 5-35 ページ)



補足

- ・ リモート受信はできません。
- ・ 留守番電話の応答メッセージについて
相手にファクスが受信できることを知らせるため、「ファクスの方は送信してください」と録音しておきます。
- ・ 留守番電話の機種によっては、留守番電話とファクス受信の切り替えが働かない場合があります。
- ・ 留守番電話が応答できない場合は、ファクス受信もできません。

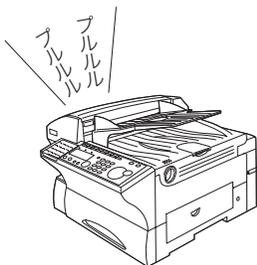
電話を中心に使用する（電話待機）

- 初期設定で受信モードの設定を「デンワ タイキ」にします。（→ 1-29 ページ）
- オプション品のハンドセットが必要です。（→ 7-20 ページ）
- ご愛用スイッチキーの設定にて「自動受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで自動受信/手動受信を設定することができます。（→ 5-35 ページ）

相手が電話のとき



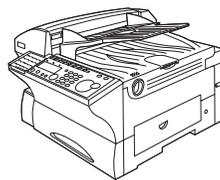
呼び出しベルが鳴る



電話に出ると通話ができる

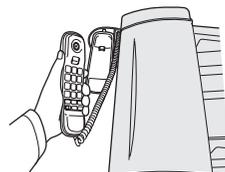


相手がファクスのとき

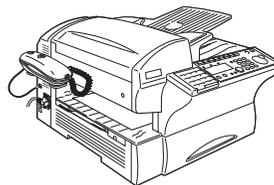


自動受信しません。

電話に出て、〈スタート〉を押す



ファクスの受信を始める

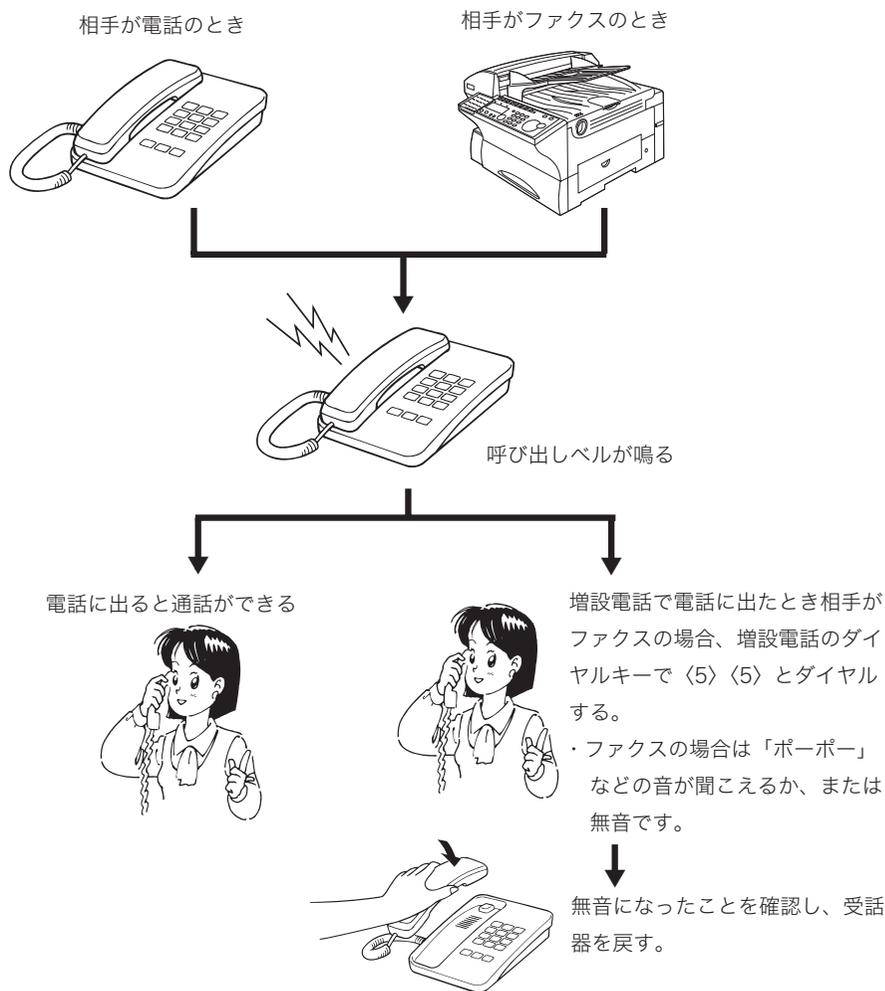


補足 ●

- ・ 相手が手動送信の場合、ハンドセットを上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認のうえ、〈スタート〉を押してください。
- ・ 電話待機にセットしているときは、相手がファクス送信してきても自動受信しません。
- ・ 相手先から「ポーポー」などの音が聞こえたときは相手はファクスです。本商品のハンドセットで受けたときは、〈スタート〉を押して手動受信してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）
- ・ 通話の後にファクスを受信するには、相手が送信をした後、〈スタート〉を押します。

増設電話でファクスを受信する（リモート受信）

増設電話を離れた場所でご利用になる場合、増設電話からの操作でファクスを受信状態にすることができます。



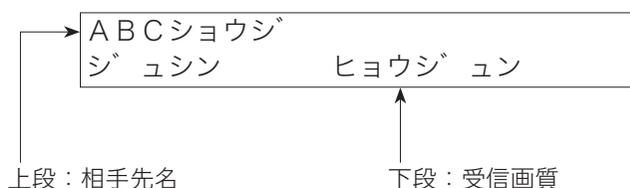
補足

- ・通話中に増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉を押すと、ファクスに切り替わってしまい、通話できなくなります。
- ・本機能は増設電話の種類や地域などの諸条件により使用できないことがあります。また、以下の場合にもリモート受信はできません。
 - こちらから電話をかけたとき。
 - 増設電話のダイヤルタイプと本商品のダイヤルタイプが一致していないとき。
 - 本商品のメモリー残量が無いとき。
 - 留守 / ファクス待機に設定したとき。
 - ハンドセット（オプション品）で電話にでたとき。（相手がファクスの場合は〈スタート〉を押してください。）
- ・本商品が節電モードになっている場合、増設電話のベルが1回鳴ったときに電話を受けたときは、リモート受信できないことがあります。

受信中の動作について

受信中の表示について

受信中は通信中ランプが点灯または点滅し、相手先名がディスプレイに表示されます。

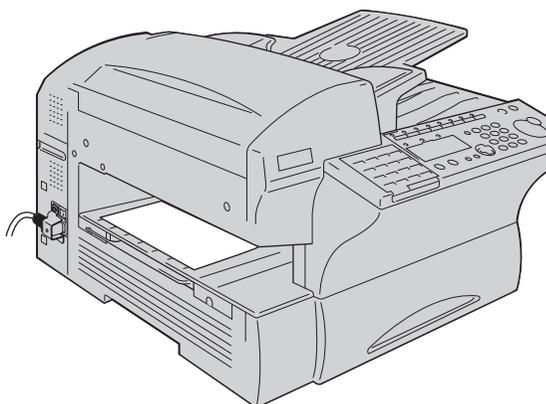


相手先名の表示は、相手ファクスに登録されているものが表示されます。表示する順は次のとおりです。

1. 相手先名
2. 相手先名がセットされていなかったら相手先番号
3. 相手先番号がセットされていなかったら何も表示しない

受信中の動作について

受信した原稿からプリントされます。



補足 ●

- ・プリント中にカセットを引き出さないでください。用紙づまりの原因となります。
- ・用紙排出トレイに排出できる枚数は約150枚です。用紙はためすぎないようにしてください。排出口での用紙づまりの原因となります。

代行受信について

用紙やトナー切れなどでプリントできなくなったときでも、メモリーが代わりに受信します。メモリーに受信した原稿があるときは、代行受信ランプが点灯します。



再びプリントできるようになると、メモリーに受信した原稿をプリントします。

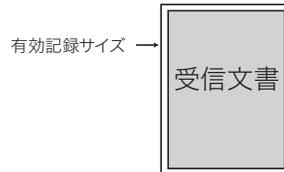
補足 ●

- ・ 代行受信できる通信量、原稿枚数は最大 50 通信、A4 版 700 字程度で標準画質（8 画素 / mm × 3.85 本 / mm）の原稿を、MMR 符号化方式により蓄積したときで最大 140 枚受信できます。ただし、通信予約などでメモリーが使われているときは受信できる枚数が減ります。
- ・ 代行受信中にメモリーが足りなくなったときは、蓄積できる分のみ蓄積します。その後、受信を中止しエラーメッセージを表示します。
- ・ 代行受信原稿がメモリーにあるときは、停電や電源を OFF にしたときでも、約 72 時間メモリーに記憶しています。
- ・ あらかじめ 24 時間連続して電源が入っている必要があります。
- ・ メモリーの容量によって、記憶する時間が変わります。
メモリーの内容が消えてしまった場合は、電源が ON になりプリントできるようになった後に、「代行受信消去通知」がプリントされます。

受信文書の記録のしかた

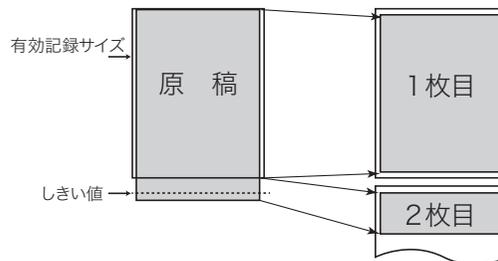
有効記録サイズについて

用紙の先端／後端のそれぞれ約 3mm はプリントすることができません。このため、受信した内容が縮小、または切り捨てられてプリントされる場合があります。プリントできる部分を有効記録サイズと呼びます。



ページ分割について

有効記録サイズを超えた部分がしきい値より大きいときは、ページを分割してプリントされます。



受信縮小について

送信されてきた原稿に合う定型サイズの内紙がセットされていないときや、定型サイズよりわずかに長い（しきい値以内）原稿が送信されてきたとき、用紙に収まるように縮小してプリントします。（自動縮小）また、縮小しないで受信することもできます。（100%）



しきい値について

しきい値とは、受信文書が有効記録サイズに収まらない場合に、後端を切り捨てたり、縮小をして1枚に収めるときの位置を決める値です。セットされている用紙より長い原稿を受信した場合、余白部分だけが次のページにプリントされることがありますが、「しきい値」を設定することによりこれを防止することができます。有効記録サイズを超えた原稿の長さがしきい値以内であれば縮小または切り捨てをして1枚に収め、しきい値より長い場合のみページ分割されます。

補足

しきい値は0～85 mmの間で、よく受信する原稿の余白の長さに合わせて設定します。しきい値の設定方法はファクス設定の「プリントパラメーター」を参照してください。

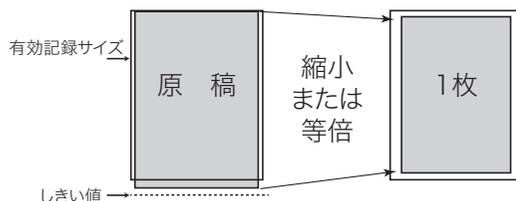
(→5-41 ページ)

コピー時のしきい値の設定方法はコピー設定の「プリントパラメーター」を参照してください。(→5-44 ページ)

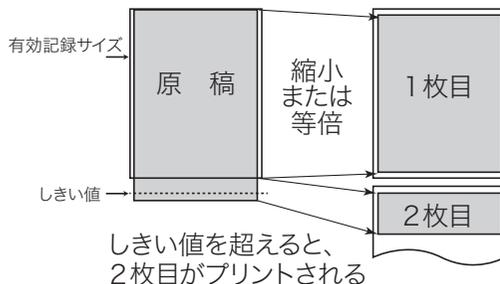
(1) しきい値を設定したとき

有効記録サイズを超えた長さが、しきい値以内であれば、1枚に縮小または切り捨てられます。

- ・しきい値以内

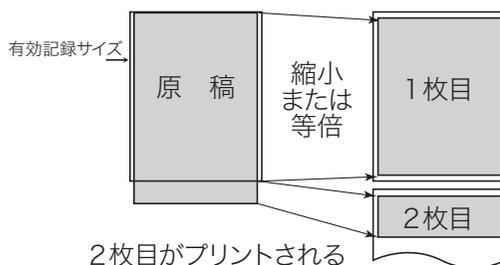


- ・しきい値より長い

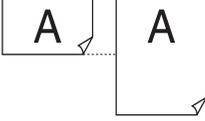
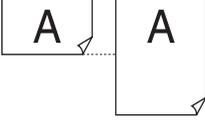
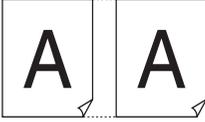
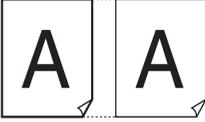
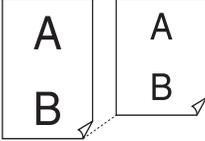
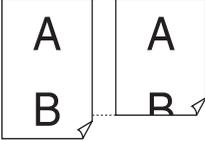
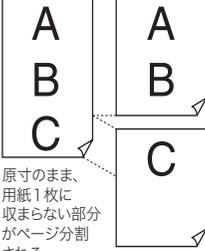
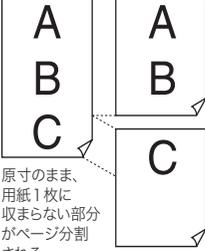


(2) しきい値を設定しないとき (しきい値=0のとき)

有効記録サイズを少しでも超えると、2枚目がプリントされます。



記録のしかた一覧

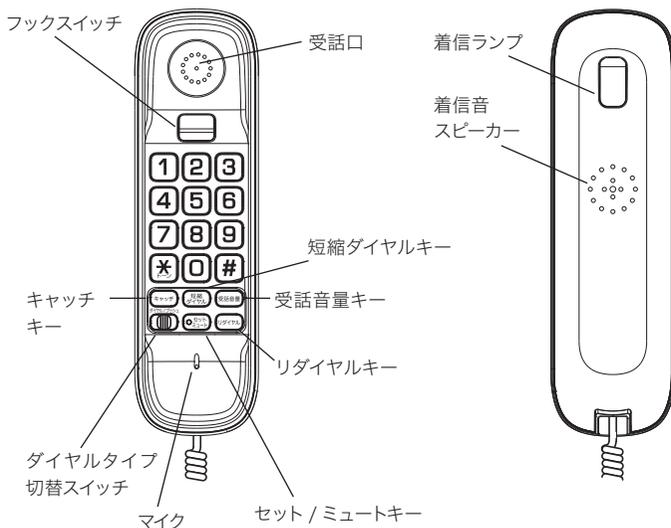
受信縮小率		自動	100%
受信原稿のサイズ			
小さい原稿 (A5, B5)	1枚のみのとき	 <p>原寸のまま</p>	 <p>原寸のまま</p>
	定形サイズ原稿 (B4, A4, B5)	 <p>原寸のまま</p>	 <p>原寸のまま</p>
長尺原稿 (B4, A4より少し長め)	有効記録サイズを超えた長さがしきい値以内のとき	 <p>用紙1枚に収まるよう縮小される</p>	 <p>原寸のまま、用紙1枚に収まらない部分は切捨てられる</p>
	有効記録サイズを超えた長さがしきい値より長いとき	 <p>原寸のまま、用紙1枚に収まらない部分がページ分割される</p>	 <p>原寸のまま、用紙1枚に収まらない部分がページ分割される</p>

電話について

オプションのハンドセットを使って、いろいろな方法で電話をかけられます。

ハンドセットについて

■ 各部の名称



■ ダイヤルタイプを設定する

「ダイヤルタイプの見分けかた」(→ 1-36 ページ) を参照し、ダイヤルタイプ切替スイッチを使用している電話回線のダイヤルタイプに切り替えてください。

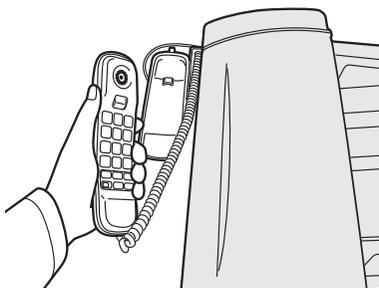
補足 ○

- ・ ダイヤルタイプが 20PPS のときは「ダイヤル」に合わせます。
- ・ ダイヤルタイプが 10PPS のときは、ハンドセットのダイヤルキーを使って電話をかけることはできません。この場合、本商品側のダイヤルキーを使用してください。

本商品の機能を使用して電話をかける

- 本商品側のリダイヤルは、本商品のテンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、宛先表ダイヤルでファクスを送った相手、電話をかけた相手を 10 件まで記憶しています。ハンドセットのダイヤルキーで電話をかけた場合は記憶しません。この場合、ハンドセット側の〈リダイヤル〉を使用してください。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「短縮／グループ」を削除すると、短縮ダイヤルは使用できません。(→ 5-35 ページ)
- ご愛用スイッチキーの設定にて「オンフック」を削除すると、〈オンフック〉は使用できません。(→ 5-35 ページ)

1 ハンドセットを取り上げます。 または〈オンフック〉を押します。



2 電話番号をダイヤルします。

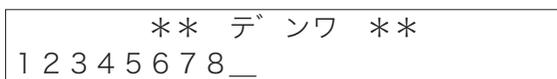
■ ダイヤルキーを使う

本商品のテンキーで相手の電話番号をダイヤルします。



■ ワンタッチキーを使う

ワンタッチダイヤル(01～60)を押します。相手先が登録されている、ワンタッチキーを押します。



ワンタッチダイヤルに登録されている番号が表示されます。

■ 短縮ダイヤルを使う

〈短縮／グループ〉を押し、テンキーで短縮番号(001～140)を選びます。



短縮ダイヤルに登録されている番号が表示されます。

■ 宛先表を使う

カーソルキーの〈▼〉を押します。

アテサキヒヨウ	[A]
ABC	: [05]

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉またはテンキーで相手先を選択します。

アテサキヒヨウ	[J]
JAPAN	: S123

〈スタート〉を押します。

** デ`ンワ **
1 2 3 4 5 6 7 8 _

■ リダイヤルするとき

ファクスを送った相手、電話をかけた相手を10件まで記憶しています。
〈リダイヤル〉を押します。

リタ`イナル リレキ
0 : 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉を押して相手先を選択します。

リタ`イナル リレキ
2 : 1 2 3 4 5 6 7 8

〈スタート〉を押します。

** デ`ンワ **
1 2 3 4 5 6 7 8 _

3 回線がつながったら相手先と通話します。

〈オンフック〉を押したときは、ハンドセットを上げると通話できます。



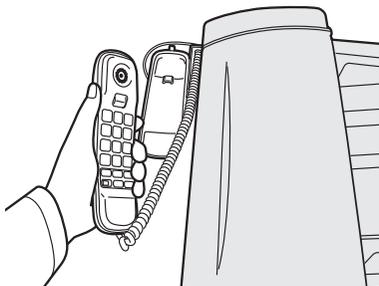
補足 ○

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後に、本商品の〈✳〉またはハンドセットの〈✳/トーン〉を押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御等）を利用することができます。

ハンドセットの機能を使用して電話をかける

- 本商品の電源がOFF のときも、ハンドセットのダイヤルキーから電話をかけることができます。ただし、回線自体が停電時の通話に対応していないときは除きます。
- 本商品で電話をかけた場合、ハンドセットの〈リダイヤル〉を使用してリダイヤルすることはできません。

1 ハンドセットを取り上げます。



2 電話番号をダイヤルします。

■ ダイヤルキーを使う

ハンドセットのダイヤルキーで、相手の電話番号をダイヤルします。



■ 短縮ダイヤルを使う

- ・〈短縮ダイヤル〉を押します。ハンドセットのダイヤルキーで短縮番号（0～9）を入力します。
- ・短縮ダイヤルの登録は、「短縮ダイヤルを登録する」（→ 2-49 ページ）を参照してください。

■ 最後にかけた相手にもう一度電話する（リダイヤル）

- ・〈リダイヤル〉を押します。
- ・リダイヤルの最大桁数は 31 桁です。

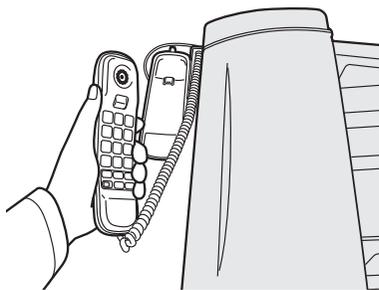
3 相手と通話します。

補足

- ・ 電話機ヒモまたはハンドセットのコールコードを、電話コンセントまたは本商品から約 12 時間以上はずした場合は、リダイヤルの電話番号が消去されます。
- ・ 停電時に電源が供給されない回線に接続しているときも、12 時間以上電源が供給されない状態が続くと、リダイヤルの電話番号が消去されます。

電話を受ける

1 呼び出しベルが鳴ったら、ハンドセットを取り上げます。



2 相手と通話します。

増設電話を接続しているときは、増設電話でも電話を受けることができます。



補足

相手先から「ポーポー」と音が聞こえたり、無音のときは相手はファクスです。

- ・ ハンドセットを上げた場合は、〈スタート〉を押すと受信できます。
- ・ 増設電話の受話器を上げた場合は、増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉とダイヤルします。
(→ 2-37 ページ)

ハンドセットの便利な機能を使用する

本商品の機能とは別に、ハンドセット側にも様々な機能があります。ハンドセット側の短縮ダイヤルは、本商品の短縮ダイヤルとは別に登録できます。

■ キャッチホンサービスを利用する

- ・ キャッチホンは、外線通話中に他から電話がかかってきた場合、通話中の相手を一時的に保留にして、新しくかかってきた相手と通話することができるサービスです。
- ・ キャッチホンのご利用については、最寄りの当社の支店、または営業所にお申し込みください。

1 通話中、キャッチホンの呼び出し音が聞こえたら〈キャッチ〉を押します。
新しくかかってきた相手につながります。

2 元の相手に戻るときは、もう一度〈キャッチ〉を押します。

補足 ●

- ・ キャッチホンサービスをご利用の場合、〈キャッチ〉を押してから新しくかかってきた相手に切り換わるまで、多少時間がかかることがあります。
- ・ ファクスの通信中にキャッチホンの呼び出し音が入ると、ファクスの画像が乱れることがあります。

■ プッシュホンサービスを利用する

ダイヤル回線をご利用の場合でも、一時的に PB 信号に切り替えることができます。

1 通話中、〈＊ / トーン〉を押します。
以降、ハンドセットのダイヤルキーを押すと PB 信号が出せるようになります。

2 ダイヤル回線の設定に戻すには、電話を切ります。

■ 相手の声の大きさを変える（受話音量）

1 通話中、〈受話音量〉を押します。
〈受話音量〉を押すごとに、音量の大小が切り替わります。

■ ミュートを使う

通話中に、こちら側のマイク音声を相手に聞こえないようにすることができます。

1 通話中、〈セット / ミュート〉を押します。

- ・ 〈セット / ミュート〉を押すごとに、ON/OFF が切り替わります。
- ・ ミュートがON のときは 〈セット / ミュート〉 のランプが点滅します。
- ・ 電話を切ると、ミュートは自動的に解除されます。

■ 短縮ダイヤルを登録する

- ・ 本商品の短縮ダイヤルとは別に、最大 10 件まで電話番号を短縮ダイヤルに登録できます。
- ・ ハンドセットの短縮ダイヤルを本商品から操作したり、本商品の短縮ダイヤルをハンドセットから操作したりすることはできません。

1 ハンドセットを取り上げ、〈セット / ミュート〉を押します。

2 〈短縮ダイヤル〉を押します。

3 短縮ダイヤルを登録したいハンドセットのダイヤルキー 〈0〉 ～ 〈9〉を押します。

4 ハンドセットのダイヤルキーで、相手先のダイヤル番号を入力します。 (最大 31 桁)

5 〈セット / ミュート〉を押します。

6 ハンドセットを元に戻します。

補足 ○

- ・ すでに短縮ダイヤルを登録してあるダイヤルキーに、別の電話番号を登録したい場合は、再度登録操作をすると、新しい電話番号で上書きされます。
- ・ 登録途中でまちがえたときは、ハンドセットをいったん戻して、再度はじめからやり直してください。
- ・ 登録操作中は、ハンドセットから「ツー」音（発信音）が聞こえますが、ダイヤルキーを押しても電話はかかりません。
- ・ 電話機ヒモまたはハンドセットのコールコードを、電話コンセントまたは本商品から約 12 時間以上はずした場合、短縮ダイヤルの登録情報が消去されます。
- ・ 停電時に電源が供給されない回線に接続しているときも、12 時間以上電源が供給されない状態が続くと、短縮ダイヤルの登録情報が消去されます。

■ 着信音を設定する

電話がかかってきたときの着信音を3種類（音量：小／中／大）のなかから選べます。出荷時は「パターン：2、音量：大」に設定されています。

1 ハンドセットを取り上げ、〈セット / ミュート〉を押します。

2 〈#〉を押します。

3 ハンドセットのダイヤルキーを押します。

- ・たとえば、「パターン：3、音量：中」にしたいときは、ダイヤルキーの〈8〉を押します。
- ・着信音量を一時的に「切」にしたい場合は〈0〉を押します。

	音量：小	音量：中	音量：大
パターン：1	〈1〉	〈2〉	〈3〉
パターン：2	〈4〉	〈5〉	〈6〉
パターン：3	〈7〉	〈8〉	〈9〉

4 ハンドセットを元に戻します。

補足 ○

- ・着信音量を一時的に「切」にした場合は、一度ハンドセットを持ち上げてからハンドセットホルダーに戻すと、前回設定した種類と音量の着信音に戻ります。
- ・電話機とモまたはハンドセットのカールコードを、電話コンセントまたは本体から約12時間以上はずした場合は、着信音の種類と大きさ設定が消去されます。
- ・停電時に電源が供給されない回線に接続しているときも、12時間以上電源が供給されない状態が続くと、着信音の種類と大きさ設定が消去されます。

プッシュホンサービスのご利用について

本商品をダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後に〈トーン〉を押すことにより、プッシュホンサービス（銀行 ANSWER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御等）を利用することができます。

■ 通信のしかた

- (1) 〈オンフック〉を押します。
- (2) テンキーで相手先の番号を入力します。
- (3) 〈＊〉を押します。
液晶ディスプレイに「T」が表示され、それ以降のダイヤルがPB信号（「ピッポッパッ」）に変わります。
※ハンドセットで電話をかけたときは、〈＊/トーン〉を押します。ハンドセットで電話をかけたときは液晶ディスプレイには何も表示されません。
※電話を切ると信号送出は解除されます。
- (4) それぞれのプッシュホンサービスに従って操作してください。

なお、短縮ダイヤルに登録できるポーズなど特定信号については、2-21 ページをご覧ください。

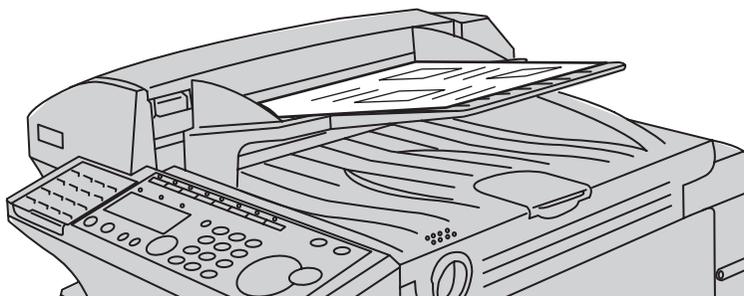
コピーのしかた

原稿を最大 99 部までコピーできます。また、コピーを部数ごとにそろえるコピーもできます。

コピーする

原稿の大きさを判断して、適切な用紙と倍率でコピーします。

1 コピーする面を上にして原稿をセットします。



2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。 画質・濃度の選びかた (→ 2-7 ページ)

3 〈コピー〉を押します。

コピ°	ーブ	スウ	ヲ	ト°	ウゾ°	01
					コピ°	ー/ストップ°

4 テンキーでコピーする部数 (1 ~ 99) を入力します。

コピ°	ーブ	スウ	ヲ	ト°	ウゾ°	23
					コピ°	ー/ストップ°

5 〈コピー〉を押します。 原稿読み取り後、プリントを始めます。

補足 ○

画質を設定していない場合は、自動的に超高画質でコピーします。

補足

- ・画質を設定しない場合は、自動的に超高画質でコピーします。
- ・コピーを途中で止めるには、〈ストップ〉を押します。
- ・コピーの倍率（縮小率）やコピーの設定を変えるには、コピーのプリントパラメーターを設定します。（→ 5-44 ページ）

コピーについて

- ・次のようなものをコピーすることは法律で禁止されています。
 - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券
 - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
 - 未使用の郵便切手や郵便はがき
 - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- ・次のようなものをコピーすることは、注意が呼びかけられています。
 - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
 - 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類
- ・著作権の対象となっている著作物について
個人的に限られた範囲内で使用するため以外はコピーを禁止されています。

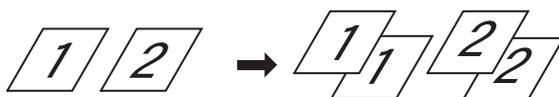
ソートコピーを設定する

コピーをページ順にそろえることができます。コピーした後に手作業でページをそろえる手間が省けます。

ご愛用スイッチキーの設定にて「ソートコピー」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでソートコピーの ON / OFF を設定することができます。(→ 5-35 ページ)

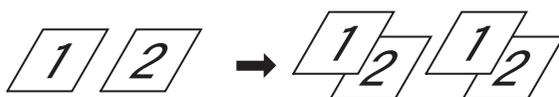
■ソート OFF

原稿ごとに用紙を仕分けします。



■ソート ON

コピー部ごとに用紙を仕分けします。



ソートコピーをするためには、「ソートコピー設定」を ON にします。

1 <メニュー/文字>、<2>、<3>、<2> と押します。

[キノウ センタク]	No. 232
2 ソート コピー	

2 <セット> を押します。

ソート コピー	: ON
▼/▲/セット	

3 カーソルキーの <▲>、<▼> でソートコピーを ON にします。

ソート コピー	: ON
▼/▲/セット	

4 <セット> を押します。

5 <ストップ> を押します。

待機画面に戻ります。

6 「コピーのしかた」(2-52 ページ) の手順どおりにコピーします。

指定した部数をページ順にそろえてコピーします。

第 3 章

応用編

ファクス応用機能

多数の相手に一度に送信する	3-3
同報送信	3-3
グループ送信	3-5
送信時刻を指定する（時刻指定通信）	3-7
原稿と一緒に送信案内証を送信する（メッセージ送信）	3-9
メッセージを登録／変更する	3-9
送信案内証をプリントする	3-10
送信案内証を設定する	3-10
ポーリングをする	3-11
ポーリング原稿を蓄積する	3-11
ポーリング原稿を消去する	3-11
ポーリング原稿をプリントする	3-12
相手先の原稿を取り出す（ポーリング）	3-12
F コード通信をする	3-13
F コード通信とは？	3-13
サブアドレスとパスワード	3-13
F コード通信で利用できる機能	3-13
F コードボックスを登録する	3-14
F コード親展ボックスの登録	3-16
F コード掲示板ボックスの登録	3-16
F コード中継指示ボックスの登録	3-17
F コードボックスを消去する	3-18
F コードボックスリストをプリントする	3-19
サブアドレスを使用して送信する（F コード送信）	3-20
サブアドレスを使用して受信する（F コードポーリング）	3-21
掲示板へ原稿を蓄積する	3-23
蓄積された原稿をプリントする	3-24
掲示板に蓄積された原稿を消去する	3-25
F コードボックス蓄積原稿リストをプリントする	3-26
同じ原稿を一度にファクスとコピーする（ファクス&コピー）	3-27
ファクス&コピーを設定する	3-27
ファクス&コピーのしかた	3-28

受信原稿を転送する (ファクスワープ).....	3-29
転送条件を登録する.....	3-29
転送条件を消去する.....	3-32
転送条件一覧をプリントする (ファクスワープリスト).....	3-33
ファクスワープを設定する.....	3-34
ボイスワープサービスの利用について.....	3-35
ボイスワープサービスとは?	3-35
ボイスワープサービスを利用する前に設定する	3-35
電話を転送する (フォンワープ)	3-38
転送条件を登録する.....	3-39
転送条件を消去する.....	3-41
転送条件一覧をプリントする (フォンワープリスト)	3-41
フォンワープを設定する	3-42
フォンワープの動作.....	3-43
外出先からの操作 (リモート操作).....	3-44
1 回線で複数の番号をつける (ダイヤルイン)	3-46
ダイヤルインのときの動き.....	3-46
ダイヤルインについて	3-48
通信モードを選択して送信する	3-49

通信管理

通信を管理する	3-50
通信管理レポートをプリントする.....	3-51
通信管理レポートの自動プリントを設定する	3-52
通信管理レポートのみかた.....	3-53
日報の時刻指定プリントを設定する.....	3-54
送信確認証のプリントを設定する	3-55
送信確認証のみかた.....	3-56
通信予約リストをプリントする	3-57
通信予約原稿をプリントする	3-58

多数の相手に一度に送信する

複数の相手に一度の操作で送信できます。相手先ごとに繰り返して送信する手間が省けます。

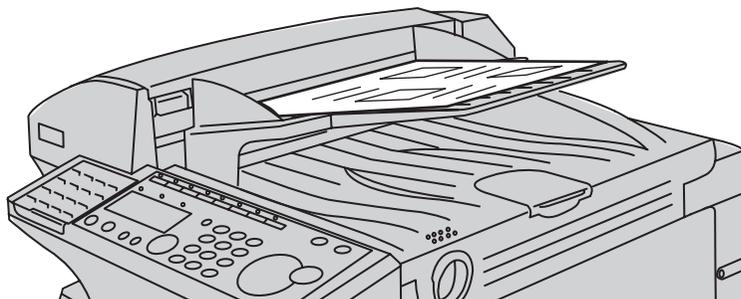
同報送信

- ワンタッチダイヤル（60 か所）、短縮ダイヤル（140 か所）、テンキー（20 か所）を組み合わせると、最大 220 か所まで指定できます。グループも組み合わせることができます。
- あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに相手先を登録してください。（→ 5-12 ページ、5-17 ページ、5-21 ページ）
- ご愛用スイッチキーの設定にて「同報」を削除すると、〈同報〉を使った宛先の指定はできません。（→ 5-35 ページ）
- 送信はメモリー送信になります。

3

応用編

1 送信する面を上にして原稿をセットします。



2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた（→ 2-7 ページ）

3 〈同報〉を押します。

アイテサキ ハンゴウ ヲ トウゾ

4 相手先を選びます。

キョウト シテン
S1

- ・テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、宛先表、グループを使用できます。
- ・宛先表で入力するときは、相手先を選択後〈セット〉を押します。
- ・番号を間違えたときは〈クリア〉を押して入力し直します。

5 手順 3～4 を繰り返し、複数の相手先を入力します。

6 〈スタート〉を押します。

== ヨヤク ハンコウ : 01 ==

予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。



キョウト シテン
A4 コウガ シツ

- ・送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。
- ・入力した相手先に次々と送信します。

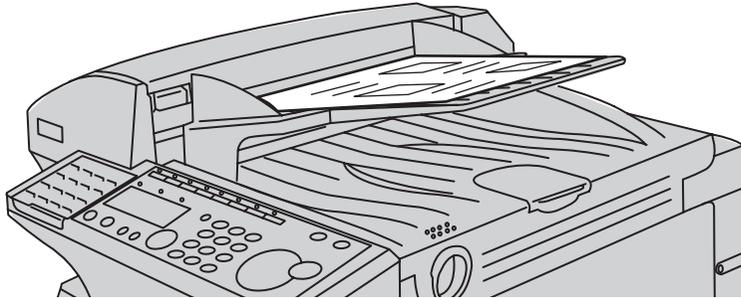
補足

- ・送信を途中で止めるには、〈ストップ〉を押します。送信中は〈ファクス中止〉を押します。(→ 2-24 ページ)
- ・相手先ごとに送信を止めることができます。(→ 2-26 ページ)
- ・通信中の文書や通信待ちの文書の確認ができます。(→ 2-28 ページ)
- ・相手先が話し中のときは、自動リダイヤル待ちになります。自動リダイヤルは、1 分間隔で 3 回自動的に再ダイヤルします。自動リダイヤルの間隔・回数を変更できます。(→ 5-41 ページ)
- ・送信後、「ツウシン エラー」と表示された場合は 6-23 ページを参照してください。
- ・同報送信を禁止したり、同報キーの入力を制限したりすることができます。(→ 4-18 ページ)

グループ送信

- 複数の相手先を1つのグループに登録すると、そのグループを入力するだけで複数の相手先に送信できます。
- あらかじめグループを登録してください。(→5-21 ページ)
- ご愛用スイッチキーの設定にて「短縮/グループ」を削除すると、グループ送信はできません。(→5-35 ページ)
- 送信はメモリー送信になります。

1 送信する面を上にして原稿をセットします。



2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた (→2-7 ページ)

3 〈短縮/グループ〉を2回押します。

グ ループ° ハ° ンゴ° ウ ° ヲ ト° ウゾ°
G _

4 テンキーでグループ番号 (0～32) を入力します。

- ・グループすべてに送信するときは、「0」を入力します。
- ・複数のグループを入力する場合は、〈同報〉を押した後に宛先を入力してください。

スタートキー ° ヲ ト° ウゾ°
G 1 _

5 〈スタート〉を押します。

== ヲヤク ハ° ンゴ° ウ : 0 1 ==

予約番号を表示します。送信中止の確認番号になります。

▼
ホクリクシテン
A 4 ° コウカ° シツ

- ・送信中の表示になります。原稿のサイズと、送信画質を表示します。
- ・グループに登録した相手先に次々と送信します。

補足 ●

- ・すべてのグループに送信するにはグループ0を入力します。
- ・送信を途中で止めるには、〈ストップ〉を押します。送信中は〈ファクス中止〉を押します。(→2-24 ページ)
- ・グループに登録した相手先ごとに、送信を止めることができます。(→2-26 ページ)
- ・通信中の文書や通信待ちの文書の確認ができます。(→2-28 ページ)
- ・相手先が話し中のときは、自動リダイヤル待ちになります。自動リダイヤルは、1分間隔で3回自動的に再ダイヤルします。自動リダイヤルの間隔・回数を変更できます。(→5-41 ページ)
- ・送信後、「ツウシン エラー」と表示された場合は6-23 ページを参照してください。

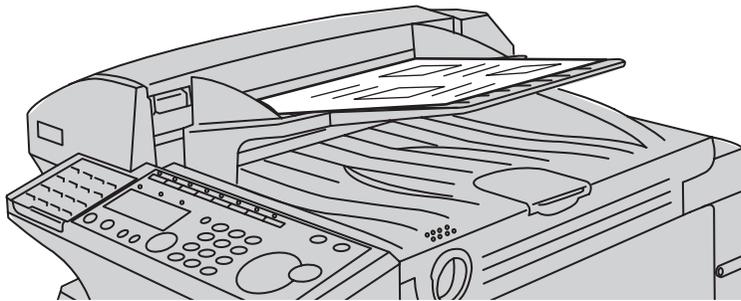
送信時刻を指定する（時刻指定通信）

通信の日時を指定する機能で、深夜や早朝など、電話料金が割引になる時間を利用して通信すると経済的です。

1 か月先まで、送信時刻を指定できます。

- 時刻指定した文書はメモリーに蓄積され、指定した時刻になると通信が始まります。リアルタイム送信を指定すると、指定した時刻になるまで原稿がセットされたままになり、別の送信をすることができなくなります。また、原稿を取り除くと予約が消去されます。
- ほかの応用機能（同報送信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリング）と組み合わせて指定することもできます。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「応用通信」を削除すると、時刻指定通信はできません。（→5-35 ページ）

1 送信する面を上にして原稿をセットします。



2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた（→2-7 ページ）

3 〈応用通信〉を押します。

1. シ^o コクシテイ ツウシン
▼/▲/セット

4 〈セット〉を押します。

シ^o コクシテイ ツウシン
シ^o コクヲ ト^o ウゾ^o 15/13:00

5 テンキーで、送信日時を入力します。

- ・数字が1桁のときは先頭に0をつけます。
- ・時刻は24時間制で入力します。
- ・間違えて入力したときは、カーソルを移動し、上書きで入力し直します。
- ・入力できるのは1か月先までです。

ジ` コクシテイ ツウシン ジ` コクヲ ト` ウゾ` 01/13:00

6 〈セット〉を押します。

7 相手先のファクス番号を入力します。

スタートキー ヲ ドウゾ` 1112223333_

- ・ダイヤル記号を入力して、さまざまな機能を指定できます。(→2-21 ページ)
- ・テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、宛先表、グループダイヤルが使用できます。
- ・〈同報〉を押すことにより、最大220宛先まで指定できます。(テンキー入力による指定は20宛先までです。)

8 〈スタート〉を押します。

補足 ●

- ・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。
- ・原稿読み取り後は、〈通信確認〉で予約を消去できます。(→2-28 ページ)
- ・指定時刻を変更するときは、予約した通信を消去して設定し直します。(→2-24 ページ)
- ・送信予約(時刻指定通信や同報送信など)を30件(オプション品の増設メモリ4MBを装着すると99件まで予約できます。)セットすると、自動送信できなくなります。その場合は〈オンフック〉を押して手動送信(→2-17 ページ)を行ってください。

原稿と一緒に送信案内証を送信する(メッセージ送信)

送信原稿と一緒に、簡単な文書(メッセージ)の入った送信案内証を自動的に付けて送信することができます。

- 送信案内証を設定する前にメッセージを登録してください。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「メッセージ」を登録すると、1通信ごとに送信案内証のON/OFFを切り替えることができます。(→5-35ページ)

メッセージを登録/変更する

メッセージの内容を変更するには、メッセージの登録にて変更したい箇所を修正し、登録し直します。

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈2〉、〈2〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 322
2 メッセージ	セット

2 〈セット〉を押します。

3 メッセージを入力します。

メッセージ	;カタカナ
イツモオセワニナリマス	

- ・半角文字では40文字、全角文字では20文字まで登録できます。
- ・文字の入力方法は(→5-3ページ)

4 〈セット〉を押します。

- ・メッセージが登録され、次の設定画面になります。
- ・〈ストップ〉を押すと、待機画面に戻ります。

送信案内証をプリントする

- 1 〈メニュー/文字〉、〈5〉、〈0〉、〈9〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 509
09 メッセージ	リスト

- 2 〈セット〉 を押します。

送信案内証がプリントされます。

** 送信案内証 **	
2014年 1月14日(火) 13:30	
発信元名	ABC商事(株)
ファクス番号	123-456-7890
[イワモオセワニナリマス]]

送信案内証を設定する

初期設定：OFF

送信案内証を付けるか付けないかの設定をします。

- ・ ON..... 送信案内証が送信原稿の 1 枚目に付けられます。
- ・ OFF.... 送信案内証は付けられません。

- 1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈2〉、〈1〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 321
1 メッセージ	ソウシン

- 2 〈セット〉 を押します。

- 3 カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 で ON / OFF を選びます。

メッセージ	: OFF
	▼/▲/セット

- 4 〈セット〉 を押します。

- ・ 送信案内証が設定され、次の設定画面になります。
- ・ 〈ストップ〉 を押すと、待機画面に戻ります。

ポーリングをする

相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させる機能です。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。

パスコードを登録すると、相手機とパスコードが一致する場合のみポーリング送信できるようになります。（→4-9 ページ）

一度の操作で最大 220 宛先の相手からポーリングする指示もできます。

ポーリング原稿を蓄積する

原稿をあらかじめメモリーに蓄積しておくと、相手先からの操作で自動的に送信できます。料金は相手先の負担となります。

- 1 蓄積する面を上にして原稿をセットします。（→2-5 ページ）
- 2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。
画質・濃度の選びかた（→2-7 ページ）
- 3 〈メニュー／文字〉、〈4〉、〈1〉、〈1〉と押します。

[キノウ センタク]	No. 411
1 ポーリング	ゲンコウ

- 4 〈セット〉を押します。
ポーリング原稿が蓄積されます。

ポーリング原稿を消去する

- 1 〈メニュー／文字〉、〈4〉、〈2〉、〈1〉と押します。

[キノウ センタク]	No. 421
1 ポーリング	ゲンコウ

- 2 〈セット〉を押します。
- 3 消去してよければ、もう一度〈セット〉を押します。
 - ・ポーリング原稿が消去されます。
 - ・消去を中止するときは〈クリア〉を押します。

ポーリング原稿をプリントする

1 〈メニュー/文字〉、〈4〉、〈3〉、〈1〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 431
1 ポーリング	ゲンコウ

2 〈セット〉 を押します。

- ・ポーリング原稿がプリントされます。
- ・ポーリング原稿が蓄積されていない場合は、「ゲンコウ ガ アリマセン」と表示され、ポーリング原稿はプリントされません。

相手先の原稿を取り出す (ポーリング)

- 〈スタート〉 を押す前に送信時刻を指定することができます。(→ 3-7 ページ)
- ご愛用スイッチキーの設定にて「応用通信」を、削除すると、ポーリングはできません。(→ 5-35 ページ)

1 〈応用通信〉 を押します。

1. ジ コクシテイ ツウシン
▼/▲/セット

2 カーソルキーの〈▼〉を1回押します。

〈応用通信〉を1回押して選ぶこともできます。

2. ポーリング
▼/▲/セット

3 〈セット〉 を押します。

4 相手先のファクス番号を入力します。

- ・テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、宛先表、グループダイヤルが使用できます。
- ・〈同報〉を押すことにより、最大220宛先まで指定できます。(テンキー入力による指定は20宛先までです。)

5 〈スタート〉 を押します。

補足 ○

- ・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。
- ・〈スタート〉を押した後は、〈ファクス中止〉で消去できます。(→ 2-24 ページ)

Fコード通信をする

Fコード通信とは？

ITU-T（国際電気通信連合の電気通信標準化部門）の規格にしたがったサブアドレスやパスワードを利用して、通信する機能です。サブアドレスやパスワードが登録されたFコードボックスを作成することで、メーカーや機種のを超えて親展通信、掲示板通信、中継指示通信を利用できます。

- ・Fコードボックスは50個まで登録できます。（→3-14ページ）
- ・1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

サブアドレスとパスワード

- サブアドレスは、メモリー内に設定されたFコードボックスを区別するための番号です。（必ず登録します）
- パスワードは、原稿を間違えて送受信しないための鍵となるものです。（必要に応じて登録します）

Fコード通信で使用できる機能

サブアドレスやパスワードを利用すると、次のような機能を使用することができます。

■ Fコード親展通信

通信相手にFコード親展ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスと必要に応じてパスワードを指定することにより、親展通信ができるようになります。

親展受信側では、特定の暗証番号を入力しなければ受信文書をプリントできませんので、機密保護が必要な文書を送信する場合に便利です。

- ・Fコード親展送信をする場合……Fコード送信をする（→3-20ページ）
- ・Fコード親展受信した場合……蓄積された原稿をプリントする（→3-24ページ）

■ Fコード掲示板通信

通信相手にFコード掲示板が設定されているとき、掲示板のサブアドレスを指定することにより、掲示板へ原稿を送信したり、掲示板に蓄積されている原稿を取り出したり（ポーリング）することができます。（必要に応じてパスワードを指定できます）

- ・相手先の掲示板へ送信する場合……Fコード送信をする（→3-20ページ）
- ・相手先の掲示板に蓄積された原稿を取り出す場合……Fコードポーリングをする（→3-21ページ）
- ・自分の掲示板へ原稿を蓄積する場合……Fコード用の掲示板に原稿を蓄積する（→3-23ページ）

■ Fコード中継指示通信

中継機にFコード中継ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスを指定することにより、中継指示通信ができるようになります。(必要に応じてパスワードを指定できます)

中継機側では、ボックスに登録されている相手先(配信先)に、指示された原稿を送信(配信)します。

- **中継指示送信する場合**……あらかじめ通信相手のファクスに設定されている、中継指示通信用のボックスのサブアドレスやパスワードを確認して、Fコード送信をしてください。(→3-20ページ)
- **本商品が中継機となる場合**…Fコードボックス登録(→3-14ページ)で中継用のボックスを設定してください。

Fコードボックスを登録する

- Fコード通信を利用するためにFコードボックスを登録します。Fコードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。
- サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。
- 暗証番号を設定すると、特定の人以外はFコードボックスの操作ができなくなります。

1 <メニュー/文字>、<3>、<3>、<1> と押します。

[キノウ センタク] No. 331
1 Fコード` ボ` ックス セット

2 <セット> を押します。

3 テンキーで、登録したいFコードボックス番号(01～50)を入力します。

カーソルキーの<▲>、<▼>で選ぶこともできます。

ボ` ックス ヲ エランデ` クタ` サイ
01:セット サレテイマセン

すでにFコードボックスが登録されている場合は相手先名が表示されます。

4 <セット> を押します。

5 すでにFコードボックスが登録されている場合で、暗証番号が設定されているときはテンキーで暗証番号(4桁)を入力します。

初めてFコードボックスを登録するとき、または暗証番号が設定されていないときは手順7に進みます。

01:Fコード` ボ` ックス セット
アンショウ ハ` ンゴ` ウ : 1234

6 <セット> を押します。

7 ボックス名を入力します。

- ・半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。
- ・文字の入力方法は (→ 5-3 ページ)

01 : ボックス名 ; カタカナ
オオサカシテン

8 〈セット〉を押します。**9** テンキーでサブアドレスを入力します。

- サブアドレスは 20 桁以内の数字が使用できます。

01 : サブ アドレス バンゴウ
000111222333__

10 〈セット〉を押します。

- すでにほかの F コードボックスに登録されているサブアドレスを入力した場合は、「バンゴウ ガ トウロクサレテイマス」と表示します。違う番号を入力し直してください。

11 テンキーでパスワードを入力します。

- ・パスワードは 20 桁以内の数字、*、# が使用できます。
- ・ほかのボックスに同じパスワードを登録することもできます。
- ・パスワードの必要がないときは、何も入力しないで次に進みます。

01 : パスワード バンゴウ
2222__

12 〈セット〉を押します。**13** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でボックス種別を選びます。

ボックス シュベツ : ケイジバン
▼/▲/セット



ボックス シュベツ : シンテン
▼/▲/セット



ボックス シュベツ : チュウケイ
▼/▲/セット



14 〈セット〉を押します。

- ・ボックス種別で親展を選んだ場合は手順 15 へ進みます。
- ・ボックス種別で掲示板を選んだ場合は手順 18 へ進みます。
- ・ボックス種別で中継を選んだ場合は手順 24 へ進みます。

補足

登録内容を変更する場合は登録手順の中で、変更したい登録内容を〈クリア〉で消去してから新しく入力するか、カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定を変更してください。

Fコード親展ボックスの登録

「Fコードボックスを登録する」(→3-14 ページ)の続きの手順です。

15 テンキーで親展原稿の保持期間(0～31日)を入力します。

0を入力した場合は無制限に原稿を保持します。

ゲ	ン	コウ	メモリー	キカン		
メモリー	キカン		(00-31)	:	<u>3</u>	0

16 〈セット〉を押します。

17 手順 28 に進みます。(→3-18 ページ)

Fコード掲示板ボックスの登録

「Fコードボックスを登録する」(→3-14 ページ)の続きの手順です。

18 受信禁止、同時プリント、上書き許可、送信原稿消去の設定を必要に応じて行います。

- ・受信禁止……ONにした場合は、ポーリング送信のみになります。
- ・同時プリント…ONにした場合は、掲示板に受信した原稿をプリントします。
- ・上書き許可……ONにした場合は、前に蓄積されていた原稿は受信した原稿で上書きされます。
- ・送信原稿消去…ONにした場合は、ポーリング送信後、原稿を消去します。

19 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で受信禁止のON / OFFを選び、〈セット〉を押します。

ONにすると同時プリント、上書き許可はOFFになり、設定できなくなります。

ジ	ュ	シ	ン	キ	ン	シ	:	O	F	F				
								▼	/	▲	/	セ	ツ	ト

20 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で同時プリントのON / OFFを選び、〈セット〉を押します。

ト	ウ	ジ	プ	リ	ン	ト	:	O	F	F				
								▼	/	▲	/	セ	ツ	ト

- 21** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で上書き許可の ON / OFF を選び、〈セット〉を押します。

ゲ`ンコウ ウワガ`キ : OFF
▼/▲/セット

- 22** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で送信原稿消去の ON / OFF を選び、〈セット〉を押します。

ソウシン ゲ`ンコウ クリア : OFF
▼/▲/セット

- 23** 手順 28 に進みます。(→ 3-18 ページ)

F コード中継指示ボックスの登録

「F コードボックスを登録する」(→ 3-14 ページ)の続きの手順です。

- 24** 配信先を入力します。

- ・ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルが使用できます。
- ・〈同報〉を押すことにより、最大 200 宛先まで指定できます。
- ・すでに配信先が指定されているときは、その登録内容が表示されます。

ハイシンサキ ヲ ト`ウゾ`
[01], S001, G1__

- 25** 〈セット〉を押します。

- 26** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で配信したときの発信元の設定を選び、〈セット〉を押します。

ハイシンジ` ハッシンモト : ツケナイ
▼/▲/セット

ハイシンジ` ハッシンモト : ソトヅ`ケ
▼/▲/セット

ハイシンジ` ハッシンモト : ウワガ`キ
▼/▲/セット

- ・ツケナイ…配信する原稿に、自機の発信元名をつけません。
- ・ソトヅケ…配信する原稿に、中継指示先の発信元名と並べて、自機の発信元名をつけます。
- ・ウワガキ…配信する原稿に、自機の発信元名をつけます。(中継指示機の発信元名に自機の発信元名を上書きします。)

27 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で同時プリントの ON / OFF を選び、〈セット〉を押します。

ON にした場合は、中継指示ボックスに受信した原稿をプリントします。

トウジ	プリント	: OFF
	▼/▲/セット	

28 テンキーで暗証番号を入力します。

- ・親展の場合は必ず暗証番号を登録してください。
- ・掲示板、中継指示の場合は必要に応じて暗証番号を登録してください。
- ・暗証番号を間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。
- ・ここで登録した暗証番号は蓄積原稿のプリントなどをするときに入力が必要です。忘れないように控えておいてください。
- ・掲示板、中継指示ボックスの暗証番号を解除するには、この手順で 0000 と入力します。

29 〈セット〉を押します。

続けて次のボックス登録を行うときは、手順 3 から操作を繰り返します。

30 〈ストップ〉を押します。

登録を終了し、待機画面に戻ります。

補足 ●

- ・登録内容を変更する場合は登録手順の中で、変更したい登録内容を〈クリア〉で消去してから新しく入力するか、カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定を変更してください。
- ・ボックス種別を変更するときは、変更したい F コードボックスを消去してから登録し直してください。
- ・操作を中止したいときは〈ストップ〉を押します。

F コードボックスを消去する

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈3〉、〈2〉と押します。

[キノウ センタク]	No. 332
2 Fコード	ボックス クリア

2 〈セット〉を押します。

3 テンキーで、消去したい F コードボックス番号 (01 ~ 50) を入力します。

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。

ボックス	ヲ エランデ	クタ	サイ
02	: ナゴ	ヤシテン	

すでに F コードボックスが登録されている場合は相手先名が表示されます。

4 〈セット〉を押します。

5 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力します。

暗証番号が設定されていないときは、手順7に進みます。

02 : Fコード ボックス クリア
アンショウ バンゴウ : 1234

6 〈セット〉を押します。

7 消去してよければ、〈セット〉を押します。

- ・消去を中止するときは〈クリア〉を押します。
- ・原稿が蓄積されているFコードボックスを消去することはできません。
- ・続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

8 〈ストップ〉を押します。

消去を終了し、待機画面に戻ります。

Fコードボックスリストをプリントする

1 〈メニュー/文字〉、〈5〉、〈1〉、〈0〉と押します。

[キノウ センタク] No. 510
10 Fコード ボックス リスト

2 〈セット〉を押します。

- ・Fコードボックスリストがプリントされます。
- ・Fコードボックスが1件も登録されていない場合は、「セット サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株) Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

** Fコード ボックス リスト **

P.1 2014年 1月14日(火) 13:30

No.	ボックス名	サブアドレス番号	通信アドレス番号	種別	備考
1	大阪支店	000111222333	**2222**	掲示板	
2	名古屋支店	0123456789	**0101**	親展	30日
3	広島支店 (配信先) (発信元) (同時プリント)	345345345	**3333**	中継	

備考 1:受信禁止 2:同時プリント 3:上書き 4:送信原稿消去

補足

作業を中止するときは〈ストップ〉を押します。

サブアドレスを使用して送信する (Fコード送信)

サブアドレスとパスワードを入力することにより、Fコード親展送信、Fコード掲示板送信、Fコード中継送信ができます。

- あらかじめ、相手に登録されている機能のサブアドレスとパスワードを確認してください。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「応用通信」を削除すると、Fコード送信はできません。(→5-35 ページ)

1 送信する面を上にして原稿をセットします。(→2-5 ページ)

2 〈画質〉、〈濃度〉を押します。

画質・濃度の選びかた (→2-7 ページ)

3 〈応用通信〉を押します。

1. シ` コクシテイ ツウシン
▼/▲/セット

4 カーソルキーの〈▼〉を2回押します。

〈応用通信〉を2回押して選ぶこともできます。

3. Fコード` ソウシン
▼/▲/セット

5 〈セット〉を押します。

6 テンキーで、相手に登録されている機能のサブアドレスを入力します。

サブ` アド` レス ヲ ト` ウゾ`
1 2 3 4 __

サブアドレスは20桁以内の数字が使用できます。

7 〈セット〉を押します。

8 テンキーでパスワードを入力します。

ハ` スワート` ヲ ト` ウゾ`
1 2 3 4 __

- ・パスワードは20桁以内の数字、*、#が使用できます。
- ・パスワードの必要がないときは、何も入力しないで次に進みます。

9 〈セット〉を押します。

この操作の後、〈応用通信〉を押し「時刻指定」を選んで〈セット〉を押すと、送信時刻を指定できます。(→3-7 ページ)

10 相手先のファクス番号を入力します。

- ・テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、宛先表、グループダイヤルが使用できます。
- ・〈同報〉を押すことにより、最大 220 宛先まで指定できます。(テンキー入力による指定は 20 宛先までです。)

11 〈スタート〉を押します。

補足 ○

- ・番号を間違えて入力したときは〈クリア〉を押して訂正してください。
- ・原稿読み取り後は〈ファクス中止〉で消去できます。(→ 2-24 ページ)

サブアドレスを使用して受信する (F コードポーリング)

相手機の掲示板に蓄積された原稿をサブアドレスとパスワードを入力することにより、取り出すこと (ポーリング) ができます。

- あらかじめ相手機の掲示板のサブアドレスとパスワードを確認してください。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「応用通信」を削除すると、F コードポーリングはできません。(→ 5-35 ページ)

1 〈応用通信〉を押します。

1. ジ° コクシテイ ツウシン
▼/▲/セット

2 カーソルキーの〈▼〉を 3 回押します。

〈応用通信〉を 3 回押して選ぶこともできます。

4. F コード° ホ° ーリング°
▼/▲/セット

3 〈セット〉を押します。**4** テンキーで、掲示板のサブアドレスを入力します。

サブ° アト° レス ° ヲ ト° ウゾ°
1 2 3 4 _

サブアドレスは 20 桁以内の数字が使用できます。

5 〈セット〉を押します。**6** テンキーで、パスワードを入力します。

パ° スワート° ヲ ト° ウゾ°
1 2 3 4 _

- ・パスワードは 20 桁以内の数字、*、# が使用できます。
- ・パスワードの必要がないときは、何も入力しないで次に進みます。

7 〈セット〉を押します。

この操作の後、〈応用通信〉を押し「時刻指定」を選んで〈セット〉を押すと、送信時刻を指定できます。(→ 3-7 ページ)

8 相手先のファクス番号を入力します。

- ・テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、宛先表、グループダイヤルが使用できます。
- ・〈同報〉を押すことにより、最大 220 宛先まで指定できます。(テンキー入力による指定は 20 宛先までです。)

9 〈スタート〉を押します。

補足 ○

- ・番号を間違えて入力したときは〈クリア〉を押して訂正してください。
- ・原稿読み取り後は〈ファクス中止〉で消去できます。(→ 2-24 ページ)

掲示板へ原稿を蓄積する

Fコードを利用した掲示板に原稿を蓄積します。

1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

Fコードボックスに掲示板ボックスの登録が必要です。(→3-16ページ)

1 蓄積する面を上にして原稿をセットします。(→2-5ページ)

2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた(→2-7ページ)

3 〈メニュー/文字〉、〈4〉、〈1〉、〈2〉と押します。

[キノウ センタク] No. 412
2 Fコード ボックス ゲンコウ

4 〈セット〉を押します。

5 テンキーで原稿を蓄積するFコードボックス番号(掲示板ボックスの番号)を2桁で入力します。

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。

ボックス ヲ エラント クダ サイ
02 : ナゴ ヤシテン

6 〈セット〉を押します。

7 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号(4桁)を入力します。

02 : Fコード ボックス ゲンコウ
アンショウ バンゴウ : 1234

・暗証番号が設定されていないときは、手順9に進みます。

・暗証番号が間違っていると「バンゴウ ガ チガイマス」と表示されます。操作をやり直してください。

8 〈セット〉を押します。

9 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で原稿を上書きするか(ON)、追加するか(OFF)を選びます。

ゲンコウ ウワガキ : OFF
▼/▲/セット

10 〈セット〉を押します。

すでに30件原稿が蓄積されているときは「チクセキ デキマセン」と表示されます。

蓄積された原稿をプリントする

親展受信原稿、掲示板に受信した原稿および、掲示板に蓄積した原稿をプリントします。
Fコードボックスに原稿を受信した場合は、Fコード受信通知がプリントされます。記載されているボックス番号を確認し、蓄積原稿をプリントします。

親展受信の場合

ABC商事 総務部 Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

Fコード受信通知

2014年 1月14日(火) 13:30

No.	ボックス名	相手先名	種別	ファイル番号
2	名古屋支店	トヨタ自動車	親展	1

Fコードボックス原稿を受信しました
(親展原稿記憶期間)
2014年 2月12日(水) 13:29

掲示板に受信した場合

ABC商事 総務部 Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

Fコード受信通知

2014年 1月14日(火) 13:30

No.	ボックス名	相手先名	種別	ファイル番号
1	大阪支店	キヤノン	掲示板	1

Fコードボックス原稿を受信しました

掲示板に受信および蓄積した原稿をプリントする場合は、ファイル番号を指定してプリントします。

1 <メニュー/文字>、<4>、<3>、<2> と押します。

[キノウ センタク] No. 432
2 Fコード ボックス ゲンコウ

2 <セット> を押します。

3 テンキーで、プリントしたい原稿が蓄積されているFコードボックス番号を入力します。

カーソルキーの<▲>、<▼>で選ぶこともできます。

ボックス ヲ エランダ クダ サイ
02:ナゴ ヤシテン

4 <セット> を押します。

原稿が蓄積されていない場合は、「ゲンコウ ガ アリマセン」と表示されます。原稿が蓄積されているFコードボックスを選んでください。

5 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号(4桁)を入力します。

02:Fコード ボックス ゲンコウ
アンショウ バンゴウ : 1234

- ・ 掲示板ボックスに暗証番号が設定されていないときは、手順7に進みます。
- ・ 親展受信原稿をプリントするときは、手順8に進みます。

6 <セット> を押します。

7 テンキーで、ファイル番号を入力します。

0を入力すると、このFコードボックスに蓄積されているすべての原稿をプリントします。

02 : Fコード	ボックス	ゲ	ンコウ
ファイル	バ	ンコウ :	1

8 〈セット〉を押します。

蓄積または受信した原稿をプリントします。

- ・親展受信原稿はプリントすると自動的に消去されます。
- ・掲示板に受信または蓄積した原稿は、プリントしても消去されません。

掲示板に蓄積された原稿を消去する

掲示板ボックスに蓄積されている原稿を消去します。

1 〈メニュー/文字〉、〈4〉、〈2〉、〈2〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 422		
2 Fコード	ボックス	ゲ	ンコウ

2 〈セット〉を押します。**3** テンキーで、消去したい原稿が蓄積されているFコードボックス番号を入力します。

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。

ボックス	ヲ	エランテ	クダ	サイ
02 :	ナコ	ヤシテン		

4 〈セット〉を押します。**5** 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力します。

掲示板ボックスに暗証番号が設定されていないときは、手順7に進みます。

6 〈セット〉を押します。**7** テンキーで、ファイル番号を入力します。

0を選択すると、このFコードボックスに蓄積されているすべての原稿を消去します。

8 〈セット〉を押します。**9** 消去してよければ、もう一度〈セット〉を押します。

消去を中止するときは〈クリア〉を押します。

同じ原稿を一度にファクスとコピーする(ファクス&コピー)

1回の原稿読み取り操作で、同時にファクスとコピーができます。社内連絡などで「他部署にファクスしてから、配布用にコピーする」というような場合にたいへん便利です。

ファクス&コピーを設定する

初期設定：OFF

- 1** 〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈5〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 2105
05	ファクス&コピー

- 2** 〈セット〉 を押します。

- 3** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 で ON を選びます。

ファクス&コピー	: ON
	▼/▲/セット

- 4** 〈セット〉 を押します。

- ・ファクス&コピーが設定され、次の設定画面になります。
- ・〈ストップ〉 を押すと、待機画面に戻ります。

3

応用編

ファクス&コピーのしかた

- ファクス&コピーをするには、ファクス&コピーの設定を「ON」にしてください。(→3-27 ページ)
- ご愛用スイッチキーの設定にて「ファクス&コピー」を登録すると、1 通信ごとにファクス&コピーの ON / OFF を切り替えることができます。(→5-35 ページ)

1 蓄積する面を上にして原稿をセットします。(→2-5 ページ)

2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた (→2-7 ページ)

3 相手先のファクス番号を入力します。

テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、宛先表、グループダイヤルが使用できます。

スタートキー ヲ ト` ウゾ` 1 1 1 2 2 2 3 3 3 3 _

4 〈スタート〉を押します。

5 テンキーで、コピー部数を入力します。

コピ` ーフ` スウ ヲ ト` ウゾ` 0 1 スタート/クリア

6 送信する原稿と同時にコピーする場合は〈スタート〉を押します。

- ・送信を開始し、同時にコピーを始めます。
- ・〈ストップ〉を押すと操作を中断し、待機画面に戻ります。

コピーをしない場合は〈クリア〉を押します。

コピ` ー` チュウシ シマスカ? スル → スタートキー

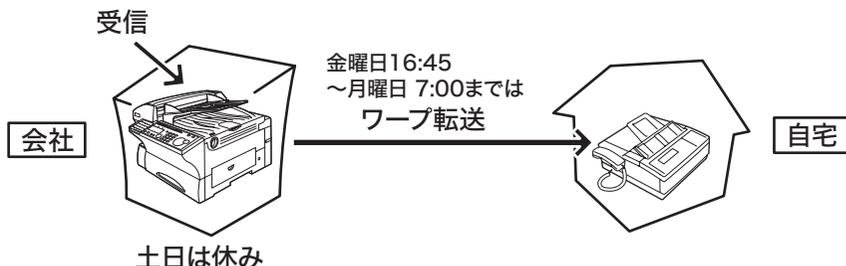


コピ` ー` チュウシ シマスカ? シナイ → クリア キー

- ・交互に表示します。
- ・〈スタート〉を押すと、送信のみ開始します。
- ・〈クリア〉を押すと、前の画面に戻ります。

受信原稿を転送する（ファクスワープ）

設定時間内に受信した原稿を、指定された宛先に転送します。勤務時間外にオフィスに届いたファクスを自宅を確認したいときなどに、たいへん便利です。転送条件は10件まで登録できます。



- 初期設定で受信モードを「デンワ タイキ」以外に設定してください。
(→ 1-29 ページ)
- ご愛用スイッチキーの設定にて「ファクスワープ」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでファクスワープの ON / OFF を設定することができます。
(→ 5-35 ページ)

転送条件を登録する

転送条件の登録には次の内容が登録できます。

- ・ 転送設定……………ファクスワープの設定を ON にし、転送設定を「ON」にすると、個別登録で ON に設定されたファクスワープが有効になります。設定された時間になると転送を始めます。
- ・ 指定時刻……………設定した時刻の範囲で転送を行います。開始時刻・終了時刻を指定しないときは、時刻にかかわらず転送を行います。
- ・ 発信元……………ナンバー・ディスプレイサービスを利用すると設定した相手先からのファクスのみ、転送します。ナンバー・ディスプレイサービスとの契約が必要です。
- ・ 同時プリント…同時プリントを「ON」にすると、転送元でも転送先と同時に受信原稿をプリントします。

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈5〉、〈2〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 352
2 ファクスワープ°	トウロク

2 〈セット〉を押します。

3 未登録の転送条件が表示されます。

テンソウサキ ヲ ト`ウソ`
01:セット サレテイマセン

すでに登録されている条件を変更する場合は、カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で変更したい転送条件を選びます。

4 〈セット〉を押します。

5 転送先番号を入力します。

01:テンソウ バ`ンゴ`ウ
111-222-3333__

- ・ダイヤル記号を入力して、さまざまな機能を指定できます。(→2-21 ページ)
- ・テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルが使用できます。
- ・テンキーによる入力は1カ所のみです。ダイヤル番号は最大40桁です。

6 〈セット〉を押します。

7 転送設定を選びます。

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でON / OFFを選びます。

テンソウ セッテイ : ON
▼/▲/セット

8 〈セット〉を押します。

9 転送する時刻を入力します。

01:シテイ シ`コク
(*) ** : ** — (*) ** : **
開始時間 終了時間

10 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で開始する曜日を入力します。

01:シテイ シ`コク
(金) ** : ** — (*) ** : **

「*」は曜日指定なし(毎日指定)を示します。

11 〈▶〉でカーソルキーを移動してテンキーで開始する時刻を入力します。

01:シテイ シ`コク
(金) * * : * * — (*) * * : * *

- ・時刻は24時間制で入力します。
- ・〈クリア〉を押すと、指定した時刻を消去します。

- 12** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で終了する曜日を入力します。
「*」は曜日指定なし（毎日指定）を示します。
- 13** 〈▶〉でカーソルを移動して、テンキーで終了する時刻を入力します。
・時刻は24時間制で入力します。
・〈クリア〉を押すと、指定した時刻を消去します。
- 14** 〈セット〉を押します。
- 15** テンキーで発信元番号を入力します。
- 01：ハッシンモト バンコウ
 444-555-6666__
- ・ナンバー・ディスプレイサービスに契約していないときは、何も入力しないで次に進みます。
 - ・ハイフンは〈#〉を1回押すと入力できます。
 - ・発信元番号の入力は1カ所のみです。ダイヤル番号は最大20桁です。
- 16** 〈セット〉を押します。
- 17** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で同時プリントのON / OFFを選びます。
- トウジ プリント : OFF
 ▼/▲/セット
- 18** 〈セット〉を押します。
- 19** 続けて転送条件を登録するときは、手順3から操作を繰り返します。
・登録を終了するときは〈ストップ〉を押します。
・ファクスワープを有効にするには、ファクスワープの設定をONにしてください。(→3-34ページ)

補足

- ・操作を中止するときは〈ストップ〉を押します。
- ・すでに登録されている条件を変更する場合は、手順の中で変更したい箇所を表示させ、〈クリア〉で消去してから新しく入力してください。
- ・複数のファクスワープを組み合わせることもできます。

転送条件を消去する

- 1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈5〉、〈3〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 353
3 ファクスワープ	クリア

- 2 〈セット〉 を押します。

- 3 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 で消去したい転送先条件を選びます。

テンソウサキ	ヲ	ト	ウソ
01	: 111	- 222	- 3333

- 4 〈セット〉 を押します。

- 5 消去してよければ、もう一度 〈セット〉 を押します。

- ・ 消去を中止するときは 〈クリア〉 を押します。
- ・ 消去した転送条件以降の転送条件番号が1つずつ前に繰り上がります。

- 6 続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

消去を終了するときは 〈ストップ〉 を押します。

転送条件一覧をプリントする (ファクスワープリスト)

1 <メニュー/文字>、<5>、<1>、<3> と押します。

[キノウ センタク]	No. 513
13 ファクスワーフ	リスト

2 <セット> を押します。

- ・ファクスワープリストがプリントされます。
- ・転送条件が1件も登録されていない場合は、「セット サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株)		Fax:123-456-7890		
ABC商事 総務部				
ABC商事 国際部				
** ファクスワーフ リスト **				
P.1		2014年 1月14日(火) 13:30		
No.	転送先ダイヤル番号	ファクスワーフ°	指定時刻	同時ファ°プリント
1	111-222-3333 発信元 : 444-555-6666	ON	(木)19:00 ~ (金)06:00	OFF
		ON	(-)21:00 ~ (-)06:00	OFF

3
応用編

ファクスワープを設定する前に、転送条件の登録を行ってください。(→ 3-29 ページ)

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈5〉、〈1〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 351
1 ファクスワープ°	セット

2 〈セット〉 を押します。

3 カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 で ON / OFF を選びます。

ファクスワープ°	: OFF
	▼/▲/セット

4 〈セット〉 を押します。

- ・転送条件が登録されているとファクスワープが設定され、次の設定画面になります。
- ・〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

補足 ○

次の受信原稿は、転送しません。

- Fコード親展受信原稿
- Fコード掲示板に蓄積された原稿
- Fコード中継指示を受けた原稿

ボイスワープサービスの利用について

- ・ 詳しくは、当社の窓口へお問い合わせください。
- ・ ハンドセットはオプション品です。(→ 7-20 ページ)

ボイスワープサービスとは？

かかってきた電話を、指定する場所へ転送することができます。操作も簡単で料金もお手頃です。さまざまな用途に合わせた使いかたができます。

「自動転送機能」

かかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号へ自動的に転送します。

- 無条件転送……………かかってきた電話を、転送元の電話を呼び出さずに転送先に直接転送します。転送元には、現在転送中であることをお知らせするため、通常の電話より短い呼び出しベルが3回鳴ります。
- 無応答時転送……………いったん転送元の電話を呼び出したあとに転送します。電話の呼び出しベルが鳴っている間にハンドセットを上げると、電話をかけてきた方と通話できます。転送元の電話の呼び出しベルを鳴らす回数を設定できます。
- 転送トーキ……………電話をかけてきた方に、現在転送中であることを音声でお伝えします。
- 転送元案内トーキ…転送先に、転送元の電話番号を音声でお知らせします。

ボイスワープサービスを利用する前に設定する

ボイスワープサービスを利用するためには、必ず当社へボイスワープサービスの契約をした後に下記の設定を行ってください。

■ 自動転送サービスの停止

現在、当社の自動転送サービスを利用されているお客さまは、サービスの停止をする必要があります。自動転送サービスを利用されていないお客さまは、この設定は必要ありません。

- 1 ハンドセットを上げて、ダイヤルキーで〈1〉、〈4〉、〈2〉と押します。



2 「サービスの停止は数字の 0、サービスの開始は数字の 1、転送先の登録は数字の 2、呼び出し回数の指定は数字の 3、初期設定は数字の 4、ご利用状況の確認は数字の 8 を押してください。」と聞こえます。

3 ダイヤルキーで数字の〈0〉を押します。



4 「サービスを停止いたしました。」と聞こえ、設定が完了します。電話を切ります。

■ 応答後転送の利用を指定する

1 ハンドセットを上げて、ダイヤルキーで〈1〉、〈4〉、〈2〉と押します。



2 「サービスの停止は数字の 0、サービスの開始は数字の 1、転送先の登録は数字の 2、呼び出し回数の指定は数字の 3、初期設定は数字の 4、ご利用状況の確認は数字の 8 を押してください。」と聞こえます。

3 ダイヤルキーで数字の〈4〉を押します。



4 「転送先リストへの登録は数字の 0、転送先のリストによる指定は数字の 1、転送トークのご利用の指定は数字の 2、リモコン操作のご利用の指定は数字の 3、転送元案内のご利用の指定は数字の 4、応答後転送のご利用の指定は数字の 5、操作の終了は数字の 9 を押してください。」と聞こえます。

- 5** ダイヤルキーで数字の〈5〉を押します。



- 6** 「応答後転送のご利用の指定を行います。応答後転送を利用しない場合は数字の0、利用する場合は数字の1を押してください。」と聞こえます。

- 7** ダイヤルキーで数字の〈1〉を押します。



- 8** 「応答後転送ありにセットいたしました。」と聞こえ、手順4の音声メッセージが聞こえます。

- 9** ダイヤルキーで数字の〈9〉を押します。



- 10** 設定が完了します。電話を切ります。

ボイスワープサービスを利用するには、「電話を転送する（フォンワープ）」（→ 3-38 ページ）を参照してください。

電話を転送する（フォワーブ）

設定時間内にかかってきた電話を指定された宛先に転送します。また、登録している発信元からかかってきた電話を、指定された宛先に転送できます。オフィスで担当者の外出中に、お客さまからの電話があったときなど、たいへん便利です。

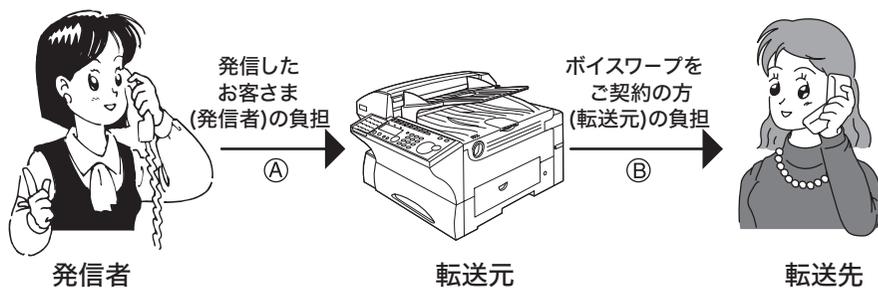
- 転送条件は 10 件まで登録できます。
- 指定時刻内または指定発信元からの電話に限ります。
- 外出先からフォワーブを設定することもできます。（→ 3-44 ページ）
- フォワーブ機能を利用するにはボイスワープサービスの契約が必要です。ボイスワープサービスのご利用については最寄りの当社の窓口へお問い合わせください。
- フォワーブ機能の利用を開始する前に、あらかじめボイスワープサービスを利用する前の設定が必要です。（→ 3-35 ページ）
- 初期設定で受信モードを「ファクス/デンワ タイキ」または「デンワ/ファクス タイキ」に設定してください。（→ 1-29 ページ）
- フォワーブを有効にするには転送条件を登録し、フォワーブの設定を「ON」にしてください。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「フォワーブ」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでフォワーブの ON / OFF を設定することができます。（→ 5-35 ページ）
- 接続環境により、本機能がご利用になれない場合があります。

<通話料について>

発信元のお客さまから転送元（ボイスワープをご契約いただいている電話）まで（下図 A）の通話料は、発信元のお客さまのご負担となります。

転送元から転送先まで（下図 B）の通話料は、転送元（ボイスワープをご契約いただいている電話）のお客さまのご負担となります。

- ・ 転送先がお話し中や応答しない場合、通話料はかかりません。
- ・ PB 回線、ダイヤル回線のいずれもご利用できます。



転送条件を登録する

フォンワープには、時刻指定転送と発信元特定転送があります。

＜時刻指定転送のとき＞

時刻指定…設定した時刻の範囲で転送を行います。

ほかの転送条件と転送時間が重なる場合は登録できません。

＜発信元特定転送のとき＞

発信元……ナンバー・ディスプレイサービスを利用し、発信元番号を登録すると、相手先を限定して転送することができます。

- ・ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- ・ほかの転送条件と発信元が重なる場合は登録できません。

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈6〉、〈2〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 362
2 フォンワープ	トウロク

2 〈セット〉 を押します。

3 未登録の転送条件が表示されます。

テンソウサキ ヲ ト`ウゾ
01:セット サレテイマセン

すでに登録されている条件を変更する場合は、カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で変更したい転送条件を選びます。

4 〈セット〉 を押します。

5 転送先番号を入力します。

01:テンソウ ハ`ンゴ`ウ
111-222-3333__

- ・ダイヤル記号を入力して、さまざまな機能を指定できます。(→ 2-21 ページ)
- ・テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルが使用できます。
- ・転送先番号の入力は1ヵ所のみです。ダイヤル番号は最大40桁です。

6 〈セット〉 を押します。

7 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で「ジコク シテイ」または「ハッシンモト トクテイ」を選びます。

テンソウ	: ジ`コク シテイ
	▼/▲/セット

8 〈セット〉を押します。

- ・手順7で「ジコク シテイ」を選んだ場合は、手順9に進みます。
- ・手順7で「ハッシンモト トクテイ」を選んだ場合は、手順16に進みます。

■ 時刻指定転送の場合

9 開始時刻を入力します。

10 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で曜日を入力します。

01 : シテイ ジ` コク (金) ** : ** — (*) ** : **

11 〈▶〉でカーソルを移動してテンキーで開始する時刻を入力します。

01 : シテイ ジ` コク (金) * * : * * — (*) * * : * *

- ・時刻は24時間制で入力します。
- ・〈クリア〉を押すと、指定した時刻を消去します。

12 終了時刻を入力します。

13 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で曜日を入力します。

14 〈▶〉でカーソルを移動して、テンキーで終了する時刻を入力します。

- ・時刻は24時間制で入力します。
- ・〈クリア〉を押すと、指定した時刻を消去します。

15 〈セット〉を押します。

手順18に進みます。

■ 発信元指定転送の場合

16 テンキーで発信元番号を入力します。

01 : ハッシンモト ハ` ンゴ` ウ 4 4 4 — 5 5 5 — 6 6 6 6 _

- ・ハイフンは〈#〉を1回押すと入力できます。
- ・発信元番号の入力は1カ所のみです。ダイヤル番号は最大20桁です。

17 〈セット〉を押します。

18 続けて転送条件の登録をするときは、手順3から操作を繰り返します。

登録を終了するときは〈ストップ〉を押します。

補足 ○

転送先の電話番号を間違えないように注意してください。転送先の方にも、かけてこられた方にも迷惑がかかりますので、正確に登録してください。

転送条件を消去する

- 1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈6〉、〈3〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 363
3 フォンワープ	クリア

- 2 〈セット〉 を押します。

- 3 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 で消去したい転送条件を選びます。
テンキーで選ぶこともできます。

テンソウサキ	ヲ	ト	ウゾ
01	: 111	- 222	- 3333

- 4 〈セット〉 を押します。

- 5 消去してよければ、もう一度 〈セット〉 を押します。

- ・消去を中止するときは 〈クリア〉 を押します。
- ・消去した転送条件以降の転送条件番号が1つずつ前に繰り上がります。

- 6 続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

消去を終了するときは 〈ストップ〉 を押します。

転送条件一覧をプリントする（フォンワープリスト）

- 1 〈メニュー/文字〉、〈5〉、〈1〉、〈4〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 514
14 フォンワープ	リスト

- 2 〈セット〉 を押します。

- ・フォンワープリストがプリントされます。
- ・転送条件が1件も登録されていない場合は、「セット サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株) Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

** フォンワーブ リスト **

P.1 2014年 1月14日(火) 13:30

No.	転送先・転送方法
1	S 001 指定時刻：(木)19:00 ~ (金)06:00
2	111-222-3333 発信元特定：444-555-6666
3	[01] 指定時刻：(日)22:00 ~ (火)05:00

フォンワーブを設定する

初期設定：OFF

フォンワーブを設定する前に、転送条件の登録を行ってください。(→ 3-39 ページ)

- 1 <メニュー/文字>、<3>、<6>、<1> と押します。

[キノウ センタク]	No. 361
1 フォンワーブ	セット

- 2 <セット> を押します。

- 3 カーソルキーの <▲>、<▼> で ON / OFF を選びます。

フォンワーブ	: OFF
	▼/▲/セット

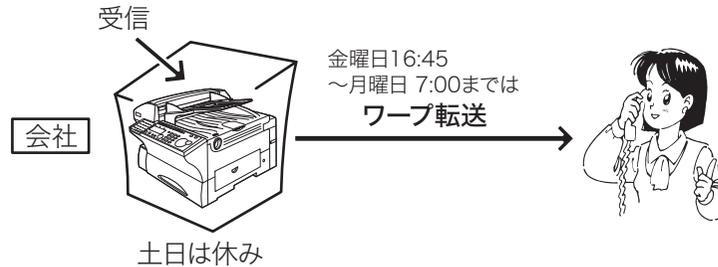
- 4 <セット> を押します。

- 5 ON を選んだ場合で受信モードが「ファクス タイキ」「ルス/ファクス タイキ」「デンワ タイキ」に設定されているときは、「ファクス/デンワ タイキ」に切り替えるかどうかの選択画面が表示されます。

- ・「ファクス/デンワ タイキ」に切り替える場合は、<セット> を押します。
- ・<クリア> を押したときは、フォンワーブの設定は OFF のままになります。
- ・<ストップ> を押すと待機画面に戻ります。

フォンワープの動作

「#」を押す場合は、プッシュホンまたはPB信号を送ることができる電話機から行ってください。ダイヤル回線でPB信号を送ることができる電話機の場合は、PB信号に切り替えてください。



■ 電話をかけたとき

- 1 ファクスに電話をかけます。
- 2 着信したら「電話をご利用の方は、そのまましばらくお待ちください。ファクシミリをご利用の方は、スタートボタンを押してください。」と聞こえます。
 - ・ここで「#」を押すと、リモート操作（フォンワープのON / OFFの設定）ができます。（→3-44ページ）
 - ・〈スタート〉を押すと、送信が始まります。
- 3 「ただいまより電話を転送いたします。」と聞こえ、保留メロディーが流れます。
- 4 相手先と通話します。



■ 電話を受けたとき

- 1 受話器を取ります。
- 2 「ただいまより電話を転送いたします。よろしければ#を押してください。」と聞こえます。電話に出る場合は〈#〉を押します。

外出先からの操作（リモート操作）

外出先からファクスに電話をかけて、フォンワープを設定することができます。

- リモート操作は、プッシュホンまたは PB 信号を送ることができる電話機から行ってください。ダイヤル回線で PB 信号を送ることができる電話機の場合は、電話をかけたあと PB 信号に切り替えてください。
- 初期設定で受信モードが「ファクス／デンワ タイキ」または「デンワ／ファクス タイキ」に設定されている必要があります。（→ 1-29 ページ）
- 事前登録が必要です。
 1. ワープ暗証番号の登録（→ 5-42 ページ）
 2. 転送条件の登録（→ 3-39 ページ）

1 ファクスに電話をかけます。

2 着信したら〈#〉を押します。

- ・着信後、4 秒間無音状態になり、その後呼び出しベルが鳴り始めます。呼び出しベルの鳴動が開始されると、〈#〉が認識できないことがあります。
- ・フォンワープの設定が ON のときは「電話をご利用の方は、そのまましばらくお待ちください。ファクシミリをご利用の方は、スタートボタンを押してください。」と聞こえます。〈#〉を押してください。

3 「暗証番号を押してください。」と聞こえたら、ダイヤルキーで暗証番号（4 桁）を押します。



暗証番号が正しくない場合、「番号が間違っています。」と聞こえます。暗証番号を押し直してください。

4 「自動転送する場合は数字の 1、解除するには数字の 2 を押してください。」と聞こえます。自動転送（設定を ON）するときには数字の〈1〉を、解除（設定を OFF）するときには数字の〈2〉を押します。



〈1〉、〈2〉以外の数字を押した場合は、「番号が間違っています。」と聞こえます。番号を押し直してください。

■ 〈1〉 を押したとき

- ・ 事前に転送先の登録がある場合は、「自動転送を設定しました。」と聞こえます。
- ・ 手順 5 に進みます。
- ・ 事前に転送先の登録がない場合は、「事前登録がないため、設定できません。」と聞こえ、回線が切れます。

■ 〈2〉 を押したとき

- ・ 「自動転送を解除しました。」と聞こえます。
- ・ 手順 5 に進みます。

5 「設定が完了しました。続けて操作する場合は数字の 0 を、終了する場合は数字の 9 を押してください。」と聞こえます。続けて操作するときは数字の 〈0〉 を、操作を終了するときは数字の 〈9〉 を押します。



- ・ 〈9〉 を押した場合は、この操作で終了です。電話をお切りください。
- ・ 〈0〉、〈9〉以外の数字を押した場合は、「番号が間違っています。」と聞こえます。番号を押し直してください。

6 〈0〉 を押したときは、手順 3 から操作を繰り返します。

補足

間違った操作を 3 回以上行くと、「お確かめのうえ、おかけ直してください。」と聞こえ、回線が切れます。

1 回線で複数の番号をつける(ダイヤルイン)

ダイヤルイン契約した電話番号(3番号分まで)をファクス番号、ハンドセット用番号、増設電話用番号として登録し、その登録に基づいてダイヤルイン着信したときの4桁の番号で、ファクス受信および電話を区別することができます。

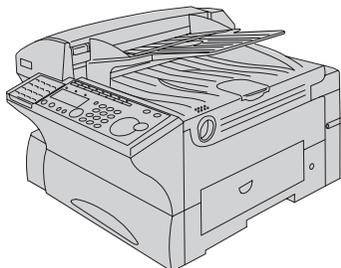
あらかじめ当社へお申し込みください。

- ダイヤルインとナンバー・ディスプレイの両方をご使用になる場合は、モデムダイヤルインの契約を行ってください。
- ダイヤルイン利用時は、増設電話でナンバー・ディスプレイを利用することはできません。増設電話に、ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「OFF」にしてください。
- 電話とファクスは同時に使用できません。
- あらかじめ初期設定(→1-29ページ)で、受信モードを「ダイヤルイン タイキ」に設定した上で、ダイヤルインの登録(→1-33ページ)を行ってください。

ダイヤルインのときの動き

■ ファクス用番号にかかってきた場合

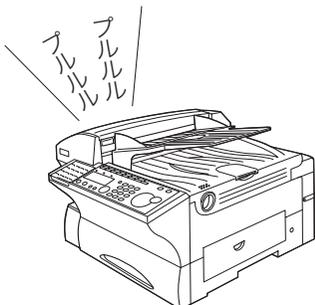
- 1 呼び出しベルを鳴らさず、受信を開始します。



■ ハンドセット用番号/増設電話用番号にかかってきた場合

- 1 呼び出しベルが30(10~60)秒鳴ります。

- ・ハンドセットと増設電話に同じ番号を登録しているときは、同時に呼び出しベルが鳴ります。
- ・モデムダイヤルインをご使用の場合は、相手側が電話を切るまで呼び出しベルが鳴り続きます。



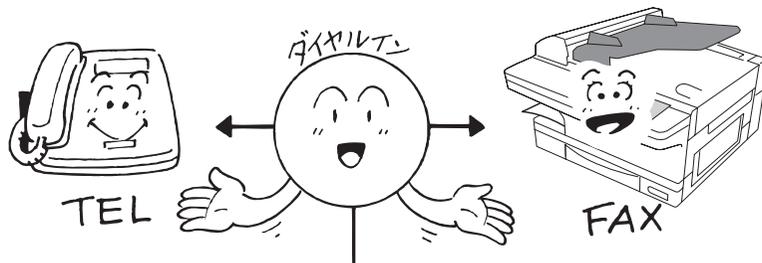
2 ハンドセットまたは増設電話の受話器を取って通話します。

相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。ハンドセットで受けたときは、〈スタート〉を押してください。増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで〈5〉、〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。(受信後は受話器を戻してください)



ダイヤルインについて

本商品はダイヤルインを利用し、1本の回線でファクスと電話を自動的に切り替えて使用することができます。あらかじめファクス用、電話用の内線電話番号を設定しておけば、ファクス用電話番号にかかってきたときは、呼び出しベルを鳴らさずにファクス受信し、電話用電話番号にかかってきたときは、呼び出しベルを鳴らして呼び出します。



お願い

- ・ダイヤルインのご利用については、利用契約が必要ですのでNTT 通信機器お取扱相談センターへお問い合わせください。
- ・ダイヤルインとナンバー・ディスプレイの両方をご使用になる場合は、モデムダイヤルインの契約を行ってください。
- ・ダイヤルインのご契約の際、送出番号は必ず4桁にしてください。
- ・停電時は、ハンドセットを使って電話をかけることはできますが、ファクスの送信・受信をすることはできません。ファクス用番号にかかってきた場合でも、電話用番号にかかってきた場合と同じ動作になります。(下記参照)
- ・停電時に電話を受けるには、以下のような特別な操作を行う必要があります。

【PB ダイヤルインをご契約の場合】

- ①呼び出しベルが2回鳴るまでにハンドセットを上げる。
- ②PB信号「ピッポッパッ」という発信音を聞く。
- ③発信音の後、2秒以内にハンドセットを元に戻す。
- ④もう一度、ハンドセットを上げると通話できる。

【モデムダイヤルインをご契約の場合】

- ①短い間隔の呼び出しベルが鳴り終わるまで待つ。約6秒(呼び出しベル音約7回)
- ②呼び出しベルの間隔が長くなったときにハンドセットを上げると通話できる。
※①の呼び出しベルでハンドセットを上げた場合、「ピーガー」という発信音を聞いたらすぐにハンドセットを元に戻してください。その後、再び呼び出しベルが鳴りますので、ハンドセットを上げると通話できます。

補足

- ・ダイヤルインを設定すると受信モードは、「ダイヤルイン待機」に固定されます。「ダイヤルイン待機」では、あらかじめ設定された受信モードにかかわらず、ファクス用番号にかかってきたら呼び出しベルを鳴らさずにファクスが自動受信し、電話用番号にかかってきたら呼び出しベルが鳴ります。
- ・電話呼び出しのベルは、相手が待っているかどうかに関係なく、約30秒間(初期設定)で鳴り終わります。そのため、呼び出しベルが鳴り終わってからハンドセットを上げててもまだ相手先が待っていれば、電話がつながることがありますので、電話の呼び出しベルが鳴ったときは、鳴り終わっても一度ハンドセットを上げて電話が切れていることを確認してください。また、相手が電話を切った場合でも、電話の呼び出しベルが鳴る場合があります。そのため、ベルが鳴っている間にハンドセットを上げてても、電話が切れていることがあります。故障ではありません。また、呼び出しベルが鳴る時間を変えることができます。(→1-33ページ)

通信モードを選択して送信する

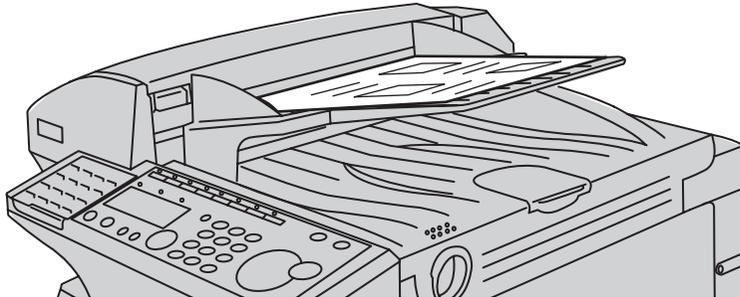
通信モード選択機能はボタンを押すことにより、あらかじめ機器に設定された特定の通信モードで送信する事が可能になる機能です。

- 設定には工事保守者による設定が必要です。
- 詳しくは NTT 通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。
- 機器設定で常に特定通信を ON に設定することもできます。(→ 5-43 ページ)

3

応用編

1 送信する面を上にして原稿をセットします。



2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた (→ 2-7 ページ)

3 〈通信モード選択機能〉を押します。

ランプが点灯し、特定通信モードが ON になります。

4 相手先のファクス番号を入力します。

スタートキー ワ ドウゾ
1 1 1 2 2 2 3 3 3 3 _

- ・ダイヤル記号を入力して、さまざまな機能を指定できます。(→ 2-21 ページ)
- ・テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、宛先表、グループダイヤルが使用できます。
- ・〈同報〉を押すことにより、最大 220 宛先まで指定できます。(テンキー入力による指定は 20 宛先までです。)

5 〈スタート〉を押します。

補足 ○

- ・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して訂正してください。
- ・原稿読み取り後は、〈ファクス中止〉で予約を消去できます。(→ 2-24 ページ)

通信を管理する

通信を管理するために以下の機能があります。

通信管理レポート

本商品は最新の送信・受信の合計 100 通信の通信管理記録を記録しており、それ以前の通信管理記録は順次自動消去します。

送信管理レポート

最新の 100 通信のうち、送信の記録をプリントします。

受信管理レポート

最新の 100 通信のうち、受信の記録をプリントします。

通信記録の設定をすると、最新の送信・受信が合わせて 100 通信になった場合に、送信管理レポート・受信管理レポートを同時にプリントします。(→ 3-52 ページ)

日報

常に最新の通信状況だけプリントしたい場合は、日報をプリントします。日報で一度プリントした通信状況は、再度日報をプリントしても記載されません。

たとえば、月曜日から金曜日までは毎日終業時に日報としてプリント。月曜日の始業時には、金曜日にプリントした以降（金曜終業時から月曜始業時まで）の通信状況をプリント、という使いかたができます。

指定した時刻に日報を自動プリントすることもできます。(→ 3-54 ページ)

送信確認証

- ・ 1 送信ごとの通信枚数や通信モードなどの通信結果をプリントして確認できます。
- ・ 送信確認証は送信のたびに毎回プリントすることもできます。

通信履歴の表示・通信結果のプリント

画面上で 70 通信分の通信履歴を確認できます。また、通信ごとの通信結果をプリントすることもできます。(→ 2-30 ページ)

通信予約リスト

通信予約リストをプリントできます。(→ 3-57 ページ)

通信予約原稿のプリント

通信予約している原稿をプリントすることができます。

通信管理レポートをプリントする

- 1** 〈メニュー/文字〉、〈5〉、〈0〉、〈3〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 503
03 ツウシンキロク	

- 2** 〈セット〉 を押します。

- 3** カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 でプリントしたい通信記録を選びます。



- ・「ソウシンキロク」：送信管理レポート
- ・「ジュシンキロク」：受信管理レポート
- ・「ソウジュシンキロク」：送信管理レポート、受信管理レポートを同時にプリント
- ・「ニッポウ」：日報

- 4** 〈セット〉 を押します。

- ・選択した通信管理レポートがプリントされます。
- ・通信記録がない場合は、「ツウシンケッカ アリマセン」と表示され、リストはプリントされません。

通信管理レポートの自動プリントを設定する 初期設定：OFF

ON に設定すると、最新の送信、受信が合わせて 100 通信になると通信管理レポートを自動的にプリントします。

- 1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈1〉、〈1〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 311
1 ツウシンキロク	ジ ト ウセッテイ

- 2 〈セット〉 を押します。

- 3 カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 で ON / OFF を選びます。

ジ ト ウ プ リント	: OFF
	▼/▲/セット

- 4 〈セット〉 を押します。

- ・自動プリントが設定され、次の設定画面になります。
- ・〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

ON に設定すると、毎日設定した時刻に日報をプリントします。

ご愛用スイッチキーの設定にて「日報」を設定すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで日報をプリントすることができます。(→ 5-35 ページ)

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈1〉、〈3〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 313
3 ニッポ° ウジ° コクシテイ	

2 〈セット〉を押します。

3 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で ON / OFF を選択します。

ニッポ° ウジ° コクシテイ	: OFF
	▼/▲/セット

4 〈セット〉を押します。

OFF を押した場合は、この操作で終了です。

5 テンキーで日報のプリント時間を入力します。

間違えて入力したときや登録されている時刻を変更するときは、上書きして修正してください。

ニッポ° ウジ° コクシテイ	
ジ° コクラ ト° ウゾ°	17:40

6 〈セット〉を押します。

- ・日報のプリント時刻が設定され、次の設定画面になります。
- ・〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

送信確認証のプリントを設定する

初期設定：OFF

ON に設定すると、送信するたびに送信確認証をプリントします。

ご愛用スイッチキーの設定にて「送信確認証」を設定すると、1 通信ごとに送信確認証の ON / OFF を切り替えることができます。(→ 5-35 ページ)

- 1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈1〉、〈2〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 312
2 ソウシンカクニンショウ	セット

- 2 〈セット〉 を押します。

- 3 カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 で ON / OFF を選びます。

ジ ト ウ プ リ ント	: OFF
	▼ / ▲ / セット

- 4 〈セット〉 を押します。

- ・送信確認証が設定され、次の設定画面になります。
- ・〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

通信予約リストをプリントする

メモリーに蓄積された原稿で、まだ送信を完了していない原稿の一覧をプリントできます。

1 〈メニュー/文字〉、〈5〉、〈0〉、〈4〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 504
04 ツウシンヨヤク	リスト

2 〈セット〉を押します。

- ・通信予約リストがプリントされます。
- ・蓄積された原稿がない場合は、「ツウシンマチ アリマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事 総務部
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

Fax:123-456-7890

*** 通信予約リスト ***

P.1

2014年 1月14日(火) 13:30

No.	ダイヤル番号	指定日時	応用機能	備考
C01	111222333,S001	30, 7:00	同報	
C02	[01],S002	29, 21:00	同報	
C03	12345678	30, 9:00	ホ°-リンク°	

通信予約原稿をプリントする

通信予約している原稿をプリントして確認することができます。

1 〈メニュー/文字〉、〈4〉、〈3〉、〈4〉 と押します。

[キノウ センタク] No. 434
4 ヨヤク ゲ`ンコウ

2 〈セット〉 を押します。

ヨヤク ゲ`ンコウ	
ヨヤク ハ`ンゴ`ウ	: _

3 テンキーで予約番号 (2桁) を入力します。

ヨヤク ゲ`ンコウ	
ヨヤク ハ`ンゴ`ウ	: 0 <u>1</u>

4 〈セット〉 を押します。

- ・予約されている原稿がプリントされます。
- ・予約番号が、リアルタイム送信の予約、またはポーリングの予約のときは予約原稿をプリントできません。
- ・通信予約原稿がない場合は、「ツウシンマチ アリマセン」と表示され、通信予約原稿はプリントされません。

第 4 章

セキュリティ編

セキュリティ

セキュリティコードの登録.....	4-2
管理者パスワードの設定.....	4-2
プロテクトコードの設定.....	4-4
ファクス通信する相手を限定する（閉域通信）.....	4-7
閉域送信を設定する.....	4-7
閉域受信を設定する.....	4-8
特定の相手機とだけポーリングする（パスコードポーリング）.....	4-9
パスコードについて.....	4-10
パスコードを登録する.....	4-10
パスコードの通信と範囲.....	4-11
相手機番号を確認してから送信する（ID チェック送信）.....	4-13
ID チェック送信を設定する.....	4-13
宛先を確認してから送信する（宛先 2 度押し）.....	4-14
宛先 2 度押しを設定する.....	4-14
宛先 2 度押し送信のしかた.....	4-16
機能の制限について.....	4-17
複数の宛先入力を禁止する（同報禁止）.....	4-18
同報禁止の設定.....	4-18
同報禁止の動作について.....	4-19
受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）.....	4-20
セキュリティ受信を設定する.....	4-20
セキュリティ受信した原稿をプリントする.....	4-21
ダイレクトメールを防止する.....	4-22
登録する.....	4-22
登録した番号を変更または消去する.....	4-24
ダイレクトメール防止ダイヤルリストをプリントする.....	4-25

プロテクト

設定や操作を制限する（プロテクト機能）.....	4-26
プロテクト機能を設定する.....	4-27
プロテクト機能の使いかた.....	4-28
機能の制限について.....	4-30

セキュリティコードの登録

セキュリティ機能とプロテクト機能を設定する場合、あらかじめ管理者パスワードとプロテクトコードの登録が必要です。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードを設定すると、ファクス送信操作時の誤操作を防ぐ設定や、管理者以外による機器設定変更などの操作に制限をかけるなど、管理者による一元管理が可能になります。

以下を設定する場合は、管理者パスワードが必要になります。

- ・閉域通信
- ・パスコードの登録
- ・IDチェック送信
- ・宛先2度押し
- ・同報禁止
- ・セキュリティ受信
- ・プロテクト機能
- ・パスコード
- ・パスコードポーリング

管理者パスワードを登録する管理者パスワードとして使用できるのは、半角英数字と記号です。20桁まで登録できます。

■ 管理者パスワードを登録する

- 1 〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈9〉と押します。

[キノウ センタク] No. 2109
09 カンリシャ パスワード

- 2 〈セット〉を押します。
- 3 登録したいパスワードを入力します。

文字の入力方法 (→ 5-3 ページ)

NEW パスワード ; エイスウ
5 6 7 8

- 4 〈セット〉を押します。
〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

■ 管理者パスワードを変更/削除する

1 〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈9〉 と押します。

[キノウ センタク] No. 2109
09 カンリシャ パ スワード`

2 〈セット〉 を押します。

3 現在のパスワードを入力します。

OLD パ スワード` ;エイスウ
1 2 3 4

4 〈セット〉 を押します。

5 新しいパスワードを入力します。

- ・ 文字の入力方法 (→ 5-3 ページ)
- ・ パスワードを削除したい場合は、新しいパスワードに何も入力しないでください。

NEW パ スワード` ;エイスウ
5 6 7 8

6 〈セット〉 を押します。

〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

プロテクトコードの設定

プロテクトコードは、プロテクト機能やセキュリティ受信の設定を行うときに必要な4桁の番号です。プロテクトコードは任意の番号を登録できます。登録後は番号を控え保管してください。

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(→ 4-2 ページ)

■ プロテクトコードを登録する

- 1 〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈6〉 と押します。

[キノウ センタク] No. 2106 06 プ ロテクトコード`

- 2 〈セット〉 を押します。

- 3 管理者パスワードを入力します。

カンリシャ パ` スワート` ;エイヌウ 5678

- 4 〈セット〉 を押します。

- 5 テンキーで「0000」を入力します。

プ` ロテクトコード` Old プ` ロテクトコード` : <u>0000</u>

- 6 〈セット〉 を押します。

- 7 テンキーで設定するプロテクトコードを入力します。

プ` ロテクトコード` New プ` ロテクトコード` : <u>1234</u>

- 8 〈セット〉 を押します。

- ・ プロテクトコードが設定され、次の設定画面になります。
- ・ 〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

補足 ○

- ・ 「0000」は登録できません。「0000」はプロテクトコードを削除するときに入力する番号です。(→ 4-6 ページ)
- ・ 設定したプロテクトコードは忘れないようにメモを控え保管してください。プロテクトコードを解除する際にも、プロテクトコードの入力が必要です。

■ プロテクトコードを変更する

1 〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈6〉 と押します。

[キノウ センタク] No. 2106 06 プ° ロテクトコード`

2 〈セット〉 を押します。

3 管理者パスワードを入力します。

カンリシャ ハ° スワート` ; エイスウ 567 <u>8</u>

4 〈セット〉 を押します。

5 テンキーで現在のプロテクトコードを入力します。

プ° ロテクトコード` Old プ° ロテクトコード` : <u>1</u> 234

6 〈セット〉 を押します。

7 テンキーで新しいプロテクトコードを入力します。

プ° ロテクトコード` New プ° ロテクトコード` : <u>1</u> 111

8 〈セット〉 を押します。

- ・ プロテクトコードが設定され、次の設定画面になります。
- ・ 〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

■ プロテクトコードを削除する

1 〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈6〉 と押します。

[キノウ センタク] No. 2106
06 プ° ロテクトコート`

2 〈セット〉 を押します。

3 管理者パスワードを入力します。

カンリシャ ハ° スワート` ; エイスウ
567 <u>8</u>

4 〈セット〉 を押します。

5 テンキーで現在のプロテクトコードを入力します。

プ° ロテクトコート`
Old プ° ロテクトコート` : <u>1</u> 234

6 〈セット〉 を押します。

7 テンキーで「0000」と入力します。

8 〈セット〉 を押します。

・ 〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

補足 ●

セキュリティ受信した原稿があるときは削除できません。

ファクス通信する相手を限定する（閉域通信）

閉域通信を設定すると、当社機（一部の機種を除く）にのみファクスの送受信が可能になります。パスコードも設定しておくことで当社機（一部の機種を除く）であっても、セキュリティ機能を持ち、なおかつ同じパスコードが登録されている相手機としかファクスの送受信をしないようにすることもできます。閉域通信は、送受信別々に設定することができます。

閉域送信を設定する

初期値：OFF

- 手動送信（ハンドセットや〈オンフック〉を使った送信）の場合は、閉域送信を ON にしても、閉域送信機能は無効になります。
- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。（→ 4-2 ページ）
- パスコードを設定するときは、「パスコードを登録する」（→ 4-10 ページ）を参照してください。
- 閉域通信とパスコードによる通信範囲の詳細については、「パスコードの通信と範囲」（→ 4-11 ページ）を参照してください。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「閉域送信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで閉域送信の ON / OFF を設定することができます。（→ 5-35 ページ）

補足 ○

対応機種については、NTT 通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。

1 〈メニュー／文字〉、〈3〉、〈7〉、〈0〉、〈1〉 と押します。

2 管理者パスワードを入力します。

文字の入力方法（→ 5-3 ページ）

カンリシャ	ハ	スワート	;	エイスイ
5	6	7	8	

3 〈セット〉を押します。

[キノウ	センタク]	No.	3701
01	ハイイキ	ソウシン	

4 〈セット〉を押します。

5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で ON / OFF を選びます。

ヘイイキ ソウシン	: OFF
▼ / ▲ / セット	

6 〈セット〉を押します。

- ・ 閉域送信が設定され、次の設定画面になります。
- ・ 〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

閉域受信を設定する

初期値 : OFF

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(→ 4-2 ページ)
- パスコードを設定するときは、「パスコードを登録する」(→ 4-10 ページ)を参照してください。
- 閉域通信とパスコードによる通信範囲の詳細については、「パスコードの通信と範囲」(→ 4-11 ページ)を参照してください。

補足 ○

対応機種については、NTT 通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈7〉、〈0〉、〈2〉と押します。

2 管理者パスワードを入力します。

文字の入力方法 (→ 5-3 ページ)

カンリシャ パ スワート ; エイスウ
5 6 7 8

3 〈セット〉を押します。

[キノウ センタク] No. 3702
02 ヘイイキ ジ ユシン

4 〈セット〉を押します。

5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で ON / OFF を選びます。

ヘイイキ ジ ユシン	: OFF
▼ / ▲ / セット	

6 〈セット〉を押します。

- ・ 閉域受信が設定され、次の設定画面になります。
- ・ 〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

特定の相手機とだけポーリングする（パスコードポーリング）

パスコードポーリングを ON にすると、当社機（一部の機種を除く）で本機能を搭載している相手機にだけ、ポーリング送信します。

さらに、パスコードを設定すると相手機が当社機（一部の機種を除く）で本機能を搭載しており、かつ自機のパスコードと同じパスコードが設定されている場合だけポーリング送信します。（→ 4-10 ページ）

補足

対応機種については、NTT 通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈7〉、〈1〉、〈0〉 と押します。

2 管理者パスワードを入力します。

文字の入力方法（→ 5-3 ページ）

カンリシャ	ハ°	スワート°	;	エイスイ
5	6	7	8	

3 〈セット〉 を押します。

[キノウ	センタク]	No.	3710
10	ハ°	スコート°	ポ°
			ーリング°

4 〈セット〉 を押します。

5 カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 で ON / OFF を選びます。

ハ°	スコート°	ポ°	ーリング°	:	OFF
				▼/▲/	セット

6 〈セット〉 を押します。

- ・パスコードポーリングが設定され、次の設定画面になります。
- ・〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

パスコードについて

閉域送信および閉域受信、パスコードポーリングの利用に必要なパスコードを登録します。

パスコードを登録しなかった場合でも閉域受信および閉域送信は利用できますが、セキュリティ機能を強化するためにはパスコードの登録を行ってください。

パスコードを登録する

初期値：0000

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(→ 4-2 ページ)
- パスコードを設定するときは、「0000」以外の番号を入力してください。「0000」を入力すると、パスコード設定が解除されます。
- パスコードは忘れないようにしてください。

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈7〉、〈0〉、〈3〉 と押します。

2 管理者パスワードを入力します。

文字の入力方法 (→ 5-3 ページ)

カンリシャ	ハ° スコート°	;	エイヌウ
5 6 7 8			

3 〈セット〉 を押します。

[キノウ センタク]	No. 3 7 0 3
0 3	ハ° スコート°

4 〈セット〉 を押します。

5 テンキーでパスコードを入力 (4桁) します。

ハ° スコート°	
ハ° スコート°	: 1 1 1 1

6 〈セット〉 を押します。

- ・ パスコードが設定され、次の設定画面になります。
- ・ 〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

補足

パスコードを解除するときは、「0000」を入力します。

パスコードの通信と範囲

■ 閉域送信を ON にした場合

- ・ 閉域送信を ON にすると、本機能を搭載している機器に限定されます。
- ・ パスコードを設定した場合は、本機能を搭載しており、かつ自機のパスコードと同じパスコードが設定されている場合だけ送信可能になります。

閉域送信	自機のパスコード	相手機（受信機）	相手機のパスコード	結果
ON	設定なし (0000)	本機能を搭載していない	—	通信エラー
		本機能を搭載している	—	通信 OK
	設定あり 例：1234	本機能を搭載していない	—	通信エラー
		本機能を搭載している (セキュリティー機能なし)	—	通信エラー
		本機能を搭載している (セキュリティー機能あり)	自機のパスコードと異なる場合	通信エラー
			自機のパスコードと同じ場合	通信 OK

通信エラーになった場合は、チェックメッセージが印字され、エラーコード「T.2.2」が記載されます。

■ 閉域受信を ON にした場合

- ・ 閉域受信を ON にすると、本機能を搭載している機器からのみファクス受信します。
- ・ パスコードを設定した場合は、本機能を搭載しており、かつ自機のパスコードと同じパスコードが設定されている場合だけ受信可能になります。

閉域受信	自機のパスコード	相手機（送信機）	相手機のパスコード	結果
ON	設定なし (0000)	本機能を搭載していない	—	通信エラー
		本機能を搭載している	—	通信 OK
	設定あり 例：1234	本機能を搭載していない	—	通信エラー
		本機能を搭載している (セキュリティー機能なし)	—	通信エラー
		本機能を搭載している (セキュリティー機能あり)	自機のパスコードと異なる場合	通信エラー
			自機のパスコードと同じ場合	通信 OK

■ パスコードポーリングを ON にした場合

- ・ パスコードポーリングを ON にすると、ポーリング送信する本機能を搭載している機器に限定されます。
- ・ パスコードを設定した場合は、本機能を搭載しており、かつ自機のパスコードと同じパスコードが設定されている場合だけポーリング送信します。

パスコードポーリング	自機のパスコード	相手機	相手機のパスコード	結果	
ON	設定なし (0000)	本機能を搭載していない	—	通信エラー	
		本機能を搭載している	—	通信 OK	
	設定あり 例：1234	本機能を搭載していない	—	通信エラー	
		本機能を搭載している	自機のパスコードと異なる場合	—	通信エラー
			自機のパスコードと同じ場合	—	通信 OK

相手機番号を確認してから送信する (ID チェック送信)

ID チェック送信を設定する

初期値：OFF

ID チェック送信を設定すると、ダイヤルしたファクス番号の下4桁と相手機に登録されているファクス番号の下4桁を照合し、一致した場合のみファクス送信します。回線障害などにより相手先番号と違ったファクスに間違えて送信されるトラブルを減らすことができます。

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(→ 4-2 ページ)
- ご愛用スイッチキーの設定にて「ID チェック送信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけで ID チェック送信の ON / OFF を設定することができます。(→ 5-35 ページ)

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈7〉、〈0〉、〈4〉 と押します。

2 管理者パスワードを入力します。

文字の入力方法 (→ 5-3 ページ)

カンリシャ	ハ	スワード	;	エイスイ
5	6	7	8	

3 〈セット〉を押します。

[キノウ	センタク]	No.	3704
04	IDチェック	ソウシン	

4 〈セット〉を押します。

5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で ON / OFF を選びます。

IDチェック	ソウシン	:	OFF
		▼/▲/	セット

6 〈セット〉を押します。

- ・ ID チェック送信が設定され、次の設定画面になります。
- ・ 〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

補足

- ・ 以下の場合には通信エラーとなり、送信できません。
相手先に登録されているファクス番号の下4桁と、入力した番号の下4桁が一致しなかった場合。
相手先にファクス番号が登録されていなかった場合。

宛先を確認してから送信する(宛先2度押し)

テンキー、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルで相手先ファクス番号を入力した場合に、入力したファクス番号の再入力画面が表示されます。番号を再入力することで入力間違いがないかを確認でき、間違った相手先にファクス送信するのを防ぎます。

設定できる2度押し機能は下記のとおりです。

- ・ダイヤル2度押し (→4-14 ページ)
- ・短縮2度押し (→4-15 ページ)
- ・ワンタッチ2度押し (→4-15 ページ)
- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(→4-2 ページ)
- 宛先表を利用して宛先を入力するときは選択できる宛先が変わります。(→4-17 ページ)

宛先2度押しを設定する

■ ダイヤル2度押しを設定する

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈7〉、〈0〉、〈5〉と押します。

2 管理者パスワードを入力します。

文字の入力方法 (→5-3 ページ)

カンリシャ パ° スワート° ; エイスウ
5 6 7 8

3 〈セット〉を押します。

[キノウ センタク] No. 3 7 0 5
0 5 ダ° イヤル 2ト° オシ

4 〈セット〉を押します。

5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でON / OFFを選びます。

ダ° イヤル 2ト° オシ : OFF
▼/▲/セット

6 〈セット〉を押します。

- ・ダイヤル2度押しが設定され、次の設定画面になります。
- ・〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

■ 短縮 2 度押しを設定する

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈7〉、〈0〉、〈6〉 と押します。

2 管理者パスワードを入力します。

文字の入力方法 (→ 5-3 ページ)

カンリシャ ハ° スワート° ; エイスウ
5 6 7 8

3 〈セット〉 を押します。

[キノウ センタク] No. 3 7 0 6
0 6 タンシュク 2 ト° オシ

4 〈セット〉 を押します。

5 カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 で ON / OFF を選びます。

タンシュク 2 ト° オシ : OFF
▼ / ▲ / セット

6 〈セット〉 を押します。

- ・ 短縮 2 度押しが設定され、次の設定画面になります。
- ・ 〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

■ ワンタッチ 2 度押しを設定する

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉 と押します。

2 管理者パスワードを入力します。

文字の入力方法 (→ 5-3 ページ)

カンリシャ ハ° スワート° ; エイスウ
5 6 7 8

3 〈セット〉 を押します。

[キノウ センタク] No. 3 7 0 7
0 7 ワンタッチ 2 ト° オシ

4 〈セット〉 を押します。

5 カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 で ON / OFF を選びます。

ワンタッチ 2 ト° オシ : OFF
▼ / ▲ / セット

6 〈セット〉 を押します。

- ・ ワンタッチ 2 度押しが設定され、次の設定画面になります。
- ・ 〈ストップ〉 を押すと待機画面に戻ります。

宛先 2 度押し送信のしかた

ダイヤル2度押し、短縮2度押し、ワンタッチ2度押しがONになっている場合の例です。

1 送信する面を上にして原稿をセットします。

2 〈画質〉、〈濃度〉を選びます。

画質・濃度の選びかた (→ 2-7 ページ)

3 宛先を入力し、〈スタート〉を押します。

スタートキー ヲ ト` ウゾ`
[01], S1, 1 2 3 4 5 6 7 8 9 _

4 メッセージが表示されてから、宛先 2 度押しの画面が表示されます。

[バ` ンゴ` ウ` カクニン] 001 / 003
モウイチド` バ` ンゴ` ウヲト` ウゾ`

- ・メッセージの表示時間は約 2 秒です。
- ・メッセージは最初は「モウイチド` バンゴウヲドウゾ」と表示されます。宛先が 2 件以上ある場合は、2 件目以降のメッセージは「ツギノ` バンゴウ` ヲ` ドウゾ」と表示されます。
- ・画面右上の分数は、分母がダイヤル 2 度押しの対象総数、分子は入力して宛先の数です。

[バ` ンゴ` ウ` カクニン] 001 / 003
_

5 入力した宛先を再度入力し、1 宛先ごとに〈スタート〉を押します。

[バ` ンゴ` ウ` カクニン] 001 / 003
1 2 3 4 5 6 7 8 9 _

- ・2 度目に入力した番号が間違っていた場合には、「バンゴウガ` イッチシテマセン」と表示され、手順 4 に戻ります。
- ・すでに 2 度入力した宛先を入力してしまった場合には、「ステニ` ニュウリョク` サレテイマス」と表示され、手順 4 に戻ります。

6 すべての宛先が 2 度入力されるまで、手順 4～5 を繰り返します。

最初に入力したファクス番号が間違っていた場合は、〈ストップ〉を押して現在の通信を取り消してから、送信をやり直してください。

7 すべての宛先が 2 度入力されると、送信が始まります。

補足 ○

- ・機能の制約があります。詳しくは「機能の制限について」(4-17 ページ)を参照してください。
- ・トーン (T) とポーズ (P) を使って入力した宛先は、トーン (T) とポーズ (P) も含めて再入力してください。

機能の制限について

宛先2度押し機能とプロテクト機能を両方有効にしているときは、以下の内容にご注意ください。

■ 2度押し機能で宛先表を利用する場合

宛先表を利用して宛先を入力するときは、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルのセキュリティ機能、プロテクト機能の設定により、選択できる宛先が変わります。詳細は、以下の表を参照してください。

設定内容				宛先の入力	2度押しの入力
ワンタッチダイヤル		短縮ダイヤル		宛先表の利用	宛先表の利用
プロテクト機能	セキュリティ機能	プロテクト機能	セキュリティ機能		
禁止	-	禁止	-	利用不可	-
		許可	2度押しする	短縮ダイヤルのみ 利用可 ※1	短縮ダイヤルのみ 利用可 ※1
			2度押ししない	短縮ダイヤルのみ 利用可 ※1	-
許可	2度押しする	禁止	-	ワンタッチダイヤル のみ利用可 ※2	ワンタッチダイヤル のみ利用可 ※2
		許可	2度押しする	ワンタッチ/ 短縮ダイヤル共利用可	ワンタッチ/ 短縮ダイヤル共利用可
			2度押ししない	ワンタッチ/ 短縮ダイヤル共利用可	ワンタッチダイヤル のみ利用可 ※2
許可	2度押ししない	禁止	-	ワンタッチダイヤル のみ利用可 ※2	-
		許可	2度押しする	ワンタッチ/ 短縮ダイヤル共利用可	短縮ダイヤルのみ 利用可 ※1
			2度押ししない	ワンタッチ/ 短縮ダイヤル共利用可	-

※1 宛先表ではワンタッチダイヤルも表示されますが、宛先として選択することはできません。

※2 宛先表では短縮ダイヤルも表示されますが、宛先として選択することはできません。

■ 電話をかけるとき

ハンドセットや〈オンフック〉を使って電話をかけるときは、セキュリティ機能で設定している一部の設定が無効になります。詳細は、以下の表を参照してください。

設定が無効になる機能	設定値	電話をかけるときの動作
短縮ダイヤル2度押し（宛先表を含む）	ON OFF	OFFと同じ動作
ワンタッチ2度押し（宛先表を含む）		
ダイヤル2度押し		

____の付いている値が、工場出荷時の設定です。

複数の宛先入力を禁止する（同報禁止）

意図せぬ宛先への送信を防ぐため、複数の宛先入力を禁止することができます。

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。（→ 4-2 ページ）

補足

ここでいう宛先とは、テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、宛先表、グループダイヤルから入力した宛先のことをいいます。

同報禁止の設定

ここでは以下の設定が可能です。

同報送信		複数宛先入力	同報キーの入力
	同報キー		
OFF		×	—
ON	ON	○	○
	OFF	○	×

補足

同報キーの入力を OFF に設定した場合でも、テンキーによる宛先を複数入力する場合は、同報キーの入力が必要です。

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈7〉、〈0〉、〈8〉 と押します。

2 管理者パスワードを入力します。

カンリシャ パ スワート ; エイスウ
5 6 7 8

3 〈セット〉 を押します。

[キノウ センタク] No. 3708
08 ト ウホウ ソウシン

4 〈セット〉 を押します。

5 カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 で、同報送信の ON / OFF を選びます。

ト ウホウ ソウシン : OFF
▼/▲/セット

6 〈セット〉 を押します。

手順5で OFF を選択した場合は、この操作で終わりです。

- 7** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で、同報キーの ON / OFF を選びます。
 ON：短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルの宛先を選ぶときに、〈同報〉を押す
 OFF：短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルの宛先を選ぶときに、〈同報〉を押さない

トウホウキー	: OFF
	▼/▲/セット

- 8** 〈セット〉を押します。
 〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

同報禁止の動作について

■ 同報送信が OFF の場合

宛先を複数入力することができなくなります。また、〈同報〉も使用できなくなります。複数入力しようとする、数秒間以下の画面が表示されます。

キョウトシテン
アテサキ 1カシヨ イナイ

■ 同報キーが OFF の場合

宛先を複数入力する場合、〈同報〉を押さなくても入力できるようになります。ただし、テンキーで宛先を入力するときは、〈同報〉を押す必要があります。誤操作で意図せぬ宛先を入力してしまう恐れがありますのでご注意ください。

受信した原稿を他人に読まれないようにする (セキュリティ受信)

セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。この機能を活用すると、夜間などオフィスが無人になる時間帯に受信した原稿を、メモリーに記憶させておくことができます。受信した原稿は、あとから用紙にプリントできます。

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(→ 4-2 ページ)
- あらかじめプロテクトコードの登録が必要です。(→ 4-4 ページ)
- プロテクトコードが解除されると、セキュリティ受信も解除されます。(セキュリティ受信した原稿があるときは解除できません。)
- セキュリティ受信を ON に設定すると、毎日開始時刻にセキュリティ受信が始まります。
- セキュリティ受信中に受信原稿がある場合は代行受信ランプが点灯します。用紙にプリントした時点で自動的に通常の受信動作に戻ります。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「セキュリティ受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでセキュリティ受信の ON / OFF を設定することができます。(→ 5-35 ページ)

セキュリティ受信を設定する

初期設定：OFF

1 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈7〉、〈0〉、〈9〉 と押します。

2 管理者パスワードを入力します。

カンリシャ パ スワート ; エイスウ
5 6 7 8

3 〈セット〉 を押します。

[キノウ センタク] No. 3 7 0 9
0 9 セキュリティ シ ュシン

4 〈セット〉 を押します。

5 テンキーでプロテクトコード (4桁) を入力します。

セキュリティ シ ュシン
プロテクトコート : 1 2 3 4

6 〈セット〉 を押します。

7 カーソルキーの 〈▲〉、〈▼〉 で ON / OFF を選びます。

セキュリティ シ ュシン : OFF
▼ / ▲ / セット

8 〈セット〉を押します。

OFF を選んだときはセキュリティ受信が解除され、次の設定画面になります。

9 ON を選んだときは、テンキーでセキュリティ受信を開始する時刻を入力します。

セキュリティ ジュシン	
ジ コクヲ ト ウゾ	21:00

10 〈セット〉を押します。

- ・セキュリティ受信がセットされ、次の設定画面になります。
- ・〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

補足

- ・操作を中止するときは〈ストップ〉を押します。
- ・セキュリティ受信を解除するときは手順7でOFFにセットします。(セキュリティ受信した原稿があるときは解除できません。)

セキュリティ受信した原稿をプリントする

受信した原稿をプリントすると、セキュリティ受信が解除され通常の動作に戻ります。

1 〈メニュー/文字〉、〈4〉、〈3〉、〈3〉と押します。

[キノウ センタク]	No. 433
3 セキュリティジュシン	ゲンコウ

2 〈セット〉を押します。**3** テンキーでプロテクトコード (4桁) を入力します。

セキュリティジュシン	ゲンコウ
プロテクトコード	: 1234

4 〈セット〉を押します。

- ・受信した原稿がプリントされます。
- ・プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコード ガ チガイマス」と表示され待機表示に戻ります。
- ・受信した原稿をプリントすると、セキュリティ受信を解除し、通常の受信動作に戻ります。
- ・受信した原稿がないときは、「ゲンコウ ガ アリマセン」と表示し、待機画面に戻ります。

ダイレクトメールを防止する

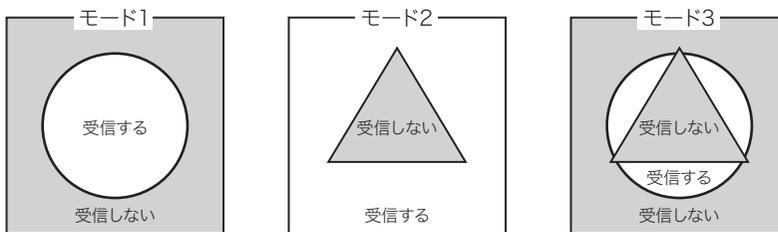
ダイレクトメール防止には3種類の方法があります。

モード1：ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている相手先からの文書のみを受信する方法です。登録されているファクス番号の下4桁と相手先IDを照合し、一致したときのみ受信します。

モード2：ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下4～8桁を登録します。最大50件まで登録できます。

モード3：モード1、2を合わせた方法です。ワンタッチ、短縮に登録されていない番号からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手先からの受信も拒否します。なお、ファクス番号の下4～8桁が一致すれば、ワンタッチ・短縮ダイヤルに登録されている番号でも拒否されます。

OFF：ダイレクトメール防止を行いません。



□の部分：着信した番号

○の部分：ワンタッチ・短縮ダイヤルに登録されている番号

△の部分：ダイレクトメール防止用に登録した番号

登録する

1 〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉、〈0〉、〈8〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 2208
08 ダイレクトメール	ホウシ

2 〈セット〉 を押します。

- 3** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でダイレクトメール防止のモードを選びます。

ダ` イレクトメール ホ` ウシ：OFF
▼/▲/セット



ダ` イレクトメール ホ` ウシ：モード` 1
▼/▲/セット



ダ` イレクトメール ホ` ウシ：モード` 2
▼/▲/セット



ダ` イレクトメール ホ` ウシ：モード` 3
▼/▲/セット

- 4** 〈セット〉を押します。

OFF またはモード 1 を選んだときは、この手順で終了です。手順 7 に進みます。

- 5** テンキーで、ダイレクトメール防止を行う電話番号の下 4～8 桁を入力します。

すでに番号が登録されている場合は、カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で登録されていない番号を選択します。

ダ` イヤル ハ` ンゴ` ウ` ヲ` ト` ウゾ`
0 1 : 1 2 3 4 5 6 7 8

- 6** 〈セット〉を押します。

続けてほかの番号を登録できます。

- 7** 〈ストップ〉を押します。

登録モードを終了し、待機画面に戻ります。

登録した番号を変更または消去する

- 1 「登録する」の手順1～2を行います。
- 2 モード2または3を選びます。
- 3 〈セット〉を押します。
- 4 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で変更または消去したい番号を選びます。
テンキーで番号を入力することもできます。

ハ`ンゴ`ウ`ヲ`エランデ`クダ`サイ 02:11122233

■ 変更する場合

- 5 〈セット〉を押します。
- 6 カーソルキーの〈◀〉、〈▶〉で変更する数字にカーソルを移動させ、
上書き入力します。

ダ`イヤル`ハ`ンゴ`ウ`ヲ`ト`ウゾ` 02: <u>1</u> 1222233

- 7 〈セット〉を押します。
- 8 〈ストップ〉を押します。
変更を終了し、待機画面に戻ります。

■ 消去する場合

- 5 〈クリア〉を押します。

ハ`ンゴ`ウ`ヲ`エランデ`クダ`サイ 02:22233344

消去した番号以降のダイレクトメール防止用電話番号を1つずつ前に繰り上げます。

- 6 〈ストップ〉を押します。
消去を終了し、待機画面に戻ります。

ダイレクトメール防止ダイヤルリストをプリントする

1 〈メニュー/文字〉、〈5〉、〈0〉、〈8〉 と押します。

[キノウ センタク] No. 508
08 ダイレクトメールダイヤルリスト

2 〈セット〉 を押します。

- ・ダイレクトメールダイヤルリストがプリントされます。
- ・番号が1件も登録されていない場合は、「セット サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株)	Fax:123-456-7890				
ABC商事 総務部					
ABC商事 国際部					
** ダイレクトメール 防止 ダイヤルリスト **					
P.1	モト*2 2014年 1月14日(火) 13:30				
No.	ダイヤル番号	No.	ダイヤル番号	No.	ダイヤル番号
1	12345678	2	11122233	3	22233344
4	44455566				

設定や操作を制限する（プロテクト機能）

管理者パスワードを利用してさまざまな機能を管理することができます。

管理者パスワードやプロテクトコードを利用して管理できる機能は以下のとおりです。

機能		管理できる内容
ファクス機能	短縮ダイヤルを使った送信（宛先表を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・使用禁止 ・使用時にプロテクトコードを要求
	ワンタッチダイヤルを使った送信（宛先表を含む）	
	テンキーを使った送信（直接ダイヤル）	
	グループ送信	
	プログラムワンタッチ送信	
	閉域送信	
	IDチェック送信	
	手動送信（ハンドセットやオンフックキーを使った送信）	
	Fコード送信	
リダイヤル		
機器設定	短縮ダイヤルの登録	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者以外の登録禁止（使用時に管理者パスワードを要求） ・使用時にプロテクトコードを要求
	ワンタッチダイヤルの登録	
	グループダイヤルの登録	
	プログラムワンタッチの登録	
	原稿蓄積設定	
	Fコードボックスの登録	
ファクスワープの登録		
リストの出力	短縮ダイヤルリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者以外のリスト出力禁止（出力時に管理者パスワードを要求） ・出力時にプロテクトコードを要求
	ワンタッチダイヤルリスト	
	グループダイヤルリスト	
	プログラムワンタッチリスト	
	ファクスワープリスト	
	通信記録	

プロテクト機能を設定する

設定できる機能の一覧表は、4-26 ページを参照してください。

補足 ○

- ・プロテクト機能を設定したい場合は、あらかじめ管理者パスワードを設定しておく必要があります。(→4-2 ページ)
- ・手順5でプロテクトコードの入力を設定したい場合は、あらかじめプロテクトコードを登録しておく必要があります。(→4-4 ページ)

1 〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈1〉、〈0〉 と押します。

2 〈セット〉 を押します。

3 管理者パスワードを入力します。

カンリシャ	ハ	スワード	;	エイスイ
5	6	7	8	

4 〈セット〉 を押します。

5 設定・変更したい機能をカーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選択します。
たとえば、短縮ダイヤルの送信を禁止したい場合は、“タンシュクダイヤルソウシン”を選択します。

[キノウ	センタク]	No.	2110
01	タンシュクダ	イヤル	ソウシン

6 〈セット〉 を押します。

7 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でキンシ/キョカ選びます。

キンシ：その機能の使用禁止または使用時に管理者パスワードを要求
キョカ：その機能の使用を許可

タンシュクダ	イヤル	ソウシン	:	キョカ
				▼/▲/セット

8 〈セット〉 を押します。

「キンシ」を選んだ場合は、この手順で終了です。

9 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でヨウ/フヨウ選びます。

ヨウ：その機能の使用時にプロテクトコードを要求
フヨウ：プロテクト機能の解除

プロテクトコード`ニュウリョク：フヨウ
▼/▲/セット

10 〈セット〉を押します。

〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。

プロテクト機能の使いかた

■ 「ファクス機能」で「キンシ」に設定した場合

プロテクト機能でファクス機能を「キンシ」に設定した機能は使用できません。その機能を選択すると画面に数秒間「カンリシャ ニ カクニンシテクダサイ」と表示されてから、元の画面に戻ります。

ツウシン/コピー`デ`キマス
カンリシャ`ニ`カクニンシテクダ`サイ

補足 ●

短縮ダイヤルとグループ送信は「キンシ」に設定すると、〈短縮/グループ〉を押してもその機能は表示されません。(→4-30 ページ)

■ 「機器設定」や「リスト」で「キンシ」に設定した場合

プロテクト機能で機器設定やリストを「キンシ」に設定した場合は、その機能を使用するときに管理者パスワードの入力が要求されます。

【例】短縮ダイヤルの登録を「キンシ」に設定した場合で、〈メニュー/文字〉、〈1〉、〈2〉、〈1〉を押したとき

1 管理者パスワードの入力が要求されます。

カンリシャ`パ`スワード` ;エイスウ
—

2 管理者パスワードを入力します。

3 〈セット〉を押します。

4 短縮ダイヤルの登録を行います。

短縮ダイヤルの登録方法 (→5-17 ページ)

■ プロテクトコードの要求を設定した場合

プロテクト機能でプロテクトコードの要求を「ヨウ」に設定した場合は、その機能を利用するときにプロテクトコードの入力が必要です。

【例】 短縮ダイヤルの登録の際、プロテクトコードの入力を「ヨウ」に設定した場合で、〈メニュー/文字〉、〈1〉、〈2〉、〈1〉 と押したとき

1 プロテクトコードの入力が要求されます。

[キノウ センタク]	No. 12
プロテクトコード	: ****

2 プロテクトコードを入力します。**3** 〈セット〉を押します。**4** 短縮ダイヤルの登録を行います。

短縮ダイヤルの登録方法 (→ 5-17 ページ)

機能の制限について

■ 2度押し機能で宛先表を利用する場合

宛先表を利用して宛先を入力するときは、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルのセキュリティ機能、プロテクト機能の設定により、選択できる宛先が変わります。詳細は、以下の表を参照してください。

設定内容				宛先の入力	2度押しの入力
ワンタッチダイヤル		短縮ダイヤル		宛先表の利用	宛先表の利用
プロテクト機能	セキュリティ機能	プロテクト機能	セキュリティ機能		
禁止	-	禁止	-	利用不可	-
		許可	2度押しする	短縮ダイヤルのみ 利用可 ※1	短縮ダイヤルのみ 利用可 ※1
			2度押ししない	短縮ダイヤルのみ 利用可 ※1	-
許可	2度押しする	禁止	-	ワンタッチダイヤル のみ利用可 ※2	ワンタッチダイヤル のみ利用可 ※2
		許可	2度押しする	ワンタッチ/ 短縮ダイヤル共利用可	ワンタッチ/ 短縮ダイヤル共利用可
			2度押ししない	ワンタッチ/ 短縮ダイヤル共利用可	ワンタッチダイヤル のみ利用可 ※2
許可	2度押ししない	禁止	-	ワンタッチダイヤル のみ利用可 ※2	-
		許可	2度押しする	ワンタッチ/ 短縮ダイヤル共利用可	短縮ダイヤルのみ 利用可 ※1
			2度押ししない	ワンタッチ/ 短縮ダイヤル共利用可	-

※1 宛先表ではワンタッチダイヤルも表示されますが、宛先として選択することはできません。

※2 宛先表では短縮ダイヤルも表示されますが、宛先として選択することはできません。

■ 電話をかけるとき

ハンドセットや〈オンフック〉を使って電話をかけるときは、プロテクト機能で設定している一部の設定が無効になります。詳細は、以下の表を参照してください。

設定が無効になる機能	設定値	電話をかけるときの動作
短縮ダイヤルを使った送信 (宛先表を含む)	禁止 プロテクトする プロテクトしない	プロテクトしない と同じ動作
ワンタッチダイヤルを使った送信 (宛先表を含む)		
テンキーを使った送信		
リダイヤル		

___の付いている値が、工場出荷時の設定です。

第5章

登録／設定編

文字入力

文字入力のしかた	5-3
漢字・全角文字を入力する	5-3
各モードで入力できる文字	5-4
カタカナ（半角）を入力する	5-5
アルファベット（半角）を入力する	5-6
数字、#、*（半角）を入力する	5-6
記号（半角）を入力する	5-7
記号コードを使って記号（半角）を入力する	5-8
登録されている相手先名を利用する	5-8
文字を修正する	5-9
文字を挿入する	5-9
文字入力例「関西ブロック」と入力するには	5-10

ファクス機能に関する登録

ワンタッチダイヤルを登録／変更する	5-12
登録／変更する	5-12
挿入または削除する	5-13
消去する	5-15
ワンタッチ宛名ラベルの記入のしかた	5-15
ワンタッチダイヤルリストをプリントする	5-16
短縮ダイヤルを登録／変更する	5-17
登録／変更する	5-17
挿入または削除する	5-18
消去する	5-20
短縮ダイヤルリストをプリントする	5-20
グループダイヤルを登録／変更する	5-21
登録／変更する	5-21
消去する	5-22
グループリストをプリントする	5-23
プログラムワンタッチを登録／変更する	5-24
「通信」を登録／変更する	5-24
「リストプリント」を登録／変更する	5-30

「原稿蓄積」を登録/変更する	5-31
消去する	5-33
プログラムワンタッチリストをプリントする	5-34
プログラムワンタッチの使いかた	5-34

共通の登録

ご愛用スイッチキーを登録する	5-35
登録/変更する	5-36
ご愛用スイッチキーの使いかた	5-37
機器設定のしかた	5-38
設定例	5-38
システム設定一覧	5-39
ファクス設定一覧	5-41
逆順プリントについて	5-43
コピー設定一覧	5-44
機器設定リストをプリントする	5-45

文字入力のしかた

発信元やワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの相手先など、文字を入力するときに参照してください。

- 文字や記号はともに1文字ずつ入力します。
- カタカナ、アルファベット、数字、「#」、「*」、記号は半角文字で入力されます。
- メッセージ、Fコードボックス名、発信元名のみ漢字コード入力により、全角文字で入力することもできます。
- ひらがなと漢字はすべて全角文字で入力されます。

漢字・全角文字を入力する

- 漢字やひらがななど全角の文字を入力できます。
- 漢字やひらがななど全角の文字を使って入力できるのは、発信元名、メッセージ送信の内容とFコードボックスの名前のみです。

1 操作の前に文字のコードを確認します。

全角文字コードの確認 (→ 7-3 ページ)

2 〈メニュー/文字〉押して、漢字コード入力に切り替えます。

ハッシンモト メイ 1 ; カンジ コート

3 テンキーで4桁のコードを入力します。

【例】「関西」と入力するとき

ハッシンモト メイ 1 ; カンジ コート
[2 0 5 _]

4 コードが正しいときは、漢字コードがカッコで囲われます。

ハッシンモト メイ 1 ; カンジ コート
(2 0 5 6) (3 2 3 0) _

5 〈セット〉を押します。

5

登録／設定編

各モードで入力できる文字

テンキー	カタカナ (半角)	英数 (半角)	漢字コード 記号コード
① <small>ア .@- /</small>	アイウエオ アイウエオ	1	1
② <small>カ ABC</small>	カキクケコ	2 A B C a b c	2
③ <small>サ DEF</small>	サシスセソ	3 D E F d e f	3
④ <small>タ GHI</small>	タチツテトッ	4 G H I g h i	4
⑤ <small>ナ JKL</small>	ナニヌネノ	5 J K L j k l	5
⑥ <small>ハ MNO</small>	ハヒフヘホ	6 M N O m n o	6
⑦ <small>マ PQRS</small>	マミムメモ	7 P Q R S p q r s	7
⑧ <small>ヤ TUV</small>	ヤユヨヤュョ	8 T U V t u v	8
⑨ <small>ラ WXYZ</small>	ラリルレロ	9 W X Y Z w x y z	9
⑩ <small>ワヲン</small>	ワヲン	0	0
* <small>＊ トン/ボーズ</small>	＊	*	
# <small>記号</small>	- () _ . SP	# * @ & - () _ . ; , SP	

「SP」はスペース（空白）を示しています。

漢字コードと記号コードで入力できる数字は、コードの入力のための数字です。数字を入力するには、英数モードを使ってください。

■入力の例

「ウ」：〈メニュー／文字〉でカタカナ入りに切り替え、〈1〉を3回押す

「B」：〈メニュー／文字〉で英数入りに切り替え、〈2〉を3回押す

「b」：〈メニュー／文字〉で英数入りに切り替え、〈2〉を6回押す

「7」：〈メニュー／文字〉で英数入りに切り替え、〈7〉を1回押す

カタカナ（半角）を入力する

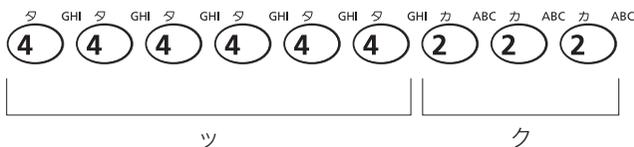
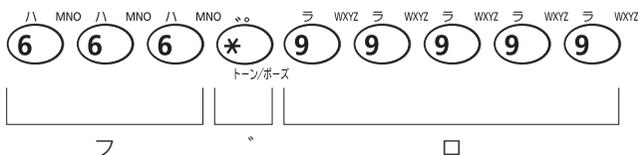
1 〈メニュー／文字〉でカタカナ入力に切り替えます。

ハッシンモト メイ 1 ; カタカナ

2 テンキーで入力したい文字を入力します。

各テンキーで入力できる文字については、「各モードで入力できる文字」（5-4 ページ）を参照してください。

【例】「ブロック」と入力するとき



ハッシンモト メイ 1 ; カタカナ
ブ ロック

3 〈セット〉を押します。

補足

全角のカタカナの入力方法は「漢字・全角文字を入力する」（5-3 ページ）を参照してください。

アルファベット（半角）を入力する

- 1 〈メニュー／文字〉で英数入力に切り替えます。

ハッシンモト メイ 1 ; エイスウ

- 2 テンキーで入力したい文字を入力します。

テンキーで入力できる文字については、「各モードで入力できる文字」(5-4 ページ) を参照してください。

【例】「C」を入力するときは、〈2〉を4回押します。

ハッシンモト メイ 1 ; エイスウ

C

- 3 〈セット〉を押します。

補足

全角のアルファベットの入力方法は「漢字・全角文字を入力する」(5-3 ページ) を参照してください。

数字、#、*（半角）を入力する

- 1 〈メニュー／文字〉で英数入力に切り替えます。

ハッシンモト メイ 1 ; エイスウ

- 2 テンキーで入力したい数字、#、*を入力します。

【例】「7」を入力するときは、〈7〉を1回押します。

ハッシンモト メイ 1 ; エイスウ

7

- 3 〈セット〉を押します。

補足

全角の数字や「#」、「*」の入力方法は「漢字・全角文字を入力する」(5-3 ページ) を参照してください。

記号（半角）を入力する

1 〈メニュー／文字〉でカタカナ入力または英数入力に切り替えます。

ハッシンモト メイ 1 ; カタカナ

—

ハッシンモト メイ 1 ; エイスウ

—

2 テンキーで入力したい記号を入力します。

各テンキーで入力できる文字については、「各モードで入力できる文字」（5-4 ページ）を参照してください。

【例】カタカナ入力で「(」を入力するときは、〈#〉を2回押します。

ハッシンモト メイ 1 ; カタカナ

(

【例】英数入力で「&」を入力するとき、〈#〉を4回押します。

ハッシンモト メイ 1 ; エイスウ

&

3 〈セット〉を押します。

補足 ○

- ・続けて同じ文字や同じテンキーの文字を入力する場合は、カーソルキーの〈▶〉を1回押し、カーソルを右に移動させてから入力します。
- ・全角の記号の入力方法は「漢字・全角文字を入力する」（5-3 ページ）を参照してください。

記号コードを使って記号（半角）を入力する

- 1 操作の前に文字のコードを確認します。
記号コードの確認（→7-2 ページ）
- 2 〈メニュー／文字〉で記号コード入力に切り替えます。

ハッシンモト メイ 1 ; キゴ` ウコード`
_

- 3 コードを4桁で入力します。

ハッシンモト メイ 1 ; キゴ` ウコード`
[010_]

- 4 コードが正しいときは、文字に変換されます。
【例】「?」を入力したとき

ハッシンモト メイ 1 ; キゴ` ウコード`
?_

登録されている相手先名を利用する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル等の相手先名を登録するときは、宛先表から文字を検索して入力することができます。同じ文字を何度も登録するときに便利です。

- 1 相手先名の登録画面のときに、カーソルキーの〈▼〉を押します。
【例】ワンタッチダイヤルの登録時

01 : アイテサキメイ : [キ]
キョウトシテン : [01]

- 2 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で登録したい文字を検索します。

01 : アイテサキメイ : [ト]
トウキョウシテン : [03]

- 3 〈セット〉を押します。
検索した文字を修正したいときは〈クリア〉を押して不要な文字を消去し、入力し直してください。

文字を修正する

■ 文字を削除するには

- 1 カーソルキーの〈◀〉、〈▶〉を押し、削除したい文字にカーソルを移動します。

ハッシンモト メイ 1 ;カタカナ
(2056) (3230) ブ` ロック

漢字コードへの移動のとき、カーソルは先頭のカッコに移動します。

- 2 〈クリア〉を押します。

ハッシンモト メイ 1 ;カタカナ
(2056) ブ` ロック

漢字コードの消去は、4桁のコードが消去されます。

■ 直前に入力した文字を消去するには

ハッシンモト メイ 1 ;カタカナ
(2056) (3230) ブ` ロック

- 1 〈クリア〉を押します。

ハッシンモト メイ 1 ;カタカナ
(2056) (3230) ブ` ロック

直前に入力された文字が消去されます。

文字を挿入する

- 1 カーソルキーの〈◀〉、〈▶〉を押し、挿入したい場所の次の文字にカーソルを移動します。

ハッシンモト メイ 1 ;カタカナ
(2056) (3230) ブ` ッック

- 2 文字を入力します。

テンキーで挿入したい文字を入力します。

ハッシンモト メイ 1 ;カタカナ
(2056) (3230) ブ` ロック

文字が挿入されます。

文字入力例「関西ブロック」と入力するには

- 1** 操作の前に「関」「西」の文字コードを確認しておきます。
7-4 ページの表を参照し、「関」が文字コード「2056」、「西」が文字コード「3230」であることを確認しておきます。

- 2** 〈メニュー/文字〉で漢字コード入力に切り替えます。

ハッシンモト メイ 1 ; カンジ コード
_

- 3** 「関」の文字コードを入力します。

ハッシンモト メイ 1 ; カンジ コード
[205_]

コードが間違っている場合はブザーが鳴ります。

- 4** 続けて「西」の文字コードを入力します。

ハッシンモト メイ 1 ; カンジ コード
[323_]

- 5** 〈メニュー/文字〉でカタカナ入力に切り替えます。

ハッシンモト メイ 1 ; カタカナ
(2056) (3230) _

- 6** テンキーで「フ」を入力します。

〈6〉を3回押します。

ハッシンモト メイ 1 ; カタカナ
(2056) (3230) フ

- 7** テンキーで「」を入力します。

〈*〉を1回押します。

ハッシンモト メイ 1 ; カタカナ
(2056) (3230) フ

- 8** テンキーで「口」を入力します。

〈9〉を5回押します。

ハッシンモト メイ 1 ; カタカナ
(2056) (3230) フ 口

9 テンキーで「ッ」を入力します。

〈4〉を6回押します。

ハッシンモト メイ 1 ;カタカナ (2056) (3230) ブ ロ <u>ッ</u>

10 テンキーで「ク」を入力します。

〈2〉を3回押します。

ハッシンモト メイ 1 ;カタカナ (2056) (3230) ブ ロ <u>ク</u>

11 〈セット〉を押します。

ワンタッチダイヤルを登録／変更する

よく通信する相手先を、60 か所までワンタッチキーに登録することができます。ワンタッチダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名を登録しておくことができます。

- 電話番号：40 桁まで登録できます。
- 相手先名：半角カタカナで 24 文字まで登録できます。
- ワンタッチダイヤルに使用できるキーは 1 ～ 60 のキーです。
- 宛名表示を ON にすると、相手先名の後に「様」を追加して相手先の記録紙にプリントします。(→ 5-41 ページ) ただし、プリントされる文字数は、先頭から 18 文字分に制限されます。

お願い

- ・間違い電話や誤送信を防ぐために、相手先番号を登録する際は番号間違いのないよう液晶ディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後はワンタッチダイヤルリスト(→ 5-16 ページ) で正しく登録されていることを確認してください。
- ・本商品に一般電話の電話番号を誤って登録しますと、自動リダイヤル機能により、相手を何度も呼び出し大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

登録／変更する

登録に内容を変更する場合は「登録する」の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、〈クリア〉で消去してから新しく入力してください。

1 〈メニュー／文字〉、〈1〉、〈1〉、〈1〉 と押します。

[キノウ センタク] No. 111
1 ワンタッチダ イヤル セット

2 〈セット〉を押します。

3 登録／変更したいワンタッチキーを押します。

- ・カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。
- ・登録できるワンタッチキーは 1 ～ 60 です。

4 〈セット〉を押します。

5 相手先番号を入力します。(最大 40 桁)

- ・ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。(→ 2-21 ページ)
- ・番号を間違えて入力したときや、登録されている番号を変更するときは、〈クリア〉を押して、正しい番号を入力し直してください。

02 : ダ イヤル ハ ンゴ ウ
06 - 6 6 6 6 - 7 7 7 7 _

6 〈セット〉を押します。

7 相手先名を入力します。

- ・ 半角カタカナで24文字まで登録できます。
- ・ 文字の入力方法は(→5-3 ページ)を参照してください。
- ・ 入力を間違えたときや、登録されている相手先名を変更するときは、〈クリア〉を押して削除し、正しい文字を入力してください。

02 : アイテサキメイ ; カタカナ
オオサカシテン

8 〈セット〉を押します。

ほかのワンタッチダイヤルを登録するときは、手順3から操作を繰り返します。

9 〈ストップ〉を押します。

登録を終了し、待機画面に戻ります。

補足

- ・ 操作を中止したいときは〈ストップ〉を押します。
- ・ 操作を中断してから1分を経過すると、自動的にはじめの画面に戻ります。

挿入または削除する

- ・ 挿入…選択したワンタッチダイヤルに新しく登録すると、その番号以降のワンタッチダイヤルを1つずつ後ろにずらします。ただし、ワンタッチキー〈60〉に登録されている場合は、挿入できません。
- ・ 削除…選択したワンタッチダイヤルを消去すると、その番号以降のワンタッチダイヤルを1つずつ前に繰り上げます。

補足

ワンタッチダイヤルが、通信予約、Fコード中継指示ボックス、プログラムワンタッチ、ファクスワープ、フォンワープで使用されているときは、挿入または削除はできません。

1 〈メニュー／文字〉、〈1〉、〈1〉、〈3〉と押します。

[キノウ センタク] No. 113
3 ワンタッチ ソウニュウ/サクジヨ

2 〈セット〉を押します。

3 挿入または削除したい番号のワンタッチキーを押します。

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。

4 〈セット〉を押します。

■ 挿入する場合

5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で「ソウニュウ」を選択します。

02 : ショリ	モード		: ソウニュウ
		▼/▲	/ セット

6 〈セット〉を押します。

7 「登録する」の手順5～8を行います。(→5-12ページ)
登録したワンタッチダイヤルが挿入されます。

■ 削除する場合

5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で「サクジヨ」を選択します。

02 : ショリ	モード		: サクジ ヨ
		▼/▲	/ セット

6 〈セット〉を押します。

02 : ワンタッチダ	イヤル	サクジ	ヨ
スル	→	セットキー	

▼ ▲

02 : ワンタッチダ	イヤル	サクジ	ヨ
シナイ	→	クリアキー	

交互に表示します。

7 削除してよければ、もう一度〈セット〉を押します。

- ・ 削除を中止するときは〈クリア〉を押します。
- ・ 続けて削除を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

8 〈ストップ〉を押します。

挿入または削除を終了し、待機画面に戻ります。

消去する

- 1 〈メニュー/文字〉、〈1〉、〈1〉、〈2〉 と押します。

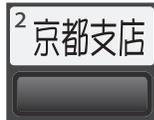
[キノウ センタク]	No. 112
2 ワンタッチダイヤル	クリア

- 2 〈セット〉 を押します。
- 3 消去したいワンタッチキーを押します。
カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 で選ぶこともできます。
- 4 〈セット〉 を押します。
- 5 消去してもよければ、もう一度〈セット〉を押します。
 - ・ 消去を中止するときは〈クリア〉を押します。
 - ・ 続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。
- 6 〈ストップ〉 を押します。
消去を終了し、待機画面に戻ります。

ワンタッチ宛名ラベルの記入のしかた

- 1 取説キットに同梱されているワンタッチ宛名ラベルに、登録した相手先名を記入します。

鉛筆やボールペンを使用して、ワンタッチ宛名ラベルに相手先などを記入します。



ワンタッチダイヤルリストをプリントする

1 〈メニュー/文字〉、〈5〉、〈0〉、〈5〉 と押します。

[キノウ センタク] No. 505
05 ワンタッチダ イヤル リスト

2 〈セット〉 を押します。

- ・ ワンタッチダイヤルリストがプリントされます。
- ・ 番号が1件も登録されていない場合は、「セット サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株) Fax:123-456-7890
ABC商事 総務部
ABC商事 国際部

＊ ＊ ワンタッチダイヤル リスト ＊ ＊

P.1

2014年 1月14日(火) 13:30

No.	相手先名	ダイヤル番号
[01]	キョウトシデン	075-111-3333
[02]	オオサカシデン	06-6666-7777
[03]	トウキョウシデン	03-3333-4444

短縮ダイヤルを登録／変更する

よく通信する相手先を、140 か所まで短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名を登録しておくことができます。

- 電話番号：40 桁まで登録できます。
- 相手先名：半角カタカナで 24 文字まで登録できます。
- 短縮番号：1 ～ 140 まで登録できます。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「短縮／グループ」を削除すると、短縮ダイヤルを指定することはできません。(→ 5-35 ページ)
- 宛名表示を ON にすると、相手先名の後に「様」を追加して相手先の記録紙にプリントします。(→ 5-41 ページ)

ただし、プリントされる文字数は、先頭から 18 文字分に制限されます。

お願い

- ・間違い電話や誤送信を防ぐために、相手先番号を登録する際は番号間違いのないよう液晶ディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後は短縮ダイヤルリスト(→ 5-20 ページ) で正しく登録されていることを確認してください。
- ・本商品に一般電話の電話番号を誤って登録しますと、自動リダイヤル機能により、相手を何度も呼び出し大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

登録／変更する

登録内容を変更する場合は「登録する」の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、〈クリア〉で消去してから新しく入力してください。

1 〈メニュー／文字〉、〈1〉、〈2〉、〈1〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 121
1 タンシュクダ イヤル セット	

2 〈セット〉を押します。

3 テンキーで登録／変更したい短縮番号を入力します。

- 〈002〉に登録するときや、〈002〉を変更するときは〈0〉、〈0〉、〈2〉 と押します。
- ・カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。
 - ・登録できる短縮番号は 1 ～ 140 です。

4 〈セット〉を押します。

5 相手先番号を入力します。(最大 40 桁)

- ・ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。(→ 2-21 ページ)
- ・番号を間違えて入力したときや、登録されている番号を変更するときは、〈クリア〉を押して、正しい番号を入力し直してください。

002 : ダ イヤル ハ ンコ ウ
0899-11-1133__

6 〈セット〉を押します。

7 相手先名を入力します。

- ・ 半角カタカナで24文字まで登録できます。
- ・ 文字の入力方法は(→5-3ページ)を参照してください。
- ・ 入力を間違えたときや、登録されている相手先名を変更するときは、〈クリア〉を押して削除し、正しい文字を入力してください。

002: アイテサキメイ; カタカナ シコクシテン

8 〈セット〉を押します。

ほかの短縮番号を登録するときは、手順3から操作を繰り返します。

9 〈ストップ〉を押します。

登録を終了し、待機画面に戻ります。

補足 ○

- ・ 操作を中止したいときは〈ストップ〉を押します。
- ・ 操作を中断してから1分を経過すると、自動的にはじめの画面に戻ります。

挿入または削除する

- ・ 挿入…選択した短縮ダイヤルに新しく登録すると、その番号以降の短縮ダイヤルを1つずつ後ろにずらします。ただし、短縮ダイヤル〈140〉に登録されている場合は、挿入できません。
- ・ 削除…選択した短縮ダイヤルを消去すると、その番号以降の短縮ダイヤルを1つずつ前に繰り上げます。

補足 ○

短縮ダイヤルが、通信予約、Fコード中継指示ボックス、プログラムワンタッチ、ファクスワープ、フォンワープで使用されているときは、挿入または削除はできません。

1 〈メニュー/文字〉、〈1〉、〈2〉、〈3〉と押します。

[キノウ センタク] No. 123
3 タンシュク ソウニュウ/サクジ ヨ

2 〈セット〉を押します。

3 テンキーで挿入または削除したい短縮番号を押します。

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。

4 〈セット〉を押します。

■ 挿入する場合

- 5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で「ソウニユウ」を選びます。

002 : ショリ	モード	:	ソウニユウ
▼ / ▲ / セット			

- 6 〈セット〉を押します。

- 7 「登録する」の手順5～8を行います。(→5-17ページ)
登録した短縮ダイヤルが挿入されます。

■ 削除する場合

- 5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で「サクジヨ」を選びます。

002 : ショリ	モード	:	サクジヨ
▼ / ▲ / セット			

- 6 〈セット〉を押します。

002 : タンシュクダ	イヤル	サクジ	ヨ
スル	→	セットキー	

▼ ▲

002 : タンシュクダ	イヤル	サクジ	ヨ
シナイ	→	クリアキー	

交互に表示します。

- 7 削除してよければ、もう一度〈セット〉を押します。

- ・ 削除を中止するときは〈クリア〉を押します。
- ・ 続けて削除を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

- 8 〈ストップ〉を押します。

挿入または削除を終了し、待機画面に戻ります。

消去する

- 1 〈メニュー/文字〉、〈1〉、〈2〉、〈2〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 122
2 タンシュクダ イヤル クリア	

- 2 〈セット〉 を押します。

- 3 テンキーで消去したい短縮番号を入力します。
カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。

- 4 〈セット〉 を押します。

- 5 消去してもよければ、もう一度〈セット〉を押します。
 - ・ 消去を中止するときは〈クリア〉を押します。
 - ・ 続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

- 6 〈ストップ〉 を押します。
消去を終了し、待機画面に戻ります。

短縮ダイヤルリストをプリントする

- 1 〈メニュー/文字〉、〈5〉、〈0〉、〈6〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 506
06 タンシュクダ イヤル リスト	

- 2 〈セット〉 を押します。

- ・ 短縮ダイヤルリストがプリントされます。
- ・ 番号が1件も登録されていない場合は、「セット サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事 総務部 ABC商事 総務部 ABC商事 国際部	Fax:123-456-7890	
** 短縮ダイヤル リスト **		
P. 1	2014年 1月14日(火) 13:30	
No.	相手先名	ダイヤル番号
S001	ホクリクシデン	0792-11-1111
S002	シヨクシデン	0899-11-1133

グループダイヤルを登録／変更する

多数の相手に送信するとき、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録されている相手先へグループ単位でダイヤル（グループ送信）することができます。

- グループ番号：01～32まで登録できます。
- ご愛用スイッチキーの設定にて「短縮／グループ」を削除すると、短縮ダイヤルを指定することはできません。（→5-35ページ）

登録／変更する

登録内容を変更する場合は「登録する」の手順の中で、変更したい箇所を表示させ、〈クリア〉で消去してから新しく入力してください。

1 〈メニュー／文字〉、〈1〉、〈3〉、〈1〉と押します。

[キノウ センタク]	No. 131
1 グループダイヤル	セット

2 〈セット〉を押します。

3 テンキーで登録／変更したいグループ番号を入力します。

〈02〉に登録するときや、〈02〉を変更するときには、〈0〉、〈2〉と押します。

- ・カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。
- ・登録できる短縮番号は01～32です。

4 〈セット〉を押します。

5 ワンタッチダイヤルまたは短縮番号を入力します。

■ ワンタッチダイヤルを指定するとき

6 相手先が登録されているワンタッチキーを押します。

番号を間違えて入力したときや、登録されている番号を変更するときには、〈クリア〉を押して、正しい番号を入力し直してください。

02：オオサカシテン
[02] _

■ 短縮ダイヤルを指定するとき

短縮ダイヤルを指定する場合は、ご愛用スイッチキーに「短縮／グループ」を設定する必要があります。

7 〈短縮／グループ〉を押します。

8 テンキーで短縮番号を入力します。

番号を間違えて入力したときや、登録されている番号を変更するときは、〈クリア〉を押して、正しい番号を入力し直してください。

9 〈セット〉を押します。

- ・ほかのグループダイヤルを登録するときは、手順3から操作を繰り返します。
- ・〈ストップ〉を押すと、待機画面に戻ります。

補足 ○

- ・手順5の画面で、〈＊〉を押して＊のみを登録すると、すべてのワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを指定できます。
- ・操作を中止したいときは〈ストップ〉を押します。
- ・操作を中断してから1分を経過すると、自動的にはじめの画面に戻ります。

消去する

1 〈メニュー／文字〉、〈1〉、〈3〉、〈2〉と押します。

[キノウ センタク] No. 132
2 グループ ダイヤル クリア

2 〈セット〉を押します。

3 テンキーで消去したいグループ番号を入力します。

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。

グループ バンゴウ ヲトウゾ
01 : [01], [15], S001

4 〈セット〉を押します。

5 消去してもよければ、もう一度〈セット〉を押します。

- ・消去を中止するときは〈クリア〉を押します。
- ・続けて消去を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

6 〈ストップ〉を押します。

消去を終了し、待機画面に戻ります。

グループリストをプリントする

1 〈メニュー/文字〉、〈5〉、〈0〉、〈7〉 と押します。

[キノウ センタク] No. 507
07 グループダイヤル リスト

2 〈セット〉 を押します。

- ・ グループリストがプリントされます。
- ・ 番号が1件も登録されていない場合は、「セット サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株)	Fax:123-456-7890				
ABC商事 総務部					
ABC商事 国際部					
** グループ リスト **					
P.1		2014年 1月14日(火) 13:30			
No.	相手先名	00	10	20	30
[01]	キョウトツテン	1 2 5			
[03]	トウキョウツテン	1	0	0	
S001	ホクリクツテン	1 5	0		
S002	シコクツテン	5		0	

5
登録/設定編

プログラムワンタッチを登録／変更する

応用通信をプログラムワンタッチに登録しておくことで、登録したワンタッチキーを押すだけで登録した操作を行うことができます。

- プログラムワンタッチはワンタッチキーの 61 ～ 64 に登録できます。
- 登録内容は以下の 3 つです。
 - ・通信
 - ・時刻指定通信、ポーリング、F コード送信、F コードポーリングのいずれかを登録できます。時刻指定は、ほかの 3 つの通信と組み合わせて登録できます。
 - ・ポーリングと F コードポーリング設定以外のときは、個別設定として画質、濃度、メモリー送信、送信確認証、メッセージ、ファクス&コピーの設定ができます。
 - ・リストプリント
 - ・リストのプリントを登録することができます。
 - ・原稿蓄積
 - ・ポーリング原稿、F コードボックス原稿を蓄積することができます。
 - ・個別設定として画質、濃度、ファクス&コピーの設定ができます。
- 相手先番号に、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルを指定するときは、あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録が必要です。(→5-12 ページ、→5-17 ページ、→5-21 ページ)

「通信」を登録／変更する

登録内容を変更する場合は手順の中で、変更したい箇所を表示させ、〈クリア〉で消去してから新しく入力するか、カーソルキーで設定を変更してください。

1 〈メニュー／文字〉、〈3〉、〈4〉、〈1〉と押します。

[キノウ センタク]	No. 341
1 プログラムワンタッチ	セット

2 〈セット〉を押します。

3 登録したいプログラムワンタッチキーを押します。

- ・カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。
- ・登録できるプログラムワンタッチキーは 61 ～ 64 です。

4 〈セット〉を押します。

5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で「ツウシン」を選びます。

トウロク ナイヨウ：ツウシン ▼／▲／セット

6 〈セット〉を押します。**7** 相手先番号を入力します。(最大 40 桁)

- ・ポーズ、ハイフンなどのダイヤル記号も入力できます。(→ 2-21 ページ)
- ・テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルが使用できます。
- ・〈同報〉を押すことにより、最大 220 宛先まで指定できます。(テンキー入力による指定は 20 宛先までです。)
- ・番号を間違えて入力したときは、〈クリア〉を押して、正しい番号を入力し直してください。

6 1：ダ イヤル ハ ンコ ウ 1 1 1 - 2 2 2 - 3 3 3 3 _

- ・時刻指定通信を登録する場合は、手順 8 に進みます。
- ・ポーリング受信を登録する場合は、手順 12 へ進みます。
- ・F コード送信を登録する場合は、手順 15 へ進みます。
- ・F コードポーリングを登録する場合は、手順 21 へ進みます。

■ 時刻指定通信を登録するとき

(時刻指定通信：→ 3-7 ページ)

時刻指定は、ほかの 3 つの通信と組み合わせて登録できます。

8 〈応用通信〉で「ジコクシテイ ツウシン」を選びます。

1. ジ コクシテイ ツウシン ▼／▲／セット

9 〈セット〉を押します。**10** テンキーで送信時刻(日 時 分)を入力します。

【例】10 日午後 3 時 30 分と入力したとき

ジ コクシテイ ツウシン ジ コクヲ ト ウゾ 10 / 15 : 30

- ・数字が 1 桁のときは先頭に 0 を付けます。
- ・日を指定しないときは、「00」を入力します。

11 〈セット〉を押します。

- ・手順 7 に戻ります。ほかの通信機能と組み合わせるときは、それぞれの登録手順に進んでください。
- ・続けて〈セット〉を押すと、手順 29 「個別設定」(5-28 ページ)に移ります。

■ ポーリング受信を登録するとき
(ポーリング受信：→3-11 ページ)

12 〈応用通信〉で「ポーリング」を選びます。

2. ポーリング ▼/▲/セット

13 〈セット〉を押します。

手順7に戻ります。時刻指定と組み合わせるときは、「時刻指定通信を登録するとき」(5-25 ページ)へ戻ります。

14 手順27へ進みます。

■ Fコード送信を登録するとき
(Fコード送信：→3-20 ページ)

15 〈応用通信〉で「Fコード ソウシン」を選びます。

3. Fコード ソウシン ▼/▲/セット

16 〈セット〉を押します。

17 テンキーで、使用するFコードボックスのサブアドレス番号を入力します。

サブアドレスは20桁以内の数字が使用できます。

サブ アドレス ヲ ト ウゾ 0011223344__

18 〈セット〉を押します。

19 テンキーで、パスワードを入力します。

- ・パスワードは20桁以内の数字、*、#が使用できます。
- ・パスワードの必要がないときは、何も入力しないで次に進みます。

パスワード ヲ ト ウゾ **010101**__

20 〈セット〉を押します。

- ・手順7に戻ります。時刻指定と組み合わせるときは、「時刻指定通信を登録するとき」(5-25 ページ)へ戻ります。
- ・続けて〈セット〉を押すと、手順29「個別設定」(5-28 ページ)に移ります。

■ Fコードポーリングを登録するとき
(Fコードポーリング：→3-21 ページ)

21 〈応用通信〉で「Fコード ポーリング」を選びます。

4. Fコード` ポーリング`
▼/▲/セット

22 〈セット〉を押します。

23 テンキーで、使用する機能のサブアドレス番号を入力します。
サブアドレスは 20 桁以内の数字が使用できます。

サブ`アド`レス`ヲ`ト`ウゾ`
99887766__

24 〈セット〉を押します。

25 テンキーで、パスワードを入力します。

- ・パスワードは 20 桁以内の数字、*、#が使用できます。
- ・パスワードの必要がないときは、何も入力しないで次に進みます。

パ`スワ`ード`ヲ`ト`ウゾ`
998899__

26 〈セット〉を押します。

手順 7 に戻ります。時刻指定と組み合わせるときは、「時刻指定通信を登録するとき」(5-25 ページ) へ戻ります。

27 〈セット〉を押します。

ほかのプログラムワンタッチを登録するときは、続けて 5-24 ページの手順 3 から操作を繰り返します。

28 〈ストップ〉を押します。

登録を終了し、待機画面に戻ります。

■ 個別設定

29 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でON / OFF を選びます。

コヘ`ツ セッテイ	: OFF
▼ / ▲ / セット	

30 〈セット〉を押します。

「OFF」を選択したときは、この手順で終了です。ほかのプログラムワンタッチを登録するときは、続けて5-24 ページの手順3から操作を繰り返します。登録を終了するときは、〈ストップ〉を押して待機画面に戻ります。

31 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で画質を選びます。

- ・カーソルキーの〈▼〉を押すごとに「ヒョウジュン」→「コウガシツ」→「チョウコウガシツ」→「シャシン」の順に表示が変わります。
- ・「――」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ガ`シツ	: -----
▼ / ▲ / セット	

32 〈セット〉を押します。

33 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で濃度を選びます。

- ・カーソルキーの〈▼〉を押すごとに「ウスク」→「フツウ」→「コク」の順に表示が変わります。
- ・「――」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ノウト`	: ---
▼ / ▲ / セット	

34 〈セット〉を押します。

35 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でメモリー送信のON / OFF を選びます。

- ・ON …メモリー送信
- ・OFF …リアルタイム送信
- ・「――」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

メモリー ソウシン	: ---
▼ / ▲ / セット	

36 〈セット〉を押します。

37 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で送信確認証 ON / OFF を選びます。

- ・ON …送信確認証を付ける
- ・OFF …送信確認証を付けない
- ・「――」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ソウシンカクニンショウ	: ---
▼ / ▲ / セット	

38 〈セット〉を押します。

39 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で送信案内証の ON / OFF を選びます。

- ・ ON…送信案内証を付ける
- ・ OFF…送信案内証を付けない
- ・ 「――」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

メッセージ	: ---
▼/▲/セット	

40 〈セット〉を押します。

41 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でファクス&コピーの ON / OFF を選びます。

- ・ メモリー送信が OFF に設定されているときは、この設定は表示されません。手順 43 に進みます。
- ・ ON …ファクス&コピーをする
- ・ OFF…ファクス&コピーをしない
- ・ 「――」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ファクス&コピー	: ---
▼/▲/セット	

42 〈セット〉を押します。

ほかのプログラムワンタッチを登録するときは、続けて 5-24 ページの手順 3 から操作を繰り返します。

43 〈ストップ〉を押します。

登録を終了し、待機画面に戻ります。

「リストプリント」を登録/変更する

登録内容を変更する場合は手順の中で、変更したい箇所を表示させ、カーソルキーで設定を変更してください。

1 <メニュー/文字>、<3>、<4>、<1> と押します。

[キノウ センタク] No. 341
1 プログラムワンタッチ セット

2 <セット> を押します。

3 登録したいプログラムワンタッチキーを押します。

- ・カーソルキーの<▲>、<▼>で選ぶこともできます。
- ・登録できるプログラムワンタッチキーは61～64です。

4 <セット> を押します。

5 カーソルキーの<▲>、<▼>で「リスト プrint」を選びます。

トウロク ナイヨウ：リスト プrint
▼/▲/セット

6 <セット> を押します。

7 カーソルキーの<▲>、<▼>で希望のリストを選びます。

カーソルキーの<▼>を押すごとに「キノウ リスト」→
「キキ セッテイ リスト」→
「ツウシンキロク」→「ツウシンヨヤク リスト」→
「ワンタッチダイヤル リスト」→
「タンシユクダイヤル リスト」→
「グループダイヤル リスト」→
「ダイレクトメールダイヤルリスト」→
「メッセージ リスト」→
「Fコード ボックス リスト」→
「Fコード ゲンコウ リスト」→
「プログラムワンタッチ リスト」→
「ファクスワープ リスト」→
「フォンワープ リスト」の順に表示が変わります。

62：キノウ リスト
▼/▲/セット

8 <セット> を押します。

ほかのプログラムワンタッチを登録するときは、続けて手順3から操作を繰り返します。

9 <ストップ> を押します。

登録を終了し、待機画面に戻ります。

「原稿蓄積」を登録/変更する

登録内容を変更する場合は手順の中で、変更したい箇所を表示させ、カーソルキーで設定を変更してください。

- 1** 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈4〉、〈1〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 341
1 プログラムワンタッチ	セット

- 2** 〈セット〉を押します。

- 3** 登録したいプログラムワンタッチキーを押します。

- ・カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。
- ・登録できるプログラムワンタッチキーは61～64です。

- 4** 〈セット〉を押します。

- 5** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で「ゲンコウ チクセキ」を選びます。

トウロク ナイヨウ：ゲ	ンコウ チクセキ
	▼/▲/セット

- 6** 〈セット〉を押します。

- 7** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で「ポーリング ゲンコウ」または「Fコード ボックス ゲンコウ」を選びます。

63：ポ	ーリング	ゲ	ンコウ
		▼/▲/セット	

- 8** 〈セット〉を押します。

「ポーリング ゲンコウ」を選択したときは手順13へ進みます。

- 9** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉またはテンキーで、登録するボックス番号を選びます。

選ばれたボックスに親展ボックスまたは中継ボックスが登録されている場合は、エラーメッセージが表示されます。

ボ	ックス	ヲ	エラ	ンテ	クタ	サイ
02	：	ナ	ゴ	ヤ	シ	テン

- 10** 〈セット〉を押します。

- 11** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で、原稿上書きの ON / OFF を選びます。
 ON …原稿上書き
 OFF…原稿追加

ゲ ンコウ	ウワガ キ	: OFF
		▼/▲/セット

- 12** 〈セット〉を押します。

- 13** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で個別設定の ON / OFF を選びます。

コベ ツ	セツテイ	: OFF
		▼/▲/セット

- 14** 〈セット〉を押します。

- ・ OFF を選んだときは、この手順で終了です。次のプログラムワンタッチの登録画面になります。

- 15** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で画質を選びます。

- ・ カーソルキーの〈▼〉を押すごとに「ヒョウジュン」→「コウガシツ」→「チョウコウガシツ」→「シャシン」の順に表示が変わります。
- ・ 「——」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ガ シツ	:	-----
		▼/▲/セット

- 16** 〈セット〉を押します。

- 17** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で、濃度を選びます。

- ・ カーソルキーの〈▼〉を押すごとに「ウスク」→「フツウ」→「コク」の順に表示が変わります。
- ・ 「——」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ノウト	:	---
		▼/▲/セット

- 18** 〈セット〉を押します。

- 19** カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で、ファクス&コピーの ON / OFF を選びます。

- ・ ON…ファクス&コピーをする
- ・ OFF…ファクス&コピーをしない
- ・ 「——」を選ぶと、そのときの設定値に設定されます。

ファクス&コピ	ー	:	---
			▼/▲/セット

20 〈セット〉を押します。

ほかのプログラムワンタッチを登録するときは、続けて 5-24 ページの手順 3 から操作を繰り返します。

21 〈ストップ〉を押します。

登録を終了し、待機画面に戻ります。

消去する**1** 〈メニュー/文字〉、〈3〉、〈4〉、〈2〉 と押します。

[キノウ センタク]	No. 342
2 プログラムワンタッチ	クリア

2 〈セット〉を押します。**3** 消去したいプログラムワンタッチキーを押します。

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。

4 〈セット〉を押します。**5** 消去してよければ、もう一度 〈セット〉を押します。

- ・ 消去を中止するときは 〈クリア〉を押します。
- ・ 続けて消去を行うときは、手順 3 から操作を繰り返します。

6 〈ストップ〉を押します。

消去を終了し、待機画面に戻ります。

プログラムワンタッチリストをプリントする

1 <メニュー/文字>、<5>、<1>、<2> と押します。

[キノウ センタク] No. 512
12 プログラムワンタッチ リスト

2 <セット> を押します。

- ・プログラムワンタッチダイヤルリストがプリントされます。
- ・番号が1件も登録されていない場合は、「セット サレテイマセン」と表示され、リストはプリントされません。

ABC商事(株)	Fax:123-456-7890			
ABC商事 総務部				
ABC商事 国際部				
** プログラムワンタッチ リスト **				
P.1 通信	2014年 1月14日(火) 13:30			
No.	ダイヤル番号	指定日時	応用機能	備考
[61]	111-222-3333	--:--		
	優先画質 :----- 優先原稿濃度 :---		メモ-送信 :---	
	送信確認 :--- メッセージ :---		ファクス&コピー :---	
[63]	1234-5678	--:--		
	優先画質 :超高画質 優先原稿濃度 :濃く		メモ-送信 :ON	
	送信確認 :ON :OFF		ファクス&コピー :OFF	
リスト フォント				
No.	リスト名			
[62]	通信予約リスト			
原稿蓄積				
No.	種別	ホックス名	上書き	
[64]	ホ-リンク			
	優先画質 :-----	優先原稿濃度 :濃く	ファクス&コピー	:ON

プログラムワンタッチの使いかた

登録した操作を実行します。

1 実行したいプログラムワンタッチキーを押します。

2 登録した操作が実行されます。

ご愛用スイッチキーを登録する

「節電」と「通信モード選択機能」を除く、6つのキーに機能を割り当てて登録できます。よく使用する機能を割り当てておくと、操作の手間が省けます。



割り当てることができる機能

	機能	キーを押したときの動作
ファクス機能	通信確認 (初期設定)	通信の予約状況を確認したり、通信結果を確認したりする
	同報 (初期設定)	同報送信をする場合、宛先を区切る
	応用通信 (初期設定)	時刻指定通信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリングをする
	短縮/グループ (初期設定)	短縮ダイヤルを使う/グループ送信をする
	オンフック (初期設定)	オンフック/オフフック
	済スタンプ (初期設定)	ON / OFF
	リストプリント	各種リストプリントの選択
	ファクスワープ* ¹	ON / OFF
	発信元送信* ³	原稿に発信元を 付ける/付けない
	発信元選択* ³	通信ごとに発信元名を選択する
	メモリー送信	メモリー送信/リアルタイム送信
	セキュリティ受信	ON / OFF
	送信確認証	ON / OFF
	メッセージ	送信案内証を 付ける/付けない
	自動受信* ²	自動受信/手動受信* ²
	フォンワープ* ¹	ON / OFF
	日報	日報をプリントする
閉域送信	送信ごとに閉域送信を する/しない	
IDチェック送信	送信ごとにIDチェック送信を する/しない	
コピー機能	ソートコピー	ON / OFF
ファクス/コピー 共通機能	ファクス&コピー	ON / OFF
	車検証読み取り* ⁴	ON / OFF
	えんぴつ読み取り* ⁵	ON / OFF

*¹ ファクスワープ、フォンワープを使用する場合、使用できない受信モードがあります。

*² 自動受信 (初期設定で選ばれたファクス待機、電話/ファクス待機、ファクス/電話待機、留守/ファクス待機)と手動受信(電話待機)を切り替えることができます。初期設定で電話待機が選ばれた場合は、自動受信はファクス/電話待機となります。

*³ 「発信元送信」と「発信元選択」は、どちらか一方だけ割り当てることができます。

*⁴ 車検証読み取りモードを ON に設定すると、車検証などの地模様や地色のある原稿の背景を読み取りません。送信時間を短縮でき、トナー消費を防ぎます。

*⁵ えんぴつ読み取りモードを ON に設定すると、淡い鉛筆書きの原稿もくっきり読み取ります。

登録／変更する

登録内容を変更する場合は手順の中で、変更したい箇所を表示させ、〈クリア〉で消去してから新しく入力するか、カーソルキーで設定を変更してください。

1 〈メニュー／文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈4〉 と押します。

[キノウ センタク] No. 2104
04 コ アイヨウ スイッチ

2 〈セット〉 を押します。

3 登録したいご愛用スイッチキーを押します。

【例】同報キーに登録したいときは、〈同報〉を押します。

カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で選ぶこともできます。

4 〈セット〉 を押します。

5 カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で登録したい機能を選びます。

2：ハッシンモト ソウシン
▼／▲／セット

すでにほかのご愛用スイッチキーに登録されている機能は表示されません。

6 〈セット〉 を押します。

- ・ご愛用スイッチキーが登録されます。
- ・続けて登録を行うときは、手順3から操作を繰り返します。

7 〈ストップ〉 を押します。

登録を終了し、待機画面に戻ります。

8 「ご愛用スイッチラベル」をキーの上に貼ります。

設定した機能と同じ名前のシールを貼ります。



ご愛用スイッチキーの使いかた

■ 済スタンプを登録したとき

- 1 済スタンプを登録した、ご愛用スイッチキーを押します。
ランプが点灯し、済スタンプが ON になります。



もう一度〈済スタンプ〉を押すとランプが消灯し、OFF になります。

- 2 原稿をセットし、送信すると済スタンプが押されます。

機器設定のしかた

設定の種類は以下の3つです。

- **システム設定**…ファクス機能・コピー機能の管理機能や、使い勝手をよくする機能の設定を行えます。
- **ファクス設定**…ファクス機能の初期設定を設定できます。よく使う機能は、初期設定を変更しておく、設定の手間が省けます。
- **コピー設定**……コピー機能の初期設定を設定できます。よく使う機能は、初期設定を変更しておく、設定の手間が省けます。

設定例

それぞれの機能の設定方法はそれぞれ「設定方法」の欄に記載されています。

ここではコピー設定の「1 プリント パラメーター」を例に、設定方法の内容を詳しく説明します。

1 <メニュー/文字>、<2>、<3>、<1> を押します。

【例】「1 プリント パラメーター」を設定するとき

[キノウ センタク] No. 231
1 プリント パラメーター

2 <セット> を押します。

3 カーソルキーの<▲>、<▼> でプリント縮小率を選びます。

設定を変更しないときは次へ進みます。

【例】「81%」を選んだとき

プリント シュクショウリツ : 81%
▼/▲/セット

4 <セット> を押します。

5 テンキーでしきい値を入力します。

設定を変更しないときは次へ進みます。

【例】「35mm」と入力したとき

シキイチ
(00-85mm) : <u>3</u> 5

6 <セット> を押します。

・選択した設定値がセットされ、次の設定画面になります。ほかの設定を続けて行えます。

・操作を終了するときは<ストップ>を押します。

システム設定一覧

初期設定とは、電源を入れたときや、〈ストップ〉を押して待機画面に戻したときの状態を言います。

番号	機能	設定値	機能説明	設定方法
1	用紙サイズ設定	<ul style="list-style-type: none"> ●カセット 1 A4 B4 A5 <input type="checkbox"/> B5 <input type="checkbox"/> ●カセット 2 (オプション品) A4 B4 A5 <input type="checkbox"/> B5 <input type="checkbox"/> 	カセット 1、カセット 2 (オプション品) にセットする用紙のサイズを選択します。	〈メニュー / 文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈1〉、〈セット〉 → カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 でカセット 1 の用紙サイズを選択 → 〈セット〉 → カセット 2 (オプション品) 装着時はカーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 で用紙サイズを選択 → 〈セット〉
2	リストプリント用紙選択 ※オプション品のカセット 2 が必要です。	A4 B4 A5 <input type="checkbox"/> B5 <input type="checkbox"/>	リストをプリントする用紙のサイズを設定できます。設定した用紙サイズがカセットにセットされていないときは、自動的にほかの用紙にプリントします。	〈メニュー / 文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈2〉、〈セット〉 → カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 で用紙サイズを選択 → 〈セット〉
3	スキャナーパラメーター	<ul style="list-style-type: none"> ●ガシツ ヒョウジュン コウガシツ チョウコウガシツ シャシン ●ノウド フツウ コク ウスク ●ヨミトリサイズ A4 B4 	読み取り時の画質、濃度、読み取りサイズの初期値を設定します。よく送信またはコピーする原稿に合わせて設定しておくと、変更の手間が省けます。	〈メニュー / 文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈3〉、〈セット〉 → カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 で画質を選択 → 〈セット〉 → カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 で濃度を選択 → 〈セット〉 → カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 で読み取りサイズを選択 → 〈セット〉
4	ご愛用スイッチ	→ 5-35 ページ	任意のキーに機能を割り当てて登録できます。よく使用する機能を割り当てておくと、操作の手間が省けます。	「ご愛用スイッチキーを登録する」(5-35 ページ) を参照してください。
5	ファクス&コピー	ON OFF	1 回の原稿読み取り操作で、ファクスとコピーが同時にできます。 ※ ご愛用スイッチキーに「ファクス&コピー」を登録すると、1 通信ごとに切り替えることができます。(→ 5-35 ページ)	〈メニュー / 文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈5〉、〈セット〉 → カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉 で設定値を選択 → 〈セット〉

— のついている値が、出荷時設定です。

番号	機能	設定値	機能説明	設定方法
6	プロテクトコード	0000	セキュリティ機能（セキュリティ受信）を利用するために必要な4桁の数字です。	「プロテクトコードの設定」(4-4 ページ)を参照してください。
7	時計		西暦、月日、時分を入力します。時刻は24時間制で入力します。	〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈0〉、〈7〉、〈セット〉 →テンキーで現在の時刻を入力→〈セット〉
8	サービスモード			設定しないでください。
9	管理者パスワード	→ 4-2 ページ	ファクス送信操作時の誤操作を防いだり、管理者以外による機器設定変更などの操作に制限をかけたりするなど、管理者による一元化を可能にします。	「管理者パスワードの設定」(4-2 ページ)を参照してください。
10	プロテクト機能	→ 4-26 ページ	「キンシ」に設定すると、操作・設定を制限できます。	「設定や操作を制限する（プロテクト機能）」(4-26 ページ)を参照してください。
11	節電モード	→ 1-11 ページ	節電モードの設定や移行時間、節電モードを開始する時間や解除する時間を設定できます。この設定に関係なく、〈節電〉を押すと、すぐに節電モードになります。	〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈1〉、〈1〉、〈セット〉 →カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定する機能を選択→〈セット〉
	自動節電モード	ON OFF	ON に設定すると、設定時間後、自動的に節電モードに移行します。OFF に設定した場合は、「節電時間」、「節電開始」および「節電解除」機能は無効になります。	〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈1〉、〈1〉、〈1〉、〈セット〉 →カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定値を選択→〈セット〉
	節電時間	1 ~ 240 分 : <u>1</u> 分	自動的に節電モードへ移行するまでの時間を設定できます。	〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈1〉、〈1〉、〈2〉、〈セット〉 →節電時間をテンキーで入力→〈セット〉
	節電開始	●セツデンカイシ ON OFF ●ジコク 00:00	ON に設定すると、節電モードを開始する時刻を設定できます。	〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈1〉、〈1〉、〈3〉、〈セット〉 →カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定値を選択→〈セット〉 →ON に設定した場合は節電を開始する時刻をテンキーで入力→〈セット〉
	節電解除	●セツデンカイジョ ON OFF ●ジコク 00:00	ON に設定すると、節電モードを解除する時刻を設定できます。	〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈1〉、〈1〉、〈1〉、〈4〉、〈セット〉 →カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定値を選択→〈セット〉 →ON に設定した場合は節電を解除する時刻をテンキーで入力→〈セット〉

__のついている値が、出荷時設定です。

ファクス設定一覧

初期設定とは、電源を入れたときや、〈ストップ〉を押して待機画面に戻したときの状態を言います。

番号	機能	設定値	機能説明	設定方法
1	プリントパラメーター	ジドウ 100% 0～85mm： <u>24mm</u>	<p>■受信縮小率 受信文書の長さに合わせて自動的に倍率が選択される「ジドウ」と、縮小しないでプリントされる「100%」があります。 (→2-40 ページ)</p> <p>■しきい値 受信原稿が有効記録紙サイズに収まらない場合に、どのようにプリントするかを判断する値です。(0～85mm) (→2-41 ページ)</p>	<p>〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉 〈0〉、〈1〉、〈セット〉→カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で受信縮小率を選択→〈セット〉 →テンキーでしきい値(2桁の数字)を入力→〈セット〉</p>
2	ポーズ時間	0～10秒： <u>3秒</u>	ポーズ記号を入力したときのダイヤル間隔(0～10秒)の初期値を設定します。	<p>〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉 〈0〉、〈2〉、〈セット〉→テンキーで時間(2桁の数字)を入力→〈セット〉</p>
3	呼び出しベル回数	0～10回： <u>2回</u>	受信モードが(ファクス、電話/ファクス待機)のとき、受信動作が開始されるまでの呼び出しベル回数(0～10回)を設定します。	<p>〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉 〈0〉、〈3〉、〈セット〉→テンキーで回数(2桁の数字)を入力→〈セット〉</p>
4	リダイヤル	<p>●カイスウ 0～15回：<u>3回</u></p> <p>●カンカク 0～5分：<u>1分</u></p>	相手が話し中などのとき、あらかじめ設定した回数(0～15回)や間隔(0～5分)で再度ダイヤルします。	<p>〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉 〈0〉、〈4〉、〈セット〉→テンキーで回数(2桁の数字)を入力→〈セット〉→テンキーで間隔(1桁の数字)を入力→〈セット〉</p>
5	発信元送信	ON OFF	<p>送信した原稿の先頭に発信元名を表示するかしないかを設定します。</p> <p>※ご愛用スイッチキーに「発信元送信」を登録すると、1通信ごとに切り替えることができます。 (→5-35 ページ)</p>	<p>〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉 〈0〉、〈5〉、〈セット〉→カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定値を選択→〈セット〉</p>
6	宛名表示	ON OFF	ワンタッチダイヤルおよび短縮ダイヤルに登録している相手先名を送信原稿の先頭に表示するかしないかを設定します。	<p>〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉 〈0〉、〈6〉、〈セット〉→カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定値を選択→〈セット〉</p>

—のついている値が、出荷時設定です。

番号	機能	設定値	機能説明	設定方法
7	ECM モード	ON OFF	電話回線の影響で正しく送信できなかったときに、その部分を自動的に送信し直します。(相手先にも同じ機能が必要です。)	〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉 〈0〉、〈7〉、〈セット〉 →カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定値を選択 → 〈セット〉
8	ダイレクトメール防止	→ 4-22 ページ	ダイレクトメール防止には3種類の方法があります。 モード1：ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている相手先からの文書のみを受信する方法です。 モード2：ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。 モード3：モード1、2を合わせた方法です。 OFF：ダイレクトメール防止を行いません。	「ダイレクトメールを防止する」(4-22 ページ)を参照してください。
9	メモリー送信	ON OFF	送信するときにメモリー送信を優先するか、リアルタイム送信を優先するか設定します。ONにするとメモリー送信、OFFにするとリアルタイム送信を優先します。 ※ご愛用スイッチキーに「メモリー送信」を登録すると、1通信ごとに切り替えることができます。 (→ 5-35 ページ)	〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉 〈0〉、〈9〉、〈セット〉 →カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定値を選択 → 〈セット〉
10	済スタンプ	ON OFF	済スタンプには、メモリー送信時に原稿の読み取りを完了したことを示す読み取り済スタンプと、リアルタイム送信時に送信が完了したことを示す送信済スタンプの2種類があります。 ※ご愛用スイッチキーの設定にて「済スタンプ」を削除したときは、1通信ごとの切り替えはできません。 (→ 5-35 ページ)	〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉 〈1〉、〈0〉、〈セット〉 →カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定値を選択 → 〈セット〉
11	ワープ暗証番号	0000 ~ 9999	外出先からフォンワープを設定するとき使用するための暗証番号を登録します。	〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉 〈1〉、〈1〉、〈セット〉 →テンキーで現在の暗証番号(4桁の数字)を入力 → 〈セット〉 →テンキーで新しい暗証番号(4桁の数字)を入力 → 〈セット〉

__のついている値が、出荷時設定です。

番号	機能	設定値	機能説明	設定方法
12	ダイヤルインセット	<ul style="list-style-type: none"> ● ファクスなし ● ホンタイデンワなし ● ゴウセツデンワなし ● ペルジカンセット 10～60秒：30秒 	ダイヤルイン契約した電話番号（3番号分まで）をファクス番号、ハンドセット用番号、増設電話番号として登録し、その登録に基づいてダイヤルイン着信したときの4桁の番号で、ファクス受信および電話を区別することができます。 (→ 1-33 ページ)	〈メニュー／文字〉、〈2〉、〈2〉、〈1〉、〈2〉、〈セット〉 → テンキーでファクス用の番号を入力 → 〈セット〉 → テンキーでハンドセット用の番号を入力 → 〈セット〉 → テンキーで増設電話用の番号を入力 → 〈セット〉 → 呼び出しベル時間をテンキーで入力 → 〈セット〉
13	特定通信セット	ツウシンツド ジョウジ	特定通信の初期値を設定します。(→ 3-49 ページ)	〈メニュー／文字〉、〈2〉、〈2〉、〈1〉、〈3〉、〈セット〉 → カーソルキーの〈▲〉〈▼〉で設定値を選択 → 〈セット〉
14	逆順プリント	ON OFF	ON に設定すると、受信した原稿を逆順にプリントします。 ON に設定していても、メモリー残量が少ないと自動プリントになる場合があります。	〈メニュー／文字〉、〈2〉、〈2〉、〈1〉、〈4〉、〈セット〉 → カーソルキーの〈▲〉〈▼〉で設定値を選択 → 〈セット〉 以下の記述も参照してください。

__のついている値が、出荷時設定です。

逆順プリントについて

逆順プリントを設定すると、受信した原稿の順番が逆になって出力されます。原稿を複数受信したときに、新しい順番から受け取ることができるので大変便利です。

以下の蓄積原稿時にも逆順プリントが可能です。

- ・ 通信予約原稿
- ・ ポーリング蓄積原稿
- ・ Fコード蓄積原稿
 - Fコード親展（受信原稿）
 - Fコード掲示板（受信原稿と登録原稿）
- ・ 代行受信原稿
- ・ セキュリティ受信原稿

補足 ●

設定が有効になるのは新規に受信した原稿からです。

コピー設定一覧

コピー機能の初期設定を設定できます。よく使う機能は、初期設定を変更しておく、設定の手間が省けます。

番号	機能	設定値	機能説明	設定方法
1	プリントパラメーター	ジドウ 100% 81% 0～85mm : 24mm	<p>■プリント縮小率 コピー原稿の長さに合わせて自動的に倍率が選択される「シドウ」と、一定の縮小率でプリントされる「100%」「81%」があります。 (→2-40 ページ)</p> <p>■しきい値 読み取り原稿が有効記録紙サイズに収まらない場合に、どのようにプリントするかを判断する値です。(0～85mm) (→2-41 ページ)</p>	<p>〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈3〉、〈1〉、〈セット〉→カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉でプリント縮小率を選択→〈セット〉、テンキーでしきい値(2桁の数字)を入力→〈セット〉</p>
2	ソートコピー	ON OFF	<p>ONに設定すると、初期設定にてソートがONになります。ソートコピーが多い場合ONに設定しておく、設定の手間が省けます。</p> <p>※ご愛用スイッチキーに「ソートコピー」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでソートコピーのON / OFFを設定することができます。 (→5-35 ページ)</p>	<p>〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈3〉、〈2〉、〈セット〉→カーソルキーの〈▲〉、〈▼〉で設定値を選択→〈セット〉</p>

__のついている値が、出荷時設定です。

機器設定リストをプリントする

機器設定リストをプリントすると、本商品に設定された各種機能の設定状況を確認することができます。

1 <メニュー/文字>、<5>、<0>、<2> と押します。

[キノウ センタク] No. 502
02 キキ セッテイ リスト

2 <セット> を押します。

機器設定リストがプリントされます。
【プリント例】

** 機器設定リスト **			
発信元名1	ABC商事(株)	ファクス番号	123-456-7890
発信元名2	ABC商事 総務部		
発信元名3	ABC商事 国際部		
2048 KB		2013年 1月14日(月) 13:30	
発信元名1(カナID) 発信元名2(カナID) 発信元名3(カナID)			
システム設定			
カセット1	A4	<input type="checkbox"/> 標準 <input checked="" type="checkbox"/> 高画質	超高画質 写真
優先画質	薄く	<input type="checkbox"/> 普通	濃く
優先原稿濃度	A4	<input type="checkbox"/> B4	
読取サイズ	通信確認		
ご愛用スイッチキ-1	同報		
ご愛用スイッチキ-2	応用通信		
ご愛用スイッチキ-3	短縮/グループ		
ご愛用スイッチキ-4	オフアック		
ご愛用スイッチキ-5	済スタフ		
ご愛用スイッチキ-6	済スタフ		
ファクス&コピー	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
サービスマート	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
節電モード			
自動節電モード	ON	OFF	
節電時間	00分		
節電開始	ON	<input type="checkbox"/> OFF	時刻 00:00
節電解除	ON	<input type="checkbox"/> OFF	時刻 00:00
ファクス設定			
受信縮小率	自動	100%	しきい値 24 mm
ホース時間	03秒		
呼出ベル回数	02回		
リダイヤル回数/間隔	03回	1分	
発信元送信	ON	OFF	
宛名表示	ON	OFF	
ECMモード	ON	OFF	
タイムアウトメール防止	モード1	モード2	モード3 <input type="checkbox"/> OFF
メモリ送信	ON	OFF	
済スタフ	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
特定通信	リクエスト	リクエスト	
逆順プリント	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
コピー設定			
コピー縮小率	自動	100%	81% しきい値 24 mm
ソフトコピー	ON	OFF	
応用機能			
通信記録自動	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
送信確認証	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
日報時刻指定	ON	<input type="checkbox"/> OFF	時刻 00:00
メッセージ送信	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
ファクスワフ	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
ウォフ	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
セキュリティ機能			
閉域送信	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
閉域受信	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
パスワード	0000		
IDチェック送信	ON	<input type="checkbox"/> OFF	
ダイヤル2度押し	ON	<input type="checkbox"/> OFF	

第 6 章

こんなときには

メンテナンス

ドラム、トナーカートリッジを交換する.....	6-2
ドラム、トナーカートリッジについて.....	6-2
ドラムカートリッジの交換.....	6-2
トナーカートリッジの交換.....	6-6
済スタンプを交換する.....	6-10
日常のお手入れ.....	6-12
本体カバーを清掃する.....	6-12
原稿ガラス、読み取りガイドを清掃する.....	6-13
原稿送りローラーを清掃する.....	6-14
記録ヘッドを清掃する.....	6-15

トラブル

用紙がつまったとき.....	6-16
本体内部で用紙がつまったとき.....	6-17
サイドカバーで用紙がつまったとき.....	6-18
用紙カセットで用紙がつまったとき.....	6-18
原稿がつまったとき.....	6-20
エラーメッセージ.....	6-22
アラームランプについて.....	6-22
プリントされるエラーメッセージ.....	6-23
エラーコード.....	6-24
液晶ディスプレイ上にあらわれるメッセージ.....	6-27
故障かなと思ったら.....	6-33
送信できない.....	6-33
受信できない.....	6-34
画質が悪い.....	6-35
停電のとき.....	6-37
メモリーバックアップ.....	6-38
消去通知.....	6-39

ドラム、トナーカートリッジを交換する

ドラム、トナーカートリッジについて

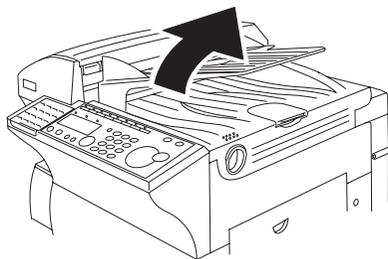
指定カートリッジご使用のすすめ

当社では、指定以外のカートリッジについては、品質検査を行っておらず、品質を保証することができません。当社製品には、プリント品質が得られるように設計された指定カートリッジをおすすめします。

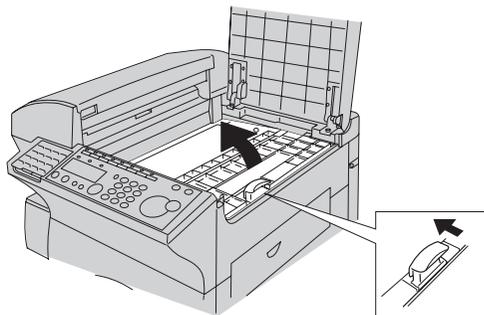
ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジの交換時期になると、“ドラム 残 コウカン シテクダサイ”と表示されます。新しいドラムカートリッジに交換してください。

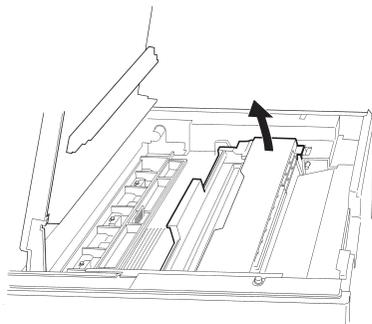
- 1 トップカバー解除レバーを引き上げ、トップカバーを開けます。



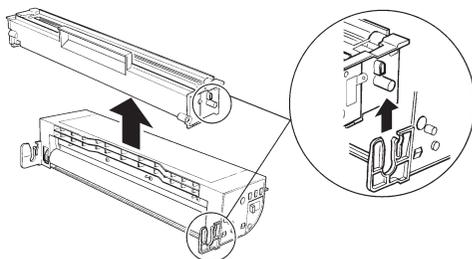
- 2 プリンターカバーを開けます。



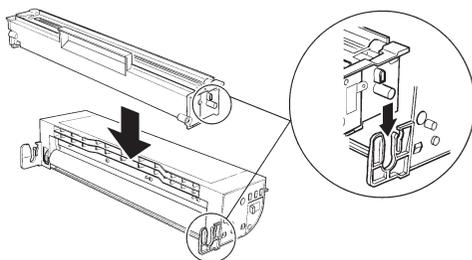
- 3** ドラム、トナーカートリッジを取り外します。
トナーカートリッジ中央の②の部分をつかんで取り外します。



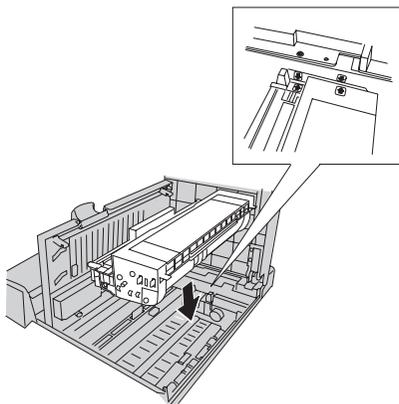
- 4** ドラム、トナーカートリッジを平らな場所に置き、ドラムカートリッジを取り外します。



- 5** トナーカートリッジを新しいドラムカートリッジにセットします。
トナーカートリッジの溝にドラムカートリッジをセットします。

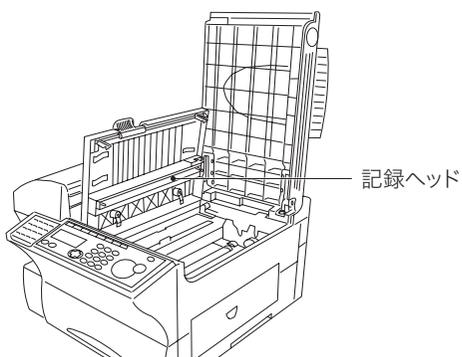


- 6** ドラム、トナーカートリッジをセットします。
カートリッジの矢印と、本体の矢印が合うようにセットします。



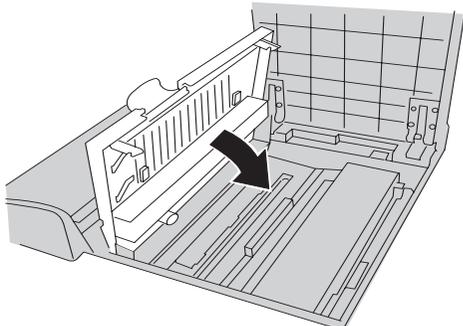
7 記録ヘッドを清掃します。

- ・ 記録ヘッドをトナーカートリッジ梱包箱に同梱されているレンズクリーナーで軽くふきます。
- ・ 清掃ムラを防止するため、途中で止めないでください。

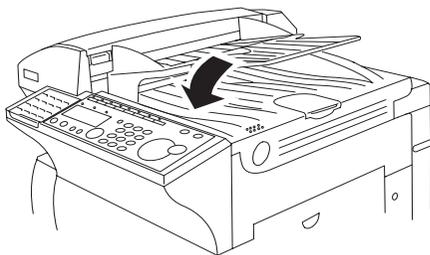


8 プリンターカバーを閉めます。

プリンターカバー右端中央のマーク部分を押さえて、「カチッ」と音がするまで閉めてください。

**9** トップカバーをゆっくりと閉めます。

トップカバーの左右を押して、「カチッ」と音がするまで閉めてください。



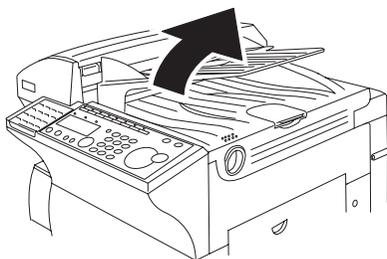
トナーカートリッジの交換

トナーが残り少なくなると、“トナー ガ ノコリワズカデス”と表示されます。

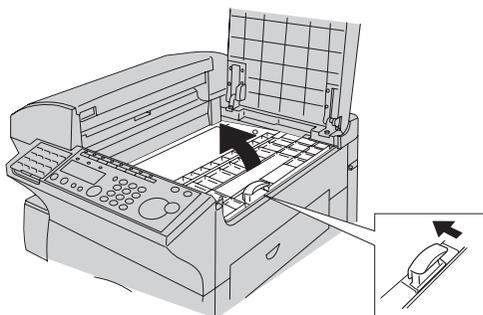
そのままお使いいただけますが、新しいトナーカートリッジを用意してください。トナーがなくなると、“トナー ヲ コウカン シテクダサイ”と表示され、プリントができなくなります。

新しいトナーカートリッジに交換してください。

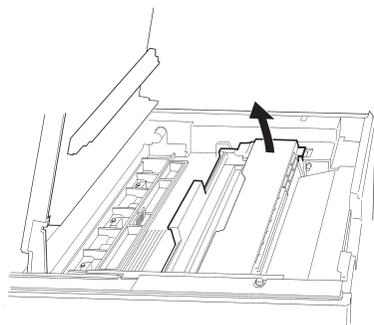
- 1 トップカバー解除レバーを引き上げ、トップカバーを開けます。



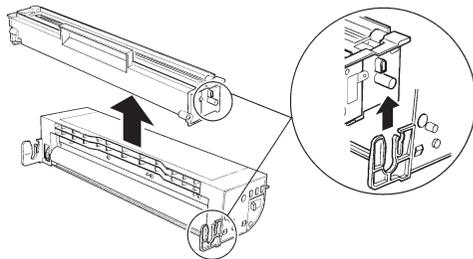
- 2 プリンターカバーを開けます。



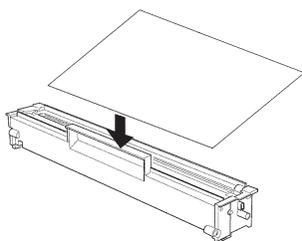
- 3 ドラム、トナーカートリッジを取り外します。
ドラム、トナーカートリッジの奥側から取り外します。



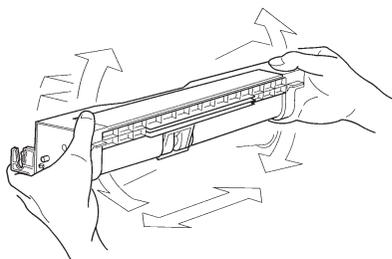
- 4** ドラム、トナーカートリッジを平らな場所に置き、ドラムカートリッジを取り外します。



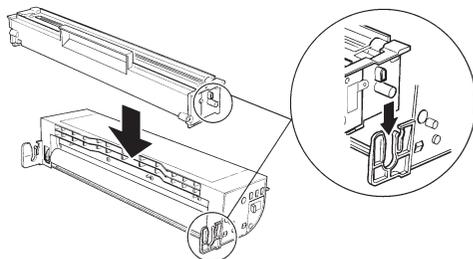
- 5** ドラムカートリッジの感光体（緑色の箇所）に日光が当たらないように紙、布などでおおいます。



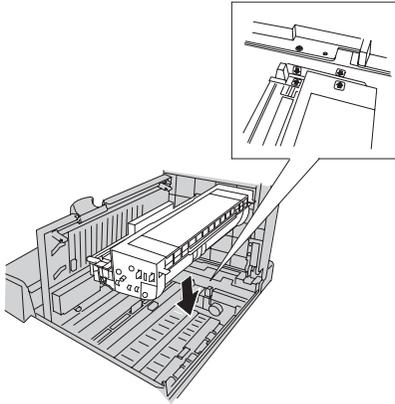
- 6** 新しいトナーカートリッジを振ります。
トナーが均一になるように、軽く振ってください。



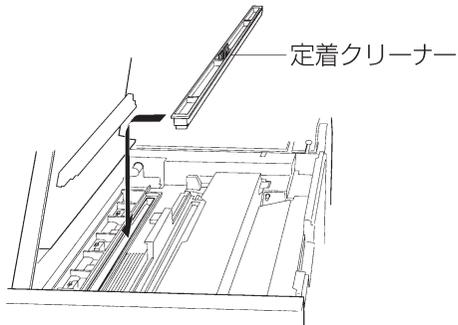
- 7** ドラムカートリッジを新しいトナーカートリッジにセットします。
トナーカートリッジの溝にドラムカートリッジをセットします。



- 8** ドラム、トナーカートリッジを本体にセットします。
カートリッジの矢印と、本体の矢印が合うようにセットします。



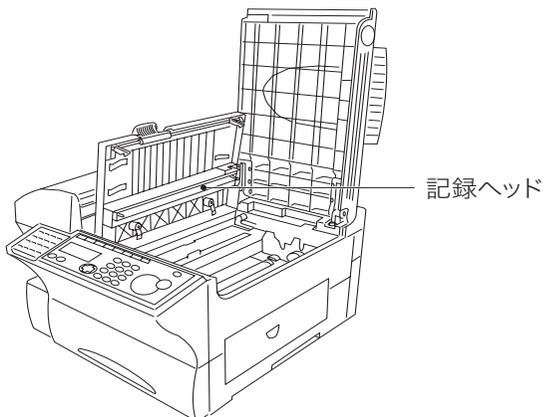
- 9** 定着クリーナーを交換します。



- ・ 定着クリーナーのフェルト部分を下にして、定着器にセットします。
- ・ ドラムカートリッジの感光体部分（緑色のローラー）に、定着クリーナーを置かないでください。

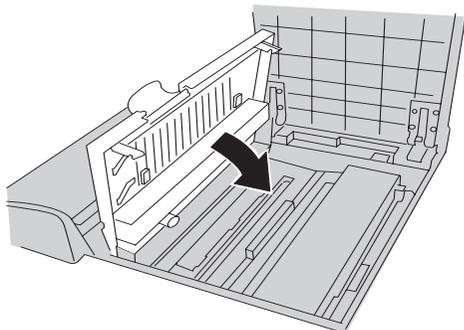
- 10** 記録ヘッドを清掃します。

- ・ 記録ヘッドをトナーカートリッジ梱包箱に同梱されているレンズクリーナーで軽くふきます。
- ・ 清掃ムラを防止するため、途中で止めないでください。

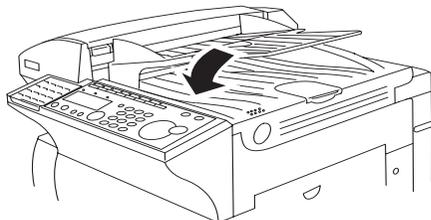


11 プリンターカバーを閉めます。

プリンターカバー右端中央のマーク部分を押さえて、「カチッ」と音がするまで閉めてください。

**12** トップカバーをゆっくりと閉めます。

トップカバーの左右を押して、「カチッ」と音がするまで閉めてください。



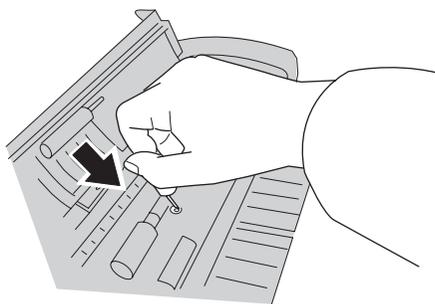
済スタンプを交換する

済スタンプが薄くなったときは、次の手順で交換してください。

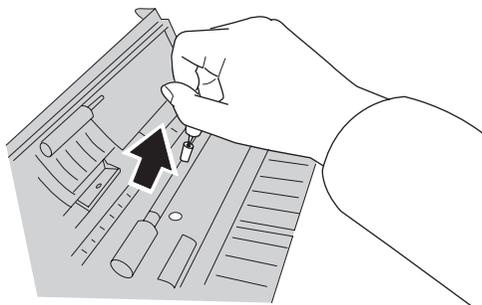
⚠ 警告

済スタンプを交換するときはピンの先に注意してください。ピンの先は尖っており、けがの原因となることがあります。

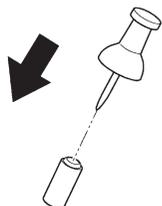
- 1** 原稿カバー解除レバーを引いて原稿カバーを開け、さらに内側のカバーを開けます。
- 2** 付属のピンを、済スタンプの印面に刺します。
原稿ガイドを倒れないように持ちながら、ピンをスタンプの印面に刺してください。

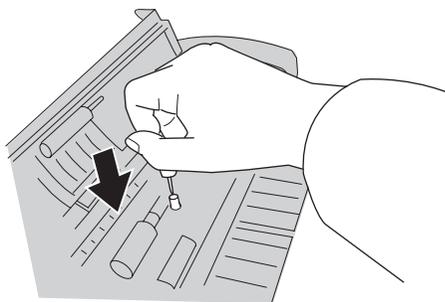
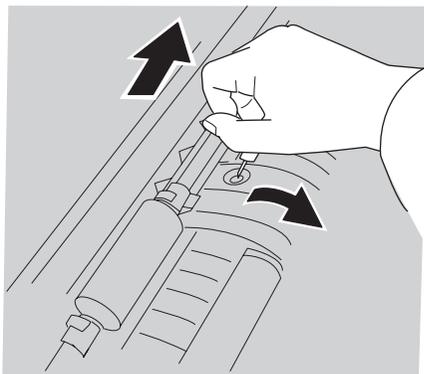


- 3** 済スタンプを引き抜きます。



- 4** 付属のピンを新しい済スタンプの印面に刺します。



5 本体に差し込みます。**6** ピンを斜めに傾けて、ピンだけを抜きます。**7** 内側のカバー、原稿カバーを閉めます。

原稿カバーの左右の端を上から押して、“カチッ”と音がするまで閉めてください。

6

こんなときには

日常のお手入れ

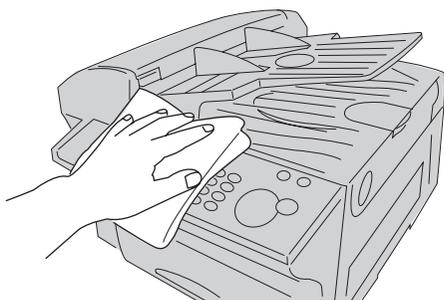
本商品のお手入れの手順を説明します。

かわいた柔らかい布でふいてください。汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼってからふぎとります。

お願い

- ・ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使わないでください。プラスチック部品や塗装をいためることがあります。
- ・清掃に使用する布は、よくしぼってからご使用ください。本商品内部に水が入ると、故障の原因となります。

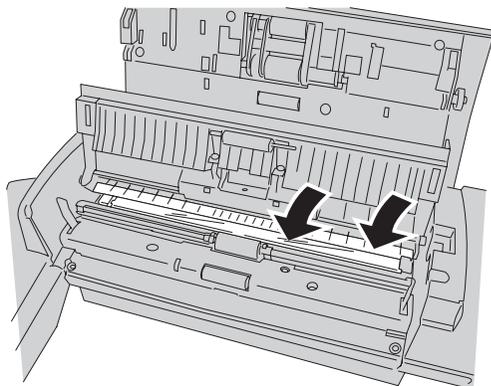
本体カバーを清掃する



原稿ガラス、読み取りガイドを清掃する

原稿ガラスが汚れていると、相手側での受信文書やコピーの汚れの原因となります。また、原稿を汚す原因にもなります。

- 1 原稿カバー解除レバーを引いて原稿カバーを開け、さらに内側のカバーを開けます。
- 2 原稿ガラス、読み取りガイドをふきます。



汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼってからふきとります。その後、かわいた布でふきとります。

- 3 内側のカバー、原稿カバーを閉めます。
原稿カバーの左右の端を上から押して、“カチッ”と音がするまで閉めてください。

6

こんなときには

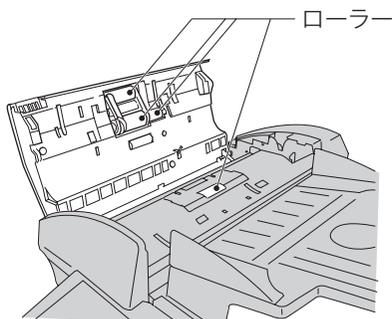
原稿送りローラーを清掃する

原稿送りローラーが汚れていると、繰り込みが悪くなり原稿がつまる原因となります。

1 原稿カバー解除レバーを引いて、原稿カバーを開けます。

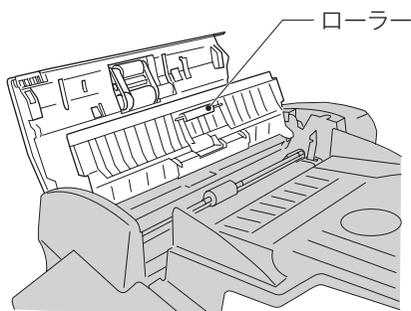
2 原稿送りローラーを清掃します。

■原稿カバー下のローラー



ローラーを手で回しながら、ローラー全面をふいてください。

■内側のカバー下のローラー



ローラーを手で回しながら、ローラー全面をふいてください。

3 内側のカバー、原稿カバーを閉めます。

原稿カバーの左右の端を上から押して、”カチッ”と音がするまで閉めてください。

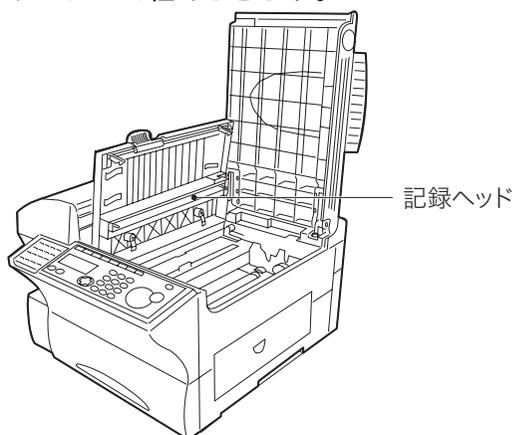
記録ヘッドを清掃する

記録ヘッドが汚れると、プリントが白く抜けたり文字がにじんだりすることがあります。

⚠ 注意

定着器とその周辺には触れないでください。動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。

- 1 トップカバー解除レバーを引き上げ、トップカバーを開けます。
- 2 プリンターカバーを開けます。
- 3 記録ヘッドをトナーカートリッジ梱包箱に同梱されているレンズクリーナーで軽くふきます。



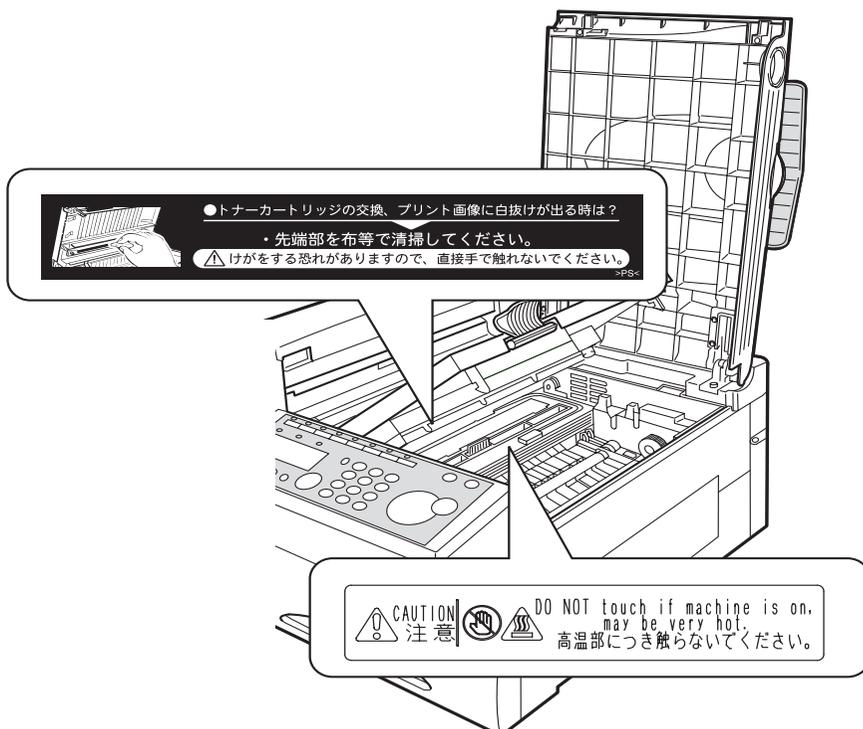
- 4 プリンターカバーを閉めます。
プリンターカバー右端中央のマーク部分を押さえて、"カチッ"と音がするまで閉めてください。
- 5 トップカバーをゆっくりと閉めます。
トップカバーの左右を押して、"カチッ"と音がするまで閉めてください。

用紙がつまったとき

用紙がつまるとアラームが鳴り、アラームランプが点灯して「ヨウシ ヲ トリノゾイテ クダサイ」と表示されます。次の手順で取り除いてください。

⚠️ 注意

- ・ 本商品内部の定着器周辺は、動作時に高温になります。紙づまりの処理や内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように注意してください。やけどをする恐れがあります。

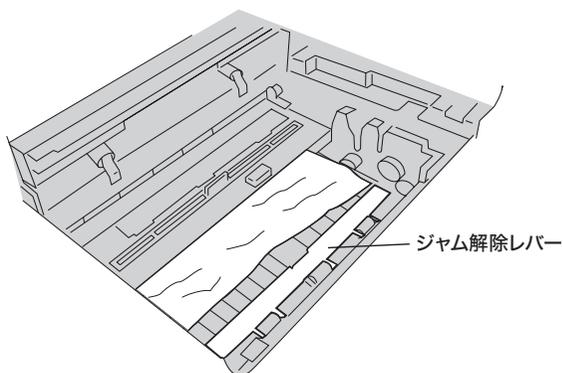


🙏 お願い

- ・ 紙づまりの処理中に、トナーが目や口に入らないように注意してください。万一、トナーが目や口に入った場合は、直ちにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ・ プリント中に用紙がつまったときは用紙にトナーが定着していません。トナーで手や衣服を汚さないように注意してください。手や衣服が汚れた場合は、きれいな水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し汚れがとれなくなる場合があります。
- ・ つまった用紙を取り除くときは、本商品内部に紙片が残らないように丁寧に取り除いてください。
- ・ 本商品内部の端子や搬送ローラーには触れないでください。画質低下の原因になります。
- ・ ドラムカートリッジに、5分以上光があたらないようにしてください。
- ・ ドラム表面には触れないでください。記録が正常にできなくなることがあります。

本体内部で用紙が詰まったとき

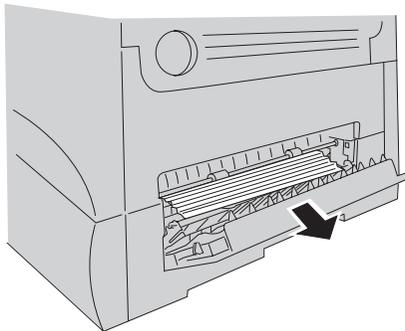
- 1 トップカバー解除レバーを引き上げ、トップカバーを開けます。
- 2 プリンターカバーを開けます。
- 3 ドラム、トナーカートリッジを取り外します。
ドラム、トナーカートリッジに強い光を当てないでください。画質不良の原因となります。
- 4 ジャム解除レバーを上げ、つまっている用紙を静かに引き抜きます。
ほかにも内部でつまっていないか確認してください。



- 5 ドラム、トナーカートリッジを取り付けます。
- 6 プリンターカバーを閉めます。
プリンターカバー右端中央のマーク部分を押さえて、"カチッ"と音がするまで閉めてください。
- 7 トップカバーを閉めます。
トップカバーの左右を押して、"カチッ"と音がするまで閉めてください。

サイドカバーで用紙が詰まったとき

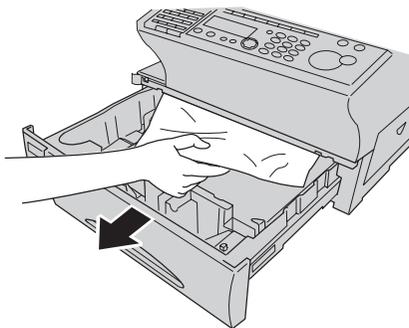
- 1 サイドカバーを開けます。
- 2 つまっている用紙があれば静かに引き抜きます。



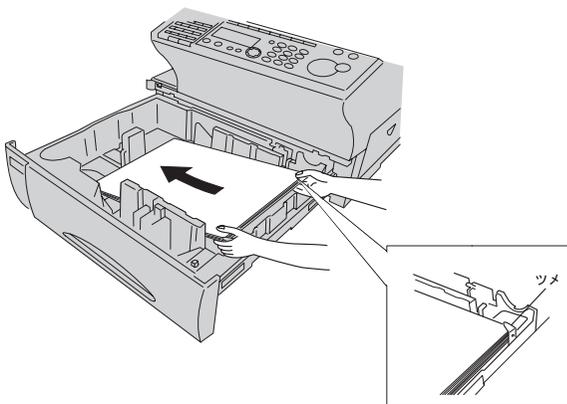
- 3 サイドカバーを閉めます。

用紙カセットで用紙が詰まったとき

- 1 カセットをゆっくりと引き出します。
- 2 つまっている用紙があれば静かに引き抜きます。



- 3 用紙をセットし直します。



4 用紙ガイド横をセットした用紙の幅に合わせて調整します。

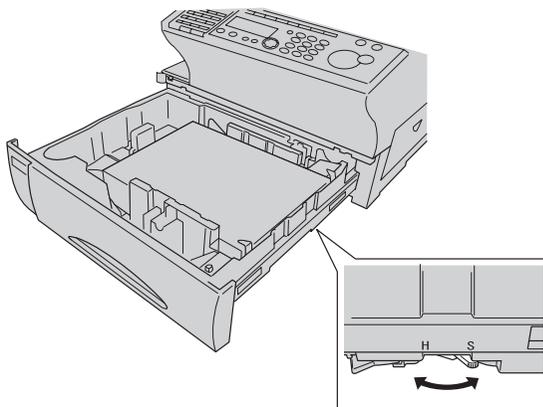
5 カセットを元に戻します。

補足 ○

カセットの給紙圧調整

カセット内で A4、B5 の用紙がつかまるときや用紙を繰り返さないときは、カセットの給紙圧を調整します。

B4、A5 の用紙では調整できません。



調整レバーの位置：H …… 用紙を繰り返さないとき

調整レバーの位置：S …… 用紙がつかまるとき、重なって繰り返すとき（重送）

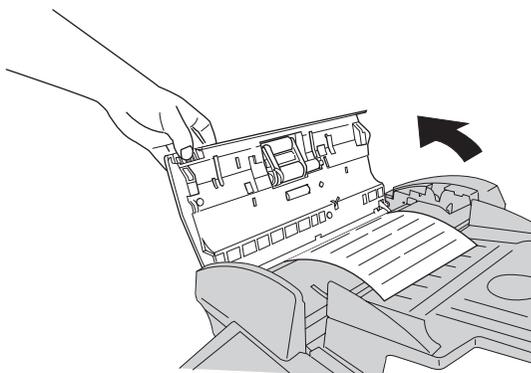
6

こんなときには

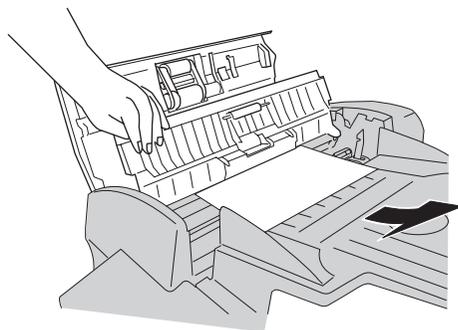
原稿が詰まったとき

原稿が詰まると、アラーム音とともにディスプレイにメッセージが表示されます。次の手順で取り除いてください。

- 1** 原稿カバー解除レバーを引いて原稿カバーを開けます。
- 2** つまっている原稿を静かに引き抜きます。
つまっている原稿を取り除くことができないときは手順3へ進みます。



- 3** さらに内側のカバーを開け、つまっている原稿を静かに引き抜きます。



- 4** 内側のカバー、原稿カバーを閉めます。
原稿カバーの左右の端を上から押して、「カチッ」と音がするまで閉めてください。

- 次のようなメッセージが表示されたときは、原稿の続きを読み取ることができます。

1 原稿がつまったとき、以下のメッセージが表示されます。

ゲ`ンコウガ` ツマリマシタ ツヅ`キノ ヨミトリ セット/クリア

〈クリア〉を押すか、1分間何も操作しないと蓄積した原稿をメモリーから消去します。

2 〈セット〉を押します。

- ・つまったページを表示します。
- ・〈ストップ〉を押すと蓄積した原稿をメモリーから消去します。

- メモリー送信のとき

2へ`ージ`カラ セットシナオシテ スタートキー ヲ オシテクダ`サイ

- コピーのとき

2へ`ージ`カラ セットシナオシテ コピ`ーキー ヲ オシテクダ`サイ

- ポーリング原稿蓄積、Fコード掲示板蓄積のとき

2へ`ージ`カラ セットシナオシテ セットキー ヲ オシテクダ`サイ

3 つまった原稿をセットし直し、表示されたキー（〈スタート〉、〈コピー〉〈セット〉）を押します。

原稿の読み取りが始まります。

エラーメッセージ

アラームランプについて

通信エラーや本商品に異常があると、アラームランプが点灯します。

アラームランプは、〈ストップ〉で消灯できるときと、消灯できないときがあります。

消灯できないエラーは、エラーに対しての処置が必要です。エラーの要因が解除されるとアラームランプは消灯します。

アラームランプを消灯できるエラー

- ・通信エラー
- ・受信中にメモリーオーバーしたとき
- ・蓄積中にメモリーオーバーしたとき

アラームランプを消灯できないエラー

- ・用紙切れ、用紙づまり、原稿づまり
- ・トナー切れ
- ・カバーやカセットが開いているとき
- ・本商品の重大なエラー

プリントされるエラーメッセージ

通信エラーが発生したときは、用紙にエラーの内容・対処方法のメッセージとエラーコードがプリントされます。エラーコードは通信エラーの原因を表すコードです。メッセージとエラーコードを確認して対処してください。ここに示した以外エラーメッセージが表示またはプリントされた場合は、送り直していただき、それでも通信できない場合は、NTT 通信機器お取扱相談センターにお問い合わせください。

メッセージ	メッセージの発生状態と対処の方法	エラーコード
ID 番号を確認してください	1. 相手先に登録されているファクス番号の下4桁と入力した番号の下4桁が一致しません。 ▶ ID 番号を確認してください。 2. 相手先にファクス番号が登録されていません。 ▶ 相手先に電話をかけ、相手側機のファクス番号の確認を依頼してください。	T.2.2
パスコードを確認してください	▶ 相手側機の確認を依頼してください。 ▶ パスコードの確認を依頼してください。	T.2.2
相手側機を確認してください	▶ 相手先に電話をかけ、相手側機のモード、ファクス番号、本商品の状態、パスコードなどの確認を依頼してください。	T.1.1、 T.2.1 T.2.2、 T.2.3 T.5.1、 T.5.2 T.8.1、 R.8.1
受信原稿を確認してください	▶ 相手先に電話をかけ、相手側機の動作状態の確認を依頼してください。	T.4.2
もう1度送信してください	1. 原稿がスムーズに繰り込まれていない状態になっていることがあります。 ▶ 再度、送信操作をしてください。 2. 回線状態が悪いことがあります。 ▶ 再度、送信してください。 ▶ 電話機ヒモの接続を確認してください。 (→ 1-15 ページ) 3. ダイヤルトーンが検出できません。 ▶ 内線交換機によってはダイヤルトーンを送出しない場合があります。ダイヤルトーン検出を OFF にしてください。(→ 1-29 ページ)	T.3.1 T.4.1 T.5.3 D.0.8
もう1度ダイヤルしてください	1. 設定してある再ダイヤル回数分の電話をしても、相手先に送信できなかった場合です。 ▶ 改めて相手先のファクス番号を押し、送信してください。それでも再度このメッセージが出るときは、相手先に電話をかけて相手側機の状態を確認してください。 2. ダイヤルタイプ設定が正しいか確認してください。 (→ 1-35 ページ)	D.0.2
メモリーオーバーしました	▶ 受信の場合は再度送信を依頼してください。また、用紙がなくなり代行受信でメモリーオーバーしている場合があります。その場合は、用紙を補充してください。 ▶ 送信の場合はリアルタイム送信に設定して、再度送信してください。	R.4.4
ダイヤル番号が登録されてません	▶ ワンタッチ・短縮ダイヤル番号をセットし直して、再送信してください。	D.0.6
停止しました	▶ 通信がストップしましたので、再度通信してください。	D.0.3 T.1.4 R.1.4

6
こんなときには

エラーコード

D：ダイヤル時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対処・処理の方法
G 3 送 信	D.0.2	相手が話中です	▶再送信してください。
	D.0.3	〈ストップ〉が押されました	▶再送信してください。
	D.0.6	オートダイヤル発信したとき、相手先ファクス番号が登録されていない	▶正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手先に着信しない	▶正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.8	発信時、ダイヤルトーン検出できない	▶内線交換機では、外線発信時にダイヤルトーンがない場合があります。その場合は、ダイヤルトーン検出を OFF に設定してください。 ▶電話機ヒモの接続を確認してください。 (→ 1-15 ページ)

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対処・処理の方法	
G 3 送 信	T.1.1	番号間違い（相手が出て切った）	▶相手先のファクス番号を確認し、再送信してください。	
		相手が手動受信で電話を切った	▶相手先の受信方法を確認してください。	
		相手機種がG3機でない	▶本商品では通信できません。	
	T.1.4	交信開始時に〈ストップ〉を押した（通信管理記録のみ表示）	▶再送信してください。	
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手が回線を切った	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、NTT通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。	
		相手機と設定が合わないとき	▶相手側の設定を確認してください。閉域通信設定で使用されていればパスコードを合わせてください。	
	T.2.2	・IDチェック送信で相手機に登録されているファクス番号の下4桁と入力した番号の下4桁が一致しないとき。 ・閉域送信で相手機とパスコードが一致しないとき ・相手機と設定が合わないとき	▶相手先の機種および設定状況を確認してください。	
	T.2.3	回線障害などが原因で、最低速度でも交信できない	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、NTT通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。	
	T.3.1	連続送信時2枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶エラーが発生したページより再度送信してください。	
		900 mm以上の原稿を送信した	▶1ページを900mm以内に切って送信してください。	
		交信中断のあと“ランプカクニン”と表示した場合は光源の光量不足	▶電源スイッチをOFF→ONしてコピーをとってみてください。 “ランプカクニン”表示しなければ再度送信してください。 コピーでも“ランプカクニン”表示となる場合は、NTT通信機器お取扱相談センタまでご連絡ください。（→裏表紙）	
		T.3.2	回線障害などが原因で交信できなかった	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、NTT通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。
		T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、NTT通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。
T.4.2		相手側で画質異常となった（回線障害などが原因）	▶送信したページは相手側に届いていますが、1部うつりが悪くなっている可能性があります。相手側に受信画質の確認を依頼してください。	
T.4.4	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶再送信してください。		
E C M 送 信	T.5.1	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、NTT通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。	
	T.5.2	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）		
	T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）		
	T.8.10、 T.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった		
	T.8.1	受信モードがあわない	▶相手側を確認してください。相手側機がファクスではないことがあります。	

R：受信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3 受信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶送信側の操作ミスが考えられます。 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 ▶何度もこのエラーが発生する場合は、NTT 通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した (通信管理記録のみ表示)	
	R.1.5	回線障害などが原因で交信できなかった	▶相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合は、NTT 通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。
	R.2.3	回線障害などにより回線が切れた	
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いたまたは〈ストップ〉を押しした	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた (回線障害などが原因)	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない (回線障害などが原因)	
	R.4.2	受信中に信号が切れた (回線障害などが原因)	
	R.4.4	メモリー容量オーバー (通信管理記録にのみ記載)	
E C M 受信	R.5.1	受信中に信号が途切れた 送信側で〈ストップ〉を押しした	
	R.5.2	受信中に信号が途切れた (回線障害などが原因)	
	R.8.10、 R.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶相手機を確認してください。ポーリングにて、相手に原稿が無いなど。

液晶ディスプレイ上にあらわれるメッセージ

メッセージ	原因	対応方法	参照ページ
アンショウバンゴウガ チガイマス	ワープ暗証番号が間違えて入力されました。	▶正しいワープ暗証番号を入力し直してください。	5-42
エンビツ ヨミトリ OFF ニ スル → セットキー ▼ ▲ OFF ニ シナイ → クリアキー	えんびつ読み取りの設定がONのときに、車検証読み取りの設定をONにしようとした。	▶〈セット〉を押すと、えんびつ読み取りの設定をOFFにし、車検証読み取りの設定をONに変更します。 ▶〈クリア〉を押すと、えんびつ読み取りの設定はONのままで、車検証読み取りの設定はOFFのままです。	2-7
オプションヒンカセットガ ヒツヨウデス	オプション品カセット未装着で、リストプリント用紙選択設定をしようとした。	▶オプション品カセット装着時のみ、有効な機能です。	7-20
カセット1 ヲ トジテクダサイ カセット2 ヲ トジテクダサイ	数字で示された段のカセットが開いています。	▶用紙カセットを引き出し、再度押し閉じてください。	—
ケタスウ オーバー デス	名前や番号入力の際、最大桁数を超過しました。	▶最大桁数内で入力し直してください。	—
●原稿1枚目ですつまったとき ゲンコウカバー ヲ カイハイシテ ゲンコウセット ヤリナオシテクダサイ ●原稿2枚目ですつまったとき ゲンコウガ ツマリマシタ ツツキノヨミトリ セット/クリア	原稿の読み取り中に原稿づまりが発生しました。	▶つまった原稿を取り除き、セットし直してください。 ▶〈セット〉を押すと、読み取りを続ける操作を行います。 ▶〈クリア〉を押すと、それまでに蓄積した原稿のデータは消え、待機画面になります。 ・1分間指示しない場合は、蓄積した原稿のデータを消去し、待機状態になります。	6-20
ゲンコウカバーヲ トジテクダサイ サイドカバー1ヲ トジテクダサイ サイドカバー2ヲ トジテクダサイ トップカバー ヲ トジテクダサイ プリンターカバーヲ トジテクダサイ	表示されたカバーが開いています。	▶表示されたカバーを一度開けて、閉め直してください。	—
ゲンコウ ガ アリマセン	ポーリング原稿やFコードボックスに原稿が蓄積されていません。	▶Fコード受信通知を確認してください。 ▶メモリー期間が過ぎており、消去されていることも考えられます。 ▶Fコード蓄積原稿リストをプリントして、原稿があるか確認してください。	3-24 3-26
ゲンコウ ガ セット サレテイマス	リアルタイム送信中、予約中または原稿の読み取り中に〈スタート〉が押されました。	▶次のいずれかの操作をします。 1. 〈ストップ〉を押してセットしてある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了してから再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに予約します。	—
ゲンコウ ヨミトリチュウ デス	原稿読み取り中に右記の操作が行われました。	▶〈コピー〉が押されました。 ▶ほかの宛先で送信が指示されました。 ▶ポーリング予約文書の蓄積が指示されました。原稿の読み取りが終了してから、操作をしてください。	—

6
こんなときには

メッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ゲンコウ ヲ セット シテクダサイ	原稿をセットしないで送信やコピーをしようとしています。	▶原稿をセットして再度操作してください。	2-5
コピー チュウシ シマスカ？ スル → スタートキー ▼ ▲ シナイ → クリアキー	ファクス&コピーの設定がONのとき、コピー部数入力画面で〈クリア〉を押し、コピーのみを中止しようとした。	▶〈スタート〉を押すと、コピーのみを中止します。 ▶〈クリア〉を押すと、再度コピー部数入力画面に戻ります。	3-27
サイドカバー1 ヲ アケテ サイドカバー2 ヲ アケテ プリンターカバー ヲ アケテ ヨウシ ヲ トリノゾイテクダサイ	ディスプレイに示された部分に用紙がつまっています。	▶つまった用紙を取り除いてください。	6-16
シテイジコク ジュウフク シテイマス	フオンワープの登録で、重複した時刻を入力しようとした。	▶重複しない時刻を入力し直してください。	3-39
シバラク オマチクダサイ	プリント可能状態になっていません。	▶プリント可能状態になると、自動的に表示は消えます。そのまましばらくお待ちください。	—
シャケンショウ ヨミトリ OFF ニ スル → セットキー ▼ ▲ OFF ニ シナイ → クリアキー	車検証読み取りの設定がONのときに、えんぴつ読み取りの設定をONにしようとした。	▶〈セット〉を押すと、車検証読み取りの設定をOFFにし、えんぴつ読み取りの設定をONに変更します。 ▶〈クリア〉を押すと、車検証読み取りの設定はONのままで、えんぴつ読み取りの設定はOFFのままです。	2-7
ジュシン ゲンコウ ガ アリマス	セキュリティ受信OFFまたは、プロテクトコードを消しようとしたときに、セキュリティ受信原稿が残っています。	▶セキュリティ受信原稿をプリントしてください。	4-21
ジュワキ ガ アガッテイマス	交信終了時にハンドセットがはずれていたり、上がったままです。	▶ハンドセットを戻します。戻すまでアラームが鳴り続けます。(ハンドセットはオプション品です。)	—
シンテンボックス デス	Fコード原稿蓄積・消去で選択したボックスが親展ボックスです。	▶掲示板ボックスを選択してください。	3-23 3-25
ストップキー デ ゲンコウ ヲ ハイシュツ シテクダサイ	読み取り中にメモリーオーバーや〈ストップ〉を押し、読み取りを途中で中止しました。	▶〈ストップ〉を押して、原稿をすべて排出してください。	—
セット サレテイマセン	ワンタッチ・短縮・グループダイヤル、プログラムワンタッチが登録されていません。各種リストを出力しようとしたときに、何もセットされていません。	▶ワンタッチ・短縮・グループダイヤルリスト、プログラムワンタッチリストを確認のうえ、操作してください。 ▶各種登録をしてから再度操作してください。	5-16 5-20 5-23 5-34
セキュリティ ジュシン ミセツテイ	セキュリティ受信を登録しないでセキュリティ受信の設定をONにしようとした。	▶セキュリティ受信を登録してください。	4-20

メッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ソウニユウ デキマセン	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの挿入で、ワンタッチキー〈60〉、短縮ダイヤル〈140〉にはすでに登録されています。	▶ワンタッチキー〈60〉、短縮ダイヤル〈140〉を削除してください。	5-15 5-20
タイキモード ヘンコウ シマスカ？ スル → セットキー ▼ ▲ シナイ → クリアキー	デンワタイキのときに、ファクスワープをONにしようとした。 ファクスタイキ、ルス／ファクスタイキ、デンワタイキのときに、フォンワープをONにしようとした。	▶〈セット〉を押すと、受信モードがファクス／デンワタイキになり、ファクスワープがONになります。 ▶〈クリア〉を押すと、受信モードは変更されず、ファクスワープはOFFのままです。 ▶〈セット〉を押すと、受信モードがファクス／デンワタイキになり、フォンワープがONになります。 ▶〈クリア〉を押すと、受信モードは変更されず、フォンワープはOFFのままです。	3-34 3-42
ダイヤルイン セット サレテイマセン	ダイヤルイン待機を設定した場合で、ファクス番号、電話番号1、電話番号2を設定していません。	▶ファクス番号、電話番号1、電話番号2を登録してください。	1-33
タダシイ バンゴウ ヲ ドウゾ	短縮ダイヤル、グループダイヤルで相手先を指定するときに、テンキー以外のキーが押されました。	▶テンキーで正しい番号を入力してください。	2-11 3-5
チクセキ デキマセン	Fコード原稿蓄積時、原稿追加を選択したが、すでに30件蓄積されています。	▶原稿を消去するか、ほかのボックスを選択してください。	3-23 3-25
チュウケイボックス デス	Fコード原稿蓄積、消去で選択したボックスが中継ボックスです。	▶掲示板ボックスを選択してください。	3-23 3-25
チョクセツダイヤル 1 カシヨ イナイ	ファクスワープでテンキーによる相手先番号の指定が1か所を超えています。	▶テンキーによる相手先番号の指定数は1か所までです。	3-29
チョクセツダイヤル 20 カシヨ イナイ	同報送信などでテンキーによる相手先番号の指定が20か所を超えています。	▶テンキーによる相手先番号の指定数は20か所までです。	3-3
テンソウサキ ヲ トウロクシテクダサイ	ファクスワープ、フォンワープを登録しないで、ファクスワープ、フォンワープの設定をONにしようとした。	▶ファクスワープ、フォンワープを登録してください。	3-29 3-39
ツウシン エラー	通信エラーが発生しました。	▶通信エラーの内容を確認して、再操作してください。アラームランプは〈ストップ〉を押すと消えます。	—
ツウシンチュウ デス	ポーリング送信中にポーリング原稿消去の操作が行われました。	▶通信終了後、再操作してください。	—

メッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ツウシン デキマセン	送信・受信の指示登録が いっぱいです。	▶次のいずれかの操作をします。 1. 〈ストップ〉を押してセットし てある原稿を排出します。 2. 現在予約中の通信が終了して から再操作を行います。 3. 予約を取り消してから新たに 予約します。 4. リアルタイム送信を行います。	2-28 2-21
ツウシンマチ アリマセン	通信予約プリントや取り 消しを指示したときに、 指定したファイル番号に 予約がありません。	▶通信予約リストまたは、 〈ファクス中止〉で予約状況を 確認してください。	3-57 2-28
テンケン ヲ オウケクダサイ	本商品内部に異常が発生 しました。	▶NTT 通信機器お取扱相談セン タまでご連絡ください。	裏表紙
トナー/ドラム ジュンビクダサイ	ドラムカートリッジ、ト ナーカートリッジの交換 時期が近づいています。	▶新しいドラムカートリッジ、ト ナーカートリッジをご用意くだ さい	6-2
トナーカートリッジ ガ アリマセ ン	トナーカートリッジがあ りません。	▶トナーカートリッジを取り付け てください。	1-19
トナー ガ ノコリワズカデス	トナーが少なくなりました。	▶新しいトナーカートリッジをご 用意ください。	6-6
トナー ヲ コウカン シテクダサ イ	トナーがなくなりました。	▶トナーカートリッジを交換して ください。	6-6
ドラム ガ アリマセン	本商品にドラムカート リッジが入っていません。	▶ドラムカートリッジを取り付け てください。	1-19
ドラム ジュンビ シテクダサイ	ドラムカートリッジの交 換時期が近づいていま す。	▶新しいドラムカートリッジをご 用意ください。	6-2
ドラム ヲ コウカン シテクダサ イ	ドラムカートリッジの交 換時期です。	▶ドラムカートリッジを交換して ください。	6-2
ハッシンモト ジュウフク シテイ マス	フオンワープの登録で、 重複した発信元番号を入 力しようとしてしました。	▶重複しない発信元番号を入力し 直してください。	3-39
バンゴウ 10 カシヨ イナイ	ポーリングの宛先など最 大 10 件以内の操作のと きに 10 件以上を入力し ました。	▶ 10 件以内でセットしてくださ い。	—
バンゴウ ガ チガイマス	暗証番号が間違っていま す。	▶正しい暗証番号を入力してくだ さい。	—
バンゴウ ガ トウロクサレテイマ ス	ダイレクトメール防止の 番号で、重複した番号が 入力されました。 Fコードボックス登録時 に、重複したサブアドレ スを入力しようとしてしま した。	▶重複しない番号を入力し直して ください。 ▶重複しないサブアドレスを入力 し直してください。	4-22 3-14
ファクスチュウノ コマンド アリ マセン ヨヤクチュウシ スル → セッ トキー ▼ ▲ ヨヤクチュウシ シナイ → クリ アキー	通信予約がある状態で、 〈ファクス中止〉を押しま した。	▶ 〈セット〉を押すと、通信予約 中止操作ができます。 ▶ 〈クリア〉を押すと、通信予約 中止操作をせずに、待機画面に 戻ります。	2-24

メッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ファクス ヲ チュウシ シマスカ？ スル → ツウシンチュウシキー ▼ ▲ シナイ → ストップキー	通信中に〈ファクス中止〉 を押しました。	▶ 〈ファクス中止〉を押すと、 現在動作中の通信を中止し ます。 ▶ 〈ストップ〉を押すと、現 在動作中の通信は中止せず に、待機画面に戻ります。	2-24
ファクスワープ OFF ニ シマスカ？ スル → セットキー ▼ ▲ シナイ → クリアキー	ファクスワープがONの ときに、受信モードをデ ンワタイキに変更しよう としました。	▶ 〈セット〉を押すと、ファ クスワープがOFFになり、 選択した受信モードに変更 できます。 ▶ 〈クリア〉を押すと、ファ クスワープはONのままで、 受信モードは変更されませ ん。	3-29
フォンワープ OFF ニ シマスカ？ スル → セットキー ▼ ▲ シナイ → クリアキー	フォンワープがONのと きに、受信モードをファ クスタイキ、ルス／ファ クスタイキ、デンワタイ キに変更しようとしてしま した。	▶ 〈セット〉を押すと、フォ ンワープがOFFになり、 選択した受信モードに変更 できます。 ▶ 〈クリア〉を押すと、フォ ンワープはONのままで、 受信モードは変更されませ ん。	3-38
プリントチュウ デス	プリント中にプリントさ せる操作をしました。	▶ プリントが終了してから再 操作してください。	—
プリント ヨヤク チュウ ツウシン シュウリョウゴ スタート	スーパー G3またはJBIG 通信中に、リストや蓄積 原稿のプリント操作をし ようとしてしました。	▶ 通信終了後に、プリントが 開始されますので、しばら くお待ちください。	—
プリント ヨヤク チュウ ヨミトリ シュウリョウゴ スタート	送信、コピーなどの読み 取り中にリストのプリン ト操作をしようとしてしま した。	▶ 読み取り終了後にリストの プリントが開始されますの で、しばらくお待ちくださ い。	—
プログラム デ ショウサレテイマス	プログラムワンタッチに 登録されているFコード ボックスを削除しようと しました。	▶ プログラムワンタッチから Fコードボックスを削除し てください。	5-33
プロテクトコード ガ チガイマス	プロテクトコードが間違 えて入力されました。	▶ 正しいプロテクトコードを 入力し直してください。	4-4
プロテクトコード ミトウロクデス	セキュリティ機能を利用 するにはプロテクトコー ドが必要ですが登録され ていません。	▶ プロテクトコードを登録し てください。	4-4
ホカノキノウデ ショウサレテイマス	ワンタッチダイヤルまた は短縮ダイヤルが、通信 予約、Fコード中継指示 ボックス、プログラムワ ンタッチ、ファクスワー プ、フォンワープで使用 されています。	▶ 通信予約の場合は、通信が 実行されるのを待つか、予 約を削除してください。 ▶ 他の機能の登録で使用され ている場合は、配信先や転 送先、相手先からワンタッ チダイヤルまたは短縮ダイ ヤルを削除してください。	2-28

メッセージ	原因	対応方法	参照ページ
ボックス ショウチュウ ●原稿 1 枚目でメモリーオーバー メモリー オーバー デス ●原稿 2 枚目以降でメモリーオーバー メモリー オーバー デス メモリー プンノミ セット/クリア	F コードの原稿蓄積などで選択したボックスが使用中です。 原稿の蓄積中にメモリー容量をオーバーしたことを示し、自動的に原稿の読み取りを中止します。	▶使用されている状態を解除してから、原稿蓄積などを行ってください。 ▶リアルタイム送信に切り替えて再度操作してください。 ▶〈スタート〉を押すと、蓄積済みの原稿のうち、前ページまで登録完了とし、与えられた操作を行います。 ▶〈クリア〉を押すと、それまでに蓄積した原稿のデータは消え、待機画面になります。 ※ 1 分間指示をしない場合 ・メモリー送信時は蓄積した原稿を消去します。 ・コピー時は蓄積した分のコピーを開始します。	3-23 2-21 —
メモリー ガ イッパイデス ジュシン デキマセン	メモリー容量が不足しているか、代行受信件数が 50 通信を超えました。	▶代行受信ランプが点灯しているときは、用紙補給などの処置をしてください。 ▶通信予約原稿やポータブル蓄積原稿などがメモリーに蓄積されていないか確認してください。	2-39 2-28
メモリー ソウシン ON シテクダサイ	メモリー送信の設定が OFF のときに、ファクス & コピーを ON にしようとした。	▶メモリー送信の設定を ON にしてください。	2-21
ヨウシサイズ ヲ カクニンシテ トップカバー ヲ カイハイシテクダサイ	設定されているカセットサイズと用紙サイズが違います。	▶用紙サイズに合わせてカセットサイズを変更後、プリンターカバーを開閉してください。	5-39
ヨウシ ヲ ホキユウ シテクダサイ	用紙がなくなりました。	▶カセットに用紙を補給してください。	1-25
ヨミトリ&プリント ヨヤクチュウ ツウシン シュウリョウゴ スタート	スーパー G3 または JBIG 通信中に、送信、コピーなどの読み取り操作と、リストや蓄積原稿のプリント操作をしようとした。	▶通信終了後に、読み取りとプリントが開始されますので、しばらくお待ちください。	—
ヨミトリ ヨヤクチュウ ツウシン シュウリョウゴ スタート	スーパー G3 または JBIG 通信中に、送信、コピーなどの読み取り操作をしようとした。	▶通信終了後に、読み取りが開始されますので、しばらくお待ちください。	—
ヨミトリ ヨヤクチュウ プリント シュウリョウゴ スタート	リストプリント中に、送信、コピーの読み取り操作をしようとした。	▶リストプリント終了後に、読み取りが開始されますので、しばらくお待ちください。	—
ヨヤクゲンコウ ガ アリマセン	予約原稿のプリントを指示したときに、ポータブル予約などにより指定した予約番号には原稿がありません。	▶通信予約リストで予約状況を確認し、正しい予約番号を入力し直してください。	3-57
ランプ カクニン	原稿読み取り用の光源の光量不足または光源が不良です。	▶一度電源を OFF / ON にしてコピーし、光源がつくか確認してください。 ▶光源がつかない場合は、エラーが消えない場合は、NTT 通信機器お取扱相談センターにお問い合わせください。	—

故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときにお読みください。万一ここで書かれた処置を行っても異常が直らない場合は、NTT 通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。

送信できない

発生状況	チェック項目	処 理	参照ページ
送信できない	送信の手順は正しいですか？	手順を確認し、もう一度操作をしてください。	2-9
	相手先の電話番号は正しいですか？	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで指定しているときは、正しく登録されているか、リストをプリントして確認してください。	5-16 5-20
	回線の設定は正しいですか？	回線の設定を確認し、誤りがあるときは、正しく設定し直してください。	1-29
	相手側にトラブルはありませんか？	相手側に確認し、受信できる状態にするよう依頼してください。(電源、用紙、受信モードなど)	—
原稿が連続して送信されない	原稿の先端を階段状にセットしていませんか？	原稿の先端をそろえてセットし直してください。	2-5
	セットした原稿の中に最小幅(120 mm)より幅の狭い原稿がセットされていませんか？	最小幅より狭い原稿はキャリアシートに入れ、残りの原稿とは別に送信してください。	2-4
	キャリアシートが原稿の中に混ざっていませんか？	キャリアシートを使うと原稿が分離しにくいので1枚ずつ送信してください。	2-4
原稿が出てこない	原稿がつまっていますか？	原稿カバーを開けてつまっている原稿を取り除いてください。	6-20

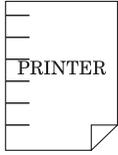
6
こんなときには

受信できない

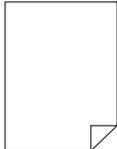
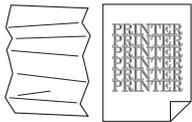
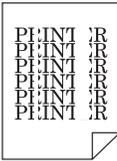
発生状況	チェック項目	処 理	参照ページ
受信できない	デンワタイキになっていませんか？	初期設定でデンワタイキ以外の受信モードに設定してください。	1-29
	用紙はありますか？	用紙がないときは、用紙を補給してください。	1-25
	用紙がつまっていませんか？	用紙がつまっているときは、用紙を取り除いてください。	6-16
	回線の接続は正しいですか？	回線の接続を確認し、誤りがあるときは、正しく接続し直してください。	1-15
	メモリーオーバーしていませんか？ メモリーの残量が少なくなっていますか？	代行受信した文書がメモリーに蓄積されている場合があります。代行受信ランプが点灯しているときは、用紙補給などの処置をしてください。	2-39
		通信予約原稿やポーリング蓄積原稿などがメモリーに蓄積されていないか確認してください。	2-28
ポーリング受信できずにエラーメッセージがプリントされます	相手先がポーリング原稿を登録していますか？	相手先にポーリング原稿を登録してもらってください。	-

画質が悪い

以下の処理をしても正常に戻らないときは、NTT 通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。

症状	原因	処置	参照ページ
プリントがうすい (かすれる、不鮮明) 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	—
	濃度の設定が間違っています。	正しく設定してください。	2-8
	ドラムカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	6-2
	記録ヘッドが汚れています。	トナーカートリッジ梱包箱に同梱されているレンズクリーナーで記録ヘッドを清掃してください。	6-15
黒点や白点が現れる 	本商品では使用できない用紙です。	適切な用紙をセットしてください。	1-23
	ドラムカートリッジが劣化、またはキズがついています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	6-2
黒筋や汚れがプリントされる 	読み取り部の原稿ガラス、読み取りガイド、原稿送りローラーなどが汚れています。	原稿ガラス、読み取りガイド、原稿送りローラーを清掃してください。	6-13 6-14
等間隔に汚れがプリントされる 	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚テストコピーをしてください。	—
	ドラムカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	6-2
	ドラムカートリッジがオイルの付着等で劣化しています。		
黒筋や汚れがプリントされる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	—
	本商品では使用できない用紙です。	適切な用紙をセットしてください。	1-23
	プリンターカバーが完全に閉じていません。	プリンターカバーを閉じ直してください。	1-6
	ドラムカートリッジがオイルの付着等で劣化しています。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	6-2

6
こんなときには

症 状	原 因	処 置	参照ページ
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラムまたはトナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムまたはトナーカートリッジに交換してください。	6-2
	高圧電源の故障が考えられます。	NTT 通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。	—
何もプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されました。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。	—
	ドラムまたはトナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムまたはトナーカートリッジに交換してください。	6-2
	高圧電源の故障が考えられます。	NTT 通信機器お取扱相談センタにお問い合わせください。	—
白抜けがおこる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	—
	本商品では使用できない用紙です。	適切な用紙をセットしてください。	1-23
用紙にシワが入ったり、文字がにじんだりする 	本商品では使用できない用紙です。	適切な用紙をセットしてください。	1-23
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	—
紙送り方向に白抜けが起こる 	トナーカートリッジが劣化、またはキズがついています。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	6-6
	読み取り部の原稿ガラスが汚れています。	読み取り部の原稿ガラスを清掃してください。	6-13
	記録ヘッドが汚れています。	トナーカートリッジ梱包箱に同梱されているレンズクリーナーで記録ヘッドを清掃してください。	6-15

停電のとき

● 停電になったとき

通話中は ...	引き続き通話ができます。
送信中は ...	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリー送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
受信中は ...	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
コピー中は ... 受信プリント中は ... リストプリント中は ...	プリントが途中で止まります。
原稿の読み取り中は ...	読み取りが途中で停止します。停電が復旧しても、読み取りは再開しません。復旧後は、〈ストップ〉を押して原稿を排出してください。

● 停電中

コピー	コピーできません。
ファクス送信	送信できません。
ファクスの受信	受信できません。
電話をかける	ハンドセットのダイヤルキーを利用して、電話をかけることができます。
電話を受ける	ハンドセットで、電話を受けることができます。保留はできません。 ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、特別な操作を行う必要があります。 【PB ダイヤルインをご契約の場合】 ①呼び出しベルが2回鳴るまでにハンドセットを上げる。 ②PB 信号「ピッポッパッ」という発信音を聞く。 ③発信音の後、2秒以内にハンドセットを元に戻す。 ④もう一度、ハンドセットを上げると通話できる。 【モデムダイヤルインまたはナンバー・ディスプレイをご契約の場合】 ①短い間隔の呼び出しベルが鳴り終わるまで待つ。約6秒（呼び出しベル音約7回） ②呼び出しベルの間隔が長くなったときにハンドセットを上げると通話できる。 ※①の呼び出しベルでハンドセットを上げた場合、「ピーガー」という発信音を聞いたらずちにハンドセットを元に戻してください。その後、再び呼び出しベルが鳴りますので、ハンドセットを上げると通話できます。

ハンドセットはオプションです。

メモリーバックアップ

- ・メモリーに蓄積された画像データは、停電や電源を OFF にしたときでも最大約 72 時間保持されます。オプション品の増設メモリ 4MB 装着時は約 24 時間保持されます。
- ・停電時や電源を切った場合に、画情報を維持するバックアップ電池の充電には、連続して 24 時間以上の通電が必要です。バックアップ電池は本商品に内蔵されており、電源を ON すると自動的に充電されます。また、100% 充放電を約 100 回行うと電池寿命となりますので、夜間等に電源を切っておくような使用は避けるようご注意ください。なお、画情報のバックアップ電池は、電池単体での交換はできません。高価なパッケージの交換となりますので注意してください。
- ・短縮ダイヤルや発信元名、日付や時刻などの登録内容、各種機能の設定内容は画情報とは別の電池にてバックアップされております。

第7章

付録

文字一覧表.....	7-2
文字コードの探しかた	7-2
記号コード一覧	7-2
漢字・全角文字コード一覧.....	7-3
機能番号一覧.....	7-8
機能リストをプリントする.....	7-8
機能番号について	7-9
機能一覧と参照ページ	7-9
アフターサービスについて.....	7-13
保証について	7-13
修理を依頼されるときは	7-13
その他の場合	7-13
主な仕様.....	7-14
仕様.....	7-14
デュアルアクセス.....	7-15
外形寸法	7-16
規制について	7-17
消耗品について	7-19
オプション品・別売品について	7-20
オプション品	7-20
別売品	7-20
さくいん.....	7-21

文字一覧表

文字をコードで入力する場合、登録する文字の文字コード（4桁の数字）が必要となります。

ここでは、文字コードの探し方、文字コード一覧、ローマ字の入力のしかたを表にして記載しています。文字をコード入力するときや、ローマ字の入力のしかたがわからないときに参照してください。

文字コードの探し方

ここでは、例として宛先の「宛」の文字の文字コードを探すときについて説明します。

		②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	①	160		亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢
	161		葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦	鯨
	162		梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	163		鮎	或	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇

「宛」の左にある①欄の数字／記号に、上にある②欄の数字を組み合わせたものが、「宛」の文字コード番号になります。

1 6 2 4
① ②

記号コード一覧

		②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
半 角	①	010	SP	,	.	:	;	?				
	011	!						^				
	013	/										'
	014	"	()					[]	{	}
	015	<	>				「	」				
	016	+	-					=				
	017											¥
	018	\$			%	#	&	*	@			
	021	→	←									

※「SP」はスペース（空白）を示しています。

漢字・全角文字コード一覧

■記号／英／数字／特殊文字

記号	②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	①											
010		SP	、	。	、	..	・	∴	∴	∴	∴	
011		!	"	'	、	..	・	∴	∴	∴	∴	
012		ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	
013		-	/	\	~			
014		"	"	()	()	[]	{	}	
015		<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	
016		+	-	±	x	÷	=	≠	<	>	≦	
017		≧	∞	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	
018		\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	
019		★	○	●	◎	◇	△	▽	▼	※	〒	
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒		
021		→	←	↑	↓	≡						
031	英／数字／特殊						0	1	2	3		
032		4	5	6	7	8	9					
033					A	B	C	D	E	F	G	
034		H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	
035		R	S	T	U	V	W	X	Y	Z		
036							a	b	c	d	e	
037		f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
038		p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	
039		z										
137								(株)	(有)			

※「SP」はスペース（空白）を示しています。

■ひらがな／カタカナ／ギリシャ文字／ロシア文字

	②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	①										
ひらがな	040		あ	い	う	え	お				
	041	お	か	が	き	ぐ	げ	こ			
	042	ご	さ	ざ	し	じ	ず	ぜ	そ		
	043	そ	た	だ	ち	ぢ	っ	づ	て	で	
	044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ば
	045	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	ほ	ほ
	046	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	や	や	ゆ
	047	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	る	わ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん							
カタカナ	050		ア	イ	ウ	エ	オ				
	051	オ	カ	ガ	キ	ク	ケ	コ			
	052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ズ	セ	ゼ	ソ	
	053	ゾ	タ	ダ	チ	チ	ツ	ツ	テ	デ	
	054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ノ	ハ	バ	パ	
	055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	フ	ヘ	ベ	ペ	
	056	ポ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	
	057	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ				
ギリシャ文字	060		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I
	061	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T
	062	Υ	Φ	X	Ψ	Ω					
	063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
	064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
ロシア文字	070		A	B	В	Г	Д	E	Ё	Ж	З
	071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	073	Ь	Э	Ю	Я						
	074										a
	075	б	в	г	д	e	ё	ж	з	и	й
	076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я									

■第一水準漢字コード一覧

ひらかなやカタカナを入力するときは、「ひらがな／カタカナ／ギリシャ文字／ロシア文字」を参照してください。(→7-3 ページ)

①	②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	160	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	
	161	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	蓼	
	162	梓	庄	幹	扱	宛	妯	虻	飴	絢	
	163	鮎	或	粟	拾	安	庵	按	暗	案	
	164	鞍	杏								
い	164		以	伊	位	依	偉	困	夷	委	
	165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸
	168	稻	茨	芋	鱒	允	印	咽	員	因	姻
	169	引	飲	淫	胤	蔭					
う	170						右	宇	烏	羽	
	171	迂	雨	卯	鶉	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	172	唄	蔚	蔚	鰻	姥	厖	浦	瓜	閏	噂
	173	云	運	雲							
	173		荏	餌	叡	營	嬰	影	映		
え	174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英
	175	衛	詠	鋭	液	疫	益	馱	悦	謁	越
	176	閱	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	177	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
	178	艶	苑	園	遠	鉛	鴛	塩			
	178							於	汚	甥	
お	179	凹	央	奥	往	応					
	180		押	旺	横	殴	王	翁	襖	鶯	
	181	鷗	黄	岡	冲	荻	億	屋	憶	臆	桶
	182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音		
	182								下	化	
か	183	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	188	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	怪	悔
	189	恢	懷	戒	拐	改					
	190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥
	191	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖
	192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	淫
	193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	194	拏	攪	格	核	殼	獲	確	穫	覺	角
	195	赫	較	郭	閣	隔	革	岳	榮	額	
	196	顎	掛	笠	桴	櫃	梶	鯁	渴	割	喝
	197	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
	198	叶	柁	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌
	199	嚙	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苧	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	
201		勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	

①	②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
か	202	幹	患	感	憤	憾	換	敢	柑	桓	棺
	203	款	歡	汗	漢	澗	環	甘	監	看	
	204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	觀
	205	諫	貫	還	鑑	閑	閑	閑	陷	韓	館
	206	館	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	翫
	207	鷹	雁	頑	頑	願					
	207						企	伎	危	喜	器
き	208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	209	旗	期	棋	棄						
	210		機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀
	211	紀	徽	規	記	貴	軌	起	輝	飢	騎
	212	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	議	技	擬	欺
	213	犧	疑	祇	義	蟻	誼	鞠	菊	鞠	
	214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	黍	却	
	215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	218	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁
	219	禦	魚	亨	亨	京					
	220		供	俠	僑	兇	競	凶	恠	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峽	強	強	恠	恐	恭	
222	挾	教	橋	況	狂	狹	狹	胸	脅	興	
223	蕎	鄉	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉	
224	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均	
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀		
<	226										九
	227	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	馭	駟
	228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	隅	隅	
	229	串	櫛	釧	屑	屈					
	230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	限	桑
	231	栗	綠	桑	鋏	勲	君	薰	訓	群	軍
	232	郡									
け	232	卦	袈	袈	係	傾	刑	兄	啓	圭	
	233	珪	型	契	形	徑	慶	慧	憩	揭	
	234	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	繼	
	235	繫	野	荳	荊	蚩	計	詣	警	頸	
	236	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁
	237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	238	俟	倦	健	兼	券	劍	喧	暄	堅	嫌
	239	建	憲	懸	拳	捲					
	240		檢	權	牽	犬	猷	研	硯	絹	梟
	241	肩	見	謙	賢	軒	遣	隄	隄	隄	隄
	242	齷	元	原	巖	幻	弦	滅	源	玄	現
	243	絃	舷	言	諺	限					

①	②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
こ	243						乎	個	古	呼	固	
	244	姑	孤	己	庫	孤	戸	故	枯	湖	狐	
	245	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	跨	鈷	雇	
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	後	
	247	御	悟	梧	檣	瑚	暮	語	誤	護	翻	
	248	乞	鯉	交	佼	侯	俸	光	公	功		
	249	効	勾	厚	口	向						
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	
	251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	
	252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	
	253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	
	254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	
	255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鈇	
	256	砧	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劊	
	257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻	
	258	告	国	穀	酷	鷓	黑	獄	漉	腰		
	259	忽	惚	骨	狛	込						
	260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	
	261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良	魂		
	さ	261										些
		262	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	磋	砂
		263	詐	鎖	娑	坐	挫	債	催	再	最	
		264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	歲	濟
		265	載	采	犀	碎	砦	祭	齋	細	菜	裁
		266	載	際	劑	在	材	財	冴	坂	阪	
		267	堺	榭	肴	咲	崎	碕	鷺	作	削	
268		咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	
269		鮭	笹	匙	冊	刷						
270			察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	臯	
し	271	鯖	捌	鑄	鮫	血	晒	三	傘	參	山	
	272	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	
	273	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘				
	273										仕	
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	
275	子	屍	市	師	志	思	指	孜	斯			
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸		
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌		
278	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒		
279	字	寺	慈	持	時							
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而		
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺		
282	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉		
283	湿	漆	疾	質	実	部	篠	俛	柴	芝		
284	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	赦	斜	煮		
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺		
286	尺	杓	灼	爵	酌	积	錫	若	寂	弱		
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種		
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹		
289	綬	需	囚	収	周							
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋		
291	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	襲	充	蹴		
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十		
293	從	戎	柔	汁	澁	獸	縱	重	銃	叔		

①	②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	294	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	術
	295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	298	署	書	書	諸	諸	助	叙	女	序	徐
	299	恕	鋤	除	傷	償					
	300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	301	妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠
	302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	303	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦
	304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	305	紹	肖	苜	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	306	詳	象	賞	醬	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	307	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常
	308	情	擾	条	杖	淨	状	量	穰	蒸	
309	釀	錠	囁	埴	飾						
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	
315	尋	甚	腎	賢	訊	迅	陣	鞞			
す	315										筭
	316	須	酢	凶	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	317	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	帥	錘	隨
	318	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	319	梶	菅	頰	雀	裾					
320											澄
せ	320										世
	321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	322	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製
	323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	327	蟬	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戰
	328	扇	撰	栓	柵	泉	浅	洗	染	潜	煎
	329	煽	旋	穿	箭	線					
330		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	
331	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	
332	全	禪	繕	膳	糰						
そ	332										嗜
	333	曾	楚	狙	疏	礎	祖	租	粗	素	
	334	組	蘇	訴	阻	遯	鼠	僧	創	双	叢
	335	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想
	336	搜	掃	挿	搔	早	曹	巢	槍	槽	
	337	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	聡
	338	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	339	霜	騷	像	増	憎					
	340		藏	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統
	342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

	①	②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
た	343		他	多	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打
	344		柁	舵	橈	陀	駄	躰	体	堆	对	耐
	345		岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎
	346		腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	鯛	代	
	347		台	大	第	醍	題	鷹	滝	濯	卓	啄
	348		宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	349		諾	茸	夙	蛸	只					
	350			叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迪
	351		棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	单	嘆	坦
	352		担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	筭	
353		綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	断	
354		暖	檀	段	男	談						
ち	354						值	知	地	弛	恥	
	355		智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築
	356		畜	竹	筑	蓄	逐	秩	柱	拮	着	
	357		中	仲	宙	忠	抽	屋	柱	注	虫	衷
	358		註	耐	鏑	駐	櫛	瀦	猪	芋	著	貯
	359		丁	兆	凋	喋	寵					
	360			帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	微	挑
	361		暢	朝	潮	牒	町	眺	聽	腸	腸	蝶
	362		調	謀	超	跳	鈔	長	頂	烏	劫	拈
	363		直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	363									津	墜	椎
	364		槌	追	鎚	痛	通	塚	楯	槻	佃	
	365		漬	柘	辻	蔦	綴	鏑	椿	漬	坪	壺
	366		孀	紬	爪	吊	釣	鶴				
	366									亭	低	停
て	367		荆	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	368		悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	369		艇	訂	諦	蹄	遞					
	370			邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	371		的	笛	適	鐫	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	372		鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	373		転	顛	点	伝	殿	澗	田	電		
	373										兔	吐
	374		堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	菟	菟
	375		賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376		怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	
377		宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棹	棟	
378		盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	痔	等	
379		答	筒	糖	統	到						
380			董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	
381		鏡	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導	
382		懂	撞	洞	瞳	童	洞	萄	道	銅	峠	
383		鴉	匿	得	德	洩	特	督	鳧	篤	毒	
384		独	読	析	椽	凸	突	楸	届	鳧	苦	
385		寅	西	滌	嶼	屯	惇	敦	豚	遁		
386		頓	吞	曇	鈍							
な	386						奈	那	内	乍	凧	籬
	387		謎	灘	捺	鍋	櫛	馴	纈	繩	南	楠
	388		軟	難	汝							
に	388						二	尼	弍	迹	匂	肉
	389		虹	廿	日	乳	入					
	390			如	尿	菲	任	妊	忍	認		

	①	②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ぬ	390											濡
	390											襦
ね	391		衵	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	燃
	392		粘									
	392		乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能	
の	393		腦	膿	農	視	蛭					
	393								巴	把	播	霸
	394		波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	虜
	395		拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	396		倍	培	媒	梅	煤	煤	狼	買	売	賠
	397		陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	398		柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	399		爆	縛	莫	駁	麥					
	400			函	箱	裕	筭	肇	筭	櫛	幡	肌
	401		畑	畠	八	鉢	澆	堯	醜	髮	伐	罰
402		拔	筏	闊	鳩	漸	塙	蛤	隼	伴	判	
403		半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	
404		犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩	
405		頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蚕		
ひ	405											匪
	406		卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	407		比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	408		誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	409		枇	毘	琵琶	眉	美					
	410			鼻	柁	裨	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	411		肘	弼	必	畢	筆	逼	檢	姬	媛	紐
	412		百	謬	佞	彪	標	水	漂	瓢	票	表
	413		評	豹	廟	描	病	秒	苗	鉗	鋌	蒜
	414		蛭	鱒	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賈	頻
415		敏	瓶									
ふ	415								不	付	埠	夫
	416		府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	417		膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	418		武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落
	419		伏	副	復	幅	服					
	420			福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	421		物	耐	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	422		粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	422									丙	併	兵
	423		幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	424		僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	變
	425		片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁
	426											鞭
	426		保	舖	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔	
427		穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	
428		俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	
429		抱	捧	放	方	朋						
430			法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	
431		蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	
432		亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	
433		望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	
434		鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	
435		牧	睦	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔	
436		本	翻	凡	盆							

■第二水準漢字コード一覧

コード	漢字
4839	佛
5268	壺
5454	嶽
5462	巖
5502	廣
5956	檜
5974	條
6323	澤
6706	磯
6838	籠
6881	粧
7038	翔
7074	肛
7263	萬
7296	蓼
7590	證
7750	輻
7871	鋌
7910	鍼
7937	鐵
8055	韌
8083	頌
8231	鮫
8347	麩
9092	燐
1374	(株)
1375	(有)

①	②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま	436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	437	昧	枚	每	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉
	438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣
	439	繭	磨	万	慢	滿					
	440					漫	蔓				
み	440			味	未	魅	巳	箕	岬	密	
	441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	
む	441										務
	442	夢	無	牟	矛	霧	鷓	掠	婿	娘	
め	442										冥
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	444	免	綿	綿	緬	面	麵				
も	444					摸	模	茂	妄		
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	446	目	杳	勿	餅	尤	戾	糲	貰	問	悶
	447	紋	門	匆							
や	447			也	冶	夜	爺	耶	野	弥	
	448	矢	厄	役	約	葉	詛	躍	靖	柳	菽
	449	鍵									
ゆ	449	偷	愈	油	癒						
	450	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	
	451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	452										予
	453	余	与	譽	興	預	備	幼	妖	容	庸
	454	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	455	窠	羊	耀	葉	蓉	要	詔	踊	遙	陽
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	456										羅
	457	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
り	458										利
	459	履	李	梨	理	璃					
	460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	461	律	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	463	両	凌	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜
	464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	465	厘	林	淋	淋	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る	466	瑠	壘	涙	累	類					
	466						令	伶	例	冷	勵
	467	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	468	齡	曆	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	469	漣	煉	簾	練	聯					
	470			蓮	連	鍊					
ろ	470					呂	魯	櫓	炉	路	路
	471	露	劣	婁	廊	弄	朗	榔	榔	浪	漏
	472	牢	狼	籠	老	聾	螂	郎	六	麓	祿
	473	肋	録	論							
わ	473			倭	和	話	歪	賄	脇	惑	
	474	杵	驚	互	巨	鰐	詫	藁	蕨	腕	湾
	475	碗	腕								

機能番号一覧

機能リストをプリントする

目的の機能呼び出すときに使用する機能番号の一覧をプリントできます。

1 <メニュー/文字>、<5>、<0>、<1> と押します。

[キノウ センタク]	No. 501
01 キノウ リスト	

2 <セット> を押します。

機能リストがプリントされます。

機能リスト		L-310 JPN A0A0A0
1. オートダイヤル	1. ワンタッチダイヤル	1. ワンタッチダイヤル セット
	2. タンジュクダイヤル	2. ワンタッチダイヤル クリア
	3. グループダイヤル	3. ワンタッチ リニューアル/リセット
2. キキ セッテイ	1. システム セッテイ	1. タンジュクダイヤル セット
		2. タンジュクダイヤル クリア
	2. ファクス セッテイ	2. タンジュクダイヤル/クリア
		1. ヨウソク サイス
		02. リスト プリント ヨウソクセンタク
		03. スキャナールラメーター
		04. コーアイヨク スイッチ
		05. ファクス&コピー
		06. プロテクトコート
		07. トワイ
08. サービスマニュアル		
09. カンパニイ リスポート		
10. フォトコピー		
11. セリチンモード		
3. オウヨク キノウ	3. コピー セッテイ	01. プリント リラメーター
		02. ホース シェン
	1. ソウジン カンリ	03. ヨビタシハル カイスク
		04. リタダイヤル
		05. カツンモト ソウジン
		06. アナヒ ユウソク
		07. ECRモード
		08. タイルグランドホウソク
		09. メモリー ソウジン
		10. スミス タンク
11. ワーク アナログ/デジタル		
12. タイヤルイン セット		
4. チョウキ ケンコウ	2. メウセージ	13. トクテイソウジン セット
		14. キヤクシ ユニフォーム
	1. ケンコウ トウロク	1. プリント リラメーター
		2. ソート コピー
		1. ソウジン カンリ
		2. ソウジン カンリ
		3. ニックウソク セット
		1. メウセージ ソウジン
		2. メウセージ セット
		1. フォート ホックス セット
2. フォート ホックス クリア		
1. フォート ラムワンタッチ セット		
2. フォート ラムワンタッチ クリア		
2. ケンコウ ショウキョウ	6. フォンローフ	1. ファクスワーフ セット
		2. ファクスワーフ トウロク
	7. セキユリティ キノウ	3. ファクスワーフ クリア
		1. フォンローフ セット
		2. フォンローフ トウロク
		3. フォンローフ クリア
		01. ハイキ ソウジン
		02. ハイキ シェン
		03. リラメーター
		04. IDチェック ソウジン
05. タイヤル 2ト		
06. タンジュク 2ト		
3. ケンコウ フォンソク	1. ケンコウ フォンソク	07. ワンタッチ 2ト
		08. トウロク ソウジン
		09. セキユリティ シェン
2. ケンコウ ショウキョウ	2. フォート ホックス ケンコウ	10. リラメーター ホックス
		1. ホーリング ケンコウ
		2. フォート ホックス ケンコウ
3. ケンコウ フォンソク	1. ホーリング ケンコウ	1. ホーリング ケンコウ
		2. フォート ホックス ケンコウ

機能番号について

機能番号は、目的の機能呼び出すときに使用する機能番号の一覧です。大項目の番号・中項目の番号・小項目の番号の組み合わせになります。

【例】ポーズ時間変更の機能番号

2 キキ セッテイ→2 ファクスセッテイ→02 ポーズジカン

↓

機能番号 2202

〈メニュー/文字〉、〈2〉、〈2〉、〈0〉、〈2〉 と押すと・・・

[キノウ センタク]	No. 2202
02 ポーズジカン	

機能一覧と参照ページ

大項目	中項目	小項目
1 オートダイヤル	1 ワンタッチダイヤル	1 ワンタッチダイヤルセット (→5-12ページ) よく使用する宛先を60件までワンタッチキーに登録できます。
		2 ワンタッチダイヤルクリア (→5-15ページ) ワンタッチダイヤルを消去します。
		3 ワンタッチソウニュー/サクジョ (→5-13ページ) ワンタッチダイヤルの挿入や番号づめができます。
	2 タンシュクダイヤル	1 タンシュクダイヤルセット (→5-17ページ) よく使用する宛先を140件まで短縮ダイヤルに登録できます。
		2 タンシュクダイヤルクリア (→5-20ページ) 短縮ダイヤルを消去します。
		3 タンシュクソウニュー/サクジョ (→5-18ページ) 短縮ダイヤルの挿入や番号づめができます。
	3 グループダイヤル	1 グループダイヤルセット (→5-21ページ) 複数の宛先をまとめて、1つのグループに登録できます。
		2 グループダイヤルクリア (→5-22ページ) グループダイヤルを消去します。

大項目

中項目

小項目

2 キキセットイ

1 システムセッテイ

※ 8. サービスモードは設定しないでください。

- 01 ヨウシサイズ (→5-39 ページ)
カセット 1、カセット 2 (オプション品) にセットする用紙のサイズを選びます。
- 02 リストプリントヨウシセンタク (→5-39 ページ)
リストをプリントする用紙のサイズを設定できます。
- 03 スキャナーパラメーター (→5-39 ページ)
読み取り時の画質、濃度、読み取りサイズの初期値を設定します。
- 04 ゴアイヨウスイッチ (→5-35 ページ)
機能を任意のキーに割り当てて登録できます。
- 05 ファクス&コピー (→3-27 ページ)
1 回の原稿読み取り操作で、ファクスとコピーが同時にできます。
- 06 プロテクトコード (→4-4 ページ)
セキュリティ機能を利用するためのプロテクトコードを登録します。
- 07 トケイ (→5-40 ページ)
西暦、月日、時分を入力します。時刻は 24 時間制で入力します。
- 08 サービスモード
設定しないでください。
- 09 カンリシャパスワード (→4-2 ページ)
設定することによって管理者による機器の一元管理が可能になります。
- 10 プロテクトキノウ (→4-26 ページ)
管理者パスワードを利用してさまざまな機能を管理することができます。
- 11 セツデンモード (→5-40 ページ)
本商品の消費電力を抑える節電モードの機能を設定できます。

2 ファクスセッテイ

- 01 プリントパラメーター (→5-41 ページ)
受信縮小率、しきい値の設定ができます。
- 02 ボーズジカン (→5-41 ページ)
ボーズ信号を入力したときのダイヤル間隔 (0 ~ 10 秒) の初期値を設定します。
- 03 ヨビダシベルカイスウ (→5-41 ページ)
受信モードが自動受信 (ファクス、電話/ファクス待機) のとき、受信動作が開始されるまでの呼び出しベル回数 (0 ~ 10 回) を設定します。
- 04 リダイヤル (→5-41 ページ)
相手が話し中などのとき、あらかじめ設定した回数 (0 ~ 15 回) や間隔 (0 ~ 5 分) で再度ダイヤルします。
- 05 ハッシンモトソウシン (→2-22 ページ)
送信した原稿の先頭に発信元名を表示することができます。
- 06 アテナヒョウジ (→5-41 ページ)
送信した原稿の先頭に相手先名を表示することができます。
- 07 ECM モード (→5-42 ページ)
電話回線の影響で正しく送信できなかったときに、その部分を自動的に送信し直します。
- 08 ダイレクトメールボウシ (→4-22 ページ)
3 種類の方法によって、設定した相手からの受信を拒否できます。
- 09 メモリーソウシン (→5-42 ページ)
送信するときにメモリー送信を優先するか、リアルタイム送信を優先するかを設定します。
- 10 スミスタンプ (→5-42 ページ)
済スタンプの初期値を設定します。
- 11 ワープアンショウバンゴウ (→5-42 ページ)
外出先からフォンワープを設定するときに使用するための暗証番号を設定します。
- 12 ダイヤルイン セット (→1-33 ページ)
ダイヤルイン契約した電話番号を 3 番号分まで登録できます。
- 13 トクテイツウシン セット (→3-49 ページ)
通信モードを通常モードと特定モードから選んで設定できます。
- 14 ギャクジュンプリント (→5-43 ページ)
ON に設定すると、受信した原稿を逆順に出力します。

3 コピーセッテイ

- 1 プリントパラメーター (→3-49 ページ)
プリント縮小率、しきい値の設定ができます。
- 2 ソートコピー (→2-54 ページ)
ON に設定すると、初期設定にてソートが ON になります。

大項目	中項目	小項目
3 オウヨウキノウ	1 ツウシンカンリ	1 ツウシンキロクジドウセツテイ (→3-52ページ) ONに設定すると、送信、受信が合わせて100通信になると通信管理レポートをプリントします。
		2 ソウシンカクニンショウセツ (→3-55ページ) ONに設定すると、送信するたびに送信確認証をプリントします。
		3 ニッボウジヨクシテイ (→3-54ページ) ONに設定すると、最新の通信状況をプリントします。
	2 メッセージ	1 メッセージソウシン (→3-10ページ) 送信原稿と一緒に、簡単な文章(メッセージ)の入った送信案内証を自動的につけて送信できます。
		2 メッセージセツ (→3-9ページ) 送信案内証のメッセージを登録します。
	3 Fコードボックス	1 Fコードボックスセツ (→3-14ページ) Fコード通信を利用するためにFコードボックスを50個まで登録できます。
		2 Fコードボックスクリア (→3-18ページ) Fコードボックスを消去します。
	4 プログラムワンタッチ	1 プログラムワンタッチセツ (→5-24ページ) 応用通信などをプログラムワンタッチに登録しておく、登録したワンタッチキーを押すだけで登録した操作を行うことができます。
		2 プログラムワンタッチクリア (→5-33ページ) プログラムワンタッチダイヤルを消去します。
	5 ファクスワーブ	1 ファクスワーブセツ (→3-34ページ) ファクスワーブのON、OFFを設定します。
		2 ファクスワーブトウロク (→3-29ページ) 設定時間内に受信した原稿を指定された宛先に転送します。
		3 ファクスワーブクリア (→3-32ページ) 転送先を消去します。
	6 フォンワーブ	1 フォンワーブセツ (→3-42ページ) フォンワーブのON、OFFを設定します。
		2 フォンワーブトウロク (→3-39ページ) 設定時間内にかかってきた電話を指定された宛先に転送します。
		3 フォンワーブクリア (→3-41ページ) 転送先を消去します。
	7 セキュリティキノウ	01 ハイキソウシン (→4-7ページ) ONに設定すると、閉域送信を行うことができます。
		02 ハイキジュシン (→4-8ページ) ONに設定すると、閉域受信を行うことができます。
		03 パスコード (→4-10ページ) 閉域送信および閉域受信、パスコードポーリングの利用に必要なパスコードを登録できます。
		04 IDチェックソウシン (→4-13ページ) ONに設定すると、ダイヤルしたファクス番号の下4桁と相手に登録されているファクス番号の下4桁を照合し、一致した場合のみファクスを送信します。
		05 ダイヤル2ドオシ (→4-14ページ) ONに設定すると、送信を始める前に、テンキーで入力したファクス番号を再度入力する画面がでてきます。
		06 タンシュク2ドオシ (→4-15ページ) ONに設定すると、送信を始める前に、短縮番号で入力したファクス番号を再度入力する画面がでてきます。
		07 ワンタッチ2ドオシ (→4-15ページ) ONに設定すると、送信を始める前に、ワンタッチダイヤルで入力したファクス番号を再度入力する画面がでてきます。
		08 ドウホウソウシン (→4-18ページ) 複数の宛先入力を禁止することができます。
		09 セキュリティジュシン (→4-20ページ) セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。
		10 パスコードポーリング (→4-9ページ) ONに設定すると、パスコードポーリングを行うことができます。

大項目	中項目	小項目
4 チクセキゲンコウ	1 ゲンコウトウロク	1 ボーリングゲンコウ (→3-11ページ) ボーリング原稿を蓄積します。
		2 Fコードボックスゲンコウ (→3-23ページ) Fコード掲示板用に原稿を蓄積します。
	2 ゲンコウショウキョ	1 ボーリングゲンコウ (→3-11ページ) 蓄積したボーリング原稿を消去します。
		2 Fコードボックスゲンコウ (→3-25ページ) Fコードボックスに蓄積した原稿を消去します。
	3 ゲンコウプリント	1 ボーリングゲンコウ (→3-12ページ) 蓄積したボーリング原稿をプリントします。
		2 Fコードボックスゲンコウ (→3-24ページ) Fコードボックスに蓄積した原稿をプリントします。
		3 セキュリティジュシゲンコウ (→4-21ページ) セキュリティ受信設定中に受信した原稿をプリントします。
		4 ヨヤクゲンコウ (→3-58ページ) メモリー内に通信予約している原稿をプリントします。
	5 リストプリント	01 キノウリスト (→7-8ページ) 機能の一覧をプリントします。
		02 キキセツテイリスト (→5-45ページ) 設定した機能の状態をプリントします。
		03 ツウシンキロク (→3-51ページ) 送信管理レポートや日報などの通信記録をプリントします。
		04 ツウシンヨヤクリスト (→3-57ページ) 通信予約されている原稿のリストをプリントします。
05 ワンタッチダイヤルリスト (→5-16ページ) ワンタッチダイヤルの一覧をプリントします。		
06 タンシュクダイヤルリスト (→5-20ページ) 短縮ダイヤルの一覧をプリントします。		
07 グループダイヤルリスト (→5-25ページ) グループダイヤルの一覧をプリントします。		
08 ダイレクトメールダイヤルリスト (→4-23ページ) ダイレクトメール防止に登録されているダイヤルの一覧をプリントします。		
09 メッセージリスト (→3-10ページ) 送信案内証をプリントします。		
10 Fコードボックスリスト (→3-19ページ) Fコードボックスの一覧をプリントします。		
11 Fコードゲンコウリスト (→3-26ページ) Fコードボックスに蓄積した原稿の一覧をプリントします。		
12 プログラムワンタッチリスト (→5-34ページ) プログラムワンタッチダイヤルの一覧をプリントします。		
13 ファクスワープリスト (→3-33ページ) ファクスワーブの一覧をプリントします。		
14 フォンワープリスト (→3-42ページ) フォンワーブの一覧をプリントします。		
9 セツチモード	使用するために必要な登録を行います。 (→1-29ページ)	

アフターサービスについて

- ご使用中に異常が発生したときは、ご使用をやめ、電源プラグを電源コンセントから抜いて NTT 通信機器お取扱相談センタにご相談ください。
- お客様または第三者が本商品の使用誤りによって生じた故障ならびにその不都合によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は厳重な品質管理と製品検査をへて出荷されますが、万一故障または不具合がありましたら、至急 NTT 通信機器お取扱相談センタまでご連絡ください。

保証について

- ・ 本商品には保証書がついています。保証書は所定の事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- ・ アフターサービスに関する詳しい内容は、別紙「保守サービスのご案内」をお読みください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、「故障かなと思ったら（→6-33 ページ）」の項目で、故障かどうかをお確かめください。故障の場合はお名前、住所、電話番号、機種名、購入年月日、故障の状態、道順と目標物、駐車可能な場所などを NTT 通信機器お取扱相談センタにご連絡ください。お申し出により出張修理いたします。

- (1) 使用上の誤りや不当な修理・改造、当社指定外の消耗品の使用による故障および破損で修理サービスを依頼されますと有償となります。
- (2) 修理の内容によっては、登録内容が消去される可能性があります。あらかじめ登録内容をメモしておいてください。この場合再登録はお客様ご自身でお願いいたします。

その他の場合

下記のような変更がある場合は、事前に NTT 通信機器お取扱相談センタにご相談ください。

(1) 移設の場合

当社への手続きや本商品の再調整が必要な場合があります。事前にお買い上げの販売店にご連絡ください。

(2) 電話回線に関する契約変更や新規サービス加入をされる場合

本商品の再調整が必要な場合があります。事前に NTT 通信機器お取扱相談センタにご相談ください。

主な仕様

製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

仕様

項目	仕様
型式	卓上型、送受信兼用
感光体種類	OPC ドラム
プリント方式	乾式電子写真方式
現像方式	非磁性 1 成分接触現像方式
定着方式	ヒートロールによる熱圧力定着
読取方式	CCD イメージセンサーによる固定電子平面走査
プリント解像度	8 画素 / mm × 15.4 本 / mm
通信速度	33600, 31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400 bit / s (自動切替)
適用回線	加入電話回線 (ファクシミリ通信網を含む)、NCC 回線
電送速度	2 秒台 (33600bit / s)* ²
符号化方式	MH / MR / MMR / JBIG
原稿サイズ	1 枚のみ 最大 : 257×900 mm 最小 : 120×100 mm 厚さ : 0.05 ~ 0.15 mm 複数枚 最大 : 257×364 mm 最小 : 148×105 mm 厚さ : 0.06 ~ 0.13 mm
原稿収容容量 (ADF)	B4 : 25 枚 A4 以下 : 50 枚
読取解像度* ¹	超高画質モード* : 主走査 8 画素 / mm × 副走査 15.4 本 / mm 高画質モード : 主走査 8 画素 / mm × 副走査 7.7 本 / mm 標準モード : 主走査 8 画素 / mm × 副走査 3.85 本 / mm 写真モード : 主走査 8 画素 / mm × 副走査 7.7 本 / mm
用紙サイズ	B4、A4、B5  、A5  坪量 60 ~ 78 g / m ²
用紙収容容量	普通紙 (指定紙) : 500 枚 ※最大厚さ : 52mm まで
ウォームアップタイム	20 秒以内 / (20°C、60%)
連続複写速度	12 枚 / 分 (用紙 A4)
画像メモリー容量	2MB (バッテリーにより、約 72 時間のメモリーバックアップ可)
電源	AC 100 ± 10 V 50 / 60Hz 共用

*¹ : ファクス送信時、該当モードを持たない装置とは交信できません。

*² : A4 版 700 字程度の原稿を、標準的画質 (8 画素 × 3.85 本 / mm)、スーパー G3 モード (ITU-T V.34 基拠、33600bit / s) で送ったときの時間です。これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。G3 機との通信 (同じ原稿を 14400bit / s で送ったとき) では 6 秒台になります。一般の電話回線での通信速度は、回線の条件、状況によって 33 600bit / s の速度以下になる場合もあります。

項目	仕様
消費電力	節電時 : 0.4W 待機時 : 30Wh (通常時) 送信時 : 28W 受信時 : 580W コピー時 : 580W 最大時 : 580W
電流値	5.8A
直流抵抗値	233.4 Ω
質量	21.4kg (ドラム・トナーカートリッジ、原稿トレイ、延長用紙トレイを含む)
機器寸法	幅 450× 高さ 346× 奥行き 557mm (トレイおよび突起部分は含みません)
環境条件	周囲温度 : 10 ~ 32℃ 相対湿度 : 20 ~ 80%

デュアルアクセス

- デュアルアクセスとは、1つの作業をしているときに別の作業を同時にさせることのできる機能のことです。この機能により、送信やプリントをしているときに別の送信やコピーの指示をすることができます。並行させることのできる動作は下表を参照してください。
- 通信中ランプが点滅しているときは、読み取りやプリント動作ができません。詳しくは下表を参照してください。

○…できる ×…できない

	メモリー送信原稿読み取り	メモリー送信	リアルタイム送信	受信	受信プリント	コピーの読み取り	コピーのプリント	リストのプリント
メモリー送信原稿読み取り	×	○*2	×	○*2	○	×	○	○*3
メモリー送信中 (14400 bit/s 以下で、かつ JBIG でない)	○	×	○*4	×	○	○	○	○
リアルタイム送信中	×	×	×	×	○	×	○	○*3
メモリー受信中 (14400 bit/s 以下で、かつ JBIG でない)	○	×	○*4	×	○	○	○	○
メモリー送信中 (スーパー G3 または JBIG)	○*1	×	○*4	×	○*5	○*1	○*5	○*3
メモリー受信中 (スーパー G3 または JBIG)	○*1	×	○*4	×	○*5	○*1	○*5	○*3
受信プリント	○	○*2	○*2	○*2	×	○	×	×
コピーの読み取り	×	○*2	×	○*2	○	×	○	○*3
コピーのプリント	○	○*2	○*2	○*2	×	○	×	×
リストのプリント	○*1	○*2	○*4	○*2	×	○*1	×	×

*1 : 現在の動作終了後に読み取りが開始されます。送信、コピー、蓄積操作指示は受け付けられません。

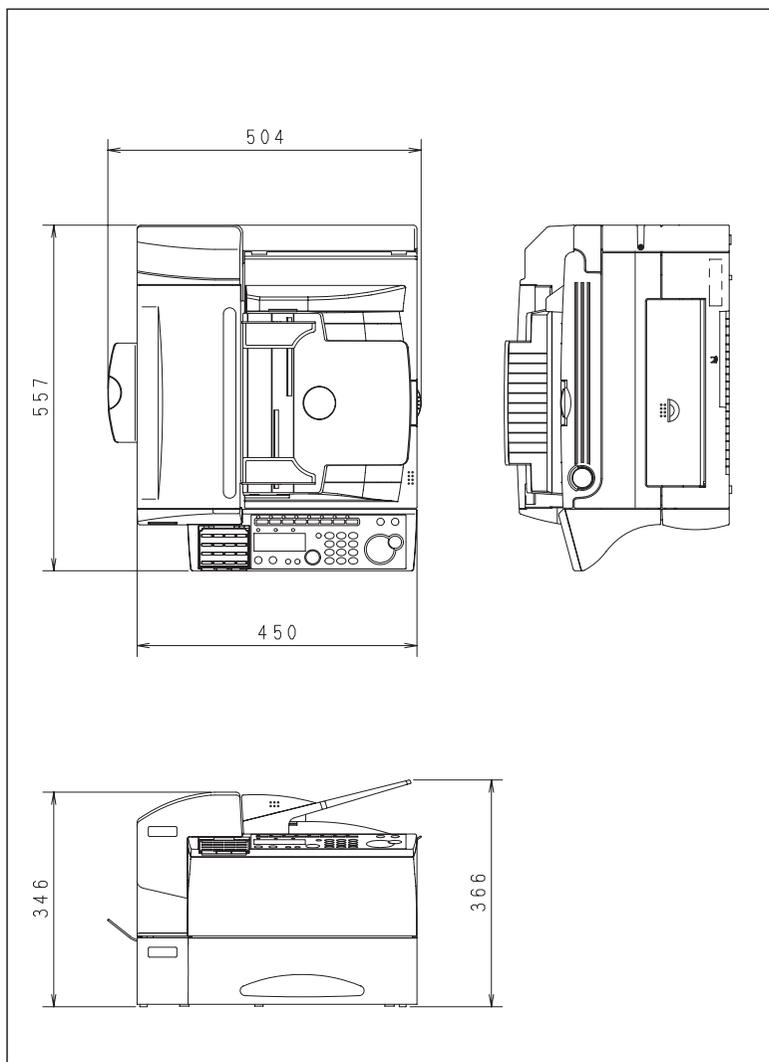
*2 : スーパー G3 通信または JBIG 通信はできません。通信速度は 14400 bit/s 以下となります。

*3 : 現在の動作終了後にリストプリントが開始されます。リストプリント操作指示は受け付けられません。

*4 : 現在の動作終了後にリアルタイム送信が開始されます。リアルタイム送信操作指示は受け付けられません。

*5 : 現在の動作終了後にプリントが開始されます。

外形寸法



外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

規制について

- このモデルは日本仕様の認可機です。日本国内でのみ設置できます。(日本から海外のファクスとの国際電話による交信もできます。)
- This facsimile machine is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

電波障害規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波の抑制について

本商品は、JIS C 61000-3-2 電源高調波規格に適合しています。

ハンドセット接続時の直流抵抗値について

ハンドセット（オプション）の直流回路の抵抗値は 355.5 Ω（最大）です。線路の直流条件によってはご使用になれないことがあります。ただし、動作確認で通話やダイヤル動作に異常がなければ、ご使用には差し支えありません。

環境基準ラベル「ダイナミックエコマーク」について



当社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「<追補版>通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。ダイナミックエコマークは下記の条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

<環境に配慮した素材の採用>

- 当社が指定する含有禁止物質は、製品に使用しない。
- 当社が指定する含有抑制物質は、使用を抑制すると共に物質名・量を管理する。
- 酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品に使用することを抑制する。
- 焼却時にダイオキシン発生恐れがあるPVC(ポリ塩化ビニール)、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤を、製品に使用することを抑制する。
- 廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料(ポリスチレン等)、推奨金属材料を使用する。
- 取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質などの含有禁止物質を含まないものを使用する。

<リサイクルしやすい設計>

- 製品のリサイクル可能率を70%以上とする。
- リサイクルを容易にするために、すべてのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示する。

<環境に配慮した梱包材>

- 発泡スチロールの使用量を削減する。

<省エネルギー>

- 省エネルギーを考慮した設計を行う。
- 国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行う。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本商品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、省エネルギー化推進の国際プログラムです。このプログラムは、“エネルギーを必要なときに効率よく使う”という省エネルギーの観点から、長時間電源を入れた状態になっていることが多いオフィス機器の消費電力の削減を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。

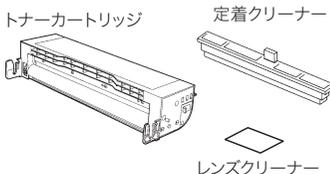
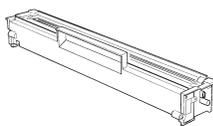
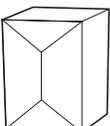
FASEC について



FASEC とは、情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ) がファクシミリ通信のセキュリティ向上を目指して制定したガイドラインの呼称です。FASEC のロゴマークは、このガイドラインに準拠したファクシミリ・複合機に使用されます。

消耗品について

本商品には、以下の消耗品が用意されています。これらは、本商品に適した規格で作られているので、必ず以下のものを使用してください。

消 耗 品	梱包形態
トナーカートリッジ 	各 1 個
ドラムカートリッジ 	各 1 個
用紙 (A4、A5、B4、B5) 	250 枚

同梱内容・形態は予告なく変更することがあります。

補 足 ○

- ・ 上記以外の消耗品を使用して発生したトラブルについて、修理を依頼されますと保証期間内であっても有償になることがあります。
- ・ 消耗品は以下のような場所を避けて保管してください。
高温多湿の場所・火気のある場所・直射日光の当たる場所・ほこりの多い場所
- ・ 消耗品はご使用になるまで包装された状態で保管してください。
- ・ ドラムカートリッジ、トナーカートリッジにつきましては、予備を準備していただくことをお奨めいたします。

オプション品・別売品について

本商品には、以下のオプション品・別売品が用意されています。

オプション品

品名	備考
増設メモリ 4MB	メモリー容量を増やし、原稿の蓄積容量を増やすことができます。
増設記録紙カセット	最大 500 枚までの用紙をセットできます。
専用置き台	使いやすさを考慮した専用置き台です。使用途中の用紙を保管するスペースもあります。
ハンドセット	手動受信など、電話を受けるときに必要です。
回転受信キット	送信原稿の方向と受信側の用紙の方向が違う場合は、自動的に受信原稿を回転させ、ジャストサイズで受信できます。
済スタンプ	梱包箱には以下の内容が同梱されています。 済スタンプ 1 個 ピン 1 個   済スタンプ印体 ピン

別売品

品名	備考
キャリアシート (A4、B4)	薄い原稿やカールした原稿を送信するときを使用します。

さくいん

英数

ECM モード.....	5-42
F コード通信.....	3-13
F コードポーリング.....	3-21
掲示板送信.....	3-20
掲示板への原稿蓄積.....	3-23
掲示板ボックス登録.....	3-16
サブアドレスとパスワード.....	3-13
親展送信.....	3-20
親展ボックス登録.....	3-16
蓄積原稿の消去.....	3-25
蓄積原稿のプリント.....	3-24
蓄積原稿リストのプリント.....	3-26
中継指示ボックス登録.....	3-17
中継送信.....	3-20
ボックスの消去.....	3-18
ボックスの登録.....	3-14
ボックスリストのプリント.....	3-19
ID チェック送信.....	4-13

あ

宛先 2 度押し	
機能の制限について.....	4-17
送信のしかた.....	4-16
ダイヤル 2 度押しの設定.....	4-14
短縮 2 度押しの設定.....	4-15
ワンタッチ 2 度押しの設定.....	4-15
宛名表示.....	5-41
アフターサービス.....	7-13
アラームランプ.....	6-22

え

エラーコード.....	6-24
エラーメッセージ	
表示されるエラーメッセージ.....	6-27
プリントされるエラーメッセージ.....	6-23
延長用紙トレイの取り付け.....	1-15

お

お手入れ.....	6-12
音設定.....	2-18
主な特長.....	1-2

か

各部の名称とはたらき.....	1-4
画質	
えんぴつ読み取り.....	2-7
車検証読み取り.....	2-7

初期設定.....	5-39
設定.....	2-7
管理者パスワード.....	4-2
削除.....	4-3

き

機器設定	
機器設定リストのプリント.....	5-45
設定例.....	5-38
機器の接続.....	1-15
機能の呼び出しかた.....	1-12
カーソルキーで表示.....	1-12
機能番号を入力 (ショートカット).....	1-12
機能を順番に表示.....	1-13
機能番号一覧.....	7-8
記録ヘッドの清掃.....	6-15

く

グループ送信.....	3-5
グループダイヤル.....	5-21
登録 / 変更.....	5-21
リストのプリント.....	5-23

け

原稿	
セットする.....	2-5
セットできる原稿.....	2-3
原稿づまりの解除.....	6-20
原稿トレイの取り付け.....	1-15
現在時刻登録.....	5-40

こ

ご愛用スイッチ.....	5-35
使いかた.....	5-37
登録 / 変更.....	5-36
故障かなと思ったら.....	6-33
画質が悪い.....	6-35
受信できない.....	6-34
送信できない.....	6-33
コピー	
コピーのしかた.....	2-52
縮小コピー.....	5-44
設定一覧.....	5-44
ソートコピー.....	2-54

し

しきい値.....	2-41
設定.....	5-41, 5-44
時刻指定通信.....	3-7

受信縮小率設定.....	5-41	増設電話（留守番電話）の接続.....	1-16
受信中の表示.....	2-38	ソートコピー.....	5-44
受信モード.....	1-35	た	
選びかた.....	1-35	代行受信.....	2-39
設定.....	1-29	ダイヤルイン	
ダイヤルイン待機.....	3-46	ダイヤルインについて.....	3-48
電話待機.....	2-36	ダイヤルインの動き.....	3-46
電話 / ファクス待機.....	2-33	登録.....	1-33
ファクス待機.....	2-32	ダイヤルタイプ設定.....	1-29
ファクス / 電話待機.....	2-34	ダイヤルトーン検出設定.....	1-29
リモート受信.....	2-37	ダイヤル2度押し	
留守 / ファクス待機.....	2-35	使いかた.....	4-16
手動送信.....	2-17	ダイレクトメール防止.....	4-22
仕様.....	7-14	登録.....	4-22
消去通知.....	6-39	変更 / 消去.....	4-24
使用前のお願い.....	xi	リストのプリント.....	4-25
初期設定.....	1-29, 5-39	短縮ダイヤル.....	5-17
す		消去.....	5-20
スキャナーパラメーター.....	5-39	挿入 / 削除.....	5-18
済スタンプ		登録 / 変更.....	5-17
交換.....	6-10	リストのプリント.....	5-20
初期設定.....	5-42	つ	
設定.....	2-23	通信管理レポート.....	3-50
せ		プリント.....	3-51
セキュリティ受信.....	4-20	みかた.....	3-53
受信原稿のプリント.....	4-21	通信の中止 / 確認.....	2-24
設定.....	4-20	宛先別の中止 / 確認.....	2-27
設置モード.....	1-29	通信結果のプリント.....	2-31
節電モード.....	1-8, 1-11	通信予約文書の中止 / 確認.....	2-28
自動節電モード.....	5-40	通信履歴表示.....	2-30
節電開始.....	5-40	同報通信・グループ通信の中止 / 確認.....	2-26
節電解除.....	5-40	通信予約原稿のプリント.....	3-58
節電時間.....	5-40	通信予約リストのプリント.....	3-57
そ		通信履歴・通信結果.....	2-30
操作パネルの名称とはたらき.....	1-8	て	
送信案内証.....	3-9	停電のとき.....	6-37
設定.....	3-10	消去通知.....	6-39
プリント.....	3-10	メモリーバックアップ.....	6-38
メッセージの登録 / 変更.....	3-9	デュアルアクセス.....	7-15
送信確認証.....	3-50	電源コードの接続.....	1-17
設定.....	3-55	電源スイッチ.....	1-10
みかた.....	3-56	電話	
送信のしかた		受けかた.....	2-47
宛先表で指定.....	2-15	かけかた.....	2-44
手動送信.....	2-17	電話機ヒモの接続.....	1-15
短縮ダイヤルで指定.....	2-11	と	
ワンタッチダイヤルで指定.....	2-11	同梱品.....	1-14
送信方法		同報禁止.....	4-18
リアルタイム送信.....	2-21	設定.....	4-18

使いかた.....	4-19	「通信」の登録 / 変更.....	5-24
同報送信.....	3-3	使いかた.....	5-34
トーン.....	2-21	リストのプリント.....	5-34
時計の設定.....	5-40	「リストプリント」の登録 / 変更.....	5-30
トナーカートリッジ		プロテクト機能.....	4-26
交換.....	6-6	機能の制限について.....	4-30
取り付け.....	1-19	設定.....	4-27
ドラムカートリッジ		使いかた.....	4-28
交換.....	6-2	プロテクトコード.....	4-4
取り付け.....	1-19	削除.....	4-6
		変更.....	4-5
な		へ	
ナンバー・ディスプレイの設定.....	1-29	閉域受信.....	4-8
		設定.....	4-8
に		閉域送信.....	4-7
日報.....	3-54	設定.....	4-7
		ページ分割.....	2-40
の		ほ	
濃度		ボイスワープ.....	3-35
初期設定.....	5-39	ボイスワープを利用する前の設定.....	3-35
設定.....	2-8	ポーズ.....	2-21
		ポーズ時間設定.....	5-41
は		ポーリング通信.....	3-11
パスコード.....	4-10	原稿の消去.....	3-11
パスコードポーリング.....	4-9	原稿の蓄積.....	3-11
発信元番号登録.....	1-29	原稿のプリント.....	3-12
発信元名		パスコード.....	4-9
初期設定.....	5-41	ポーリング.....	3-12
選択.....	2-22	本書のみかた.....	ix
登録.....	1-29	キー表示.....	x
ハンドセットの接続.....	1-16	紙面.....	ix
		ま	
ひ		マークについて.....	x
日付の設定.....	1-29	め	
標準発信元名設定.....	1-29	メッセージ送信.....	3-9
		メモリーオーバー.....	2-20
ふ		メモリー送信.....	2-21
ファクス&コピー.....	3-27	初期設定.....	5-42
ファクスワープ.....	3-29	も	
設定.....	3-34	文字入力.....	5-3
転送条件一覧のプリント.....	3-33	アルファベット (半角).....	5-6
転送条件消去.....	3-32	カタカナ (半角).....	5-5
転送条件登録.....	3-29	漢字・全角文字コード一覧.....	7-3
フォワーブ.....	3-38	漢字・ひらがな.....	5-3
外出先からの操作.....	3-44	記号.....	5-7, 5-8
設定.....	3-42	記号コード一覧.....	7-2
転送条件一覧のプリント.....	3-41	修正 / 削除.....	5-9
転送条件消去.....	3-41	数字 (半角).....	5-6
転送条件登録.....	3-39		
プッシュホンサービスの利用.....	2-51		
プリントパラメーター.....	5-41, 5-44		
プログラムワンタッチダイヤル.....	5-24		
「原稿蓄積」の登録 / 変更.....	5-31		
消去.....	5-33		

よ	
用紙	1-23
印刷範囲	1-24
使用できる用紙	1-23
セットする	1-25
保管方法	1-24
用紙設定	1-26
用紙サイズの変更	5-39
用紙づまりの解除	
サイドカバー	6-18
本体内部	6-17
用紙カセット	6-18
呼出ベル回数の設定	5-41
読み取りサイズの初期値	5-39
り	
リアルタイム送信	2-21
リスト用紙選択	5-39
リダイヤル	2-19
回数設定	5-41
間隔設定	5-41
わ	
ワーブ暗証番号	5-42
ワンタッチダイヤル	5-12
消去	5-15
挿入 / 削除	5-13
登録 / 変更	5-12
リストのプリント	5-16



本商品はダイナミックエコマーク認定商品です。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。
本商品を最適にご利用いただくために、定期的にごらんいただくことをお勧めします。

当社ホームページ: <http://web116.jp/ced/>
http://fleets-w.com/solution/kiki_info/

使い方等で不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先:  0120-970413

※PHS・携帯電話・050IP電話からのご利用は:03-5667-7100(通話料金がかかります)

受付時間: 9:00~17:00

※年末年始: 12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先:  0120-248995

※PHS・携帯電話からも利用可能です。

受付時間: 9:00~17:00

※年末年始: 12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

故障に関するお問い合わせ

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。(24時間 年中無休)

※ 携帯電話・PHSからは「0120-444-113」にてお受けしています。

※ 故障修理等の対応時間は9:00~17:00となります。

(17:00~翌日9:00までは録音にて受付しており順次ご対応いたします。)

電話番号はお間違えにならないように、ご注意願います。

© 2013 NTTEAST・NTTWEST



この取扱説明書は、環境に配慮したベジタブルオイルインキを使用しています。

本3282-1 (2013.12)

D93-90350-60